

鳥栖市子ども・子育て支援事業計画
策定のためのニーズ調査結果

報 告 書

平成 3 1 年 3 月

鳥 栖 市

目 次

I	調査の概要	1
	1. 調査の目的	2
	2. 調査の実施状況	2
	3. 報告書の見方	2
II	調査の結果	3
	1. 住まいの地域について	4
	2. お子さんご家族の状況について	5
	3. 子どもの育ちをめぐる環境について	9
	4. お子さんの保護者の就労状況について	29
	5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	41
	6. 土曜・休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望について	51
	7. 地域子育て支援事業の利用状況について	56
	8. 子どもが病気の際の対応について	63
	9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について	72
	10. 放課後の過ごし方について	82
	11. 育児休業やお住まいの地域、行政の要望等について	96
III	調査の総括	159
	1. 調査結果から見える課題	160

I 調査の概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援を総合的に推進するため「第2期鳥栖市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の子育てに関する実態や要望・意見などを把握し、今後の子ども・子育て支援事業計画の策定に資することを目的として、「鳥栖市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2. 調査の実施状況

(1) 調査実施期間

平成31年1月11日～平成31年1月25日

(2) 調査対象者及び発送方法

対象者	発送・回収方法
鳥栖市内在住で、就学前の保護者 (以下、「就学前児童」)	郵送による配布・回収
鳥栖市内在住で、小学生児童の保護者 (以下、「小学生児童」)	郵送による配布・回収

(3) 配布数及び有効回収率

対象者	配付数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,000件	442件	44.2%
小学生児童	500件	226件	45.2%
合計	1,500件	668件	44.5%

3. 報告書の見方

- ① 集計は小数第二位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ② 回答が複数になる場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ③ 表、グラフに示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮または簡略して表記している場合がある。

Ⅱ 調査の結果

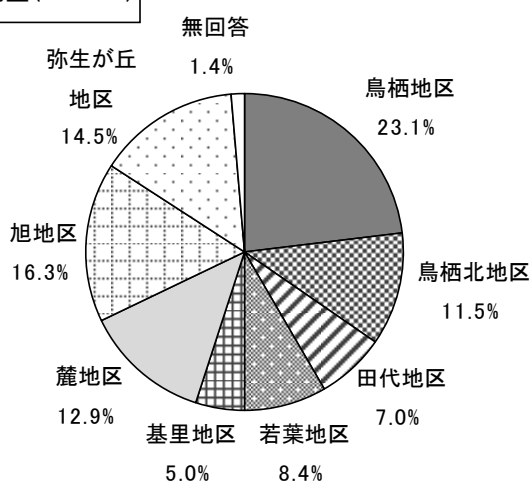
1. 住まいの地域について

(1) 住まいの小学校区

設問 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに〇をつけてください。

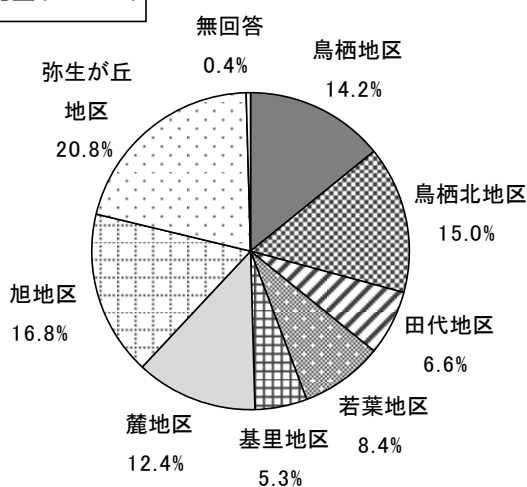
- 就学前児童は、「鳥栖地区」が23.1%と最も多く、次いで「旭地区」が16.3%、「弥生が丘地区」が14.5%となっています。
- 小学生児童は、「弥生が丘地区」が20.8%と最も多く、次いで「旭地区」が16.8%、「鳥栖北地区」が15.0%となっています。

就学前児童 (N=442)



	(人)	(%)
鳥栖地区	102	23.1
鳥栖北地区	51	11.5
田代地区	31	7.0
若葉地区	37	8.4
基里地区	22	5.0
麓地区	57	12.9
旭地区	72	16.3
弥生が丘地区	64	14.5
無回答	6	1.4
計	442	100.0

小学生児童 (N=226)



	(人)	(%)
鳥栖地区	32	14.2
鳥栖北地区	34	15.0
田代地区	15	6.6
若葉地区	19	8.4
基里地区	12	5.3
麓地区	28	12.4
旭地区	38	16.8
弥生が丘地区	47	20.8
無回答	1	0.4
計	226	100.0

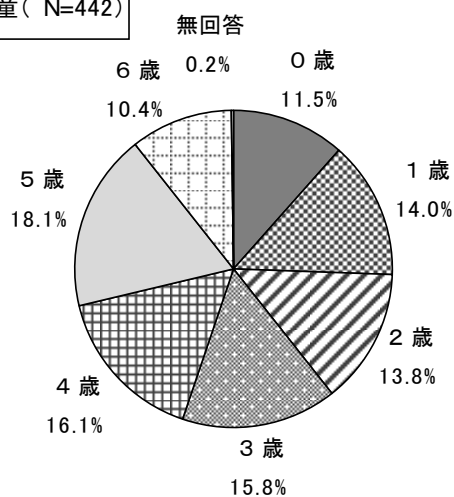
2. お子さんをご家族の状況について

(1) 子どもの年齢

設問 宛名のお子さんの生年月、および平成 30 年 10 月 1 日現在の年齢をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

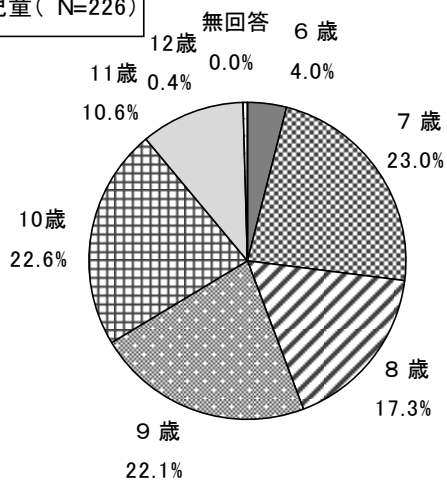
- 就学前児童は、「5歳」が18.1%と最も多く、次いで「4歳」が16.1%、「3歳」が15.8%となっています。
- 小学生児童は、「7歳」が23.0%と最も多く、次いで「10歳」が22.6%、「9歳」が22.1%となっています。

就学前児童 (N=442)



	(人)	(%)
0歳	51	11.5
1歳	62	14.0
2歳	61	13.8
3歳	70	15.8
4歳	71	16.1
5歳	80	18.1
6歳	46	10.4
無回答	1	0.2
計	442	100.0

小学生児童 (N=226)



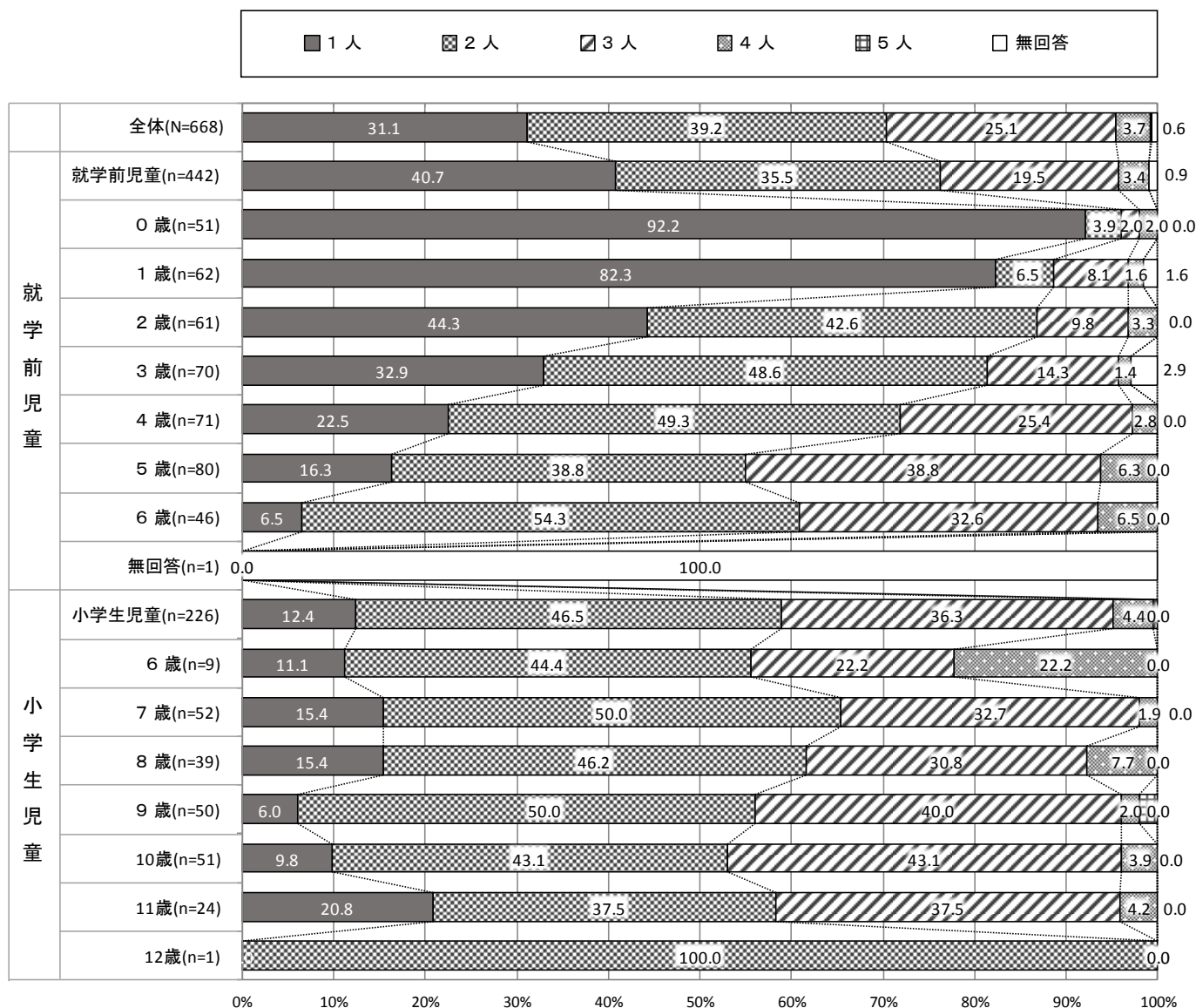
	(人)	(%)
6歳	9	4.0
7歳	52	23.0
8歳	39	17.3
9歳	50	22.1
10歳	51	22.6
11歳	24	10.6
12歳	1	0.4
無回答	0	0.0
計	226	100.0

(2) 子どものきょうだい数と末子の年齢

設問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください)。

【子どものきょうだい数】

- 全体では、「2人」が39.2%と最も多く、次いで「1人」が31.1%、「3人」が25.1%となっています。
- 就学前児童は、年齢があがるにつれて兄弟数は増加しています。
- 小学生児童は、「2人」または「3人」を占める割合が高い傾向にあります。



【末子の年齢】

- 就学前児童は、「1歳」が21.7%と最も多く、次いで「0歳」が21.5%、「2歳」が16.5%となっています。
- 小学生児童は、「8歳」が15.5%と最も多く、次いで「7歳」が13.7%、「6歳」が9.7%となっています。

■ 就学前児童の末子の年齢

誕生日（年齢）	（人）	（%）
24年（6歳）	20	4.5
25年（5歳）	42	9.5
26年（4歳）	45	10.2
27年（3歳）	50	11.3
28年（2歳）	73	16.5
29年（1歳）	96	21.7
30年（0歳）	95	21.5
31年（0歳）	2	0.5
無回答	19	4.3
計	442	100.0

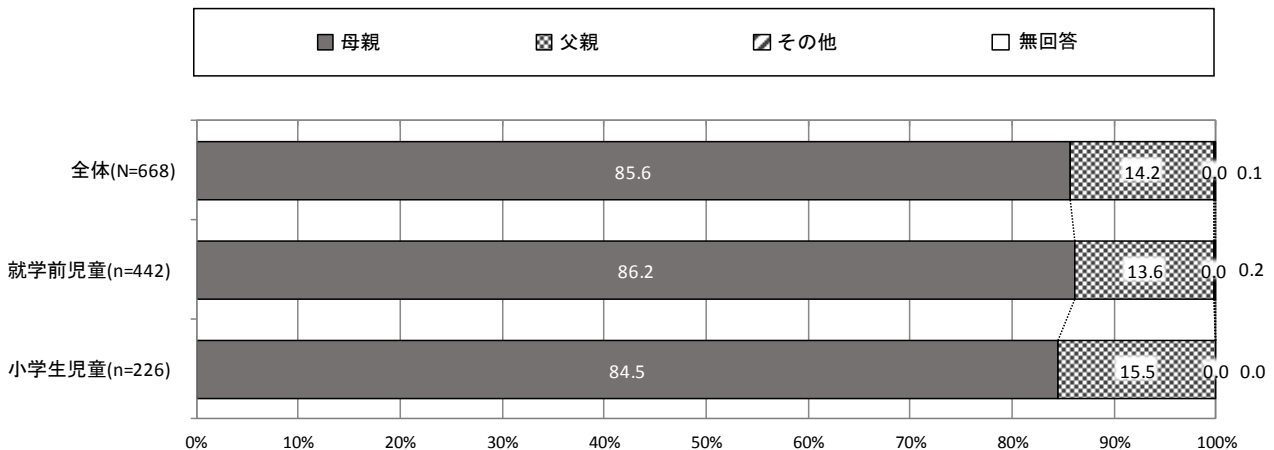
■ 小学生児童の末子の年齢

（誕生日）年齢	（人）	（%）
19年（11歳）	10	4.4
20年（10歳）	18	8.0
21年（9歳）	19	8.4
22年（8歳）	35	15.5
23年（7歳）	31	13.7
24年（6歳）	22	9.7
25年（5歳）	15	6.6
26年（4歳）	20	8.8
27年（3歳）	15	6.6
28年（2歳）	11	4.9
29年（1歳）	14	6.2
30年（0歳）	7	3.1
無回答	9	4.0
計	226	100.0

（3）回答者とお子さんの関係（続柄）

設問 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

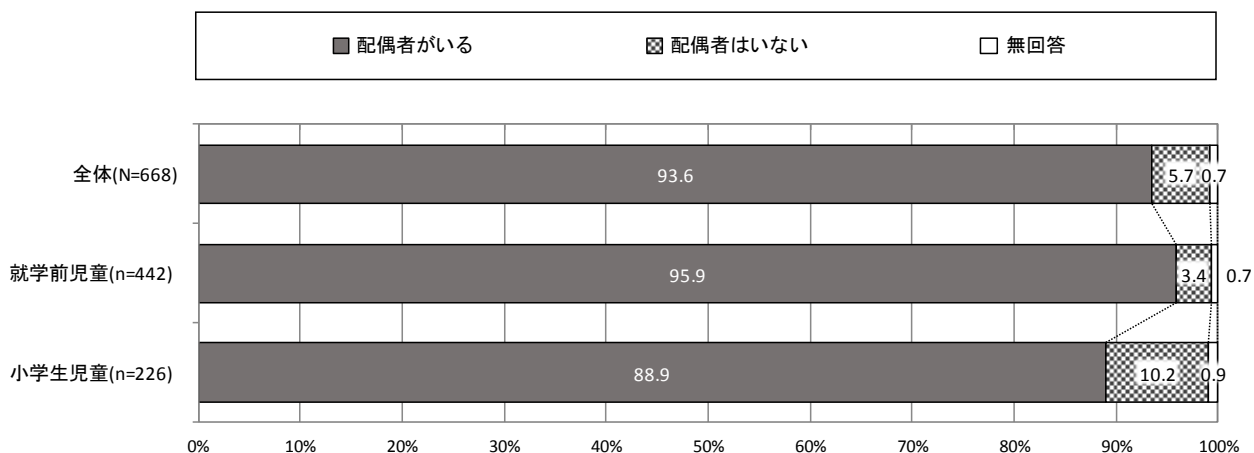
- 全体では、「母親」が85.6%と最も多くなっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「父親」の割合は、小学生児童の方が若干多くなっています。



(4) 回答者の配偶関係

設問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

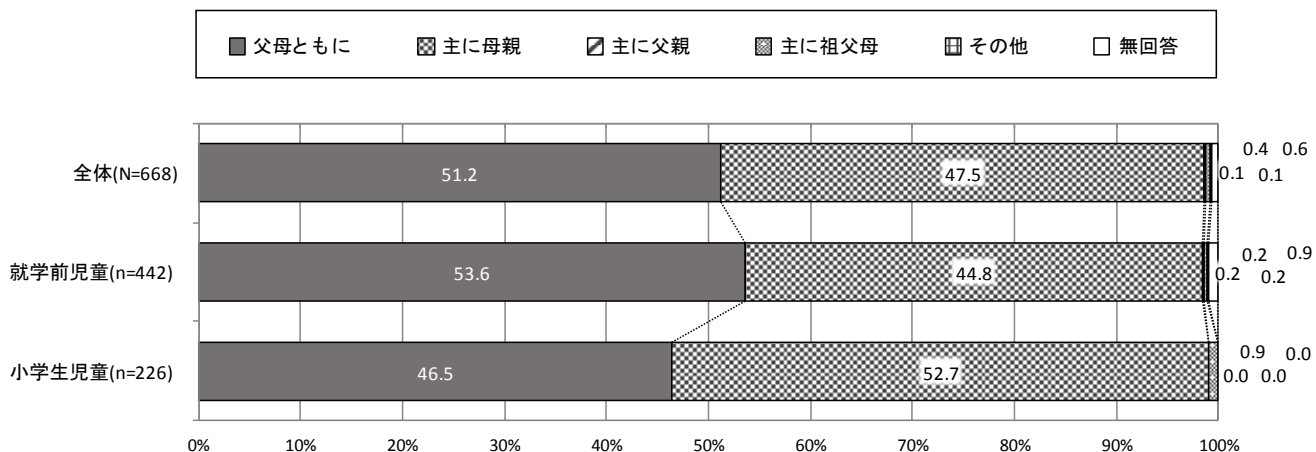
- 全体では、「配偶者がいる」が93.6%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「配偶者がいない」割合は小学生の方が多くなっています。



(5) 主に子育てを行っている人

設問 宛名のお子さんの子育て（教育や保育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 全体では、「父母ともに」が51.2%と最も多く、次いで「主に母親」が47.5%、「主に祖父母」が0.4%となっています。
- 就学前児童から小学生児童にかけて、「父母ともに」の割合が減少し、「主に母親」の割合が増加しています。

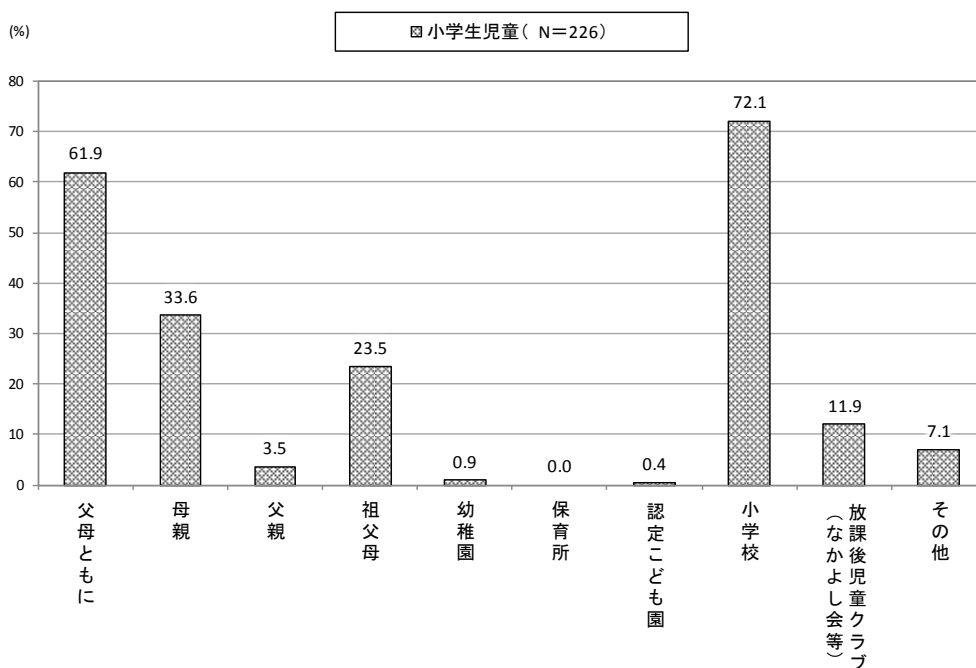
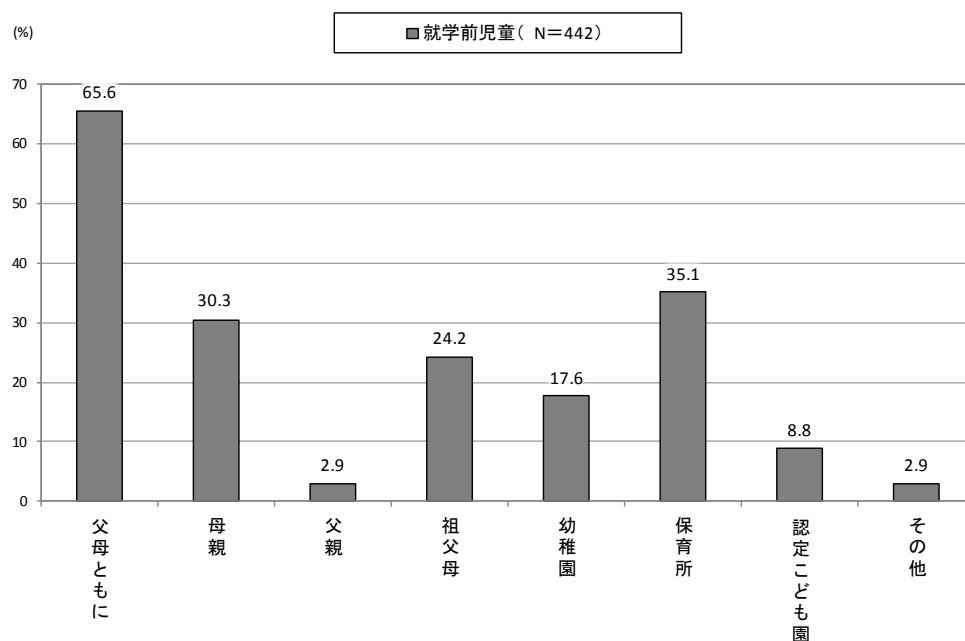


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもと日常的に関わっている方

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

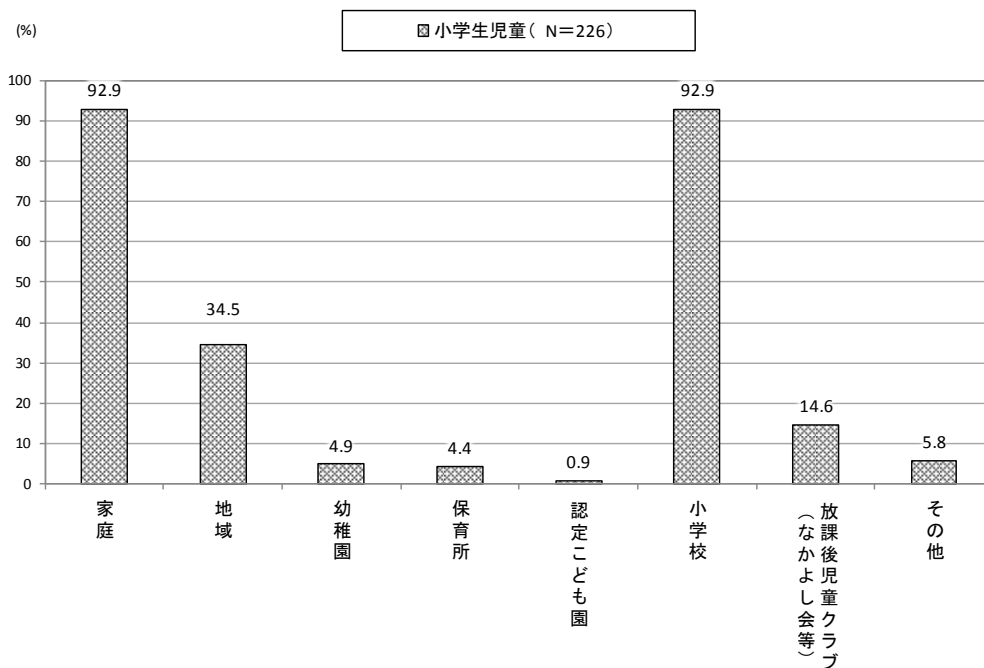
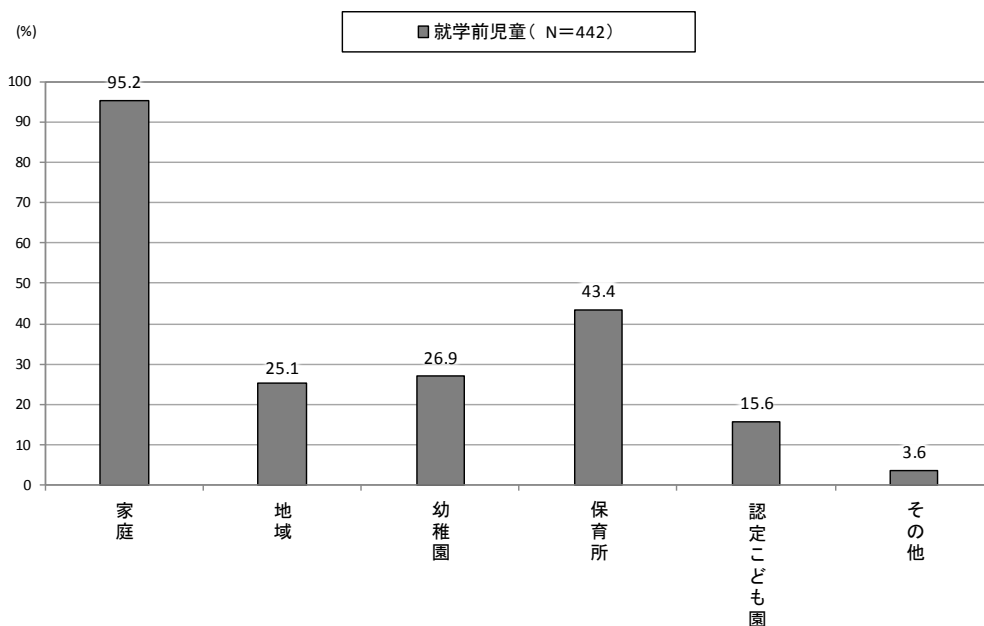
- 就学前児童は、「父母ともに」が65.6%と最も多く、次いで「保育所」が35.1%、「母親」が30.3%となっています。
- 小学生児童は、「小学校」が72.1%と最も多く、次いで「父母ともに」が61.9%、「母親」が33.6%となっています。



(2) 子どもに最も影響すると思われる環境

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

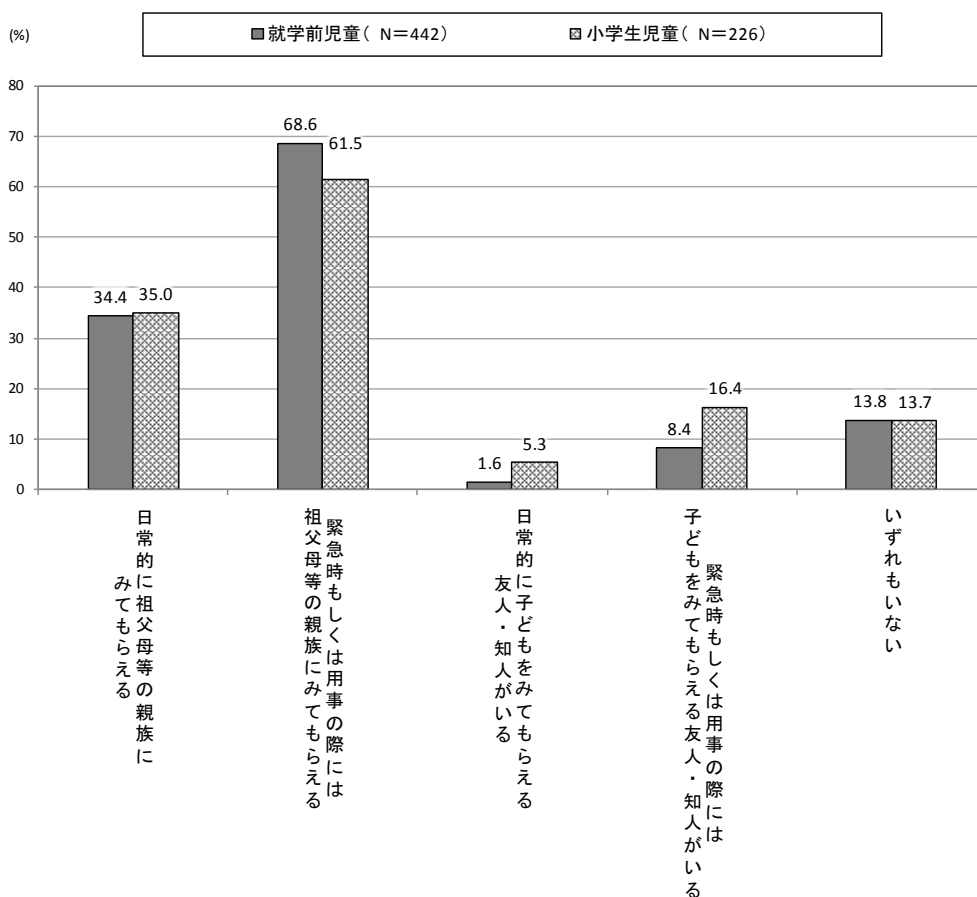
- 就学前児童は、「父母ともに」が95.2%と最も多く、次いで「保育所」が43.4%、「幼稚園」が26.9%となっています。
- 小学生児童は、「家庭」と「小学校」が92.9%と最も多く、次いで「地域」が34.5%、「放課後児童クラブ（なかよし会等）」が14.6%となっています。



(3) 親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況

設問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

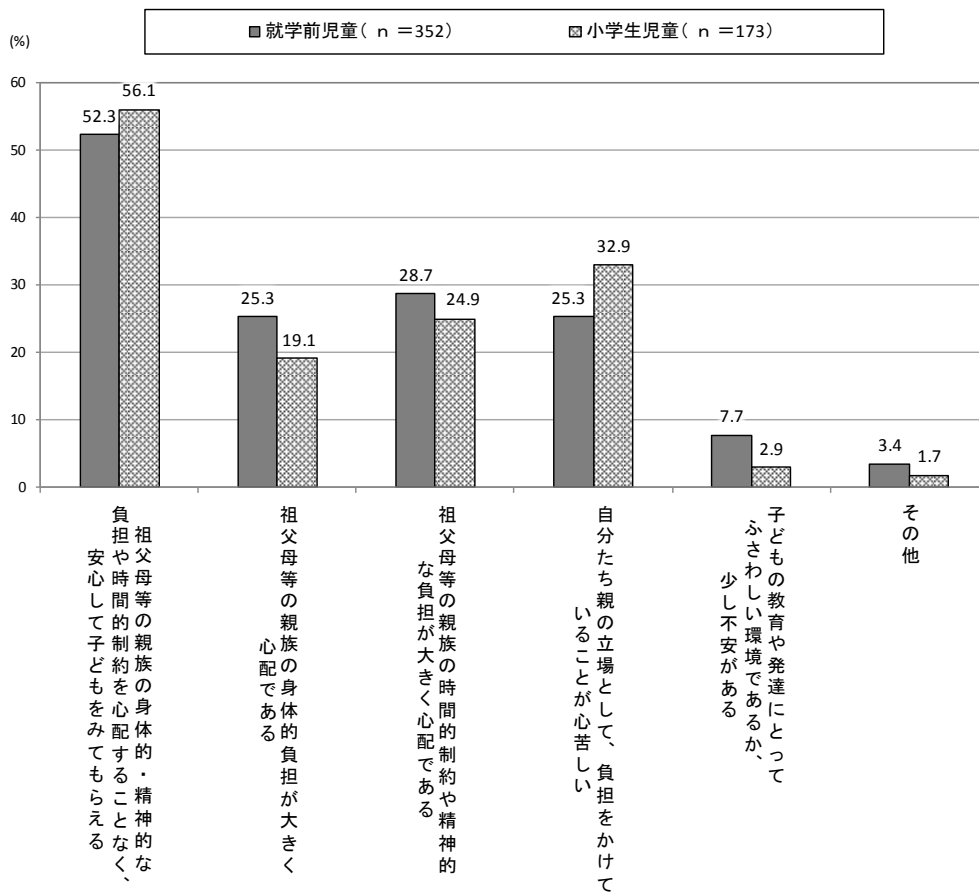
- 就学前児童は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が68.6%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.4%、「いずれもない」が13.8%となっています。
- 小学生児童は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が35.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.4%となっています。



設問 祖父母等の親戚にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている方

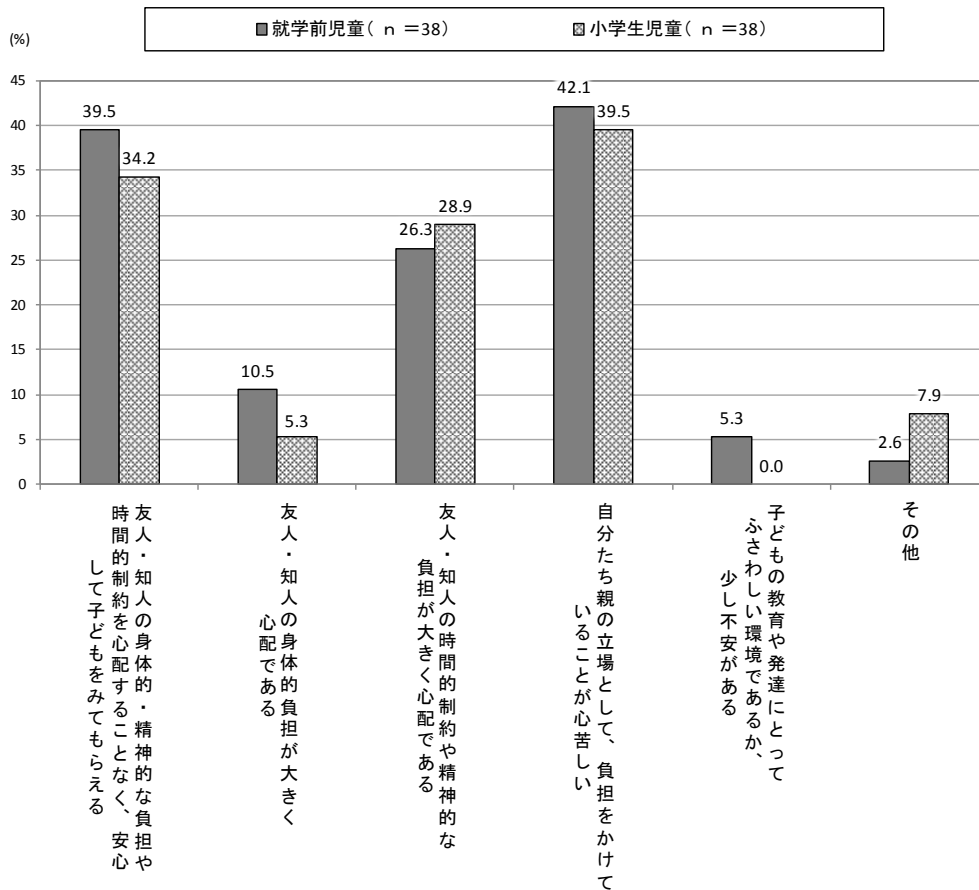
- 就学前児童は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が52.3%と最も多くなっています。
- 小学生児童は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.1%と最も高くなっています。



設問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 友人・知人に子どもをみてもらっている方

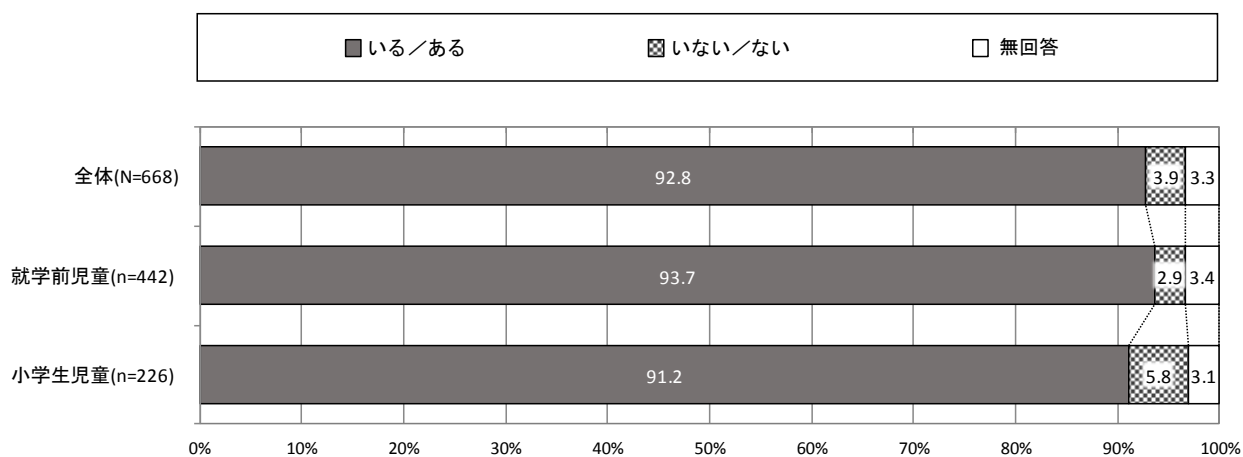
- 就学前児童は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が42.1%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が39.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.3%となっています。
- 小学生児童は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が39.5%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が34.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が28.9%となっています。



(4) 気軽に相談できる人や場所

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 全体では、気軽に相談できる人や場所は「いる／ある」が92.8%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比べると「いない／ない」と回答した人は小学生の方が多くなっています。

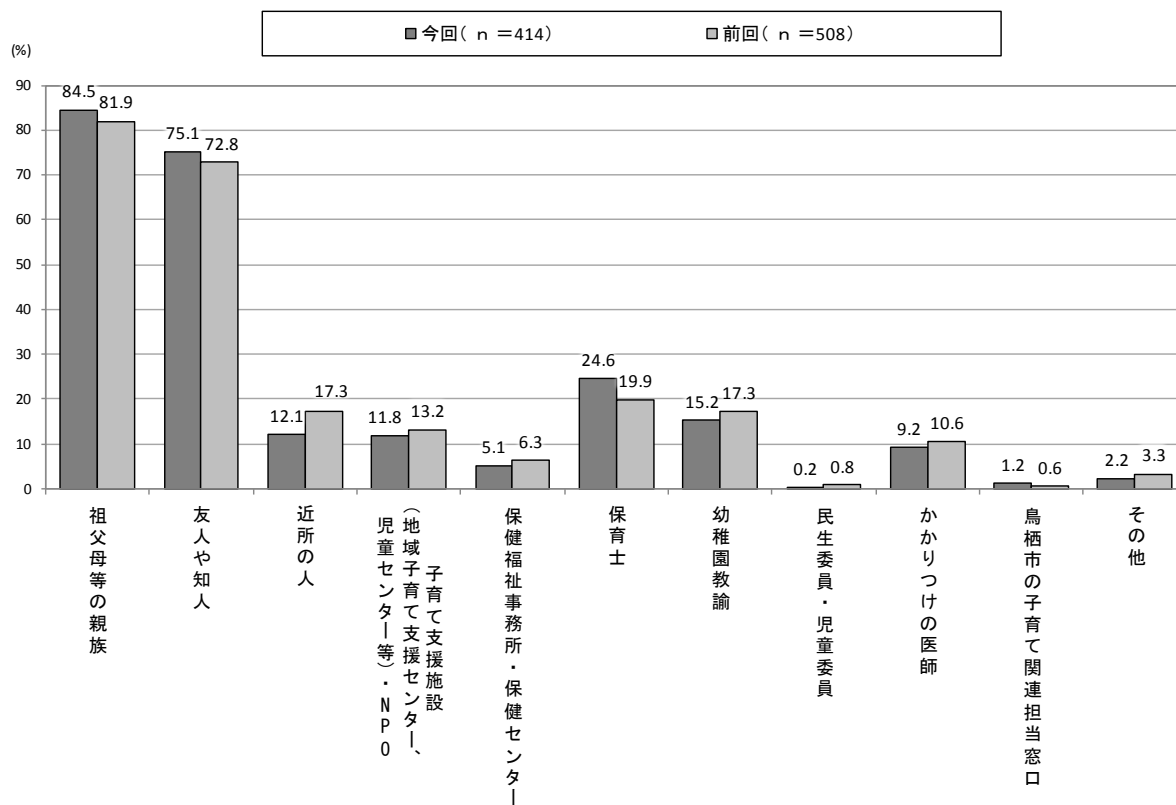


設問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

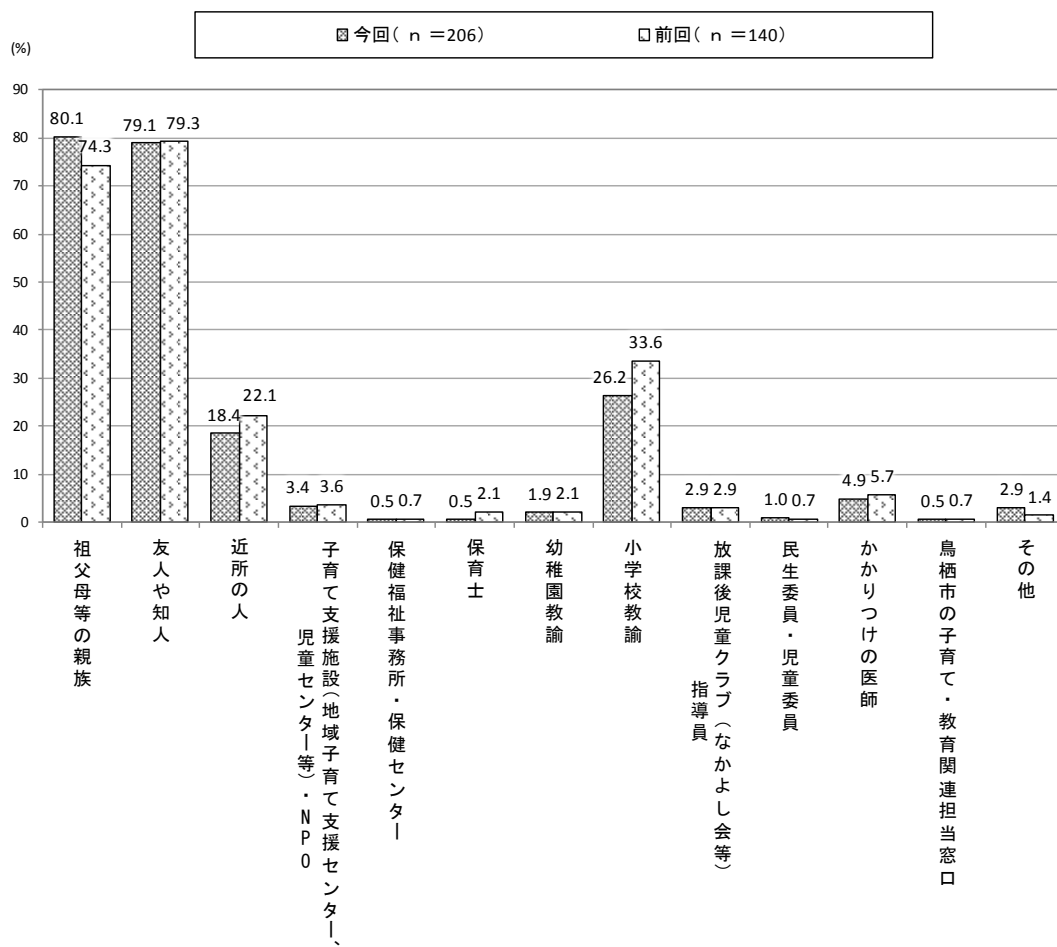
※ 気軽に相談できる人や場所がある方

- 就学前児童は、「祖父母等の親族」が84.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.1%、「保育士」が24.6%となっています。
- 小学生児童は、「祖父母等の親族」が80.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が79.1%、「小学校教諭」が26.2%となっています。

■ 就学前児童（前回調査と比較）



■ 小学生児童（前回調査との比較）



(5) 身近な人や行政からのサポート

設問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

< 市全般について（就学前児童） >

今の環境、状況に不満はないので、特にありません。
現在の所、特に思いあたりません。
多数の意見ばかりをみて、参考にするのではなく、もっと一人ひとりの意見について、具体的に考えていただきたいです。そして解決して下さい。それが一番のサポートにもなると思います。時間を割いて聞くだけ聞いて、解決がないのは、意味ありません。
家庭でどのような方針を持って子育てをしているのかを把握する余裕を持って、サポートにあたって欲しい。

< 市全般について（小学生児童） >

現状で満足しています。特にありません。
サポートをお願いしたいことはあまりありませんが、道路沿いの家ばかりなので道幅が狭いのスピードを出している車が多く、事故が心配です。

< 情報提供について（就学前児童） >

情報など、自宅に届くようにしてほしい
育児に対してのアドバイス等。
子育て情報が欲しい。子育て支援新着情報がネットで見れますが、スマホを見る時間もあまりないので「みんなで子育て」の冊子を市報と一緒にポストイングして欲しい。
共働き世帯なので、保育所等の情報は欲しい。
この鳥栖市での子育てで必要な学費。出身が関東なので、全く環境が違い、地域性がわからない。
赤ちゃん体操等、積極的に行っている支援センターもあるが、市のHPが更新されておらず、情報発信力が弱い。
フリールームにたまに足を運んでいますが、行事等、知らないことも多く、情報が欲しい。イベントだけでなく、どういう教育が必要、いい等を検索しようにも何をどう検索すればいいかわからない。
月齢別に今すべき教育や使うべきおもちゃや絵本を教えてくれるセミナーの定期的な開催。
ネットや市報でのイベント告知。
同じ年齢の子を持っている親と色々な情報を交換する機会があり、特に今のところ問題無いと思う。習い事の情報をもっと市報などにも載せて欲しい。
習い事等の情報提供。

休日や当番医などのホームページをすぐに検索・開けるようにしてほしい。更新されてなかったりするので検索するのが大変。（耳鼻科等）

<情報提供について（小学生児童）>

鳥栖市は転勤族も多いのでそんな集いもあればいいと思う。どんどん子育てコーディネーターさん（行政担当者等）から魅力を発信していったらいいと思う。鳥栖市ならではの、子育て、教育に関するお役立ち情報、マップ、冊子があればいいと思う。

身近な人からのサポートは気を遣います。行政担当者などのサポートは予防接種の予告通知をしてもらえると嬉しい。

<相談支援について（就学前児童）>

土日に相談会をして欲しい。

気軽に相談できる場所。

気兼ねなく相談できる場所

もっと相談できる場所や遊ばせる場所が近くにあるといい。

ショッピングセンター等、日常的な場所に相談できる所があるといいです。

行政の子育て相談チャットがあればいいと思います。

定期的な面談の実施。半年に1回。

病院に行くべきか、様子見を続けるべきか、相談できる仕組みを作って欲しい。

発達に関する助言を頂ける、プロの方（保健師、保育士）

乳幼児のいる世帯への訪問（保健師、保育士等による）や、児童委員との顔合わせ等、出産前からのつながりがあると気軽に相談できるのではないかと思います。

訪問ヘルパーがあるように、無料相談訪問を年に1回もしくは半年に1回あるといいなと思う。出産したばかりの時期だけでなく、気軽に声をかけてくれると情報を教えてもらい、母親に精神的に不安感も減るかなと思う。特に、転勤族はどこから情報を？どこへ？という不安がいっぱい。

児童センターがあること、各子育て相談について子どもが7、8ヶ月になるまで知らなかった。保健師さんの訪問等で教えて欲しかったし、妊婦の時に行政からのメールでそういった催しについてお知らせするサービスがあれば、登録しておけば、子どもとずっと二人きりでいずに外に出て行けたかと思った。

3歳児健診等、必ず受けないといけない行事があると、そこで相談しやすい。自分から相談しに行くというのは難しい。

相談相手やちょっとしたことを話せる相手がいる人はいいが、いない人は子どもと2人きりなど閉ざされた環境になると思う。出産後、保健師さんの家庭訪問があるなど働きかけがあったが、その後は特に何もないので、何かしらコミュニケーションをとるシステムがあると相談などしやすいと思う。

家庭に来て下さる方は、担当者により相談しやすい方とそうでない方といるのでムラを無くし、親身に聞いて下さるといいと思う。ただ、訪問しているだけの方もいて、相談を聞き流されたことがある。

<相談支援について（小学生児童）>

行政担当者が子育てに関して何もなければサポートすることはないと思うのですが、受け身のサポート体制より積極的に働きかける体制の方が困っている人にとっても優しい対応だと思います。

行政等から定期的な聞き取りがあると心強い。親も初めての経験であるため教育については自問自答。

電話で市役所などに相談できる窓口あればいい。現実的には配偶者以外相談できる人はいない。具体的なアドバイスの前に、笑顔で接して下さると、悩みを話しやすいです。

気を遣った返答ではなく、本音を言ってほしい。

時間に関係なく相談できるところ

一年中どんな事でも親身に話を聞いて下さり、直ちに対応してくれるサポート

子どもの成長過程で、心配な事や、困ったことを話すことができるといいと思う。また、その内容によっては、どのように対応すべきか、したらよいかを教えてくれるサポートがあるいい。

小学生になるとママ友もほとんど仕事を始めるので、これまで気軽に相談できていたが、できない状況になる方も多い。職場等で相談できるならいいと思いますが、できない人への支援は児童手当の現況届提出時の等を利用して、情報を発信してはと思います。

我が家は祖父母が元気で日常的にみてもらえるが、親族や相談できる人が全く身近にいない人が突発的に預けたり、気軽に相談できる施設や窓口が必要だと思う。

話を聞いてもらえるだけで有難い。

不安があれば一人で考えずに夫やその他に聞ける人に尋ねるようにしているので十分です。

身近な人に気軽に話す。

<保育所、幼稚園等について（就学前児童）>

保育所数の増加

保育園の受け入れを増やす。また、入所検討の際の情報提供。（今よりもっと詳しく）

保育園、幼稚園事情について教えて欲しかった。今の園に不満があるが、お友達や環境に慣れてしまった為、転園させづらい。したくても出来ない。

保育園に預けにくかった。妊娠中に申し込んでおかないといけないのは、他の市とは異なるので、案内がいると思う。担当の人が相談しにくい。

保育園の保護者同士のコミュニケーションの場。

もう少し、幼稚園の未満児のクラスが欲しかった。兄弟の年齢が離れていて、働きたいが、選べなかった。

日祝でも保育園のように預けられる場所が近くにあるといい。

祝日も仕事の為、祝日の保育がないと仕事が出来ない。

保育園内で習い事をしてもらえる

習い事をさせたくても、平日フルタイムで仕事をしていると時間的に無理。園内や土日に実施してもらえると通わせやすい。（同じ場所で数種類）

< 保育所、幼稚園等について（小学生児童） >

保育園の申込時に、シングルで身寄りもない事を伝えたが、「コネで就業証明を書いてもらっている方、結構いますよ。頼ってみたいかがですか。」と言われ、本当に一人だからコネなんてないのに。コネがある人こそ、子どもを預かってくれる身内が近くにいるということではないでしょうか、と伝えたら無言になりました。この事があってから、行政には届かないと思いました。

< 学校について（小学生児童） >

登下校時に、子どもたちを見守って頂けると嬉しいです。子どものいる世帯が少ない地域に住んでいるので、毎日立ち番に立てず困っています。

学校まで遠く、バスでの登下校ですが、バスで帰る子が少なく、学年によっては一人で帰る子がいることが心配です。

不登校になった時の学校以外の居場所づくり

< 子育て支援センターや児童センターについて（就学前児童） >

子育て支援センターが日曜も開いていたらいい。基山のいこいの家は開いているのでよく行く。

子育て支援センターは子どもメインなので、母親がメインになるような環境を整えて欲しい。毎日、母と子のみの生活で息が詰まる時がある。母親の息抜きの時間、趣味の時間を持ちたい。市主催の講座に参加したことがあるが、託児もなく、他の参加者の方の了解を得て、おんぶして参加しました。泣かないように努力したり、子連れなので作業に集中できず、それでも息抜きしたくて参加しました。有料託児を利用してまで、参加しようとは考えていません。

土日祝にも開いている、子育て支援センター等があると助かります。

支援センター等は早く閉まってしまう為、子どもがまだ保育園に行っていなかった時、夕方とても心細かった。なので、18時頃まで開いている支援センター、児童センターが市内にあると必ず利用するのになと思う。

思ったより育児は不安や孤独を感じる事が多いので、近所の方々の気軽な声かけや支援センターで話を聞いてもらえることが嬉しかったりします。なので、地元の方との交流の機会（色々な世代との交流）があると親子共に刺激になっていいかなと思います。

祖父母のような年齢の方が保育士という環境（児童センター）。

< 子育て支援センターや児童センターについて（小学生児童） >

未就園児の時は、子育て支援センターの存在はありがたいです。

児童センターのような安心して子どもが遊びに行ける場所が日常的に必要なである。

<地域の子育てに関する支援事業について（就学前児童）>

乳児健診の回数増。（1歳半、3歳のみは少ない）
市による夕方以降のベビーシッター制度（市の補助があると嬉しい・食事を含む）
以前あった支援センターからの家庭訪問は、家から出るのをためらう方等にはいいと思います。
保健センターの方が、子どもが新生児の時に家に訪問してくれたが、1歳になるくらいまで数回訪問してくれると有難いと思いました。小さい子を連れて外出するのが難しいと感じましたし、特に平成30年の夏は暑さが厳しくほとんど外出できなかったのです。
親の息抜き、ストレス発散のサポート。例えば、保育所ですぐに迎えに来て等のプレッシャーがある。受け取る親の考え方にもよると思うが…。
子育てサポート、子育て施設を利用したことがなく、どのように利用したらいいのかあまりわからず不安。
初めての子育てで、離乳食の進め方がよくわからないことがあります。ネットや本、友人に相談はできますが、2、3ヶ月に一度程、保健センターで体験教室を開いて欲しいです。7ヶ月に自宅訪問があると聞いていたのですが、来ていただけませんでした。今はもう9ヶ月半です。一対一で相談できる機会は少ないので、自宅訪問を増やして欲しいです。
子育て支援施設などのソーシャルサポートを利用することがあまりない為、よくわからない。
自分が病気になった時、子どもの事、家事等をしてもらえるととても有難いです。
家事手伝い
一日自由になれるサポート。ゆっくり買い物や美容室に行きたい。夕食や昼食をつくってもらいたい。料理が苦手。
1歳前後でも家庭訪問して欲しい。
送迎タクシー
送迎のサポート
習い事送迎

<地域の子育てに関する支援事業について（小学生児童）>

子育ての心配などを雑談しながらでも話せる場があれば大丈夫。センター公園が出会いの場。（施設を充実させて欲しい。）
母子家庭なので、もし私が病気になった時などを考えると心配です。
子育て中はどうしても孤独になりやすし。一人で出かけられることすらできない。ママの習い事もできない。子ども連れでできるワークショップや、託児所付の講演会、ママ向けのワークショップをもっと増やして欲しい。もちろん無料で。一人で家にこもっているママは多い。興味のある事なら外に出ていきかけになり、子育ても楽しめるはずです。
祝日などの休みも仕事があるので、連休が続くと調整や支援を依頼しなければならず、対応に苦慮する。親族間でどうにか現場調整はしているが、カレンダー通りの休みがない親には負担が大きく感じる。行政などのフォーマルな受け皿の枠も多くはないと感じる。
鳥栖市にファミリー・サポート・センターがあるのはいいのですが、事前研修などしないといけないので面倒です。気軽に利用できないと思います。
ファミリーサポートセンターも、学校近くでないため利用しづらい。

<病気の時の対応について（就学前児童）>

病児保育の充実（子どもが体調を崩すと、どちらかの親が仕事を休まないといけないため）
病児保育を増やして欲しい。
病児保育の誘致
病児保育。（事前予約なし）病児保育の定員が少ない。近隣に施設がない。
子どもが病気の時に預かってくれる環境
働いていると病気の時が大変。病児保育が市内に欲しい。小児科内に設置されていると安心できる。
共働きなので、病気の時や迎えが間に合わない時に、手助けしてもらえれば助かる。
仕事をしていますが、子どもが病気になると他に預ける人がいなくて仕事を休まないといけなくなる。病後児保育を利用するにも、医師の診断書等、必要書類があり、簡単には利用できない。もっとスムーズに病後児保育が利用できるようになったら便利だと思う。
小さい子が3人いるので、一人が病気をした時等、すぐに病院に連れていけないので、そういう時にすぐに来ていただけたら助かります。
母と子どもどちらも体調不良で、父親が不在の時、病院への送迎や必要な物を代わりに買ってきてくれる方がいてくれると助かります。（有料でも可）
急な病気が多いので、鳥栖市内でも夜間、土日、祝日に診察してくれる病院がもっとあって欲しい。聖マリアや東佐賀等、遠方へ行き、更に何時間も待たなくてはならないので、困る時があった。看者がたくさんの中に幼児を数時間待たせてしまう方が悪化しないかと心配になりました。市内にあるととても助かります。

<病気の時の対応について（小学生児童）>

病院などでも預かってくれる施設が増えたらいいなと思う。
病気の子どものいる家庭へのサポート。
共働きのため、子どもの病気の時が一番困る。小学生の病児をみてもらえると助かる。今は職場に都合をつけてもらっている。
仕事をしているので、病児保育や病気の子を少しの間みてもらえる専門の施設があれば助かります。（長期でなくても、発生した日の学校から、親が帰宅するまでの間でも、そういった施設があると助かる。）
病児保育、以前いた市には施設をもつ病院がいくつかあり大変助かっていた。
病院内病児保育、子どもが病気でも仕事が休めない場合の一時入院のような保育。（保育所内病児保育は安全面が怖い。）

<一時預かりについて（就学前児童）>

未就園児でも気軽に預けられるシステムがあるといいと思います。兄弟児の急な発熱等で小児科に行くのに、当日申し込みでも預かってくれると助かります。休日預かり等も。母親リフレッシュという名目ではまだまだ一時預かりお願いをしにくい気風があるので、それ専門の預かりシステムがあると利用しやすいです。
--

<p>病児と雪や雨など保育園（学校）が休みになった際の預け先がない。近所に預かってくれるサポートが欲しいです。</p>
<p>子どもを預けたいと思った当日や前日に預かってくれるようなシステムがあると助かります。</p>
<p>近くに子どもを預けたり、お世話をしてくれる知人が誰もいないので、自分が急に病気になってしまった時に、すぐに子どもを預けられたり、お世話をしてくれるようなサポートがあればいいなと思います。</p>
<p>何かあれば気軽に子どもを預けられる場所。現在は色々な制限が多すぎる気がします。</p>
<p>用事がある時、1時間からでも気軽に預けられる所があれば助かると思う。現在、仕組み等、よくわからない。</p>
<p>一時預かり料金のサポート</p>
<p>緊急時に預かってくれるサポート。</p>
<p>一時預かりの増加</p>
<p>気軽に短時間預けられる場所があると助かる。</p>
<p>サポートセンターに登録しなくても、気軽に子どもを預けられる場所があれば、すごく助かると思います。</p>
<p>短時間でも預かってくれる所があれば嬉しい。</p>
<p>用事等で出かけた時に、0歳でも預かってもらえる所がたくさんあると嬉しいです。</p>
<p>PTA 活動等、夜間の外出がある時の預かり場所があると安心。小学生と幼稚園児での留守番は危険なので。</p>
<p>子どもの面倒をみてくれる人がいないのは、本当に大変。自分の病院でやっと父親に交代できるくらいだった。特別な用事がなくても、月に2回くらい、2時間程、自由時間をもらいたかった。市役所から3歳くらいの子どもの親向けに「ファミリーサポート券」を発行して、月2回程、ファミリーサポートの人達に費用の負担なく、子どもをみてもらえたら嬉しい。</p>
<p>少し外出するときにもてもらえること。ファミリーサポートの存在を先日知ったが、お金がかかるので、利用しづらい。</p>
<p>長期休日中の子どもを預けられる施設が身近にあると嬉しい。</p>
<p>緊急時や用事の際、気軽に子どもを預けられる所があれば嬉しい。ファミリーサポートセンターを利用するのは少し不安。</p>
<p>緊急時、用事がある時等、気軽にお願ひできるサポートがあると助かります。</p>
<p>緊急で人が家にいない時の預かりをお願いできる公的な施設があればと思う。未就学児以上でも触れ合える場が必要ではないかと思う。</p>
<p>仕事が終わるまでの預かり。台風等の災害での急な休みの対応。</p>
<p>急用時、子どもを預かってもらえなくて、困っている方がいました。いつでも対応してもらえる場所があるといいと思いました。</p>
<p>日中は何かあってもどうにか対応してくれる人力制度があるが、本当に困るのは休日や夜間が多いため、緊急時に頼れるところがあると助かるなと思います。</p>

近くに親族がおらず、父親が仕事の都合で帰宅しない為、自分の身に何かあった（事故や大病）時のことを考えると、不安。普段利用する必要がない分、もしもの時に備えて、施設の一時預かり等の情報がオープンになっていると、有難いです。

<一時預かりについて（小学生児童）>

祖父母に預けたりできない場合、助け合えるようなのがあれば助かると思います。
急な用事が入った時に、預けられる施設があればいい。
緊急時にすぐに預ける事ができる施設が欲しいです。
残業や長期病気（インフルエンザ等）で休まないといけない時に、子どもを預かってくれる場所の提供
共働きですが、同居しているので急な用事や子どもの体調が悪い時には祖父母の協力がありません。しかし、周りの友人は仕事が祝祭日、お盆、正月も出勤する仕事なので、保育園、学校が休みで預け先が無い人も多い。そういう時にみてる場所があると助かる。
今は二人とも小学生なので小4の姉がいれば小2の弟も留守番できますが、下の子が園児の時は急に病気になった時や、宿泊を伴う仕事の時、知人、友人にもそう簡単には頼れず、大変でした。手続きが簡単で、しかも責任をもって預かってくださる緊急時の保育窓口が市役所の近くなどにあれば助かったかもしれません。
母親が働いていなくても気軽に子どもを預けることができる施設が欲しい。
特に、小さいころ（子どもが手がかり、親にべったりの頃）こそ、少し親と離れる時間が母親には必要だと思う。1～2時間でいいから、子どもと離れて家の事をしたい。ゆっくりしたいと思っている母親は多いと思う。無料で子どもが遊べて、見守ってくれる人がいるところに預けられると助かります。身内だと気を使って預けづらい事もある。

<放課後児童クラブについて（就学前児童）>

共働きの為、学童等がさらに充実して頂ければと思います。
民間学童保育の誘致。

<放課後児童クラブについて（小学生児童）>

小学校の学童や学び教室などの増員や配置
学童保育の基準が高く、時間の多発する昨今においてはパートや仕事から帰るまで留守番をさせるには不安があります。基準が下がればいいと思う。
なかよし会の預ける時間の延長時間の開始時刻を 18：30 にして欲しい。18：00（現状）～延長となると、仕事の勤務時間（通勤含む）によって、延長をやむを得えなくなり、制限が出てくる。
子どもをなかよし会から習い事に行かせたいが、16時半を過ぎると自分で帰ることができないため、すぐそこなのに誰かに頼んでお迎えをしてもらっています。子どもたちの安全のため承知していますが、体育館までは行かせてもらえると精神的負担が少なくなるかなと思います。

12月に前職を退職し次の仕事につくまで2ヶ月ぐらいかかった。しかし放課後児童クラブからは1月12日までに次の仕事を見つけないと放課後クラブを退会することになると言われた。年末年始でまともに求職活動ができる状態じゃないのは誰がみても明らかなのによくそんなことが言えるなと思った。保育園は求職活動期間を3ヶ月設けているのに、なかよし会は短すぎる。保育園と同じ3ヶ月としてほしい。せっかく次の職を見つけてなかよし会に申請しても結局キャンセル待ちをすることになり、1年間入会できず、職場にも迷惑をかける羽目になった。

昨年の2月末に県内から鳥栖市へ引越しました。共働きで放課後児童クラブの手続きを申込、約5ヶ月後に入会することができました。入会するまでの間、祖母助けを借りたりしましたが、だれも都合がつかないときは、小学校に入学した後も16時頃まで一人で留守番させてしまう時もありました。娘にはさみしい思いをさせてしまいました。もう少し、子どもを預かる施設やスタッフの確保を検討していただければ幸いです。

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（就学前児童）>

子ども達が安心して遊べる公園

小さい子と遊べる、広くて大きい公園が市内にはない。

子ども同士で遊べる場を作って欲しい。

市内の公園の整備が不十分だと感じます。中央公園は、砂場にネコの糞が常に有り不衛生。ブランコの足元にすぐ雨水、枯れ葉がたまり子どもが遊べない。

雨の日の遊戯場がない。

平日はいいが、土日に遊べる場所（屋内）がもっとあるといい。毎週ではなくとも、隔週でもいいので。

駐車場が広く整備された公園があるといい。個人的には上記の内容に関して充実していると思います。さらなる充実を望みます。

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（小学生児童）>

放課後自宅付近で遊べる場所、宿泊や勉強ができる場所があるといい。

放課後、安全に安心して遊べる施設が地域ごとにあるといいです。

公園や図書館、子どもだけでも遊べる場所が近所があれば助かります。

両親共に働いている時に、公民館等で遊ばせてもらえる様な場所が欲しい。（春・夏・冬休み等）

今は昔と違って、近所の人子どもをみたり一緒に遊んだり怒ったりする時代ではないと思う。学校終了後に外で遊んでいる子ども達も少なく、家にいる子が多いように感じる。各地区空家、空きスペースを利用して下校後子ども達が気軽に立ち寄れる場所を作り、そこで子ども達が宿題が出来る環境等があっていいと思う。（無料）そこに行けばお友達もいるし宿題も出来るという環境。

外遊びができる場所がある支援センターがたくさんあると嬉しいです。公園も小さい子が遊びやすい遊具があり、駐車場があるような大きな公園が市内に少なく、あったとしても発信が少なく知る機会が少ないので利用したい人に届いていないと思う。
小学生の子どもが、放課後いつも利用できる遊び場。近くの公民館など。例えば、下の子が予防接種等で不在の場合、なかよし会などもあまり利用できない場合、子どもがいる場所が無いので。（学校の教室の一部でもいい。）・保育園でも送迎バスがあるといい。産休中の利用ができるなど制限があってもいい。
小学校高学年のため放課後児童クラブなどは利用していませんが、長い休みがあると兄弟もいないため一人で留守番をさせています。自由に入って利用できる児童館などがあれば利用させたい。以前利用していた児童センターは中学生までしか利用できないため、そういったサポートがあると助かる。
小学生の宿題はとても多く、それを一緒にみてくれる方、教えてくれる方がいたら有難いと思います。
共働き家庭の小学生の放課後のサービスの充実化。
行政担当者、自然や体を使った遊びを企画して欲しい。

<仕事について（就学前児童）>

共働きで時間制約が多い中で、皆、育児をやっている為、体力的、精神的負担が大きい。なぜ自分だけがこんなに苦労しなければならないのかと自問自答することが増え、余計に心身に負荷をかけている。このような状況に当てはまる家庭が数多くみられることから、まずは同じ環境にいる親同士でコミュニティを気軽に作れる場を設けてもらいたい。
--

<経済的な支援について（就学前児童）>

金銭的サポート。子どもが通いたい習い事も通わせてあげられない状況なので。
金銭的なサポートがあれば有難い。
給付金等
将来の学費の為、給与金額を増やして欲しい。
医療費の助成や保育料の助成が欲しい。
医療費無料
医療費の無料化
医療費の全面無償化。
将来的な金銭面の不安はあるので、来年度に控えた無償化のような政策が一番助かります。
子育てに関する費用等。収入による規定は無くすこと。子どもは全員平等です。高収入者に対する不平等を感じているのですべての子どもを育てている家庭は教育面は無償化し、学力を全体的に同じように上げることで子どもの学力が上がると思う。

<経済的な支援について（小学生児童）>

毎月請求がくる教材費や給食費を無料にして欲しい。全額は無理だとしても、第2、3子の教材費の免除や援助をもっとして欲しい。主に金銭面で心配しないでいいようにして欲しい。
子どもを塾に行かせたいが、手当金が少ないので、全員を平等に行かせられない。
子どもの医療費助成。休日診療。以前居住していた市は18歳まで全額助成されていた。同様のシステムがあればいいと思う。

<地域とのつながりについて（就学前児童）>

登下校の見守り、地域の行事（子ども向けのもの）
声掛けをしてもらい、安心感をもらえれば。
サポートというより、地域、学校にしても役が多すぎるので負担をなくせないものか…。
実家が遠いので、地域に協力してもらえる環境を築きたいが、できておらず、困ることが多い。
緊急時だけでも預かってもらえる関係性を築く、声を掛けやすい雰囲気。
近所のおかあさん、おばあちゃんのボランティア（短時間の子守り等）
小さなことでも話せる身近な人との関係性。悩みの打ち明け、情報収集ができる友人関係。
イベントを通しての友人作りの場。
様々な年代の人と関われるような機会、イベント、交流会が欲しい。めぐみ保育園の赤ちゃんスイッチや中学校サロン、すごくよかった。高校、大学、老人ホーム等でもやってもらえたらすごく楽しいのになと思った。
母親が交流できるようなイベント等、ママ会みたいなものがあれば、もっと外にも出やすいし、近所の人に頼れることができると思う。
できれば住んでいる地区での子育てしている世代で集まりやすい環境が欲しい。
家で一人で子育てしている人もいるかもしれないので、ママ友の集まりの案内をしてもらえる嬉しい。
近所に同年代の子がいるかどうかの情報やその人達と知り合える場の提供があるといいと思う。就学前は家庭保育や保育所、幼稚園等、利用する場が異なり、知り合える場がない。保健センターの集団健診を地区ごとに受診日を設定したり、地区の公民館で巡回相談をする等、その地区の母子保健推進員さんが参加する等で、コミュニティ内の母子を孤立させない工夫があるとよい。
同じ年齢の子ども達との触れ合いの場。同じ保育園の子どもとの触れ合いはあっても、ママ友、先生など、これから年長まで付き合っていくので、思っていることが言えないことがある。なので、他の園の子、親子さんと触れ合う場が欲しいと思います。
生後何ヶ月等、同年代の集まりが増えたらいいと思う。集まりの案内は市報等の掲示だけでなく、直接各家庭に郵送していただいた方が興味を持てると思う。
祖父母だけでなく、近所でもフォローがあったらいいなと思った。両親ともに佐賀市内の職場で、祖母は仕事をしているので急な頼みごとがしづらい。
祖父母が元気でよく子どもを預かってくれるので、大変助かっています。母親にとって気軽に預ける場所、人がいることは精神的に大変助かります。

一番助かったのは、私の両親に、私が買い物に行く時にみてもらえる事。土曜日は数時間子どもと離れる時間をもらっている事。

<地域とのつながりについて（小学生児童）>

私たちの住んでいる地区は、今はまだ元気なおじいちゃんやおばあちゃんがいて、自分達の孫のように大事にしてくれているので、今はとても有難くて満足しています。

やはり犯罪が一番怖いので近所の方々やご年配の方々の見守りや見回りがあると安心して働きに行けます。

地域コミュニティがより身近な存在になり、子育て支援がより充実し、利用しやすくなると助かります。

地域の方たちとの交流の場、放課後の遊び場づくり。囲碁やそろばんを教えてくれると嬉しい。

<その他（就学前児童）>

よく分かりません。

わからない

思いつかない。

食べづかみ指導、姿勢の指導

悪い事は悪いと教えて欲しい。良い事は褒めてあげて欲しい。

子どもの脳に良いとのこと。

休みの日に一緒に子どもと遊んで欲しい。

家庭ではみられないような事を中心として、気づいた事全般。

自然系おもちゃの作成体験。（県産材使用）プレゼントで下さい。

子どもの成長がわかるような月単位の記録。

<その他（小学生児童）>

今のところありません。

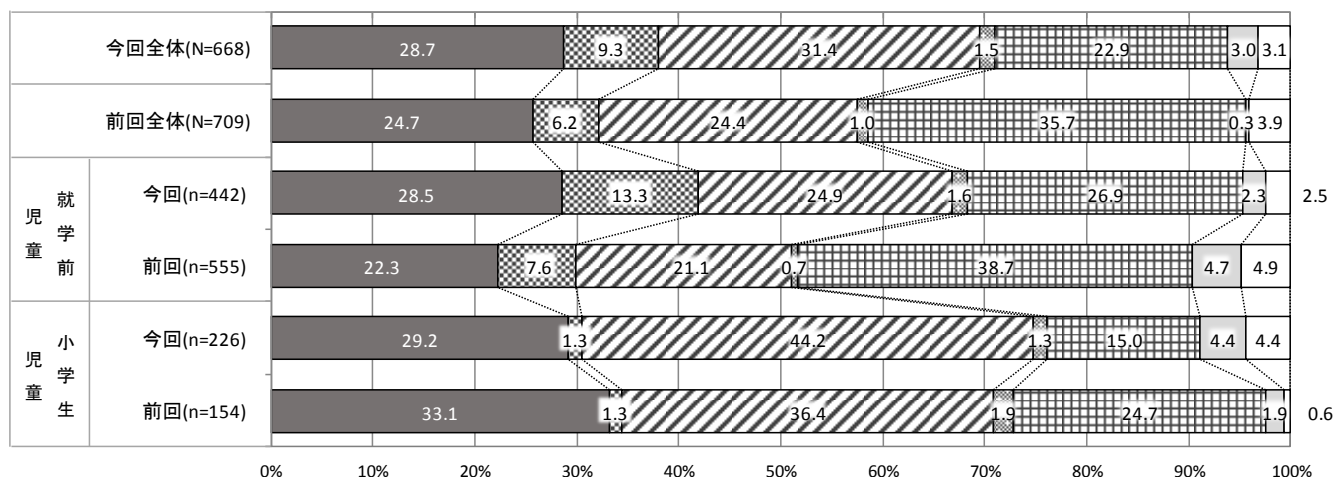
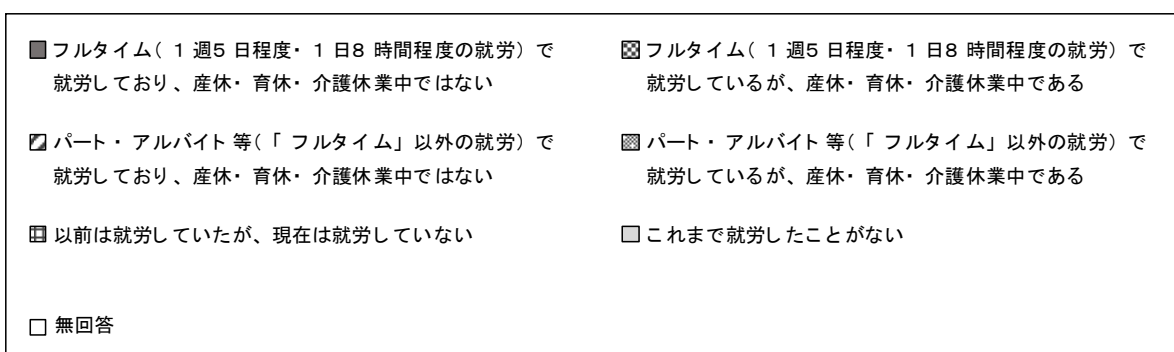
4. お子さんの保護者の就労状況について

(1) 就労状況

設問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【母親の就労状況】

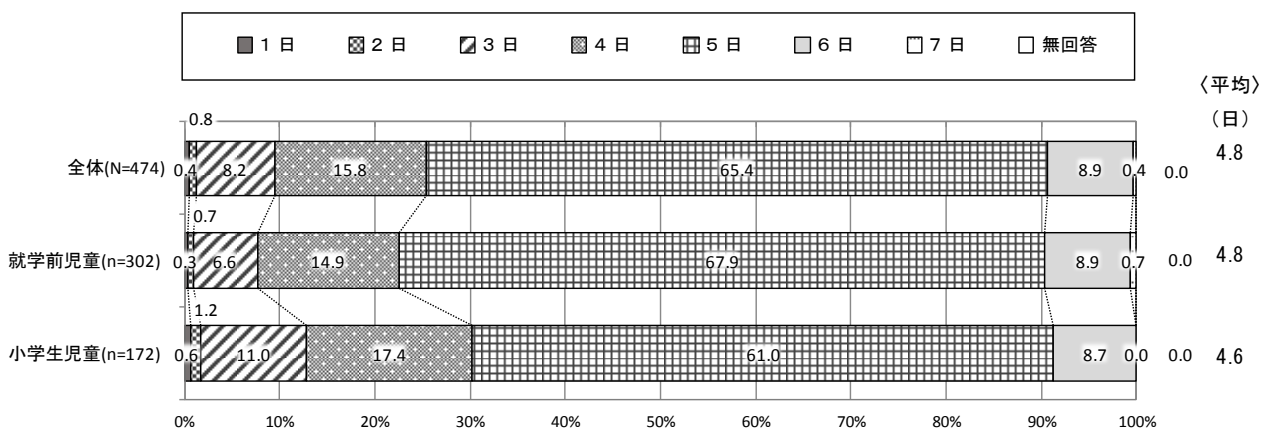
- 今回全体では、「フルタイムで就労」している割合が38.0%、そのうち「産休・育休・介護休業中でない」が28.7%となっています。また、「パート・アルバイト等で就労」している割合は32.9%、そのうち「産休・育休・介護休業中ではない」が31.4%となっています。
- 前回全体と比較すると、就労している割合と産休・育休・介護休業中である割合は増加しています。
- 就学前児童は、前回と比較すると「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合は大きく減少しています。
- 小学生児童は、「フルタイムで就労」している割合が減少し、「パート・アルバイト等で就労」している割合が増加しています。



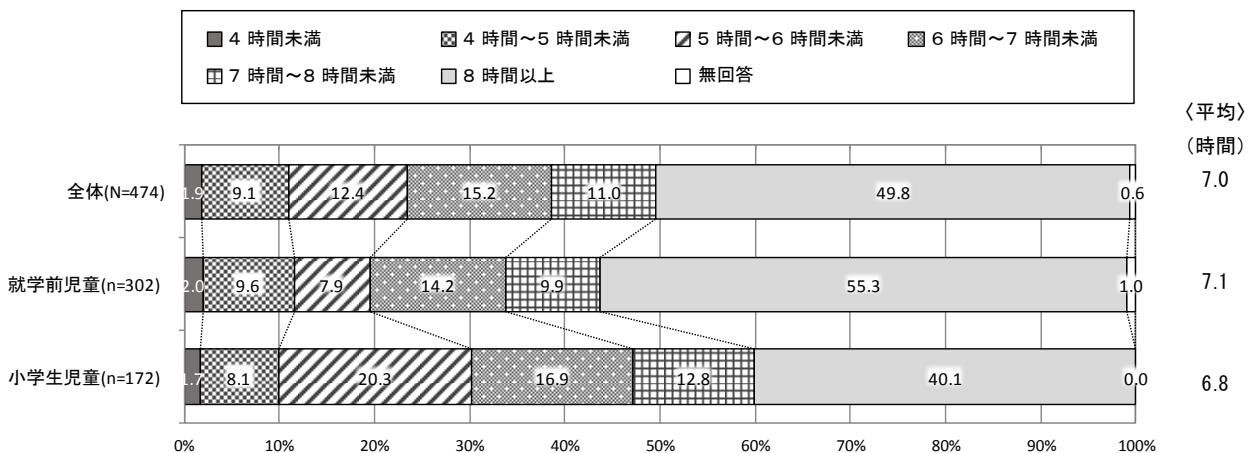
【就労している母親の1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）】

- 就労している母親の1週当たりの就労日数は、全体では「5日」が65.4%と最も多く、次いで「4日」が15.8%、「6日」が8.9%であり、平均で4.8日となっています。
- 就労している母親の1日当たりの就労時間は、全体では「8時間以上」が49.8%と最も多く、次いで「6時間～7時間未満」が15.2%、「5時間～6時間未満」が12.4%であり、平均で7時間となっています。

■ 1週当たりの就労日数



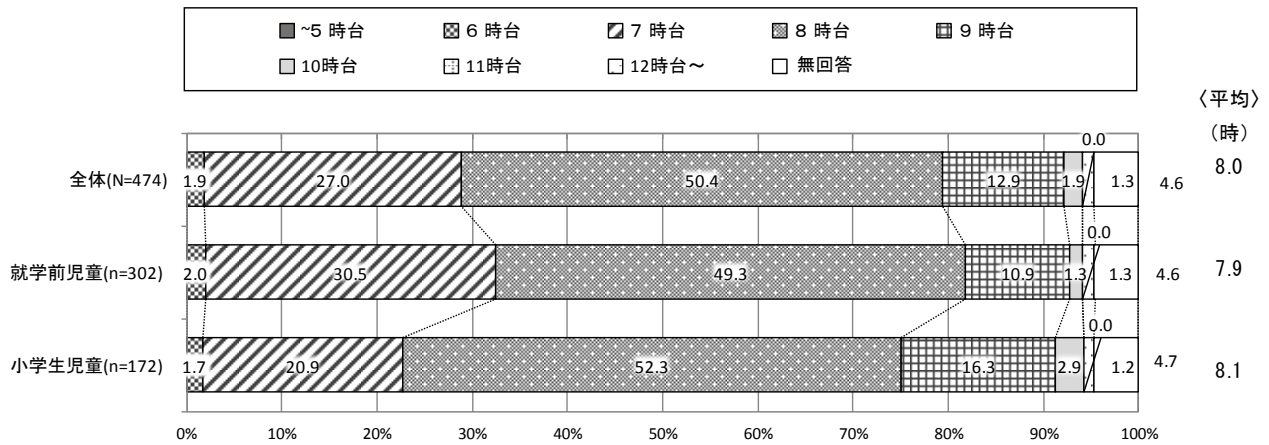
■ 1日当たりの就労時間



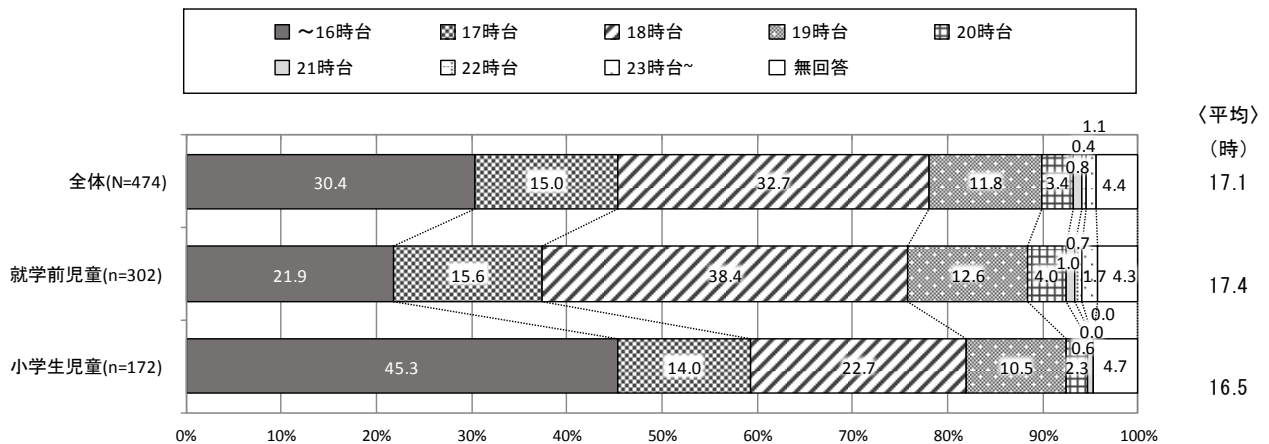
【就労している母親の家を出る時刻と帰宅時刻】

- 就労している母親の家を出る時刻は、「8時台」が50.4%と最も多く、次いで「7時台」が27.0%、「9時台」が12.9%であり、平均で8時となっています。
- 就労している母親の帰宅時刻は、「18時台」が32.7%と最も多く、次いで「～16時台」が30.4%、「17時台」が15.0%となっており、就学前児童と小学生児童を比較すると、就学前児童の方が帰宅時刻が遅い傾向にあります。

■ 家を出る時刻



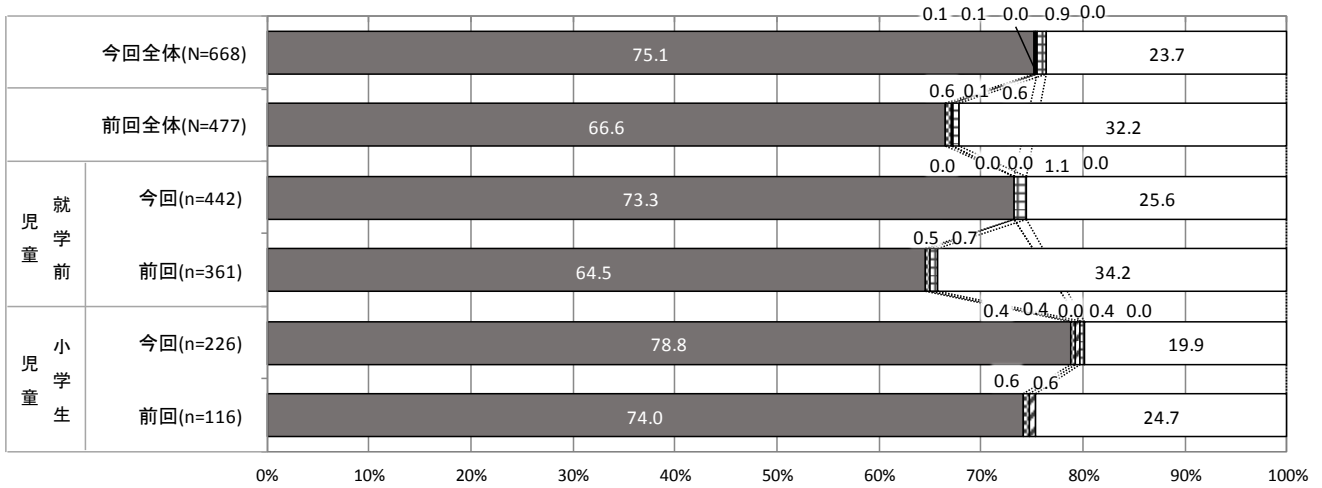
■ 帰宅時刻



【父親の就労状況】

- 全体では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 75.1% と最も多くなっています。

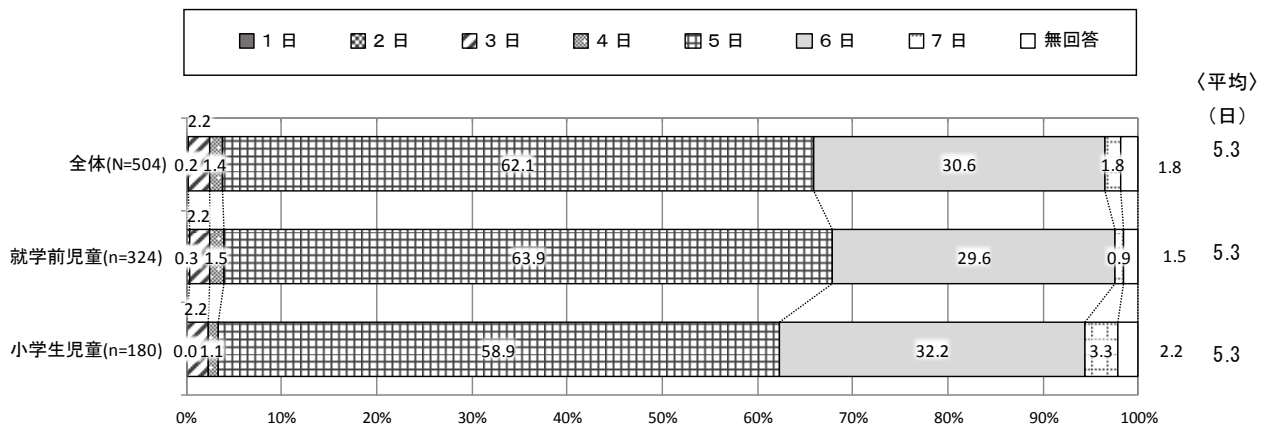
■ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	☒ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
▣ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	☑ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
▢ 以前は就労していたが、現在は就労していない	□ これまで就労したことがない
□ 無回答	



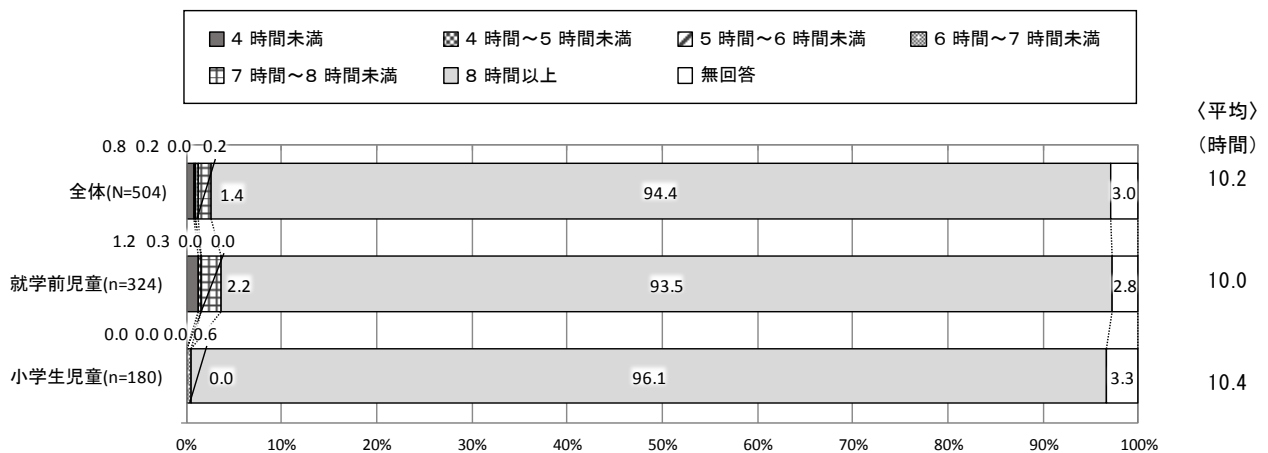
【就労している父親の1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）】

- 就労している父親の1週当たりの就労日数は、全体では「5日」が62.1%と最も多く、次いで「6日」が30.6%であり、平均で5.3日となっています。
- 就労している父親の1日当たりの就労時間は、全体では「8時間以上」が94.4%と最も多くなっています。

■ 1週当たりの就労日数



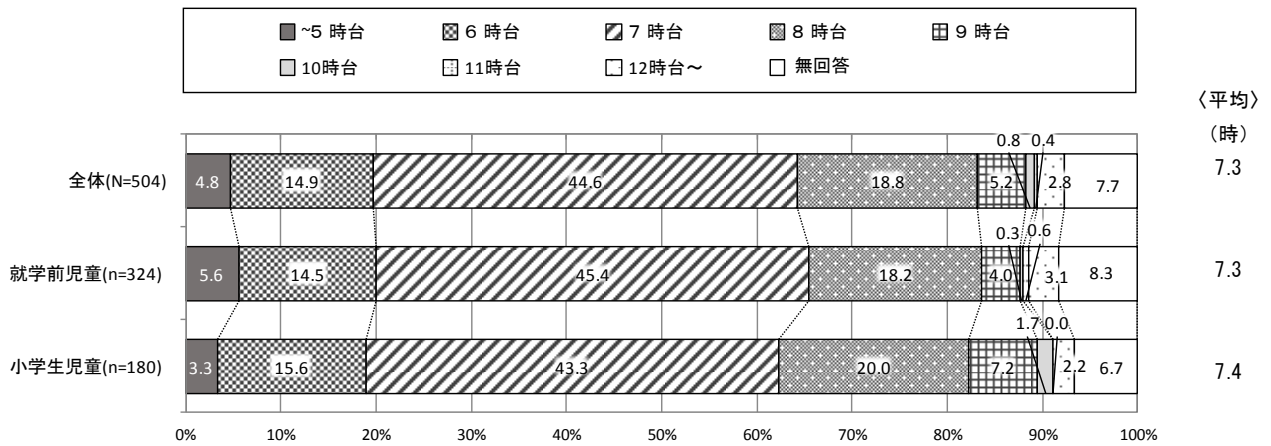
■ 1日当たりの就労時間



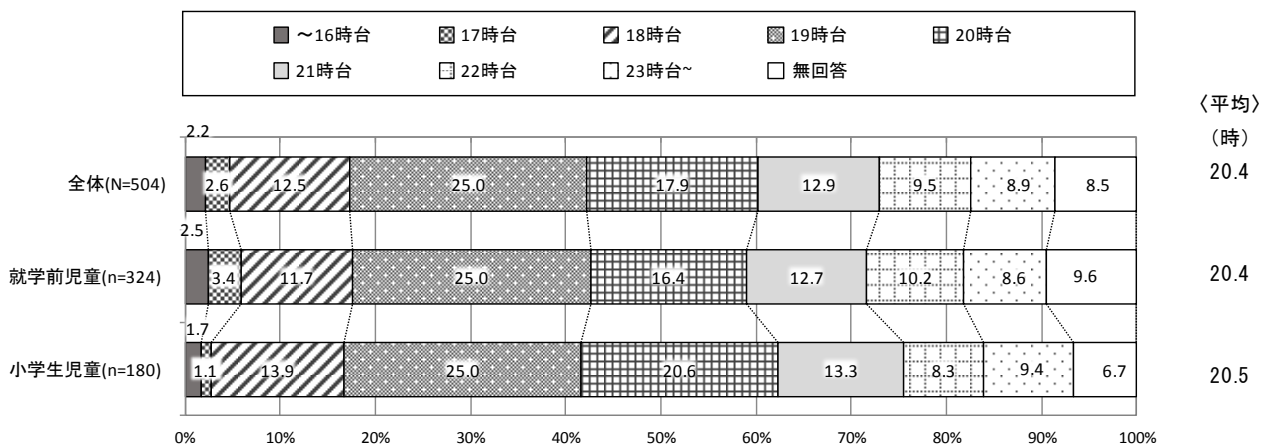
【就労している父親の家を出る時刻と帰宅時刻】

- 就労している父親の家を出る時刻は、「7時台」が44.6%と最も多く、次いで「8時台」が18.8%、「6時台」が14.9%であり、平均で7時18分となっています。
- 就労している父親の帰宅時刻は、「19時台」が25.0%と最も多く、次いで「20時台」が17.9%、「21時台」が12.9%となっており、平均で20時24分となっています。

■ 家を出る時刻



■ 帰宅時刻



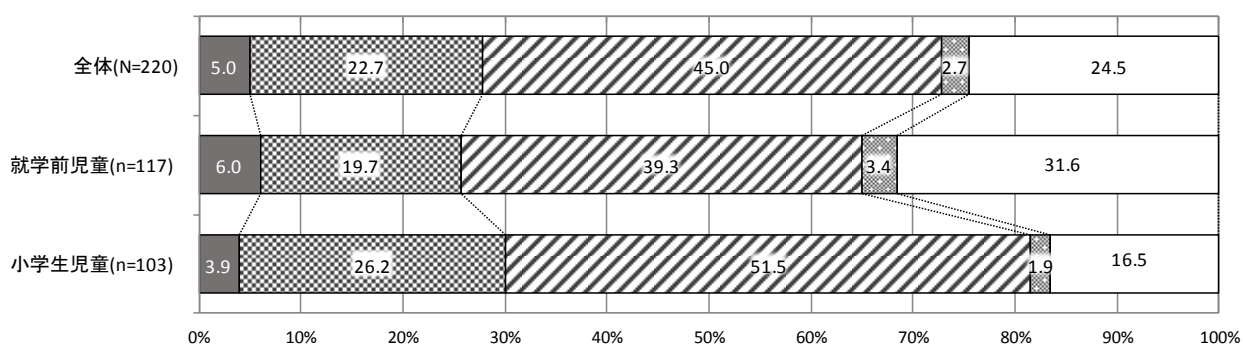
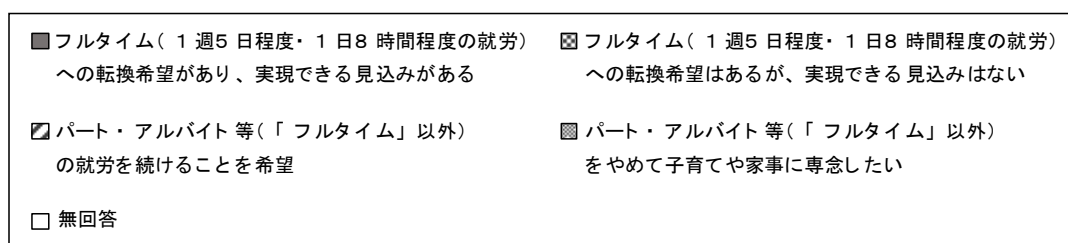
(2) フルタイムへの転換希望

設問 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ パート・アルバイト等で就労している方

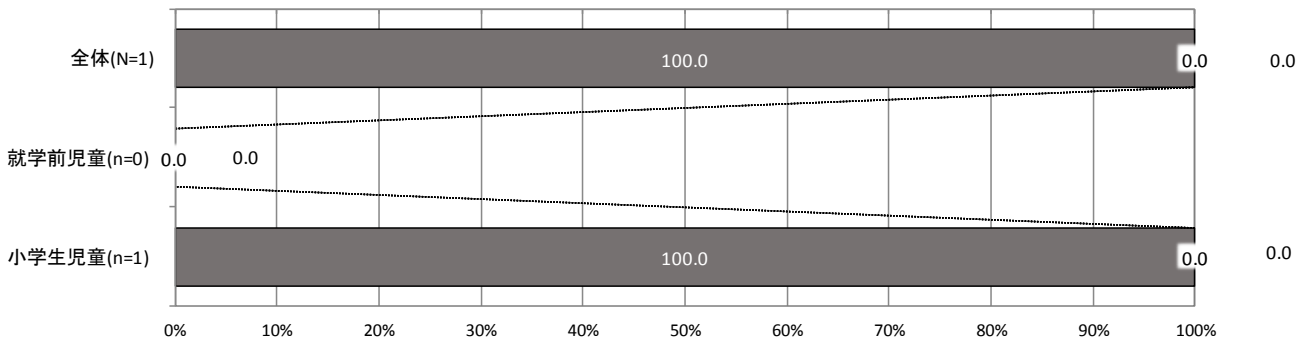
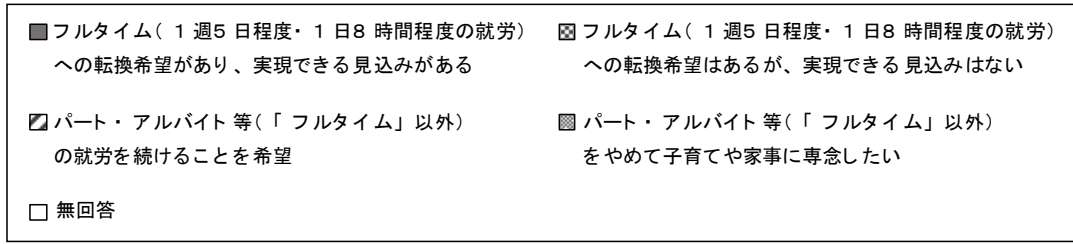
【母親】

- 全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が45.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.0%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「フルタイムへの転換希望」がある割合は小学生児童の方が多くなっていますが、「実現できる見込みがある」割合は就学前児童の方が多くなっています。



【父親】

➤ 「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の回答が1人です。



(3) 就労希望

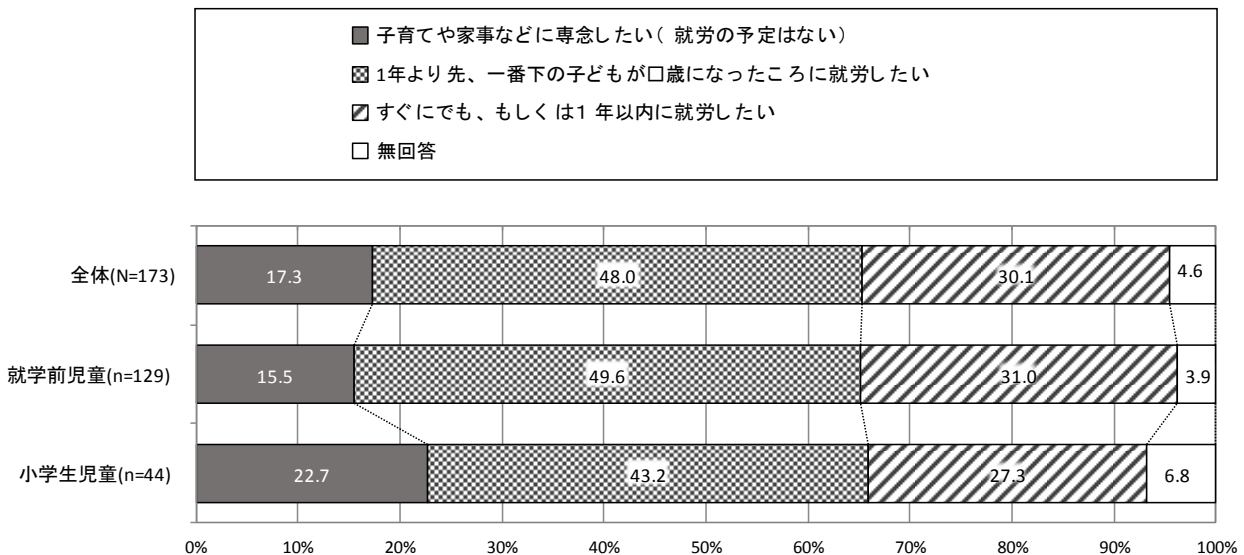
設問 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

※ 現在就労していない方とこれまで就労したことがない方

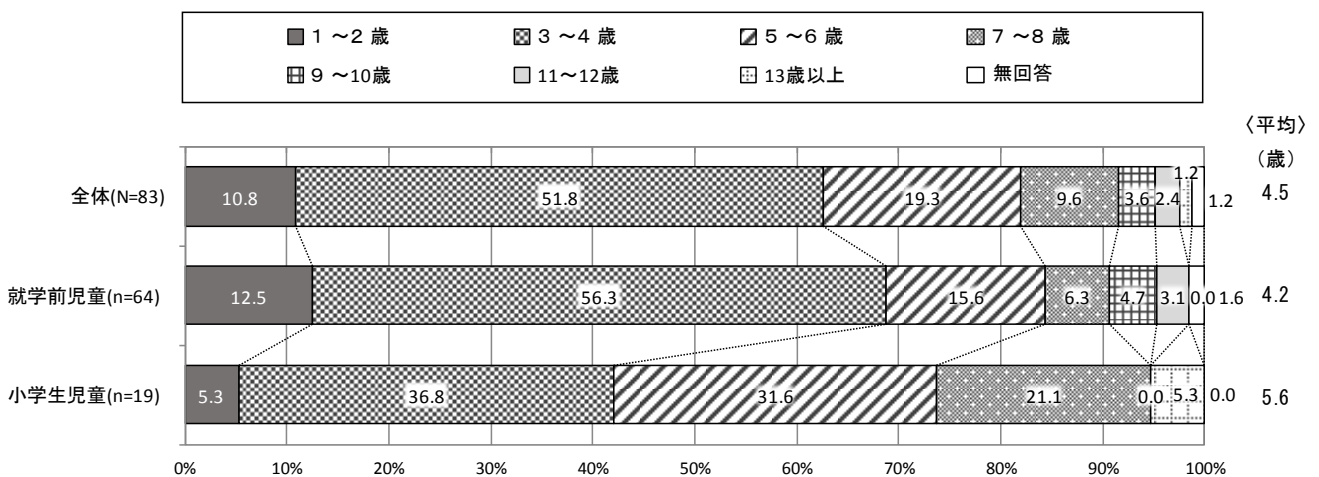
【母親】

- ▶ 全体では、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が48.0%と最も多くなっています。また、子どもの年齢の平均は4.5歳となっています。
- ▶ 就労意欲のある人のうち、「フルタイム」希望は10.4%、「パート・アルバイト等」希望は41.5%となっています。また、希望する1週当たりの就業日数の平均は4.1日、1日当たりの終業時間の平均は5時間24分となっています。

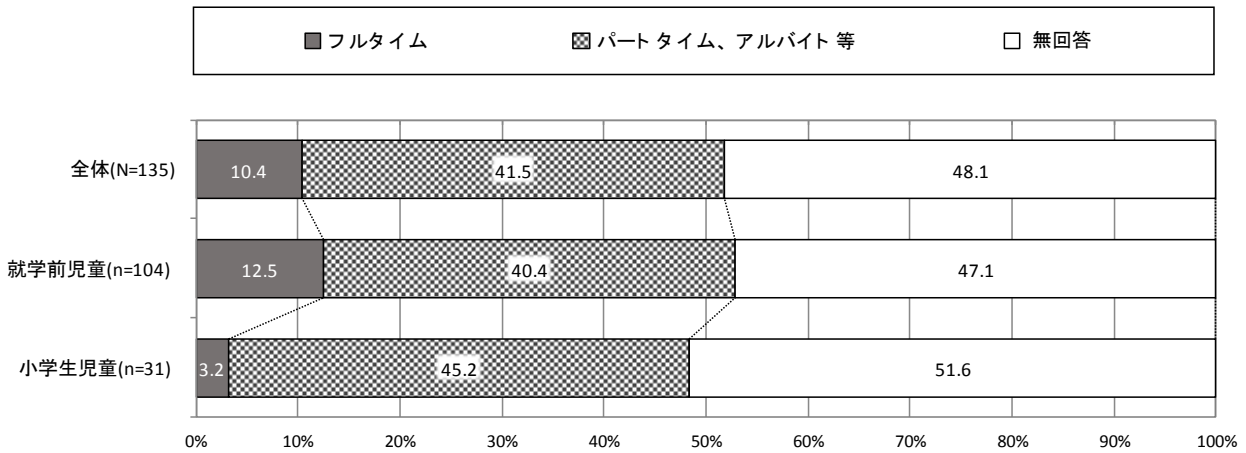
■ 就労希望



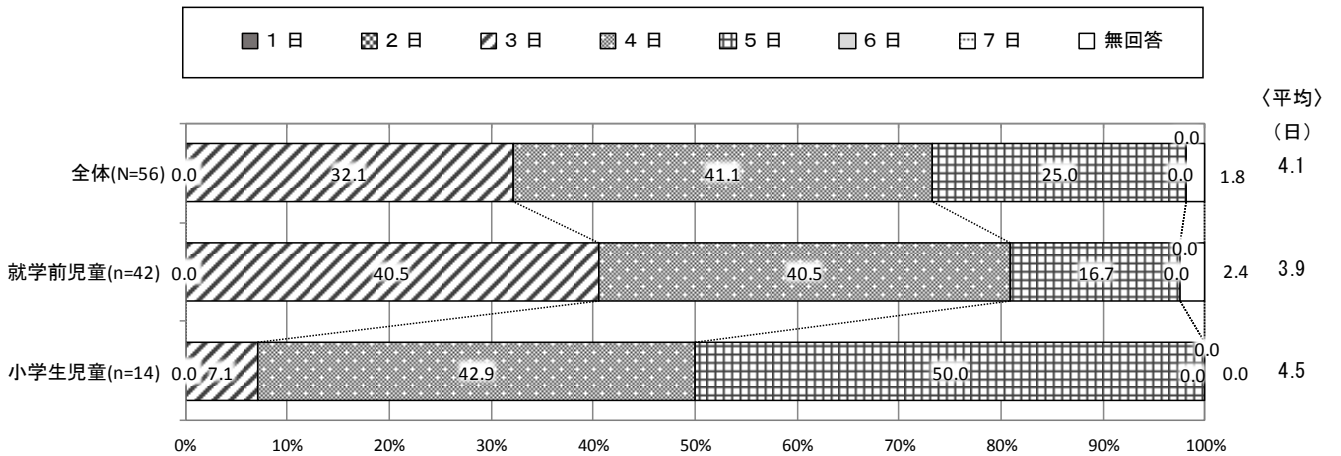
■ 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労」と回答した人うち、希望する一番下の子どもの年齢



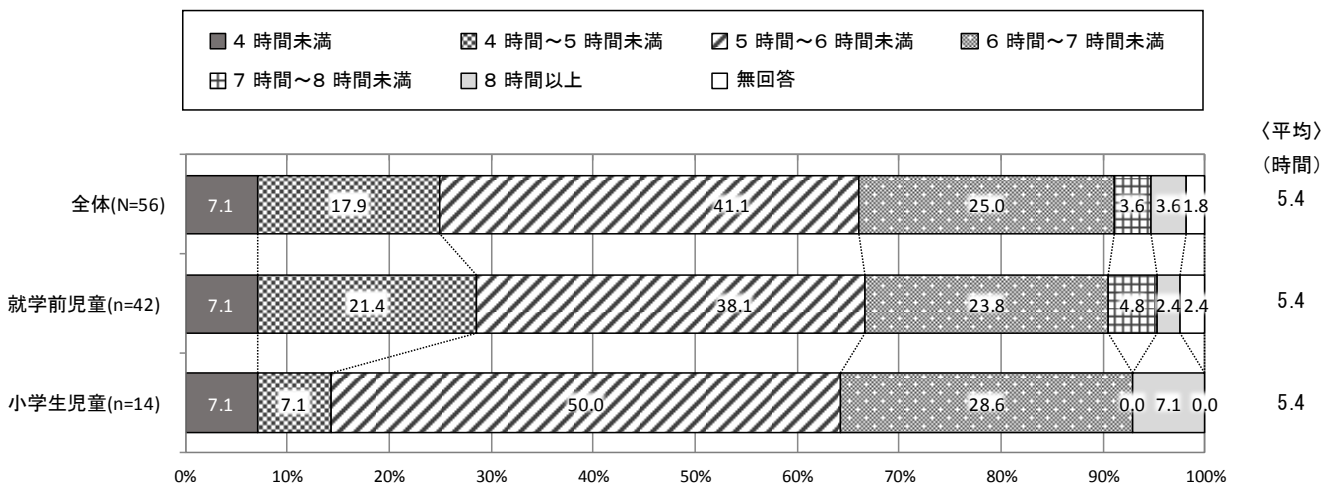
■ 就労意欲のある人のうち、希望する就労形態



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1週当たりの就労日数



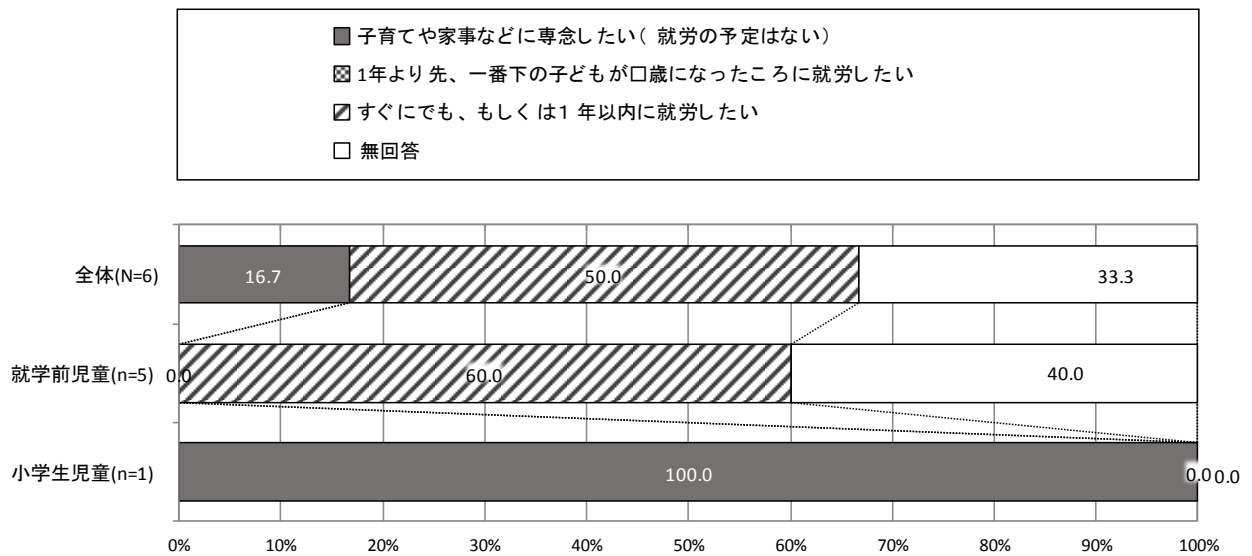
■ 就労意欲のある人のうち、希望する1日当たりの就労時間



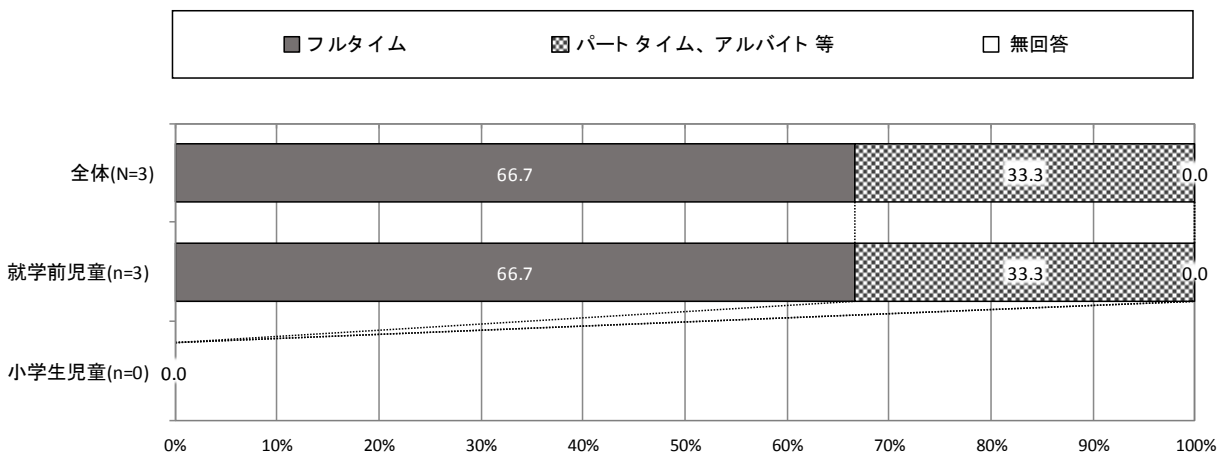
【父親】

- 全体では、「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」が50.0%、「子育てや家事などに専念したい」が16.7%となっています。
- 就労意欲のある人のうち、「フルタイム」希望は66.7%、「パート・アルバイト等」希望は33.3%となっています。また、回答者は1人ですが、希望する1週当たりの就業日数は4日、1日当たりの終業時間は5時間以上6時間未満となっています。

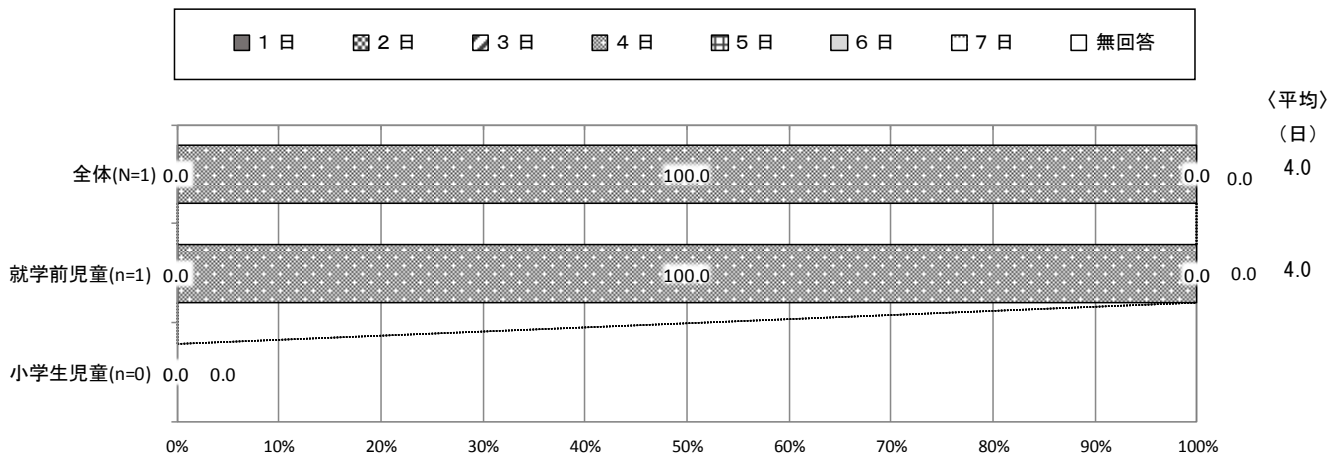
■ 就労希望



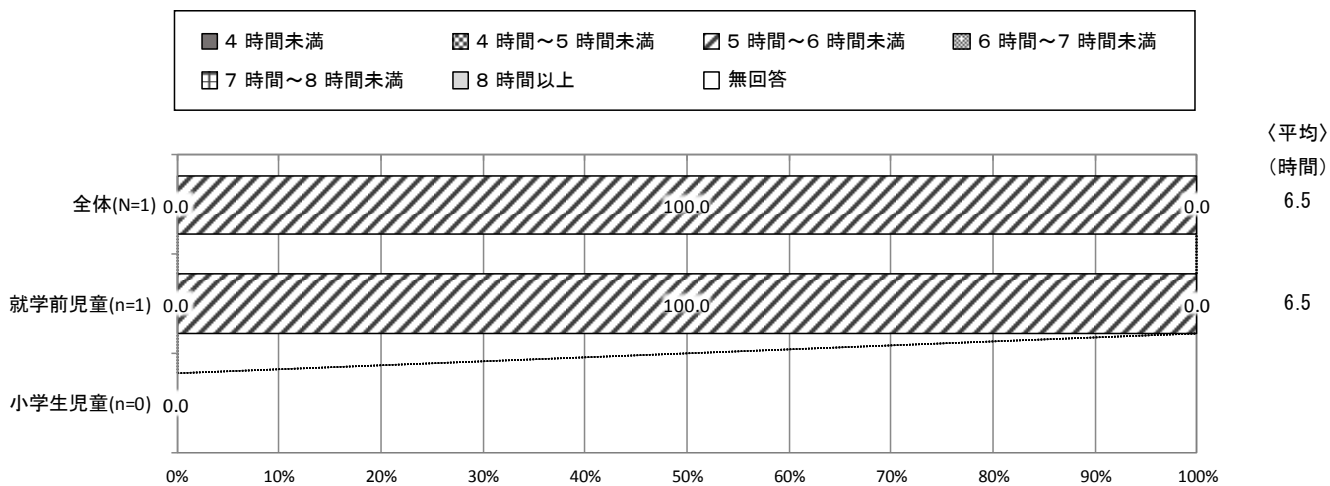
■ 就労意欲のある人のうち、希望する就労形態



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1週当たりの就労日数



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1日当たりの就労時間

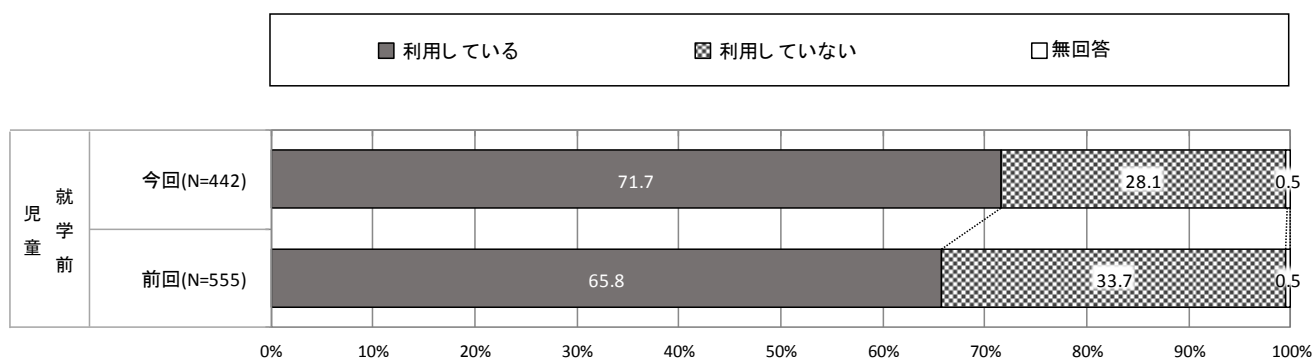


5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について<就学前児童のみ>

(1) 教育・保育事業の利用の有無

設問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 「利用している」が71.7%と、前回調査と比較するとその割合は増加しています。

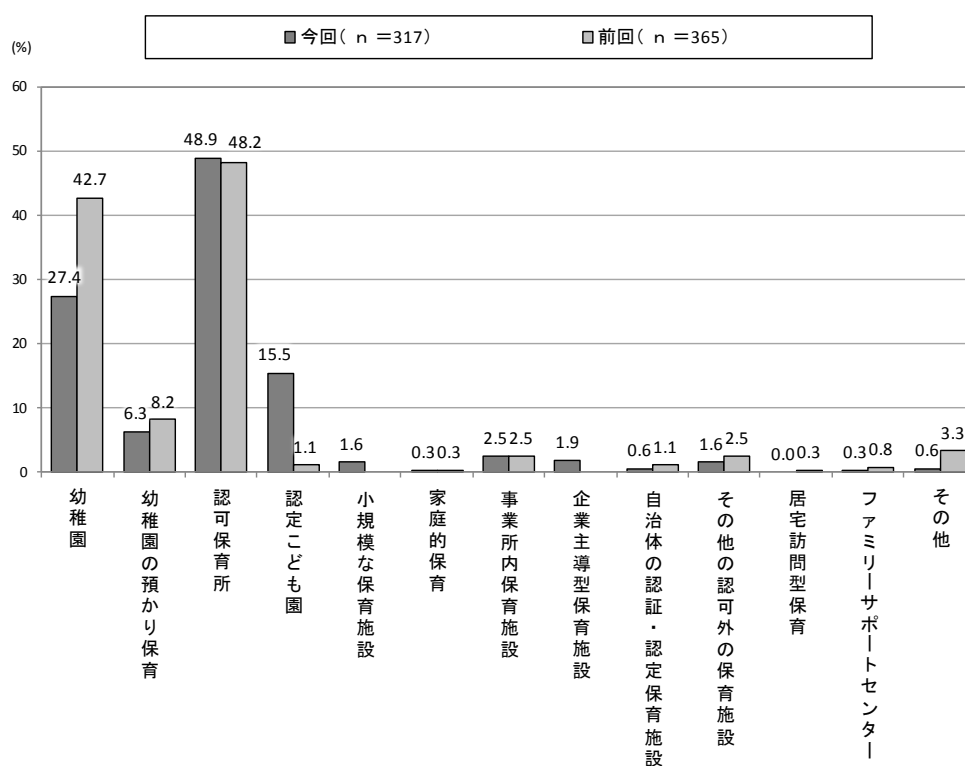


(2) 教育・保育事業の利用状況

設問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 「認可保育所」が48.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が27.4%、「認定こども園」が15.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「幼稚園」の利用が大きく減少し、「認定こども園」の利用が大きく増加しています。

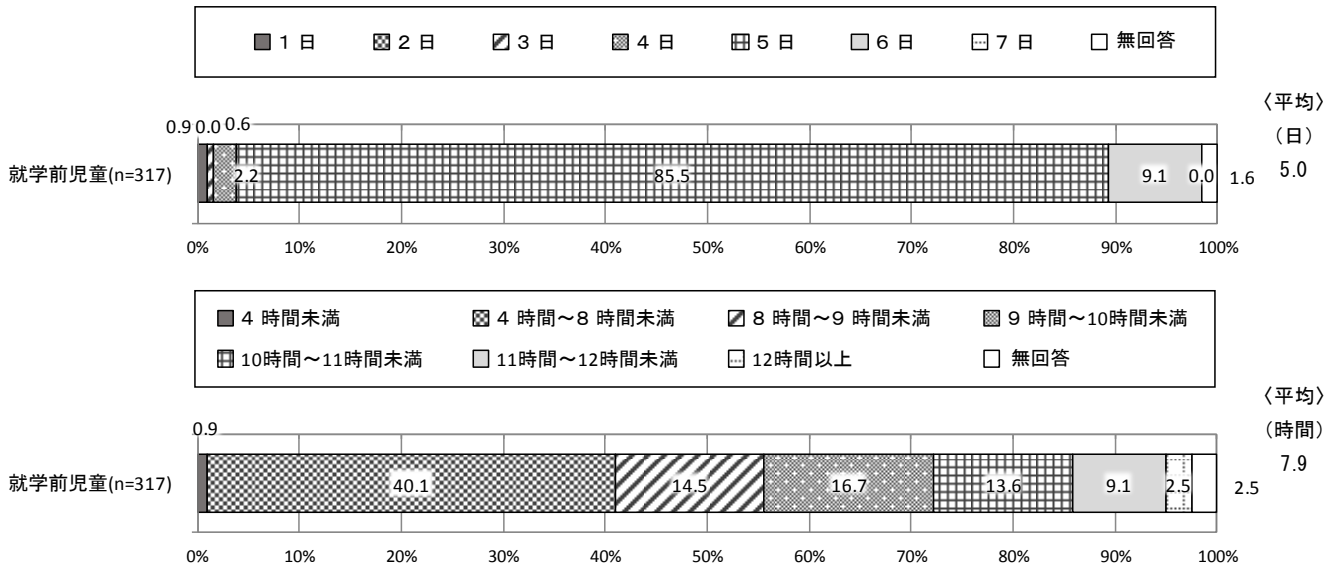


設問 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

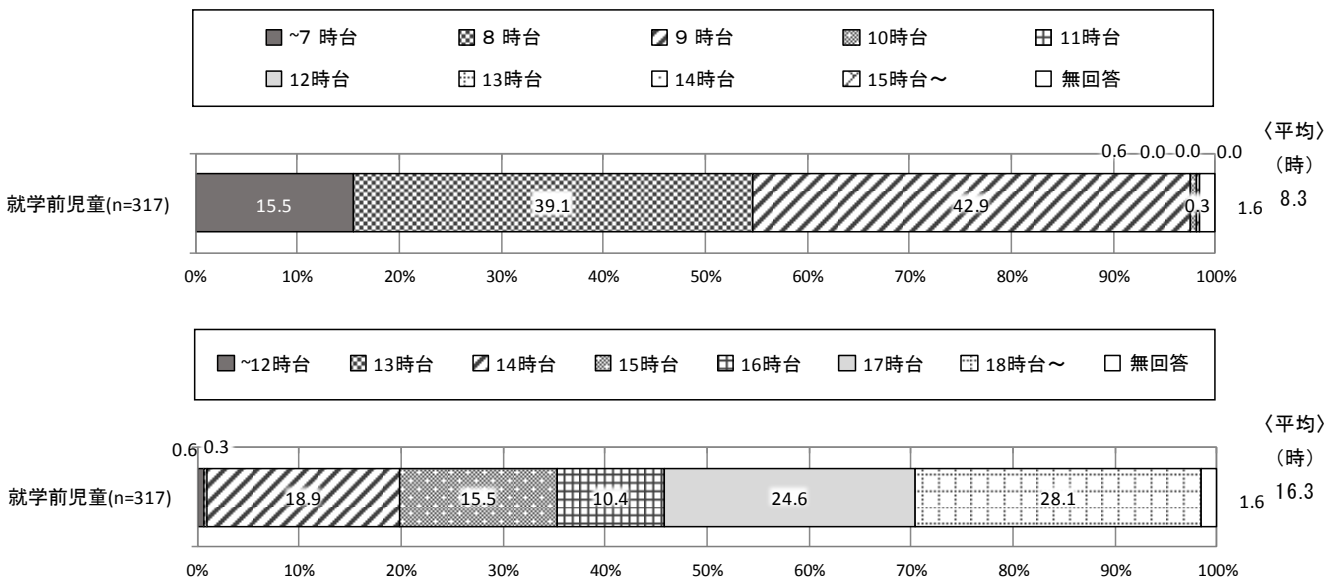
※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 現在の平均利用日数は 5.0 日、平均利用時間は 7 時間 54 分、平均の利用開始時間は 8 時 18 分、平均の利用終了時間は 16 時 18 分となっています。
- 今後の希望について、平均利用日数は 5.1 日、平均利用時間は 8 時間 30 分、平均の利用開始時間は 8 時 18 分、平均の利用終了時間は 16 時 54 分となっています。

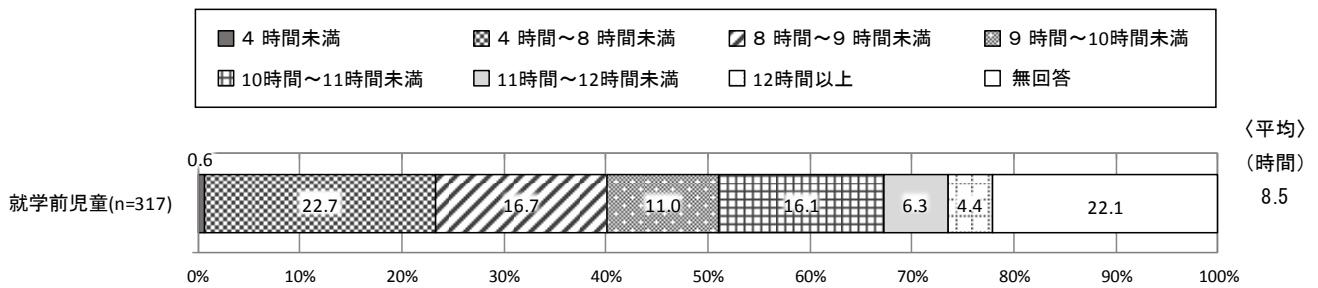
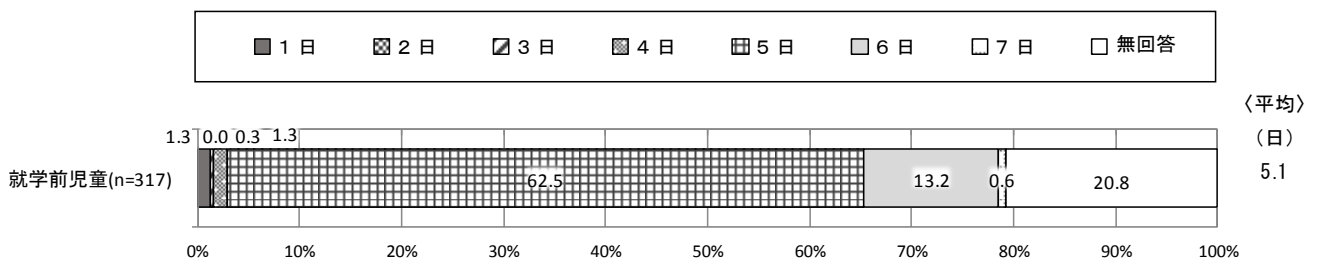
■ 現在の 1 週当たりの利用日数と 1 日当たりの利用時間



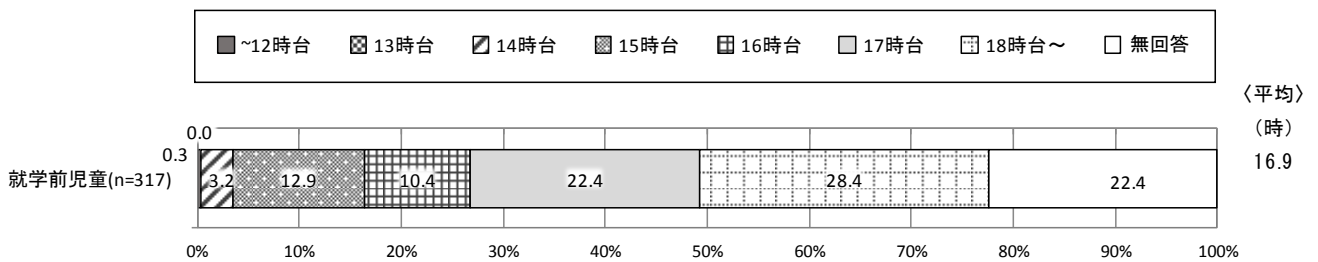
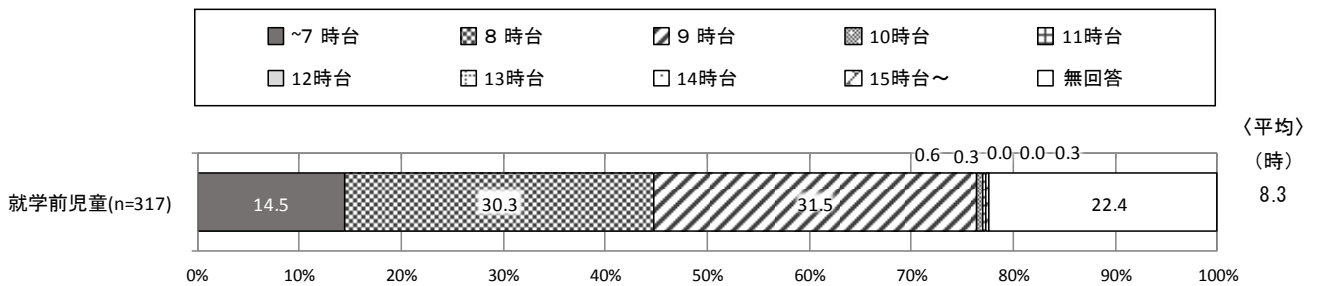
■ 現在の利用開始時間と利用終了時間



■ 希望する1週当たりの利用日数と1日当たりの利用時間



■ 希望する利用開始時間と利用終了時間

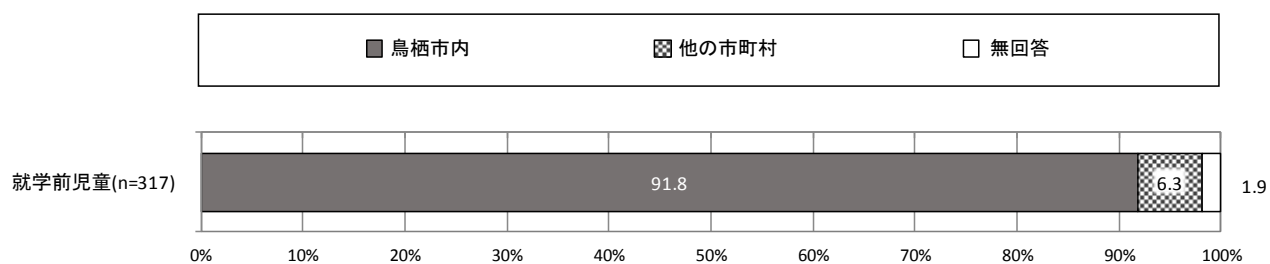


(3) 教育・保育事業の実施場所

設問 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

➤ 「鳥栖市内」が91.8%、「他の市町村」が6.3%となっています。

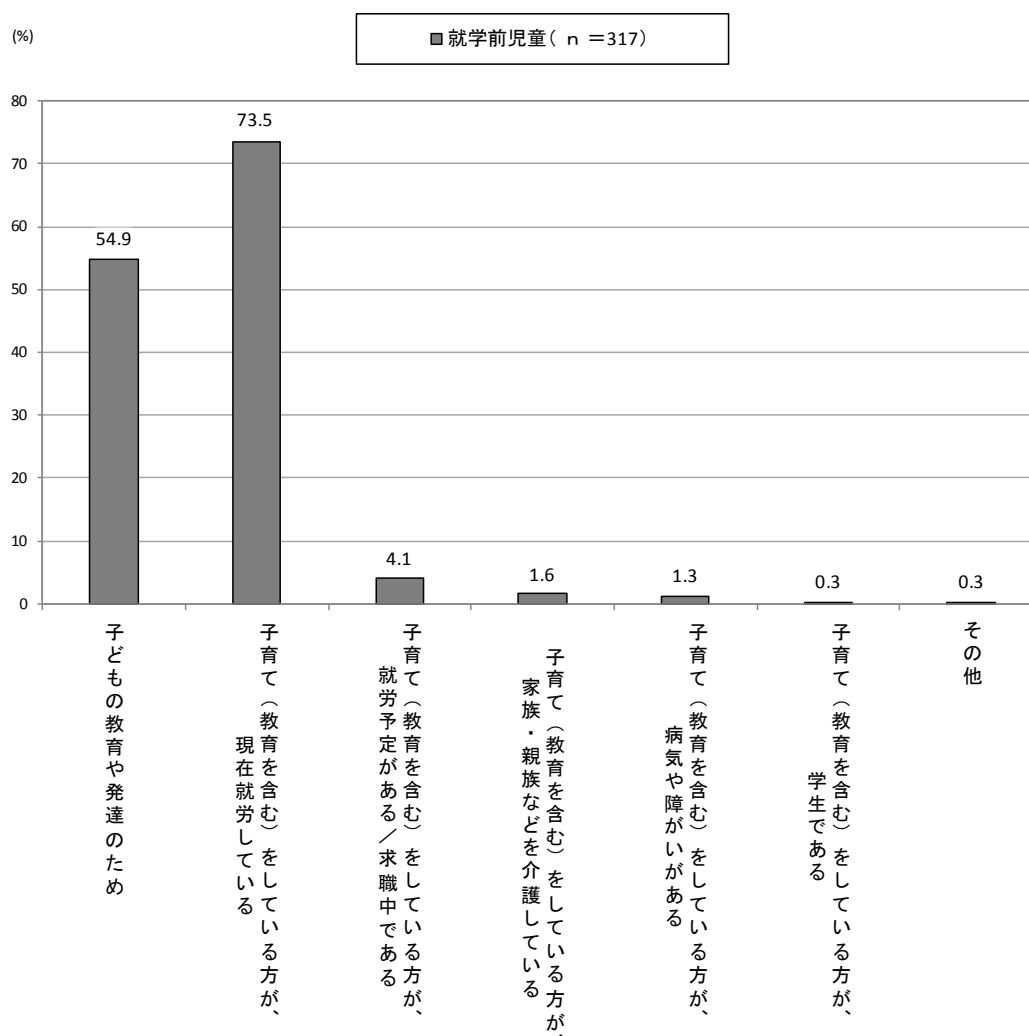


(4) 教育・保育事業を利用している理由

設問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が73.5%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.9%となっています。



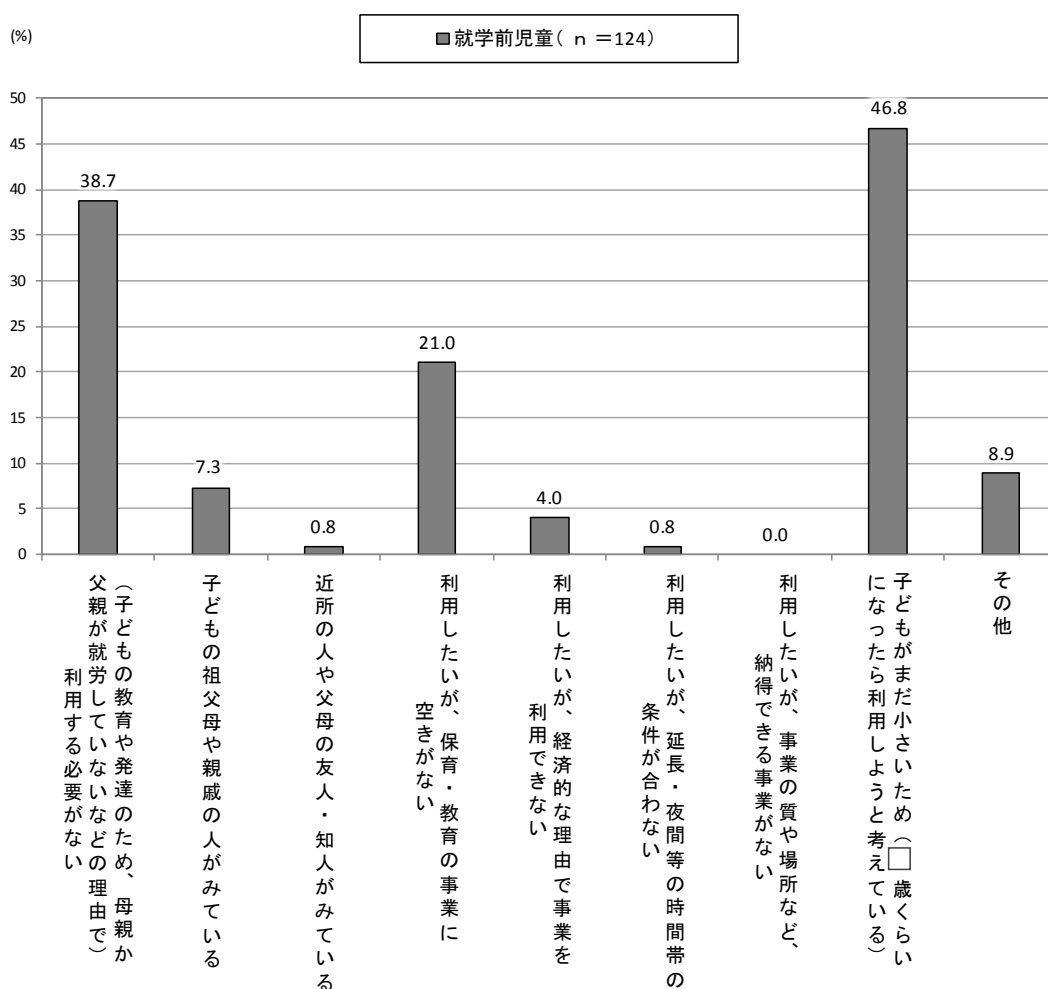
(5) 教育・保育事業を利用していない理由

設問 理由は何ですか。理由として最も当てはまる番号すべてに○をつけてください。
「8.」が理由の場合は、□内に数字もご記入ください。

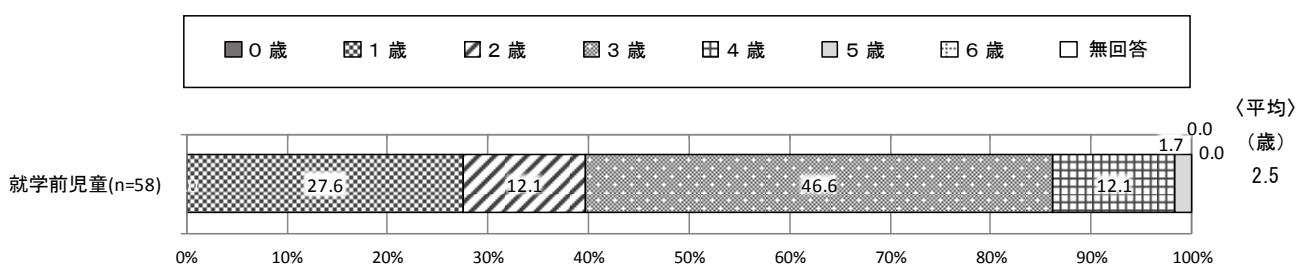
※ 定期的な教育・保育の事業を利用していない方

- 「子どもがまだ小さいため、(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が46.8%と最も多く、子どもの年齢の平均は2.5歳となっています。

■ 教育・保育事業を利用していない理由



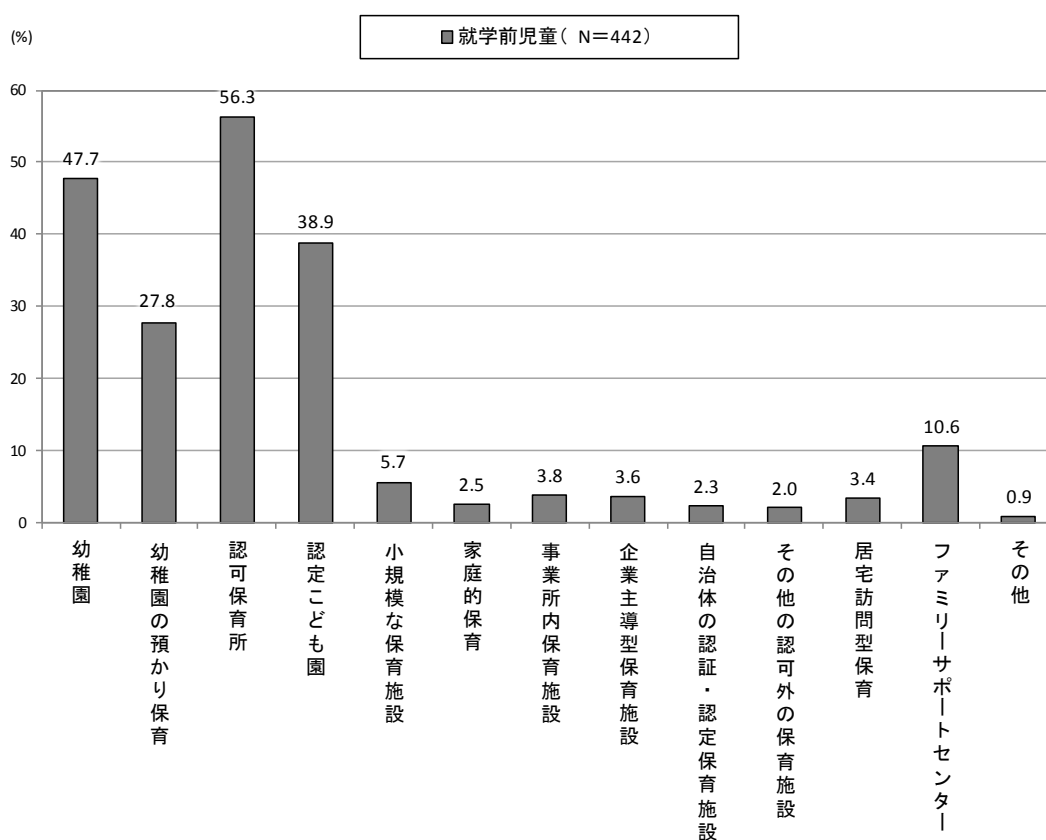
■ 「子どもがまだ小さいため、(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人のうち、希望する子どもの年齢



(6) 教育・保育事業を利用したい事業

設問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 「認可保育所」が56.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が47.7%、「認定こども園」が38.9%となっています。

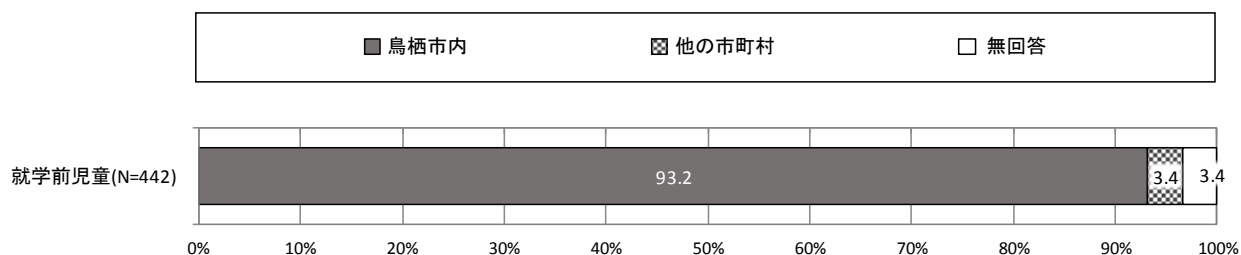


(7) 教育・保育事業の実施場所

設問 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用したい方

- 「鳥栖市内」が93.2%、「他の市町村」が3.4%となっています。

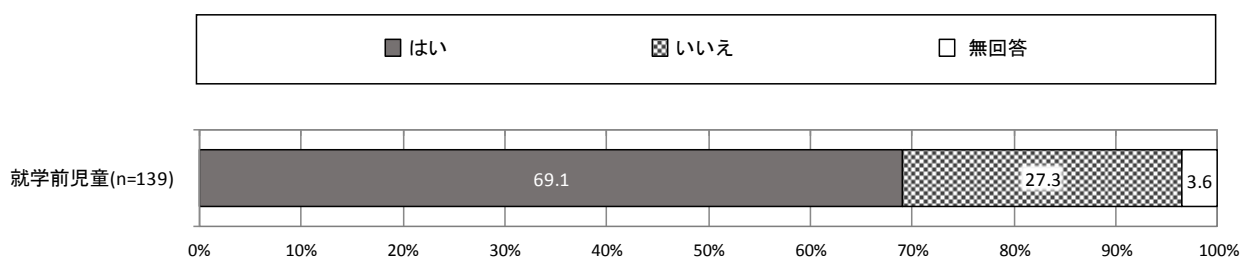


(8) 幼稚園の利用を強く希望するか

設問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

※ (6) で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」とその他の事業を選択した方

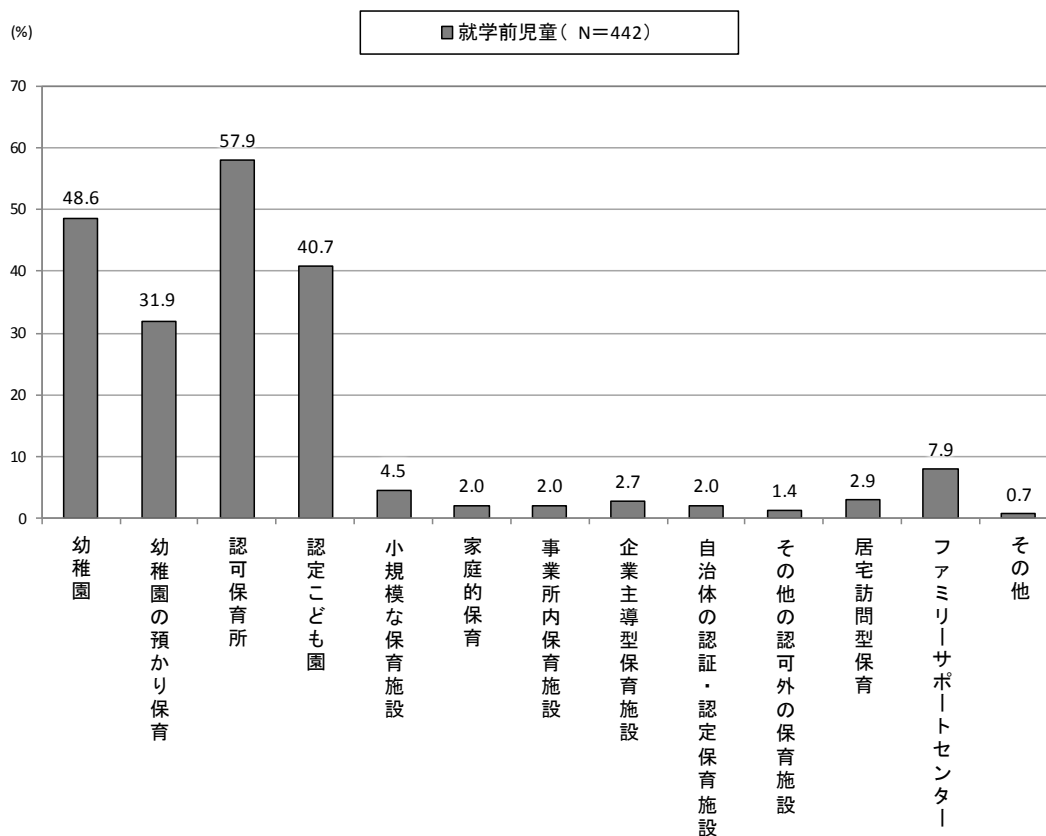
- 特に幼稚園の利用を強く希望することについて、「はい」が69.1%、「いいえ」が27.3%となっています。



(9) 幼児教育・保育無償化が実施された場合に利用したい事業

設問 すべての方にうかがいます。「幼児教育・保育無償化」となった場合に、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「認可保育所」が57.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が48.6%、「認定こども園」が40.7%となっています。
- 37頁の設問と比較して、「幼稚園」は0.9%、「幼稚園の預かり保育」は4.1%、「認可保育所」は1.6%、「認定こども園」は1.8%増加しています。



6. 土曜・休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望について

＜就学前児童のみ＞

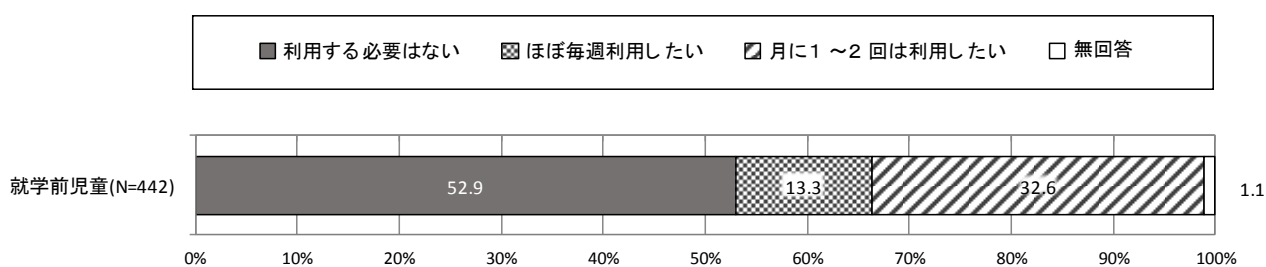
(1) 土日・祝日の教育・保育事業の利用希望と希望する時間帯

設問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

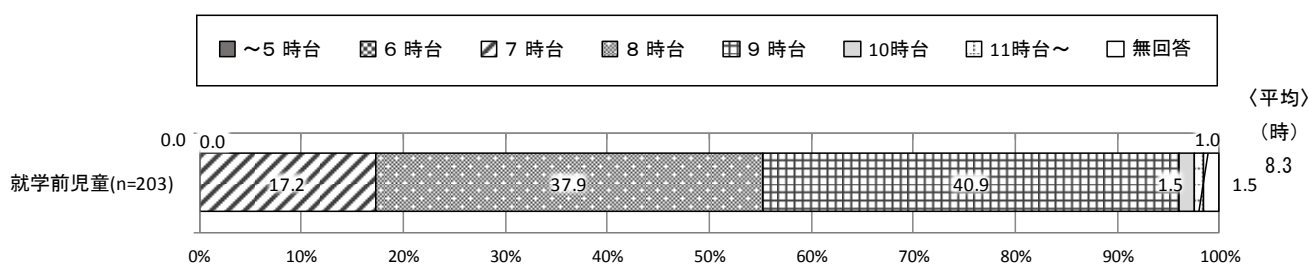
【土曜日】

- 利用希望は、「利用する必要はない」が52.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が32.6%、「ほぼ毎週利用したい」が13.3%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時18分、利用終了時間の平均は16時42分となっています。

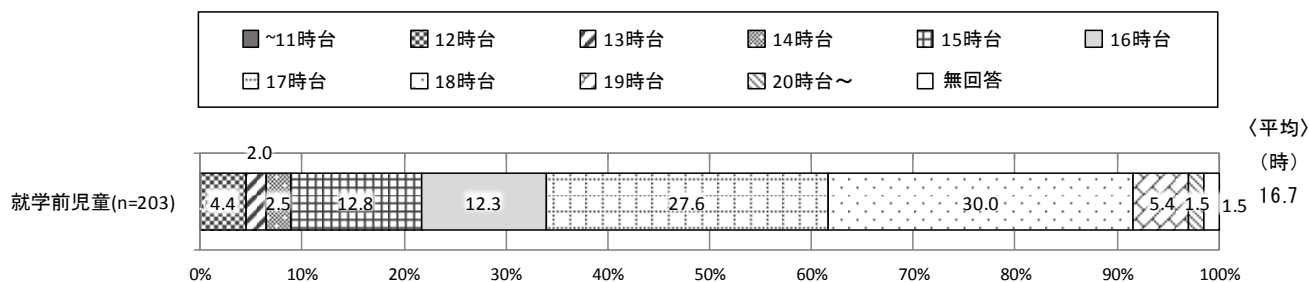
■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望



■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



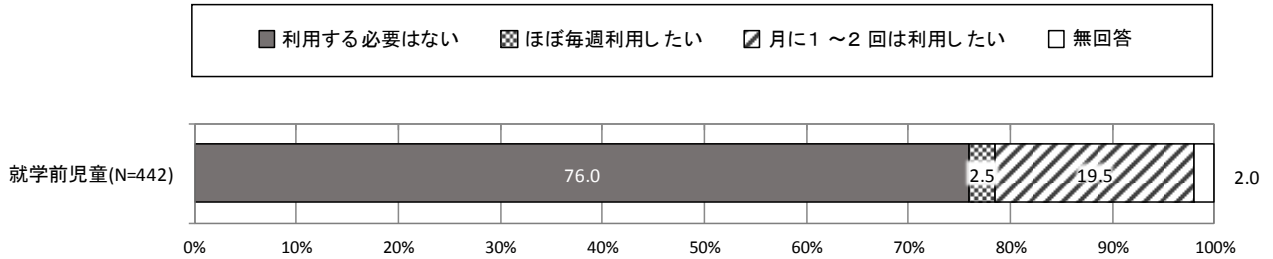
■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望時間（終了）



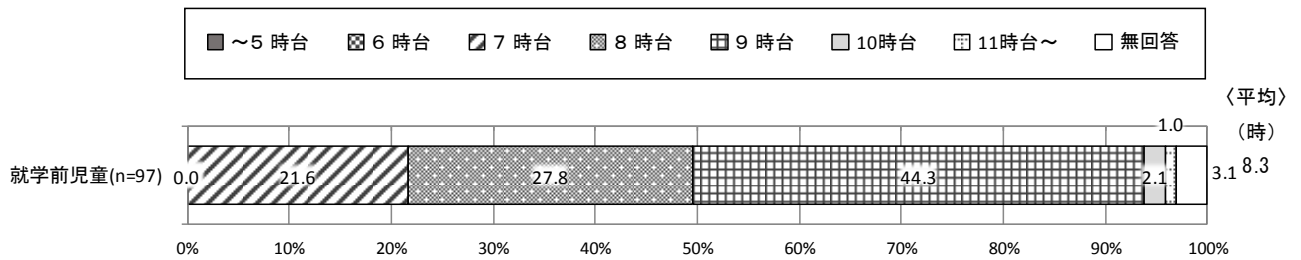
【日曜・祝日】

- 利用希望は、「利用する必要はない」が76.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が19.5%、「ほぼ毎週利用したい」が2.5%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時18分、利用終了時間の平均は17時となっています。

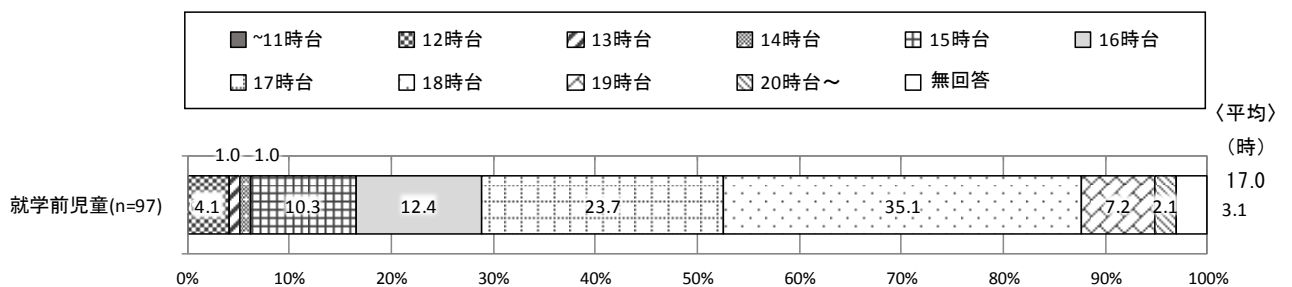
■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望



■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望時間（終了）

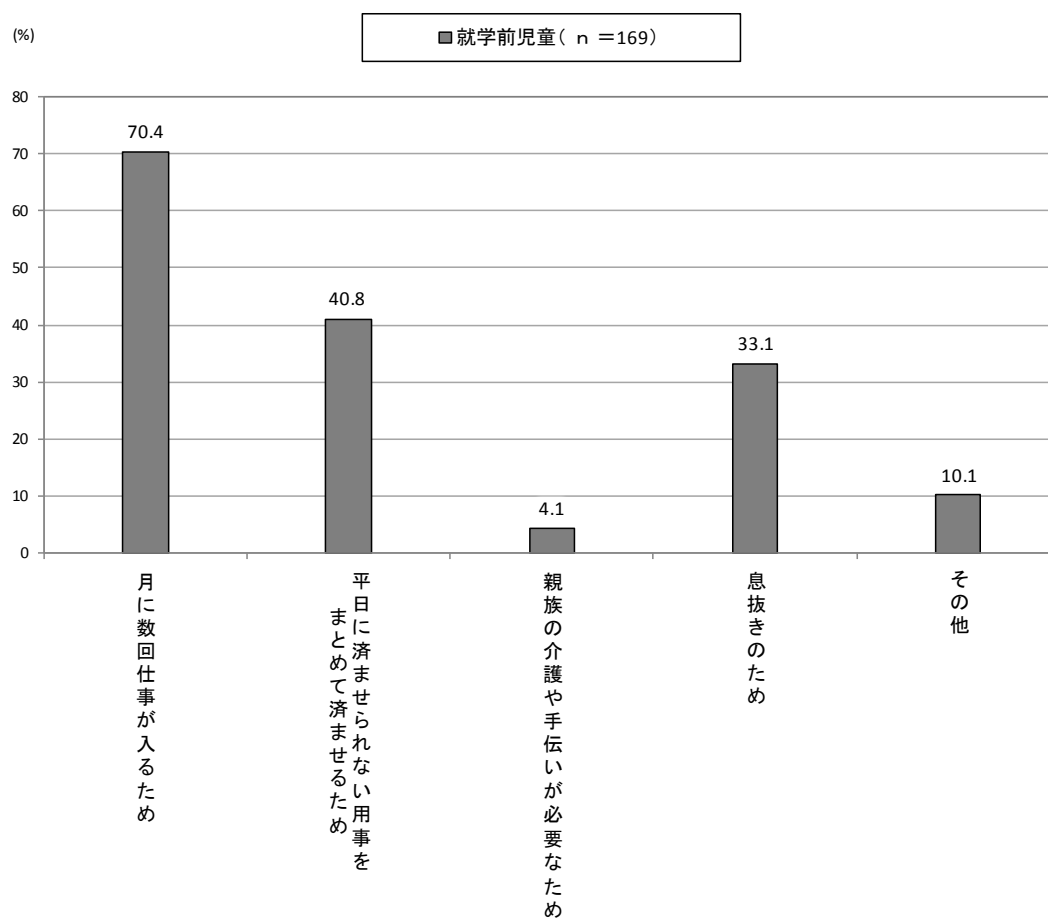


(2) 土日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

設問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育の事業を月に1～2回は利用したい方

- 「月に数回仕事が入るため」が70.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が40.8%、「息抜きのため」が33.1%となっています。



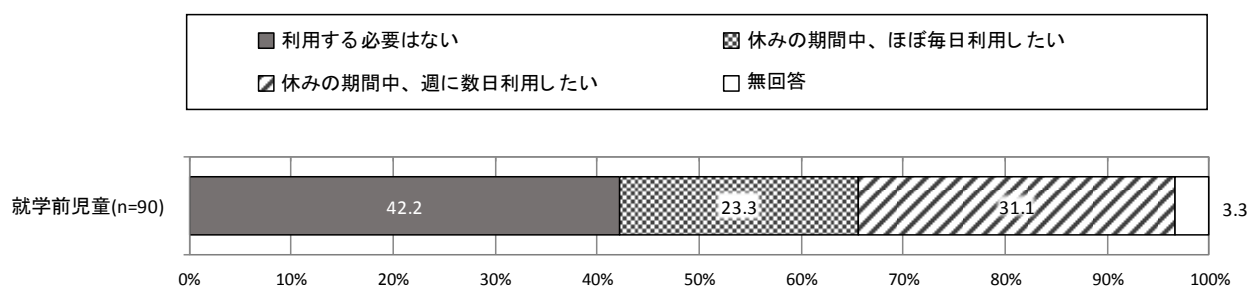
(3) 長期休暇期間中の利用希望と希望する時間帯

設問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

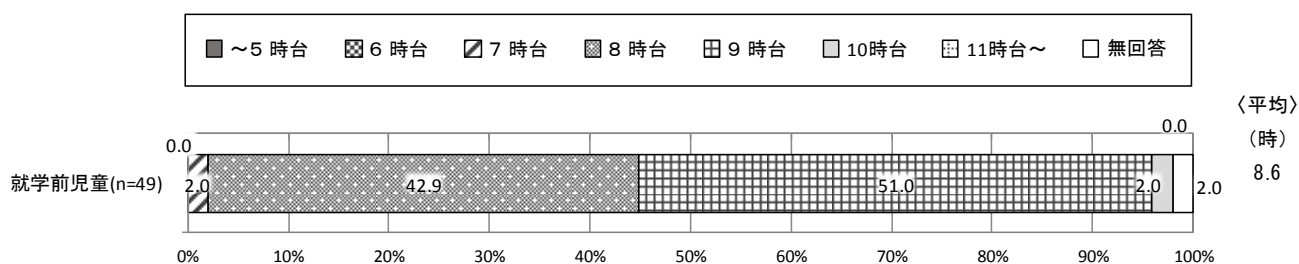
※ 幼稚園を利用される方

- 利用希望は、「利用する必要はない」が42.2%と最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.3%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時36分、利用終了時間の平均は16時24分となっています。

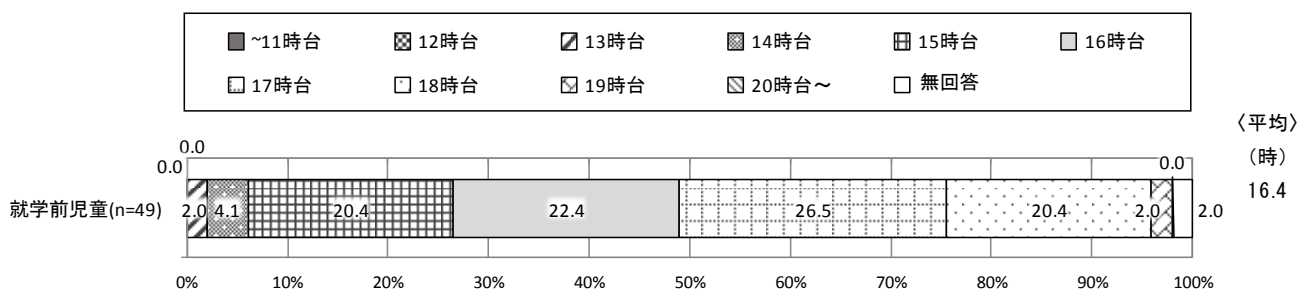
■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望



■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間（終了）

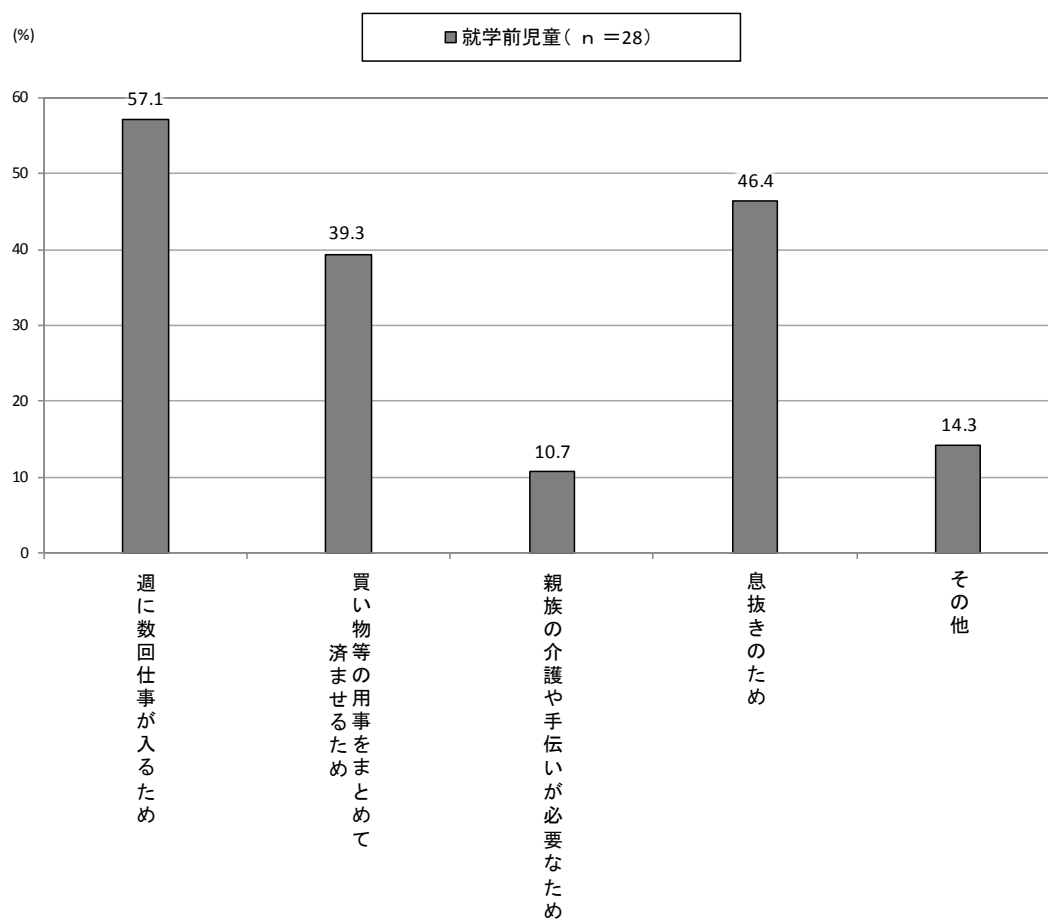


(4) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

設問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 長期期間中、週に数日利用したい方

- 「週に数回仕事が入るため」が 57.1%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 46.4%、「買物等の用事をまとめて済ませるため」が 39.3%となっています。

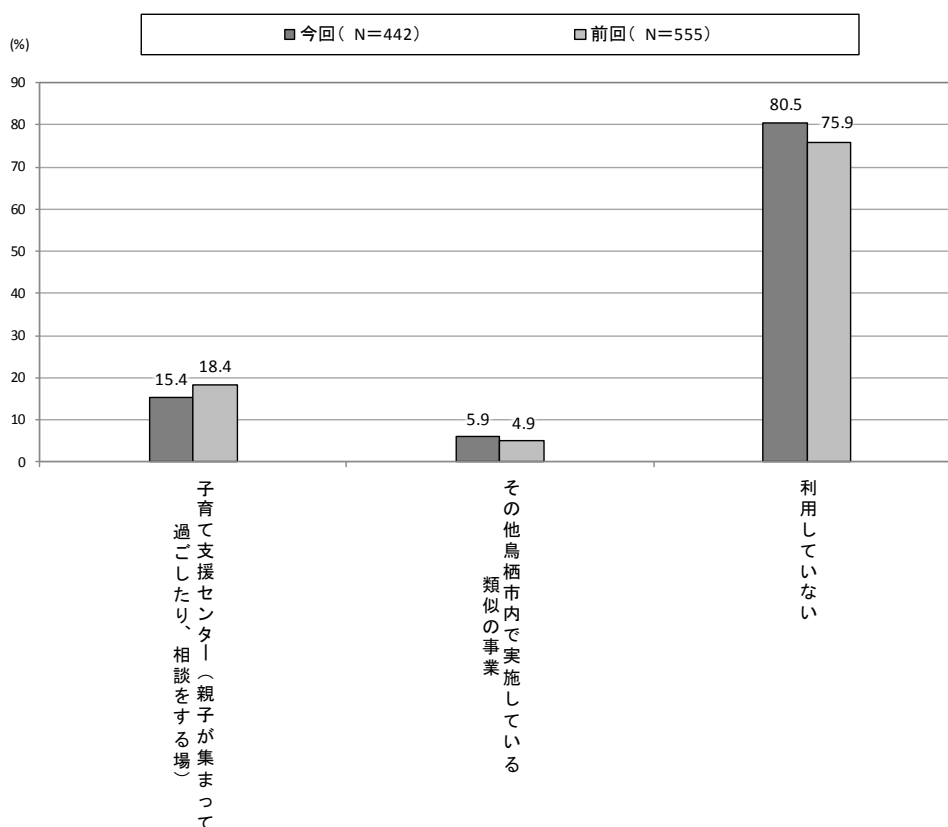


7. 地域子育て支援事業の利用状況について<就学前児童のみ>

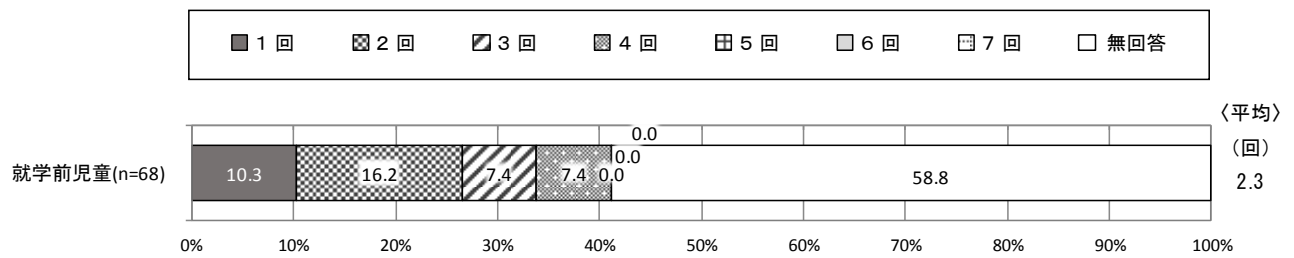
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

設問 宛名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」（地域子育て支援拠点事業）として、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場所）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

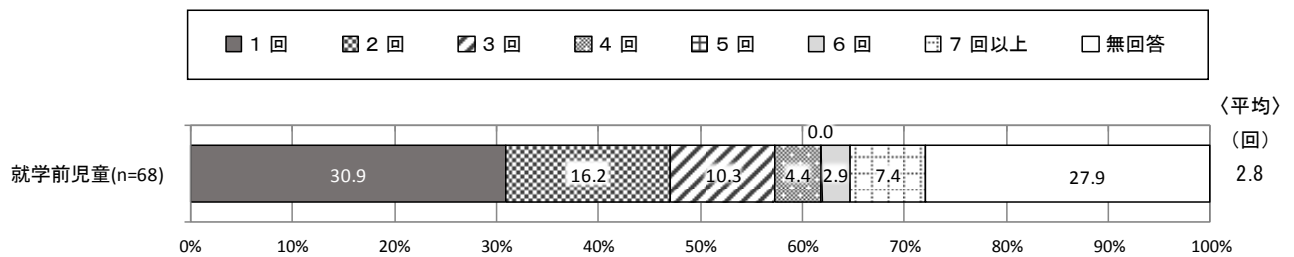
- 「利用していない」が80.5%と最も多く、前回より4.9%増加しています。
- 「子育て支援センター」を利用している人のうち、1週当たりの利用回数の平均は2.3回、1か月あたりの利用回数の平均は2.8回となっています。
- 「その他鳥栖市内で実施している類似事業」を利用している人のうち、1週当たりの利用回数の平均は1.9回、1か月あたりの利用回数の平均は1.9回となっています。



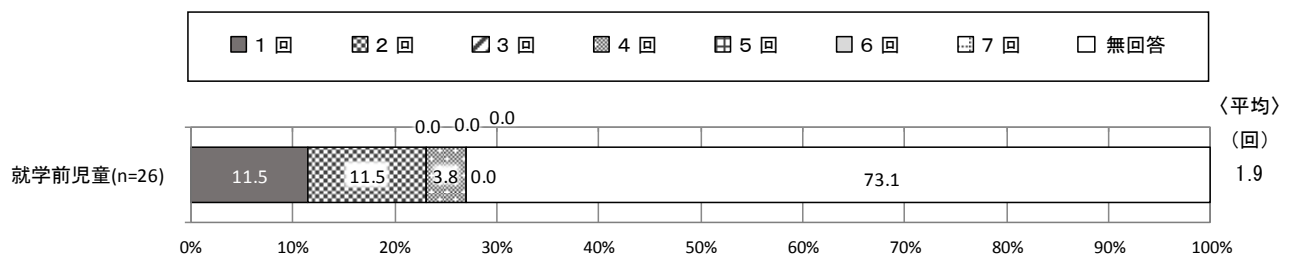
■ 子育て支援センターの利用頻度（1週あたり）



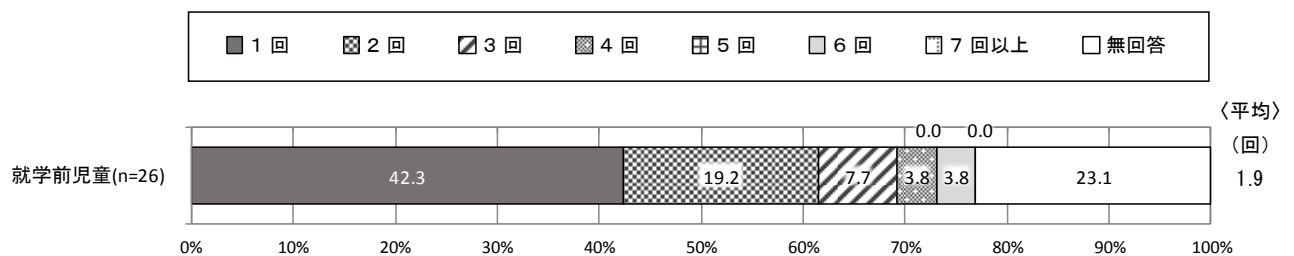
■ 子育て支援センターの利用頻度（1月あたり）



■ その他鳥栖市内で実施している類似事業の利用頻度（1週あたり）



■ その他鳥栖市内で実施している類似事業の利用頻度（1月あたり）

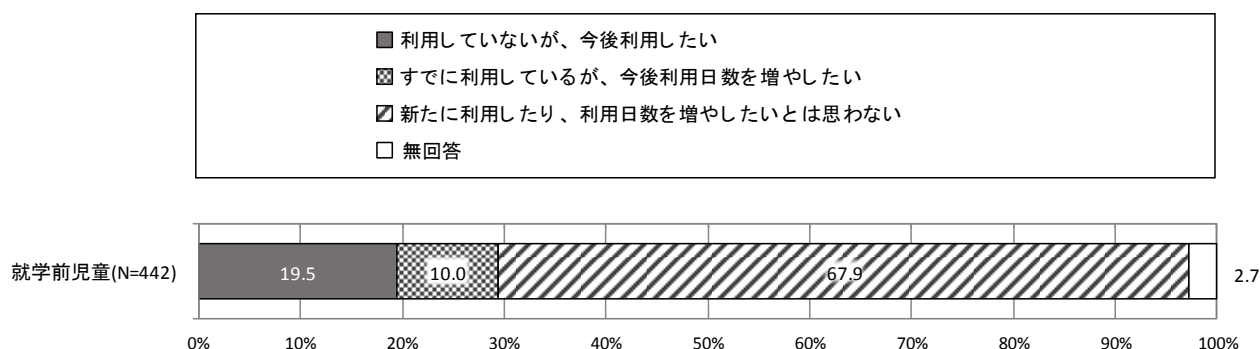


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

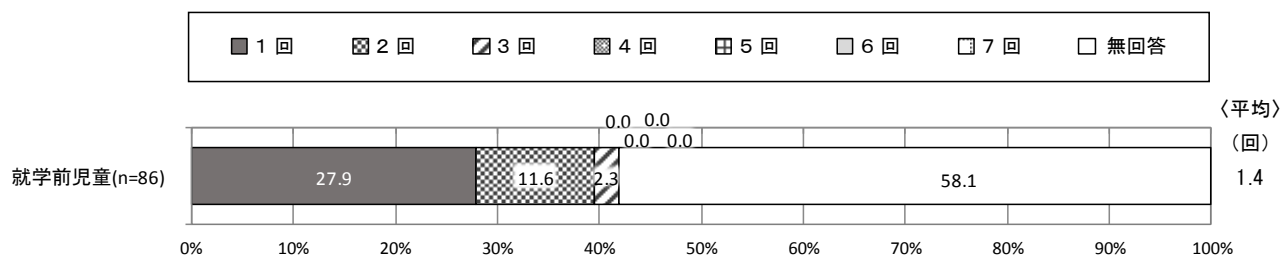
設問 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.9%と最も多くなっています。
- 「利用していないが、今後利用したい」人のうち、希望する1週あたりの利用回数の平均は1.4回、1月あたりの利用回数の平均は2.4回となっています。
- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人のうち、希望する1週あたりの利用回数の平均は1.7回、1月あたりの利用回数の平均は4.5回となっています。

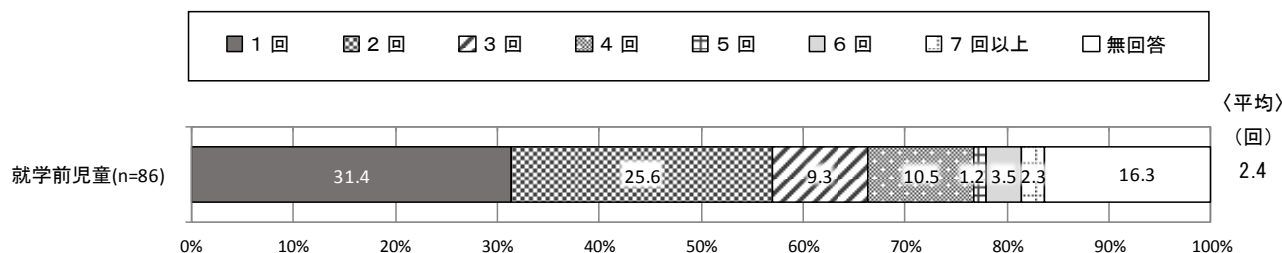
■ 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



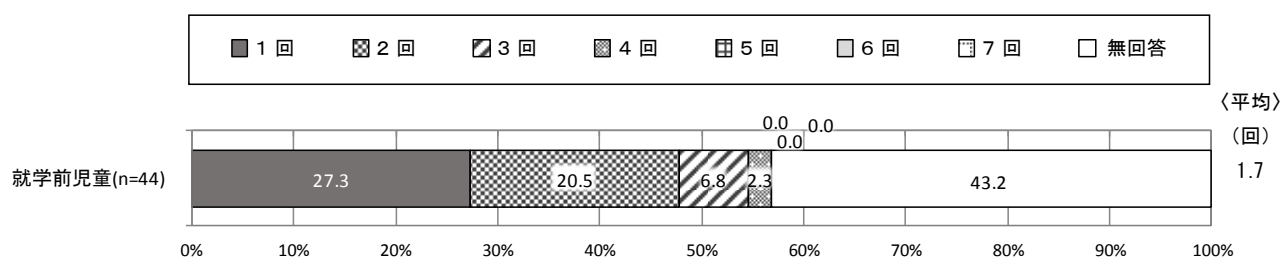
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望（1週あたり）



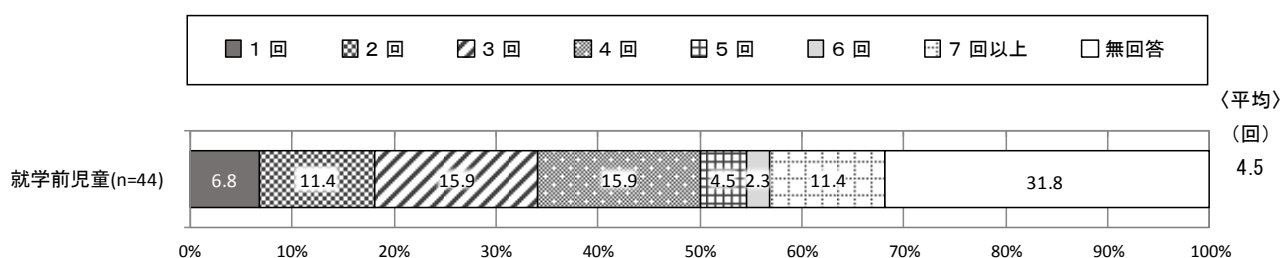
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望（1月あたり）



■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望（1週あたり）



■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望（1月あたり）



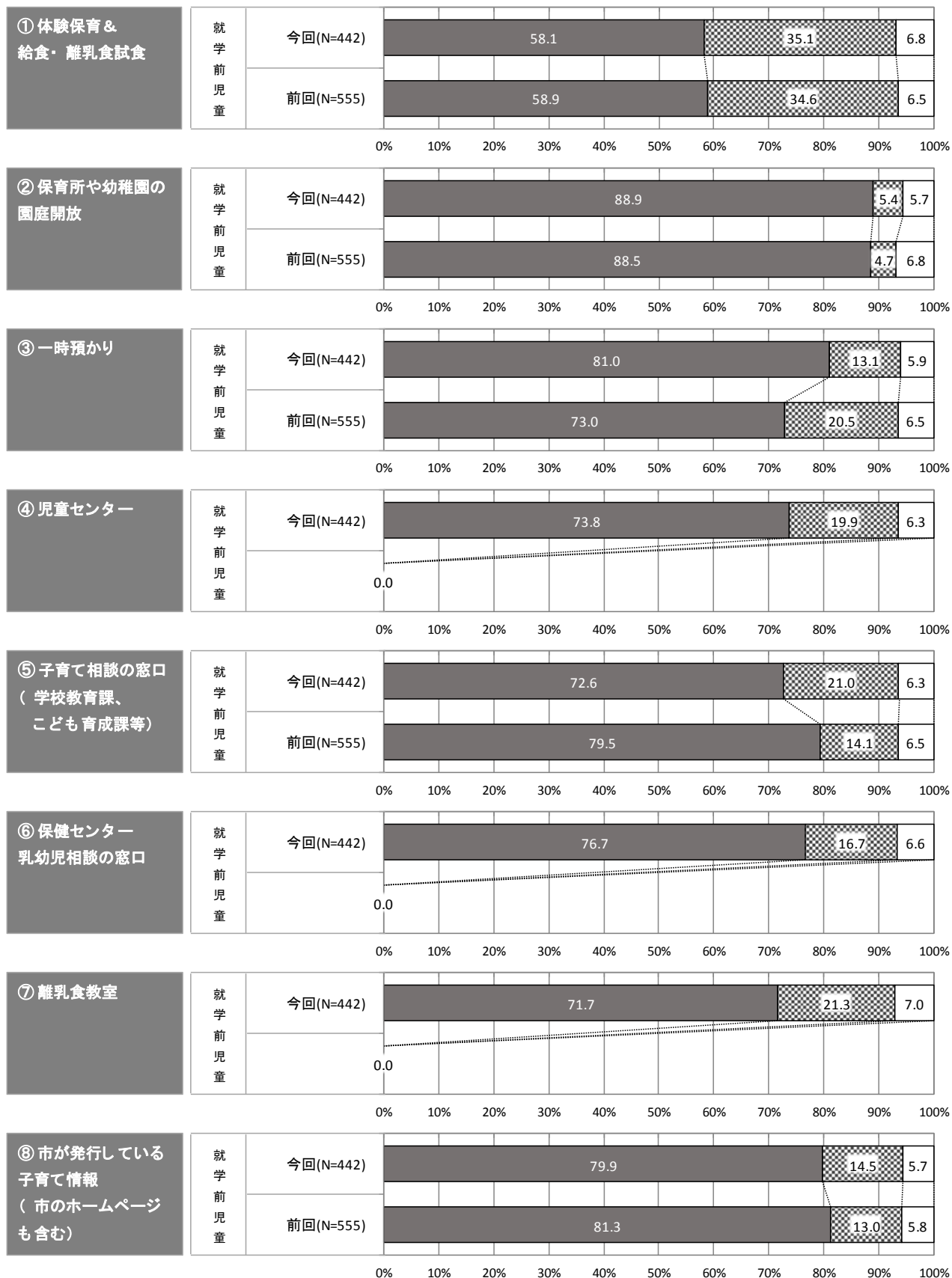
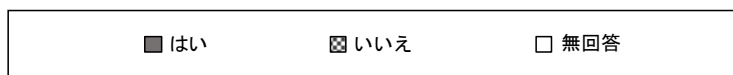
(3) 地域の子育てに関する事業の認知度と利用状況、今後の利用希望

設問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、それぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

- 認知度が最も高いのは、「保育所や幼稚園の園庭開放」の88.9%、次いで「一時預かり」が81.0%、「市が発行している子育て情報」が79.9%となっています。前回調査と比較すると「一時預かり」の認知度が上がっています。
- 利用状況が最も多いのは、「市が発行している子育て情報」の55.7%、次いで「保育所や幼稚園の園庭開放」が45.7%、「離乳食教室」が43.2%となっています。前回調査と比較すると「子育て相談の窓口」の利用状況が減少しています。
- 今後の利用希望が最も多いのは、「市が発行している子育て情報」の65.4%、次いで「児童センター」が50.9%、「子育て相談の窓口」が45.9%となっています。前回調査と比較すると全体の利用希望は減少傾向にあります。

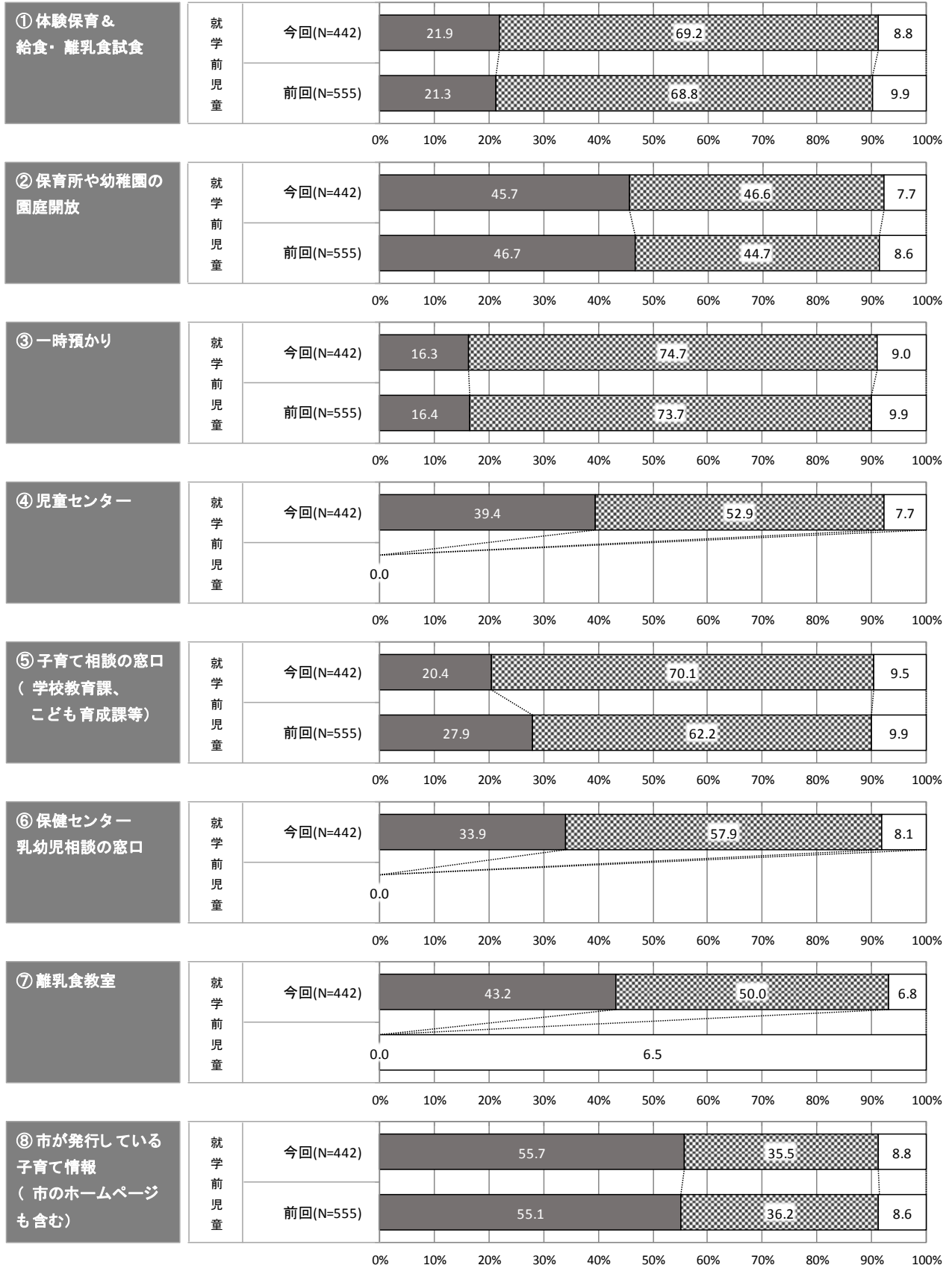
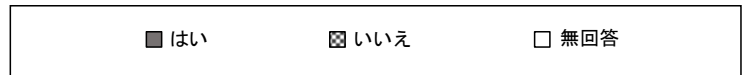
■ 地域の子育てに関する事業の認知度

A. 知っている



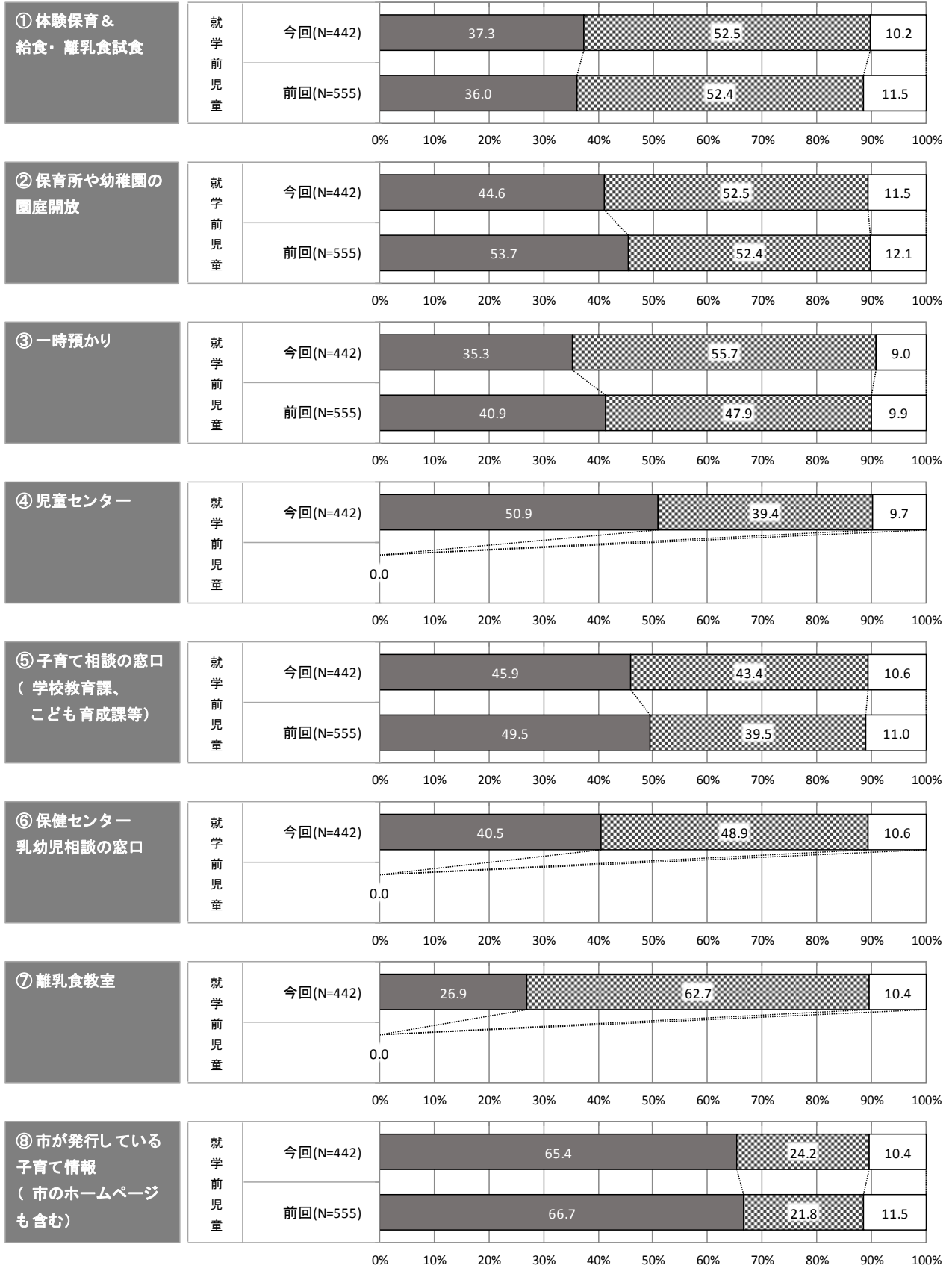
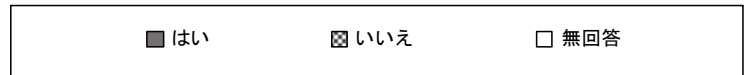
■ 地域の子育てに関する事業の利用状況

B. これまでに利用したことがある



■ 地域の子育てに関する事業の利用希望

C. 今後利用したい



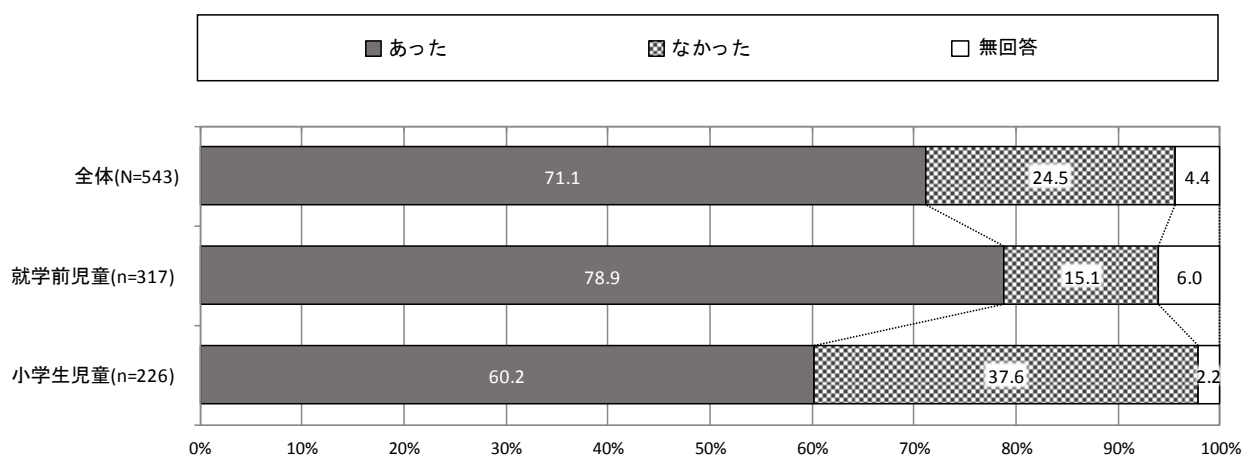
8. 子どもが病気の際の対応について

(1) 子どもが病気等の際に、教育・保育の事業が利用できなかった経験の有無

設問 この1年間に、宛名のお子さんが教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 就学前児童は、平日に定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 全体では、子どもが教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」割合は、71.1%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、子どもが教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」割合は、就学前児童の方が多くなっています。



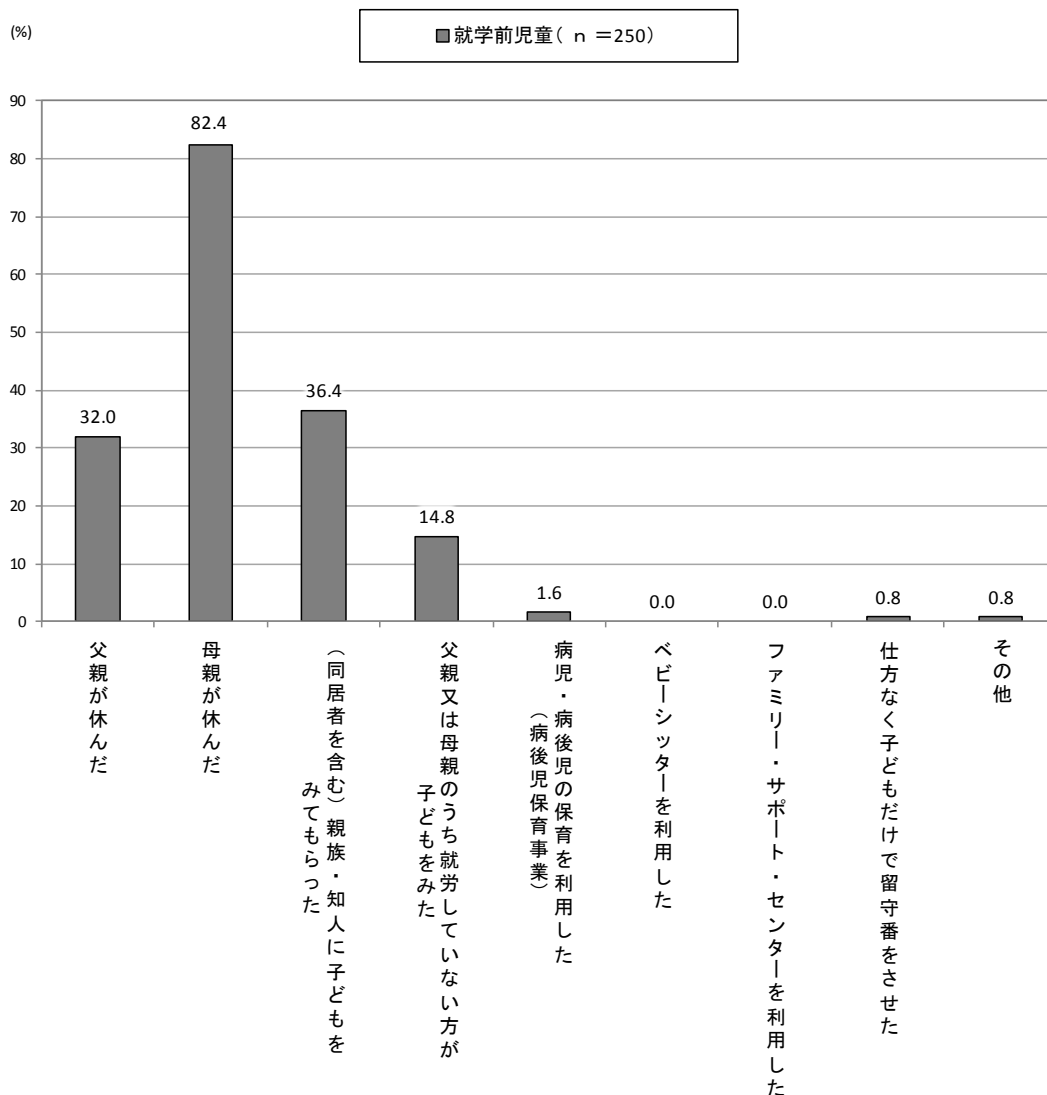
(2) 子どもが病気等の際に、教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法と日数

設問 宛名のお子さんが、病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

※ 子どもが病気等の際に、教育・保育の事業が利用できなかった方

- 就学前児童は、「母親が休んだ」が82.4%と最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が36.4%、「父親が休んだ」が32.0%となっています。また、対処方法の年間の平均日数について、「母親が休んだ」は8.1日、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は7.1日%、「父親が休んだ」は3.2日となっています。
- 小学生児童は、「母親が休んだ」が73.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が26.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が16.2%となっています。また、対処方法の年間の平均日数について、「母親が休んだ」は3.0日、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は2.4日%、「父親が休んだ」は1.6日となっています。

■ 子どもの病気やケガの時の、通常の事業が利用できない場合の対処方法（就学前児童）

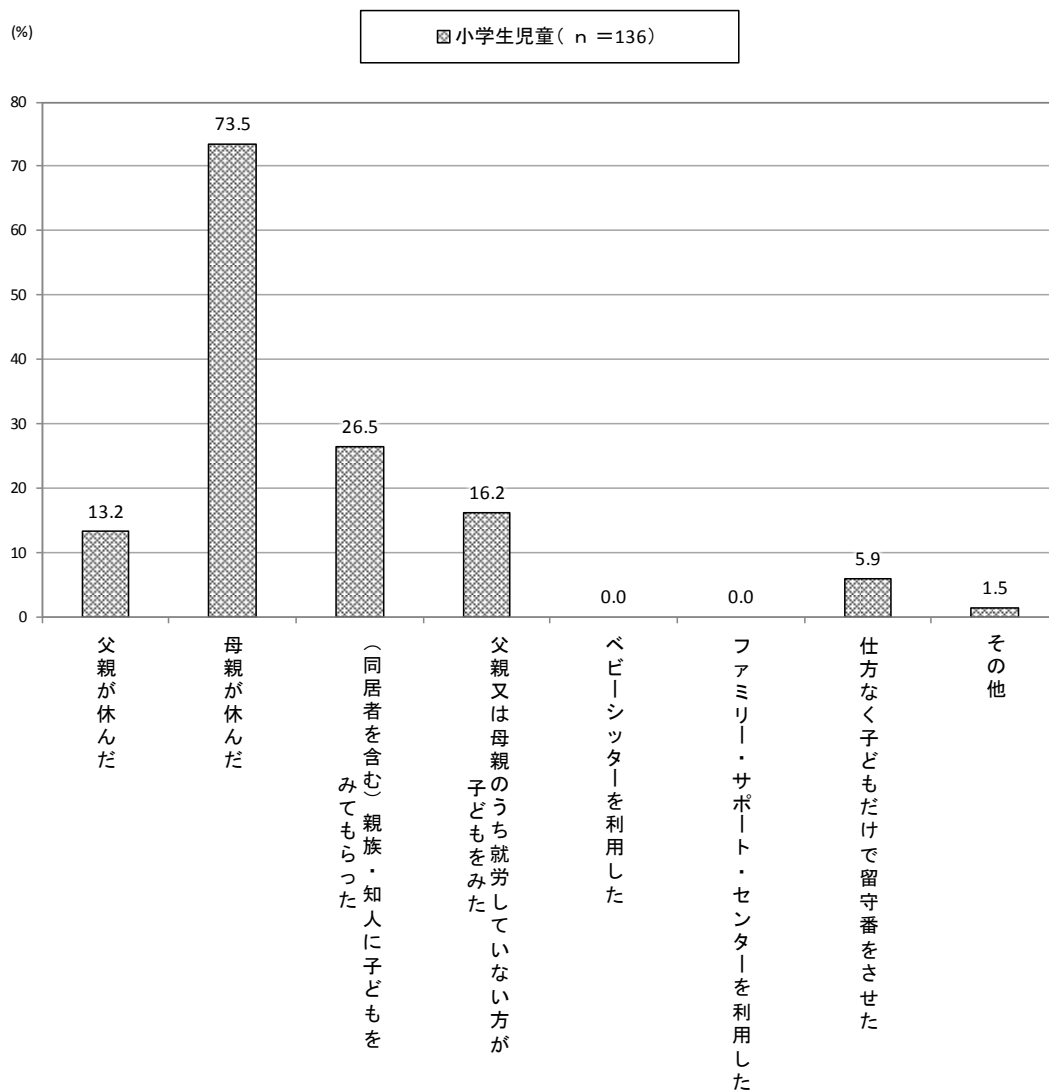


■ 対処方法別・日数（就学前児童）

n = 250

	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就学前児童	父親が休んだ	80	32.0	69	86.3	6	7.5	0	0.0	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	5.0	3.2
	母親が休んだ	206	82.4	101	49.0	61	29.6	15	7.3	11	5.3	3	1.5	2	1.0	2	1.0	11	5.3	8.1
	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	91	36.4	58	63.7	19	20.9	1	1.1	6	6.6	2	2.2	0	0.0	1	1.1	4	4.4	7.1
	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	37	14.8	18	48.6	12	32.4	1	2.7	2	5.4	0	0.0	0	0.0	1	2.7	3	8.1	8.3
	病児・病後児の保育を利用した (病後児保育事業)	4	1.6	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4.3
	ベビーシッターを利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.8	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.0
	その他	2	0.8	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	15.0

■ 子どもの病気やケガの時の、通常の事業が利用できない場合の対処方法（小学生児童）



■ 対処方法別・日数（小学生児童）

n = 136

	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均(日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小学生児童	父親が休んだ	18	13.2	18	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.6
	母親が休んだ	100	73.5	87	87.0	9	9.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.0	3.0
	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	36	26.5	31	86.1	2	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	8.3	2.4
	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	22	16.2	16	72.7	6	27.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4.1
	ベビーシッターを利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	5.9	7	87.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3.3
その他	2	1.5	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.5	

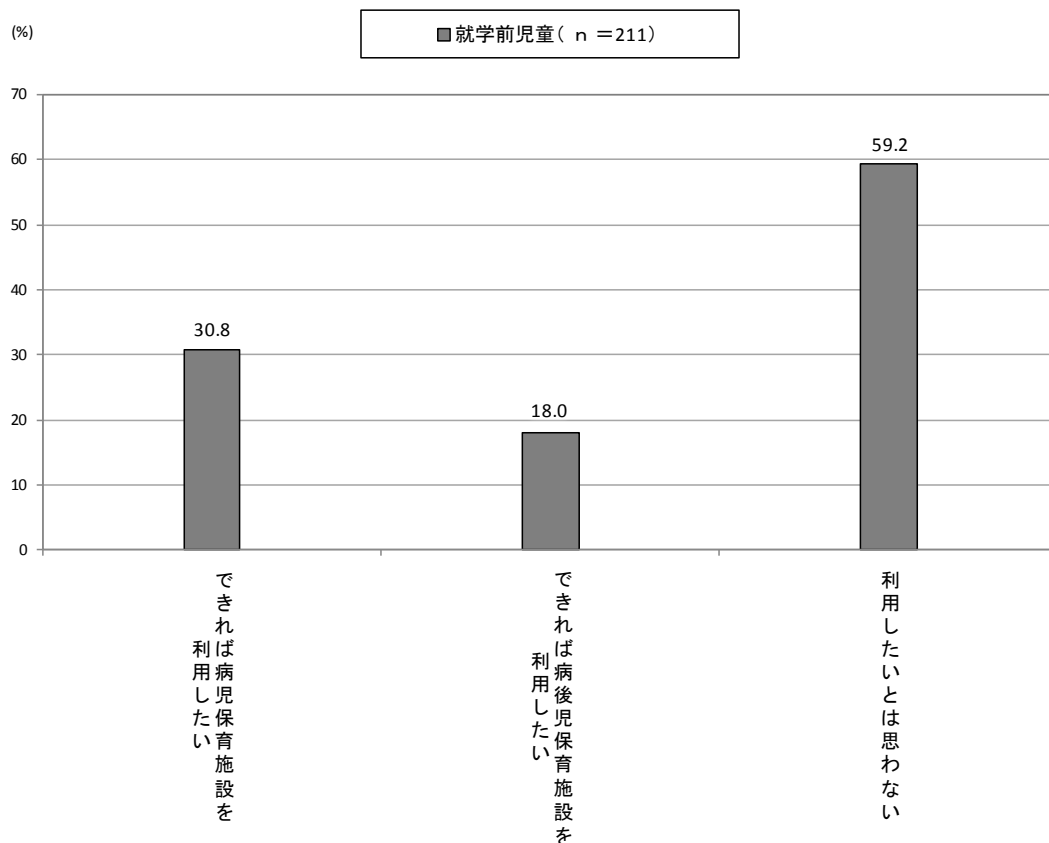
(3) 病児・病後児保育等の利用希望と希望日数<就学前児童のみ>

設問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

※ 子どもが病気等の際に、父親又は母親が休んだ方

- 就学前児童は、「利用したいと思わない」が59.2%と最も多くなっています。また、「できれば病児保育施設を利用したい」が30.8%と病後児保育施設より多くなっています。
- 病児保育施設を希望する人の年間利用日数の平均は5.8日、病後児保育施設を希望する人の年間利用日数の平均は4.2日となっています。

■ 病児・病後児保育事業の利用希望（就学前児童）



■ 病児・病後児保育事業の年間利用日数の希望（就学前児童）

n= 211

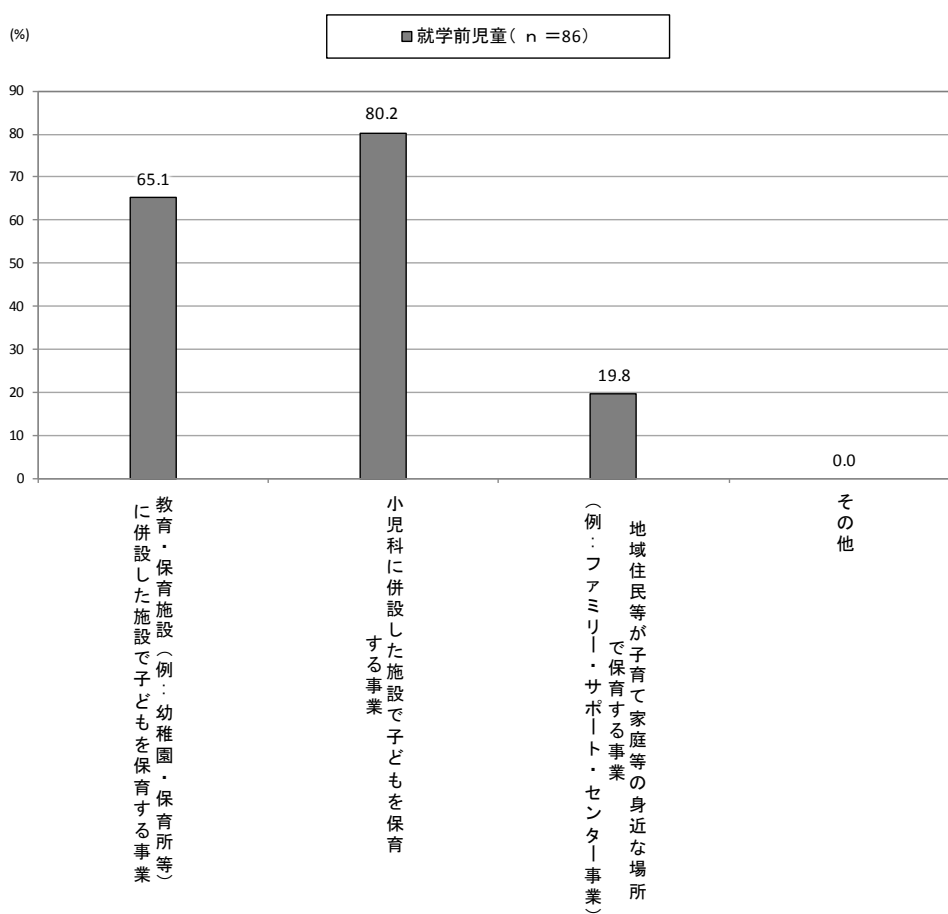
	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～25日		26～30日		31日以上		無回答		平均 (日)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
就学前児童 病児保育事業	65	30.8	36	55.4	18	27.7	3	4.6	2	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	9.2	5.8
就学前児童 病後児保育事業	38	18.0	29	76.3	4	10.5	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	10.5	4.2

(4) 病児・病後児保育等の希望する事業形態<就学前児童のみ>

設問 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 子どもが病気等の際に、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい方

- 就学前児童は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が80.2%と最も高く、次いで「教育・保育施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.1%となっています。

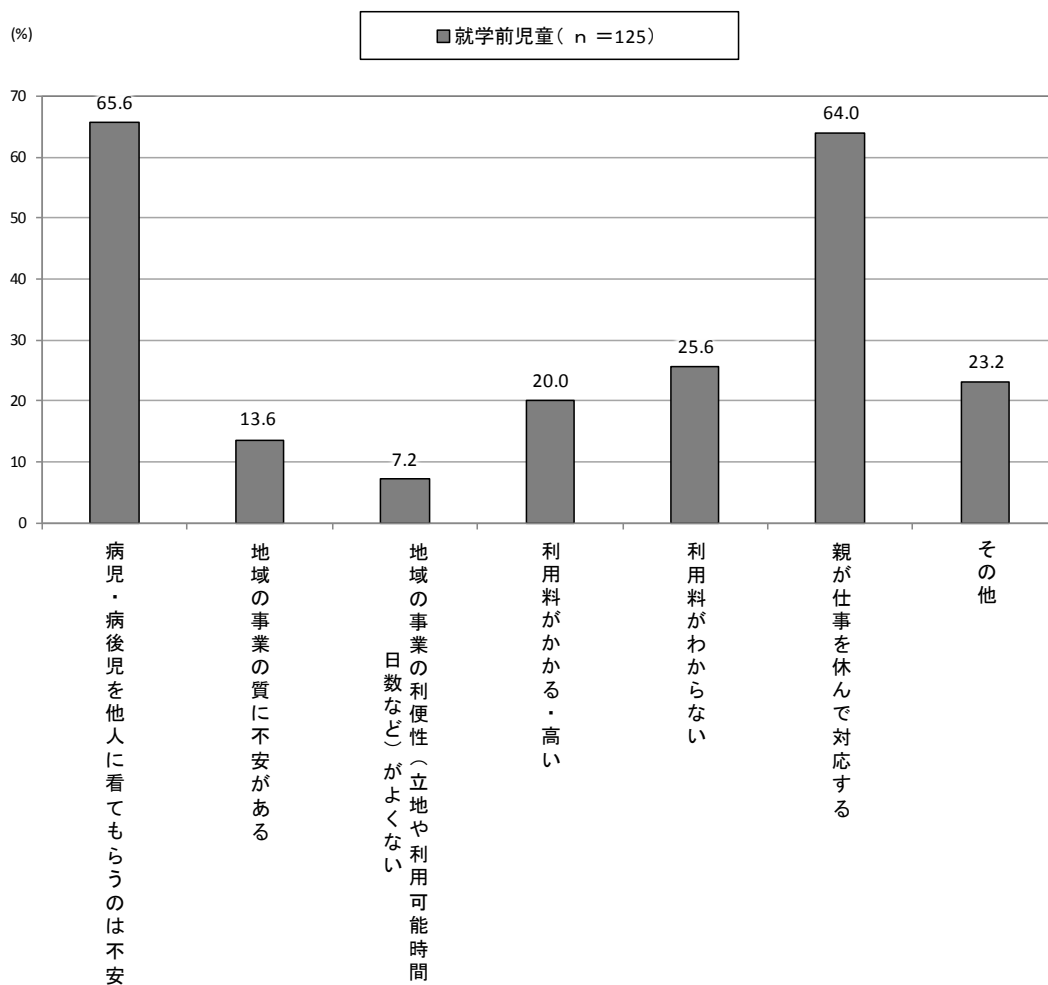


(5) 病児・病後児保育等を利用したくない理由<就学前児童のみ>

設問 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 子どもが病気等の際に、病児・病後児保育施設等を利用したくない方

- 就学前児童は、「病児・病後を他人に看てもらうのは不安」が65.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が64.0%、「利用料がわからない」が25.6%となっています。

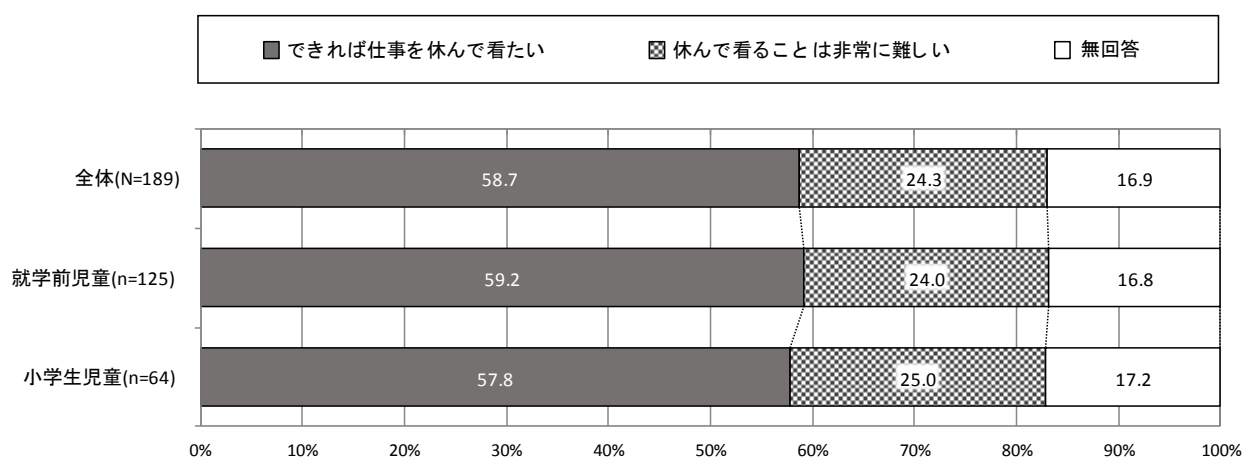


(6) 父母いずれかが仕事を休んで看たいか

設問 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看(み)たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、仕事を休んで看(み)たかった日数についてもご記入ください。

※ 子どもが病気等の際に、父親又は母親が休む以外の対応をした方

- 全体では、「できれば仕事を休んで看たい」が 58.7% となっています。
- 父母が仕事を休んで看たかった日数の平均は 5.0 日となっており、就学前児童（平均 6.1 日）と小学生児童（平均 2.8 日）を比較すると、就学前児童の方が日数は長くなっています。



■ 父母が仕事を休んで看たかった日数

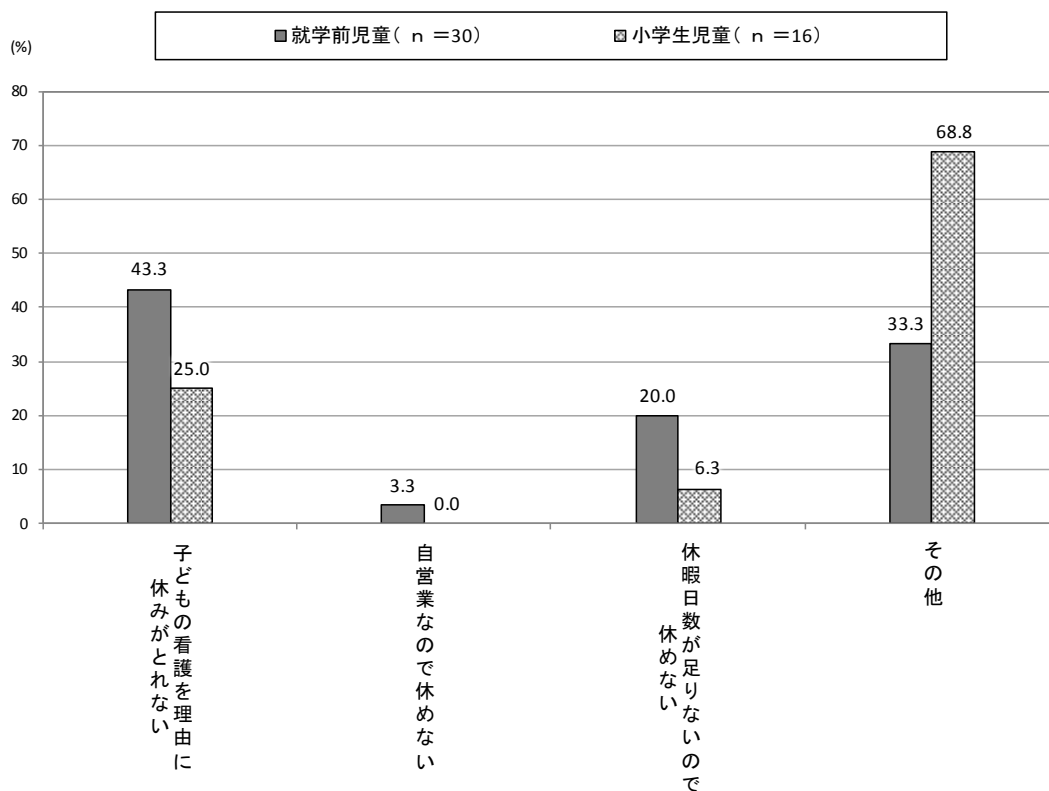
	1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～25日		26～30日		31日以上		無回答		平均 (日)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
全体(N=111)	76	68.5	11	9.9	1	0.9	3	2.7	0	0.0	1	0.9	0	0.0	19	17.1	5.0
就学前児童(n=74)	46	62.2	9	12.2	1	1.4	3	4.1	0	0.0	1	1.4	0	0.0	14	18.9	6.1
小学生児童(n=37)	30	81.1	2	5.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	6.8	2.8

(7) 父母いずれかが仕事を休んで看ることが難しい理由

設問 そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 子どもが病気等の際に、父親又は母親が休んで看ることが難しい方

- 就学前児童は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が43.3%と最も多く、次いで「その他」が33.3%、「休暇日数が足りないので休めない」が20.0%となっています。また、小学生児童と比べると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」は小学生児童より大きく上回っています。
- 小学生児童は、「その他」が68.8%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が25.0%、「休暇日数が足りないので休めない」が6.3%となっています。



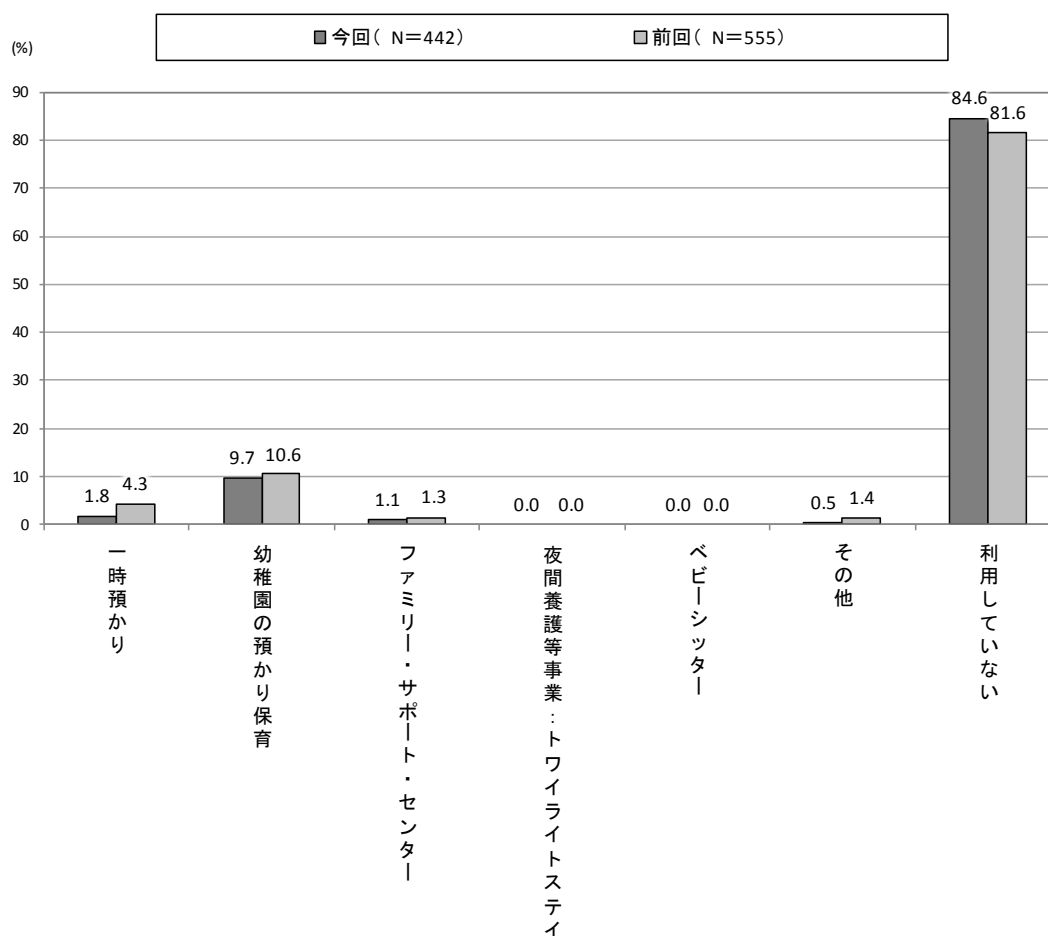
9. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

(1) 不定期的に利用している事業の有無

設問 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（買い物、習い事など）、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

- 就学前児童と小学生ともに、「利用していない」割合が最も多く、それぞれ 84.6%、96.9%となっており、前回よりも若干増加しています。
- 就学前児童で利用されているのは、「幼稚園の預かり保育」が 9.7%と最も多く、次いで「一時預かり」が 1.8%、「ファミリー・サポート・センター」が 1.1%となっています。また、1年間の利用日数の平均は、「幼稚園の預かり保育」が 57.4 日、「ファミリー・サポート・センター」が 17.6 日、「一時預かり」が 12.5 日となっています。
- 小学生児童で利用されているのは、「一時預かり」と「その他」がそれぞれ 0.4%となっています。

■ 不定期に利用している事業の利用状況（就学前児童）

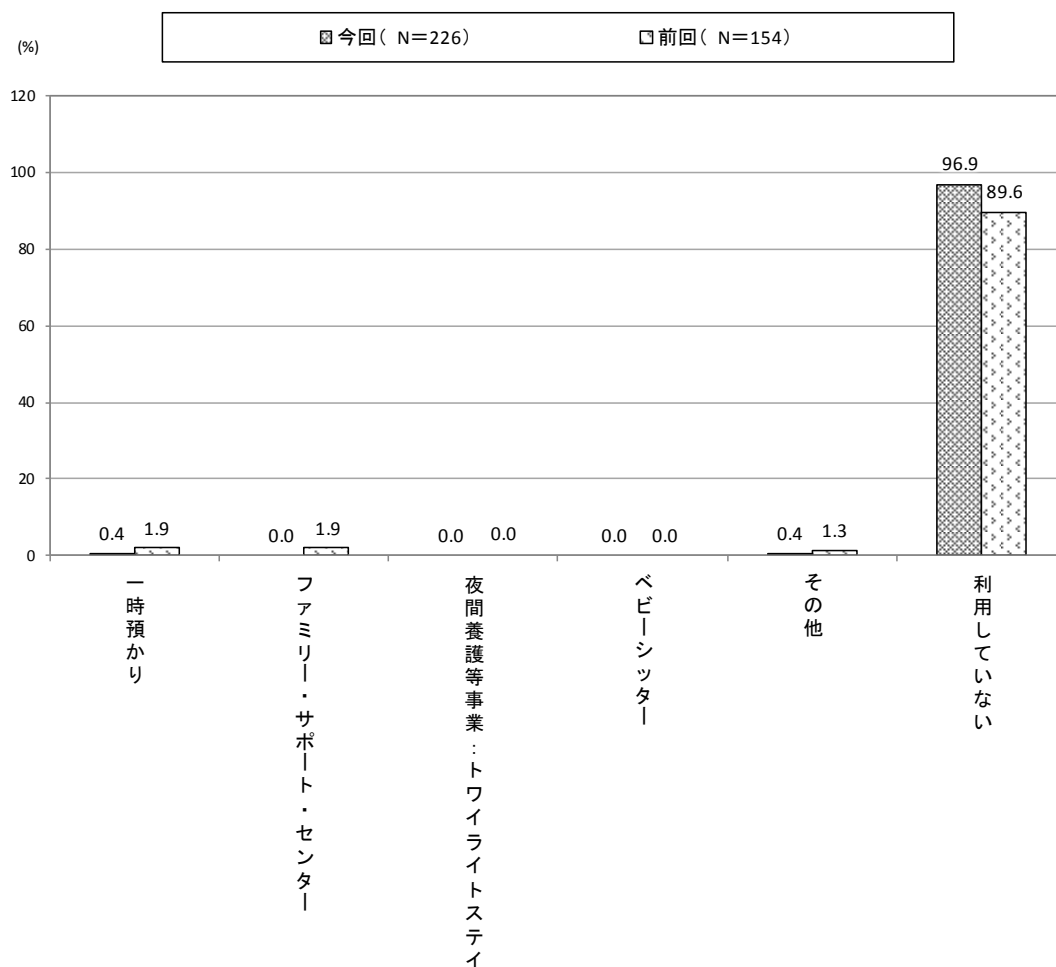


■ 不定期に利用している事業の年間利用日数（就学前児童）

N= 442

	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就 学 前 児 童	一時預かり	8	1.8	3	37.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	37.5	1	12.5	57.4
	幼稚園の預かり保育	43	9.7	19	44.2	10	23.3	1	2.3	4	9.3	2	4.7	3	7.0	1	2.3	3	7.0	12.5
	ファミリー・サポート・センター	5	1.1	3	60.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	17.6
	夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	ベビーシッター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	2	0.5	2	###	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.5

■ 不定期的に利用している事業の利用状況（小学生児童）



■ 不定期的に利用している事業の年間利用日数（小学生児童）

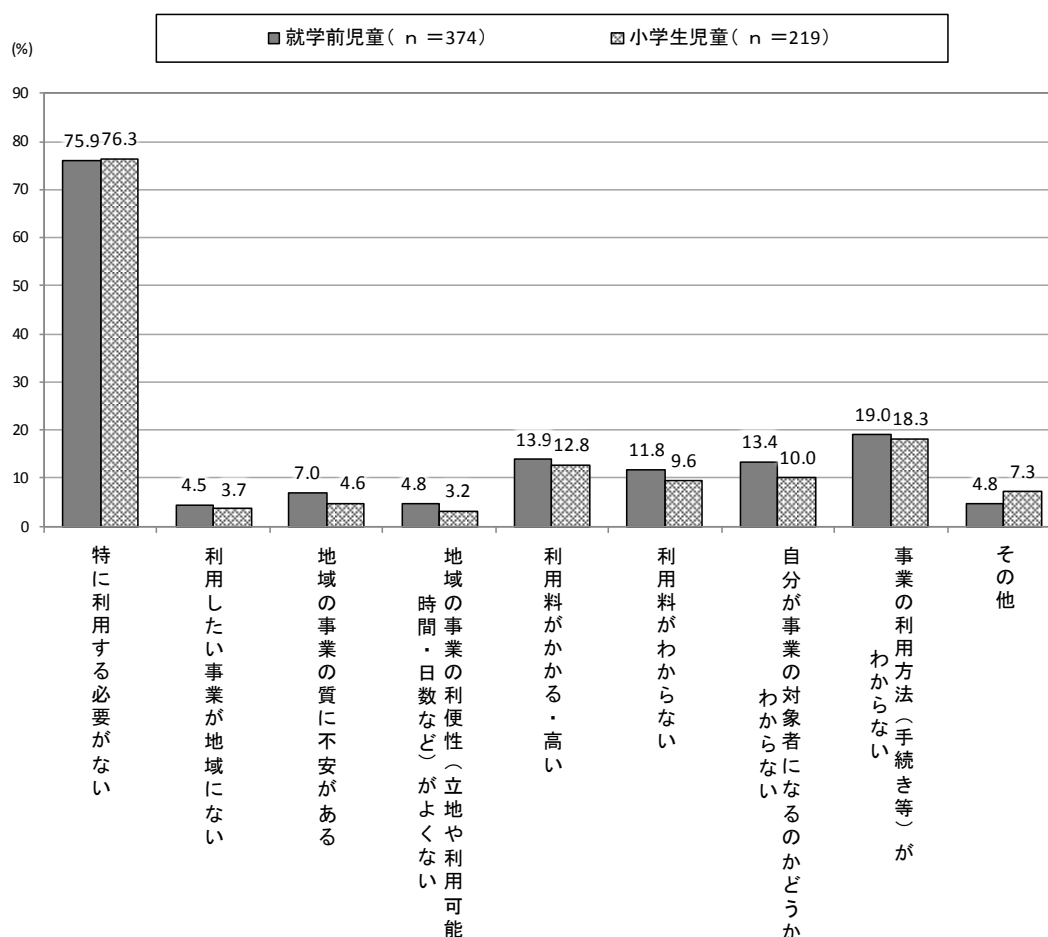
	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)				
小学生児童	一時預かり	1	0.4	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0
	ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	ベビーシッター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	72.0

(2) 不定期に事業を利用していない理由

設問 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 不定期に教育・保育事業を利用していない方

- 就学前児童は、「特に利用する必要がない」が75.9%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が19.0%、「利用料がかかる・高い」が13.9%となっています。
- 小学生児童は、「特に利用する必要がない」が76.3%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が18.3%、「利用料がかかる・高い」が12.8%となっています。

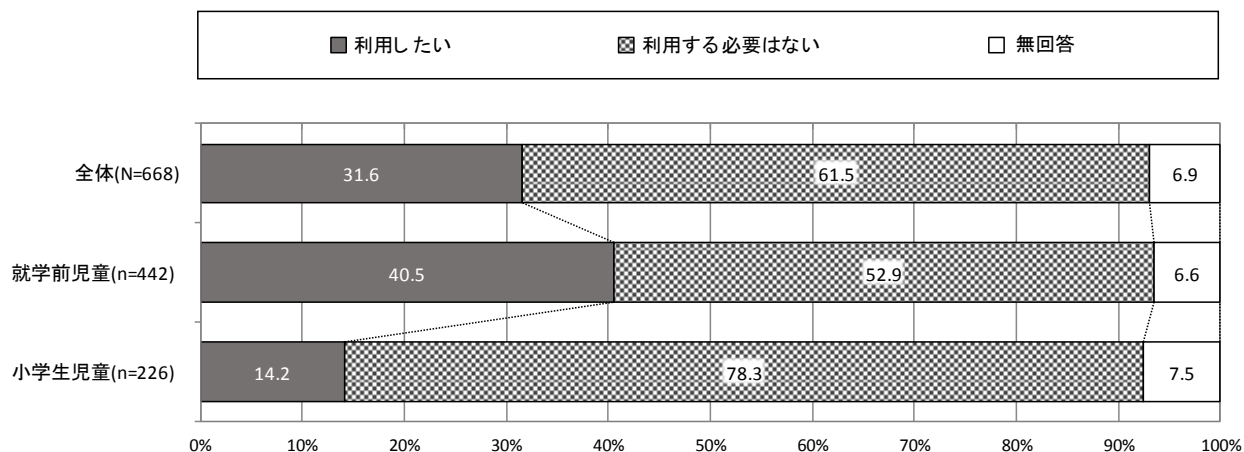


(3) 保護者の用事により、利用の必要がある事業の利用目的と利用日数の意向

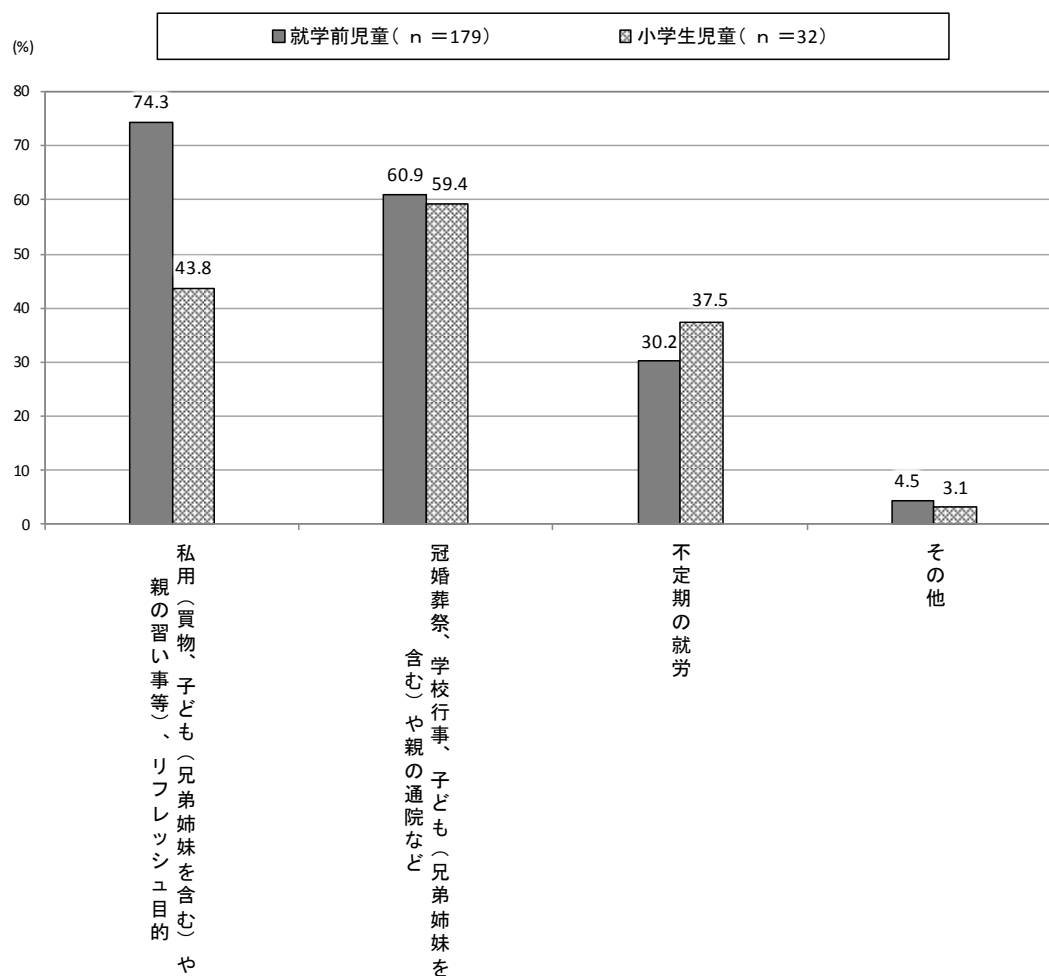
設問 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。

- 全体では、「利用したい」が31.6%、「利用する必要はない」が61.5%となっています。また、就学前児童と小学生児童を比較すると、「利用したい」割合は、就学前児童の方が多くなっています。
- 就学前児童は、「利用したい」が40.5%となっており、そのうち、利用目的は「私用（買物、子どもや親の習い事等）リフレッシュ目的」が74.3%と最も多く、小学生児童と比較すると大きく上回っています。また、希望する年間利用日数の平均は、11.8日となっています。
- 小学生児童は、「利用したい」が14.2%となっており、そのうち、利用目的は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が59.4%と最も多くなっています。また、希望する年間利用日数の平均は、10.9日となっています。

■ 利用希望



■ 事業を利用する目的



■ 利用の必要がある事業の年間利用日数の希望（目的別）

n = 179

	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就 学 前 児 童	私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	133	74.3	60	45.1	20	15.0	28	21.1	3	2.3	10	7.5	1	0.8	7	5.3	4	3.0	11.8
	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	109	60.9	72	66.1	18	16.5	12	11.0	1	0.9	3	2.8	0	0.0	0	0.0	3	2.8	6.0
	不定期の就労	54	30.2	24	44.4	9	16.7	4	7.4	1	1.9	5	9.3	2	3.7	9	16.7	0	0.0	28.6
	その他	8	4.5	2	25.0	1	12.5	0	0.0	1	12.5	1	12.5	0	0.0	1	12.5	2	25.0	51.2

n = 32

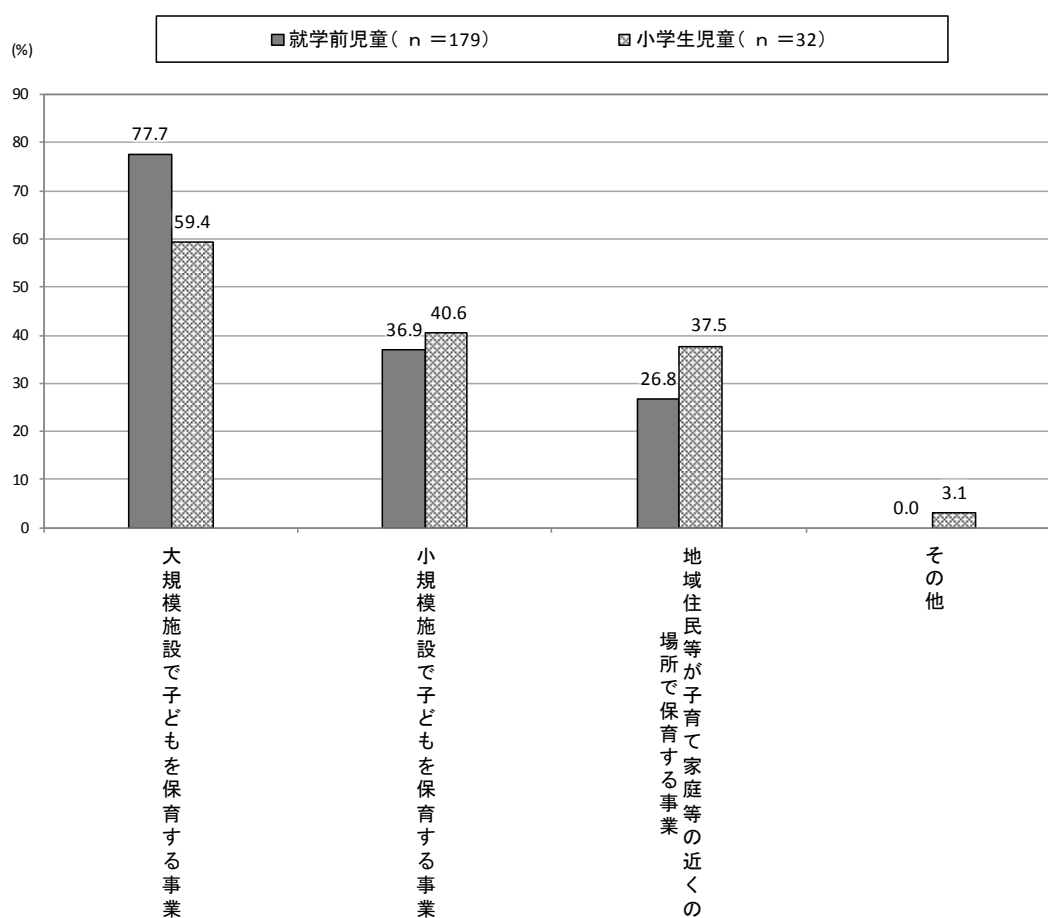
	回答数		1～5日		6～10日		11～15日		16～20日		21～30日		31～40日		41日以上		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小 学 生 児 童	私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	14	43.8	4	28.6	4	28.6	1	7.1	2	14.3	0	0.0	0	0.0	2	14.3	1	7.1	19.5
	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	19	59.4	12	63.2	4	21.1	0	0.0	1	5.3	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	10.9
	不定期の就労	12	37.5	5	41.7	3	25.0	1	8.3	0	0.0	2	16.7	0	0.0	0	0.0	1	8.3	10.2
	その他	1	3.1	0	0.0	0	0.0	1	###	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12.0

(4) 希望する事業の形態

設問 下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 保護者の用事により、教育・保育事業を利用したい方

- 就学前児童は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が77.7%と最も多く、小学生児童と比較すると、その割合は大きく上回っています。
- 小学生児童は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が59.4%と最も多く、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合は、就学前児童と比較すると10.7%上回っています。

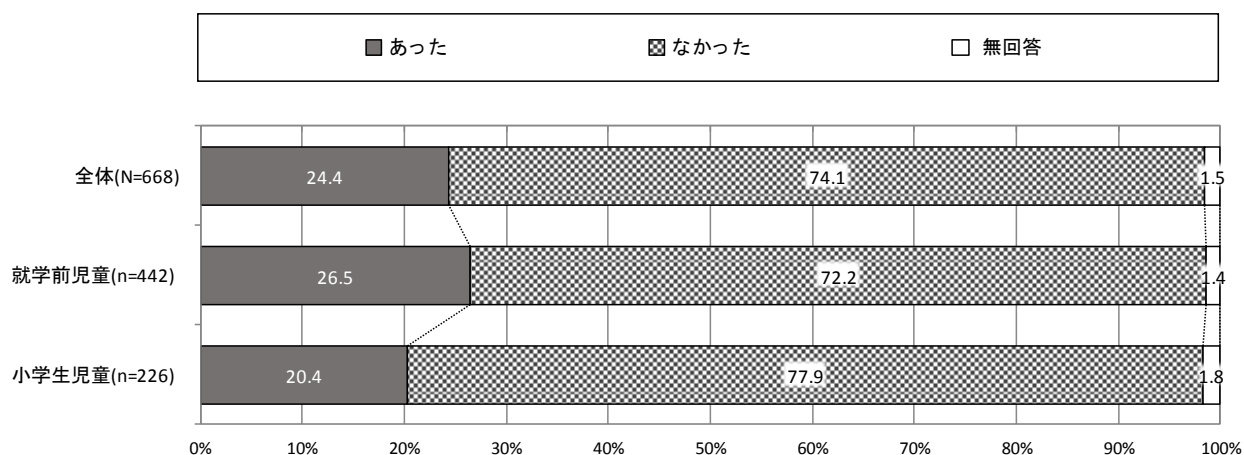


(5) 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験の有無と日数

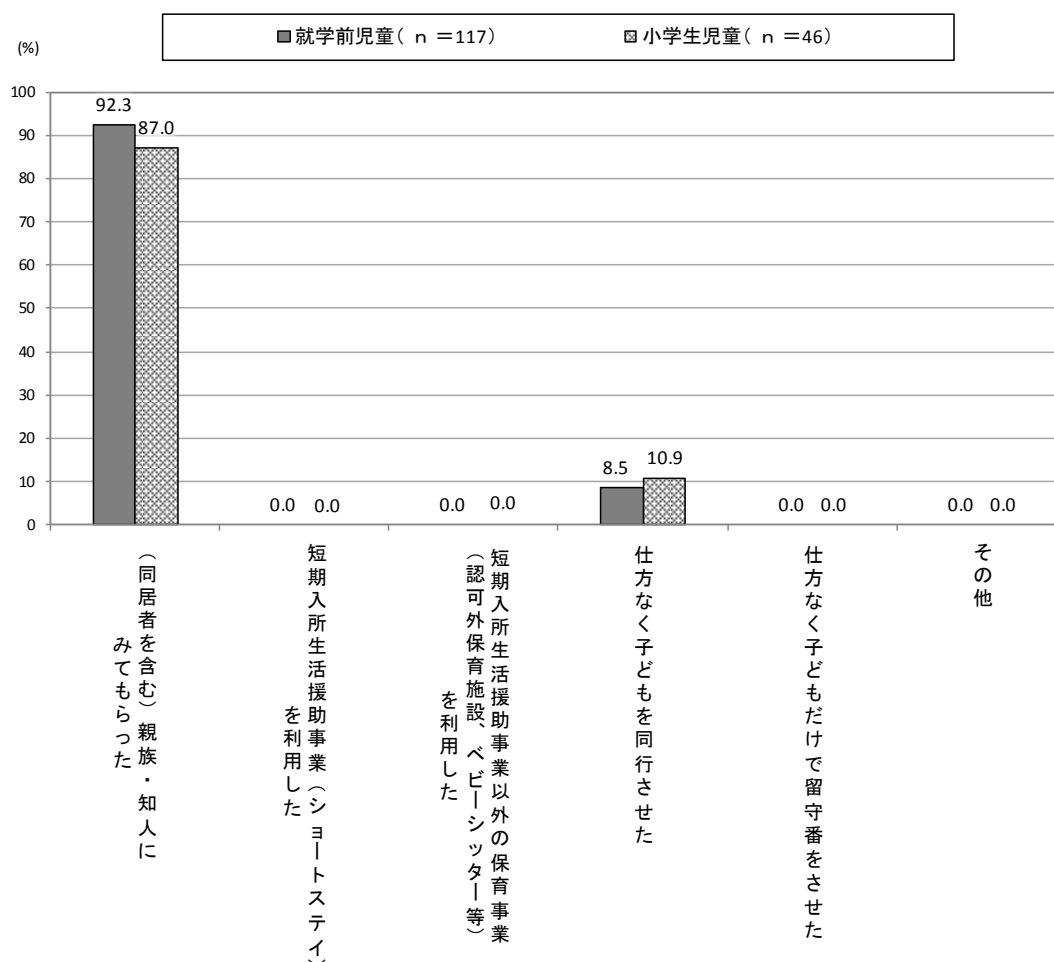
設問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

- 全体では、「あった」が24.4%、「なかった」が74.1%となっています。就学前児童と小学生児童を比較すると、「あった」割合は就学前児童の方が6.1%上回っています。
- 就学前児童で「あった」と回答した人のうち、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が92.3%と最も多くなっています。また、希望する年間利用日数の平均は、7.5日となっています。
- 小学生児童で「あった」と回答した人のうち、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が87.0%と最も多くなっています。また、希望する年間利用日数の平均は、4.1日となっています。

■ 泊りがけで家族以外に預けた経験



■ 泊りがけで家族以外に預けた方法



■ 泊りがけで家族以外に預けた方法別の日数

n = 117

	回答数		1~5日		6~10日		11~15日		16~20日		21~30日		31~40日		41日以上		無回答		平均(日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就学前児童	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	108	92.3	70	64.8	22	20.4	3	2.8	3	2.8	3	2.8	2	1.9	2	1.9	3	2.8	7.5
	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	仕方なく子どもを同行させた	10	8.5	8	80.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3.3
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0

n = 46

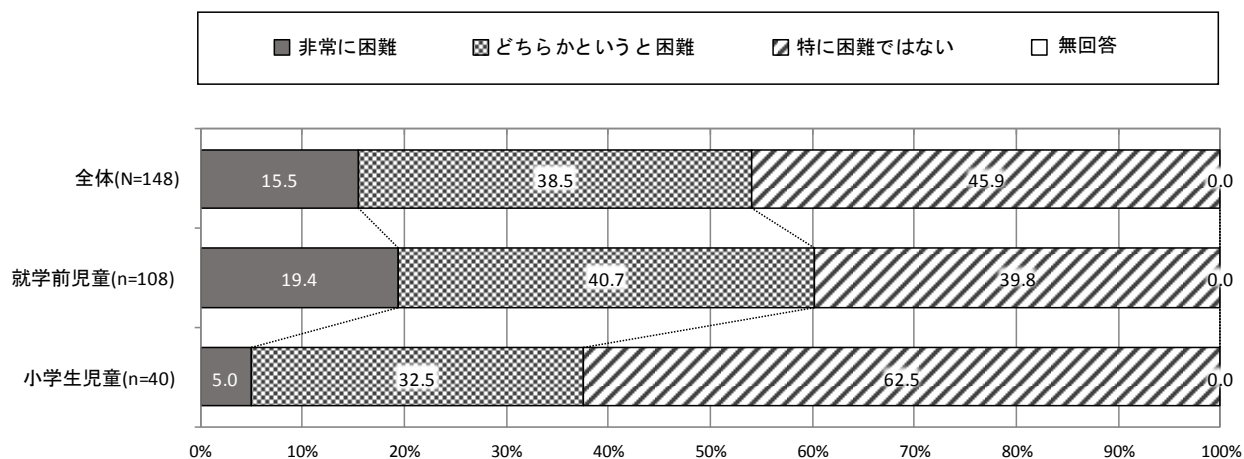
	回答数		1~5日		6~10日		11~15日		16~20日		21~30日		31~40日		41日以上		無回答		平均(日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小学生児童	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	40	87.0	30	75.0	5	12.5	3	7.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.0	4.1
	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	仕方なく子どもを同行させた	5	10.9	4	80.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	1.8
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0

(6) 親族・知人にみてもらったときの困難度

設問 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 保護者の用事により、子どもを親族・知人にみてもらった方

- 全体では、「特に困難ではない」が 45.9%と最も多く、次いで「どちらかという困難」が 38.5%、「非常に困難」が 15.5%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「非常に困難」と「どちらかという困難」の割合は、就学間児童の方がそれぞれ 14.4%、8.2%上回っています。



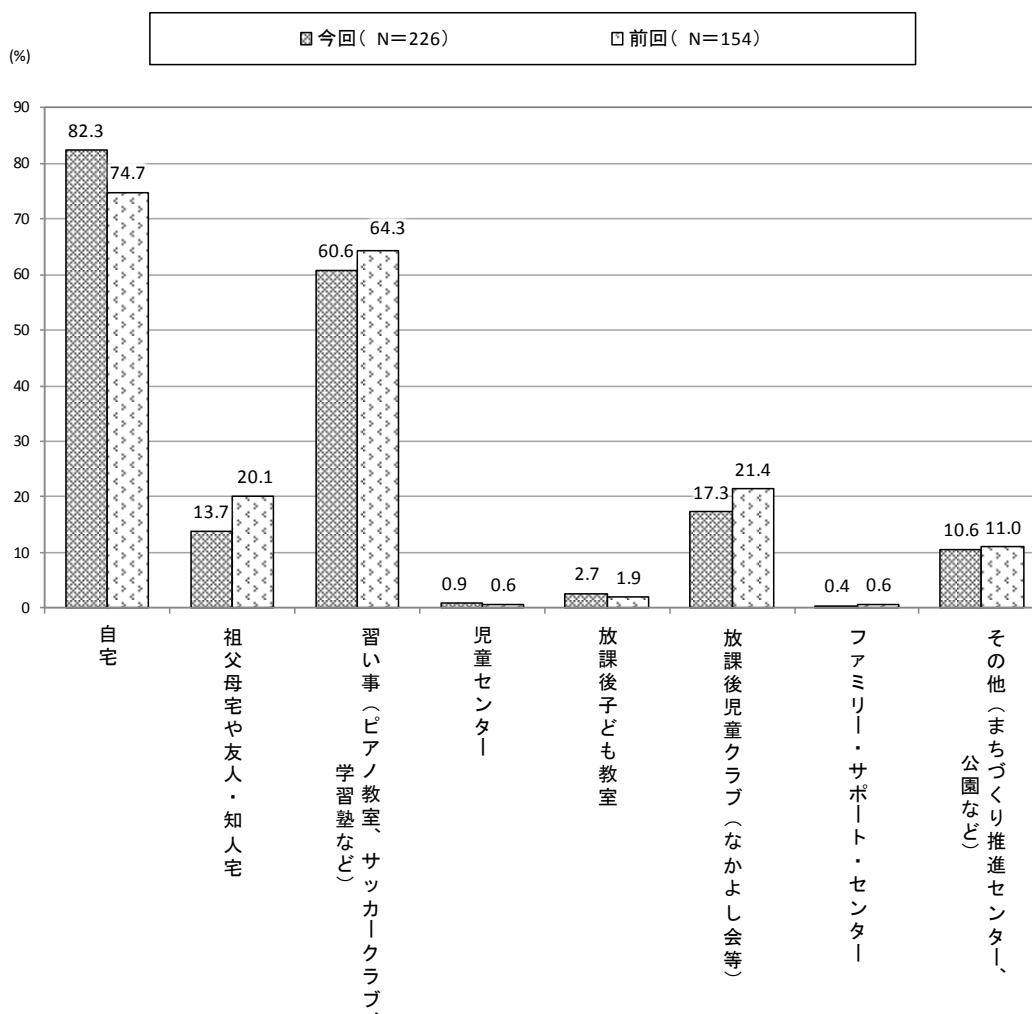
10. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方の現状<小学生児童のみ>

設問 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、現在、どのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。

- 「自宅」が82.3%と最も多く、次いで「習い事」が60.6%、「放課後児童クラブ」が17.3%となっています。前回と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が、6.4%と最も減少しています。
- 現在、放課後に過ごしている場所の週当たり利用日数の平均は、「放課後児童クラブ」が4.6日、「自宅」が3.7日、「習い事」が2.3日となっています。また、「放課後児童クラブ」の利用終了時間の平均は17時12分となっています。

■ 子どもが現在、放課後過ごしている場所（前回と比較）

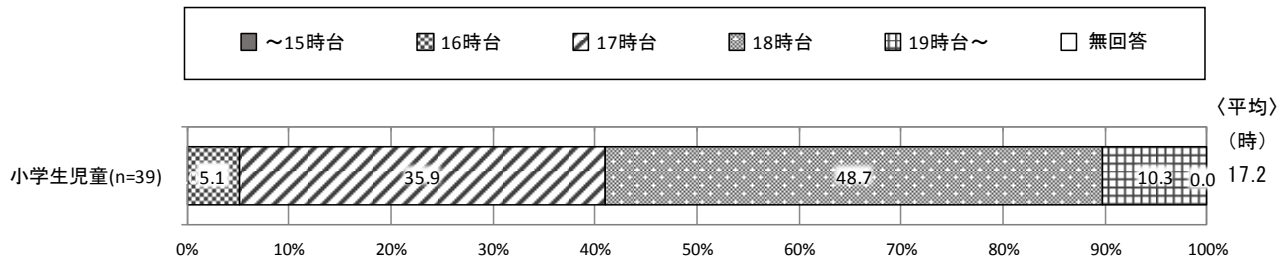


■ 子どもが現在、放課後過ごしている場所の週当たりの利用日数

N= 226

	回答数		1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小学生 児童	自宅	186	82.3	23	12.4	35	18.8	26	14.0	20	10.8	60	32.3	5	2.7	17	9.1	0	0.0	3.7
	祖父母宅や友人・知人宅	31	13.7	19	61.3	4	12.9	1	3.2	2	6.5	5	16.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.0
	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など）	137	60.6	30	21.9	51	37.2	35	25.5	12	8.8	8	5.8	1	0.7	0	0.0	0	0.0	2.3
	児童センター	2	0.9	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.8
	放課後子ども教室	6	2.7	4	66.7	1	16.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.8
	放課後児童クラブ（なかよし会等）	39	17.3	0	0.0	0	0.0	5	12.8	5	12.8	27	69.2	2	5.1	0	0.0	0	0.0	4.6
	ファミリー・サポート・センター	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	###	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.5
	その他 （まちづくり推進センター、公園など）	24	10.6	11	45.8	6	25.0	2	8.3	4	16.7	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.8

■ 子どもが現在、放課後過ごしている放課後児童クラブの利用終了時間



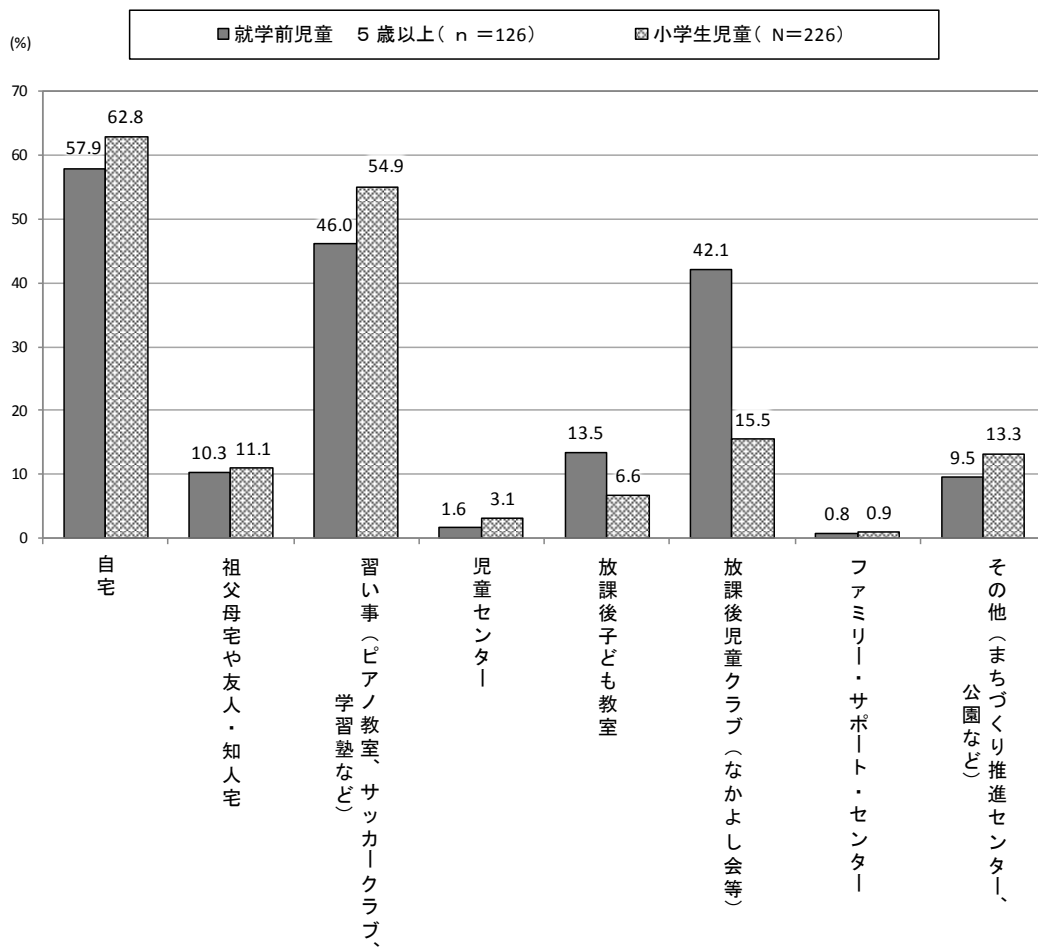
(2) 小学校低学年時に、放課後過ごさせたい場所

設問 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ 未就学児童：5歳以上の方

- 就学前児童は、「自宅」が57.9%と最も多く、次いで「習い事」が46.0%、「放課後児童クラブ」が42.1%となっています。小学生児童と比較すると、「放課後児童クラブ」の利用希望が小学生児童より26.6%上回っています。
- 就学前児童のうち、放課後に過ごさせたい場所の週当たり利用日数の平均は、「放課後児童クラブ」が4.5日、「自宅」が3.6日、「習い事」が1.9日となっています。また、「放課後児童クラブ」の利用終了時間の平均は17時18分となっています。
- 小学生児童は、「自宅」が62.8%と最も多く、次いで「習い事」が54.9%、「放課後児童クラブ」が15.5%となっています。
- 小学生児童のうち、放課後に過ごさせたい場所の週当たり利用日数の平均は、「放課後児童クラブ」が4.0日、「自宅」が3.4日、「習い事」が2.3日となっています。また、「放課後児童クラブ」の利用終了時間の平均は17時12分となっています。

■ 子どもが小学校低学年時に過ごさせたい場所



■ 小学校低学年時に、放課後過ごさせたい場所の週当たりの利用日数の希望

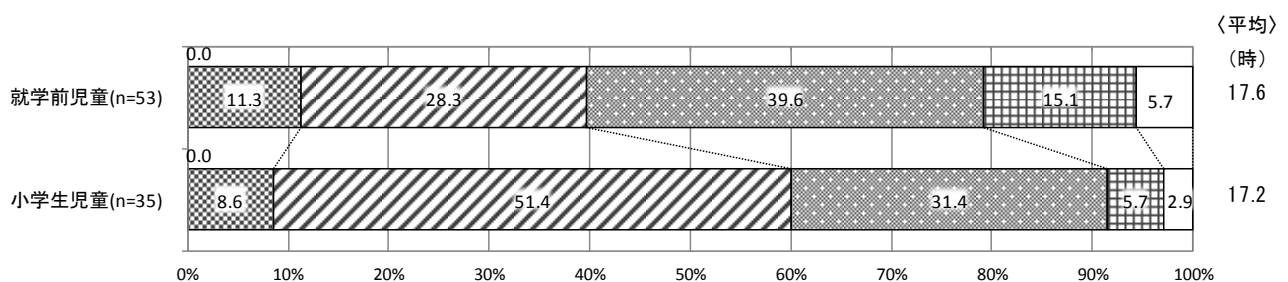
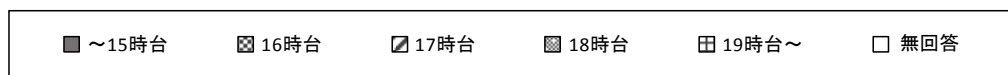
n = 126

	回答数		1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就学前児童 5歳以上	自宅	73	57.9	10	13.7	9	12.3	14	19.2	11	15.1	21	28.8	2	2.7	3	4.1	3	4.1	3.6
	祖父母宅や友人・知人宅	13	10.3	5	38.5	4	30.8	1	7.7	1	7.7	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.4
	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	58	46.0	20	34.5	27	46.6	8	13.8	2	3.4	1	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
	児童センター	2	1.6	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	3.5
	放課後子ども教室	17	13.5	9	52.9	3	17.6	3	17.6	0	0.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.1
	放課後児童クラブ（なかよし会等）	53	42.1	2	3.8	2	3.8	5	9.4	6	11.3	32	60.4	4	7.5	0	0.0	2	3.8	4.5
	ファミリー・サポート・センター	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5.0
	その他 （まちづくり推進センター、公園など）	12	9.5	3	25.0	6	50.0	1	8.3	1	8.3	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.3

N = 226

	回答数		1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小学生児童	自宅	142	62.8	17	12.0	35	24.6	23	16.2	13	9.2	37	26.1	6	4.2	11	7.7	0	0.0	3.4
	祖父母宅や友人・知人宅	25	11.1	11	44.0	10	40.0	1	4.0	1	4.0	2	8.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	124	54.9	26	21.0	50	40.3	37	29.8	8	6.5	3	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.3
	児童センター	7	3.1	5	71.4	0	0.0	1	14.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
	放課後子ども教室	15	6.6	7	46.7	5	33.3	2	13.3	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
	放課後児童クラブ（なかよし会等）	35	15.5	0	0.0	4	11.4	8	22.9	4	11.4	19	54.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4.0
	ファミリー・サポート・センター	2	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5.0
	その他 （まちづくり推進センター、公園など）	30	13.3	9	30.0	12	40.0	4	13.3	2	6.7	3	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.2

■ 小学校低学年時の、放課後児童クラブの利用終了時間の希望



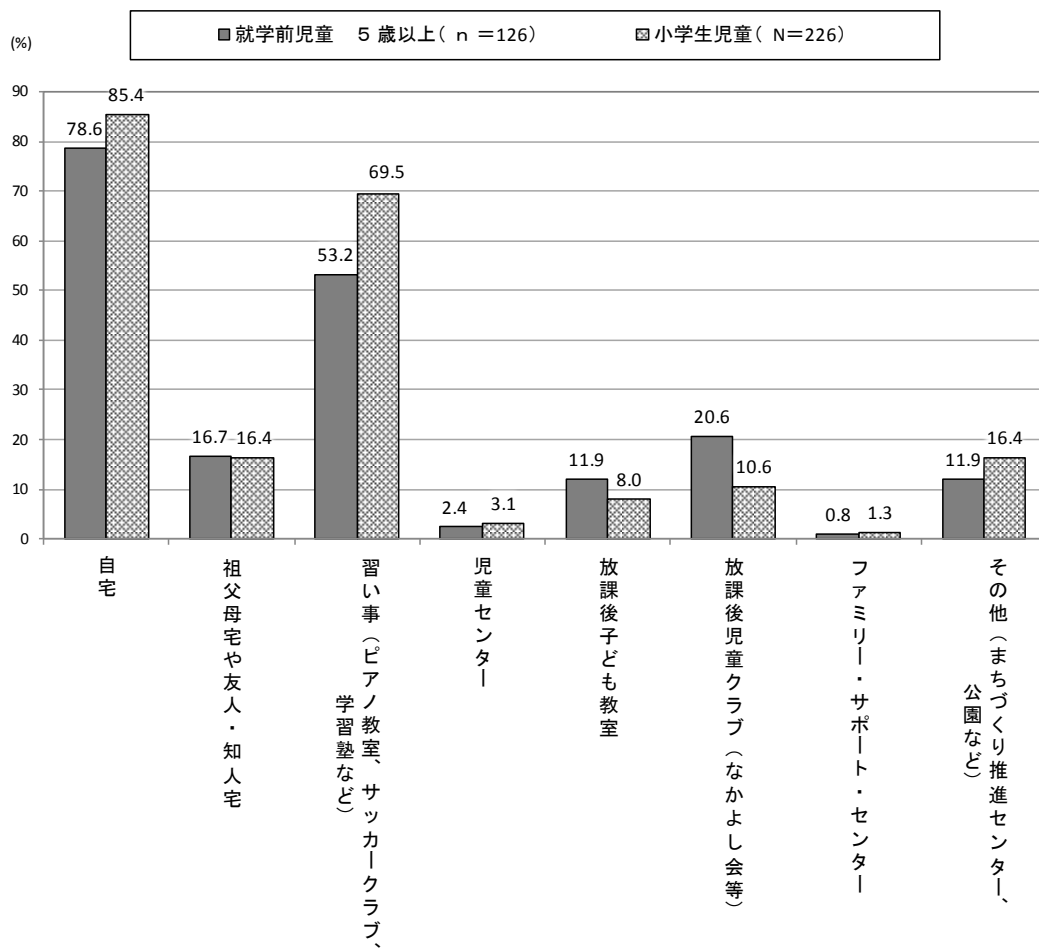
(3) 小学校高学年時に、放課後過ごさせたい場所

設問 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ 未就学児童：5歳以上の方

- 就学前児童は、「自宅」が78.6%と最も多く、次いで「習い事」が53.2%、「放課後児童クラブ」が20.6%となっています。小学生児童と比較すると、「放課後児童クラブ」の利用希望が小学生児童より10.0%上回っています。
- 就学前児童のうち、放課後に過ごさせたい場所の週当たり利用日数の平均は、「放課後児童クラブ」が4.2日、「自宅」が3.7日、「習い事」が2.1日となっています。また、「放課後児童クラブ」の利用終了時間の平均は17時54分となっています。
- 小学生児童は、「自宅」が85.4%と最も多く、次いで「習い事」が69.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「その他」が16.4%となっています。
- 小学生児童のうち、放課後に過ごさせたい場所の週当たり利用日数の平均は、「自宅」が3.4日、「習い事」が2.5日、「祖父母宅や友人・知人宅」が1.7日となっています。また、「放課後児童クラブ」の利用終了時間の平均は17時30分となっています。

■ 子どもが小学校高学年時に過ごさせたい場所



■ 小学校高学年時に、放課後過ごさせたい場所の週当たりの利用日数の希望

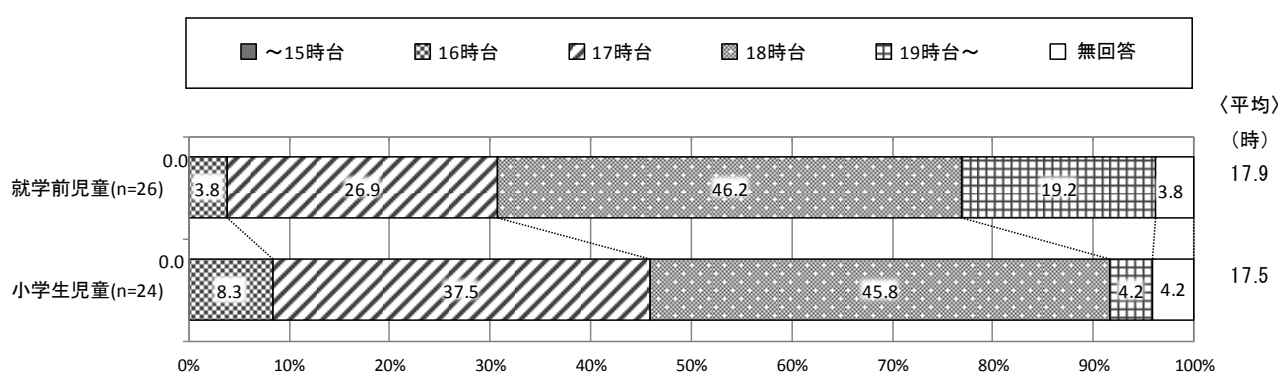
n = 126

	回答数		1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
就学 前 児 童 5 歳 以 上	自宅	99	78.6	8	8.1	18	18.2	19	19.2	9	9.1	31	31.3	2	2.0	5	5.1	7	7.1	3.7
	祖父母宅や友人・知人宅	21	16.7	8	38.1	5	23.8	3	14.3	1	4.8	4	19.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.3
	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など）	67	53.2	13	19.4	30	44.8	18	26.9	4	6.0	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	1.5	2.1
	児童センター	3	2.4	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.8
	放課後子ども教室	15	11.9	4	26.7	6	40.0	2	13.3	1	6.7	2	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.5
	放課後児童クラブ（なかよし会等）	26	20.6	3	11.5	2	7.7	4	15.4	0	0.0	13	50.0	3	11.5	0	0.0	1	3.8	4.2
	ファミリー・サポート・センター	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5.0
	その他 （まちづくり推進センター、公園など）	15	11.9	5	33.3	4	26.7	2	13.3	2	13.3	2	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.3

N = 226

	回答数		1日		2日		3日		4日		5日		6日		7日		無回答		平均 (日)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
小 学 生 児 童	自宅	193	85.4	24	12.4	48	24.9	37	19.2	16	8.3	53	27.5	4	2.1	10	5.2	1	0.5	3.4
	祖父母宅や友人・知人宅	37	16.4	25	67.6	4	10.8	4	10.8	2	5.4	2	5.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.7
	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など）	157	69.5	25	15.9	57	36.3	50	31.8	16	10.2	7	4.5	1	0.6	0	0.0	1	0.6	2.5
	児童センター	7	3.1	5	71.4	0	0.0	0	0.0	1	14.3	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.0
	放課後子ども教室	18	8.0	9	50.0	6	33.3	1	5.6	0	0.0	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9
	放課後児童クラブ（なかよし会等）	24	10.6	1	4.2	4	16.7	5	20.8	0	0.0	12	50.0	2	8.3	0	0.0	0	0.0	4.0
	ファミリー・サポート・センター	3	1.3	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4.3
	その他 （まちづくり推進センター、公園など）	37	16.4	15	40.5	16	43.2	3	8.1	2	5.4	1	2.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.9

■ 小学校高学年時の、放課後児童クラブの利用終了時間の希望



(4) 土曜日・祝日等の放課後児童クラブの利用希望

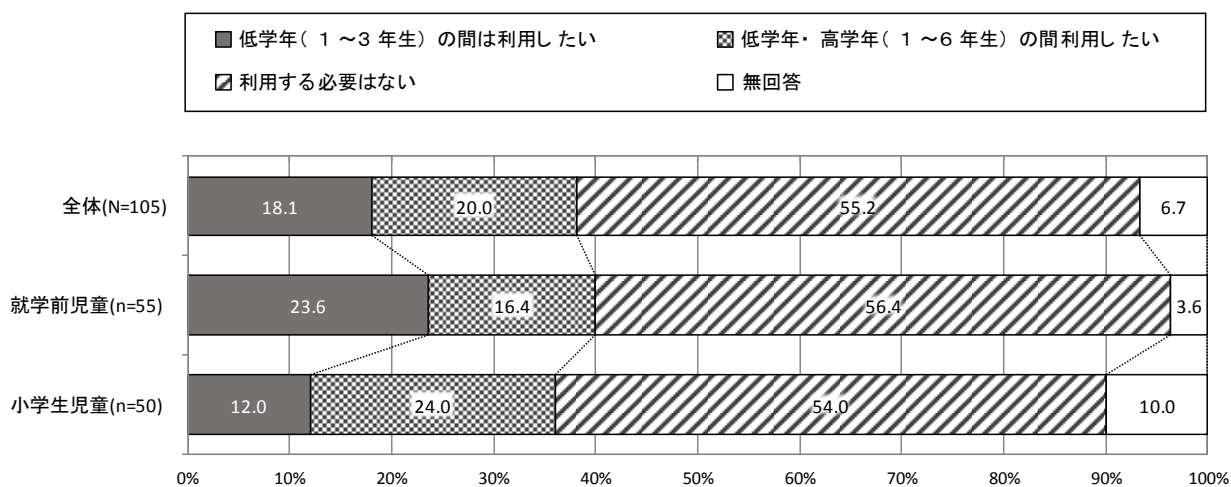
設問 お宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例) 09時～18時のように 24時間制 でご記入ください。

※ 放課後に、放課後児童クラブで過ごさせたい方(小学1～6年生の間)

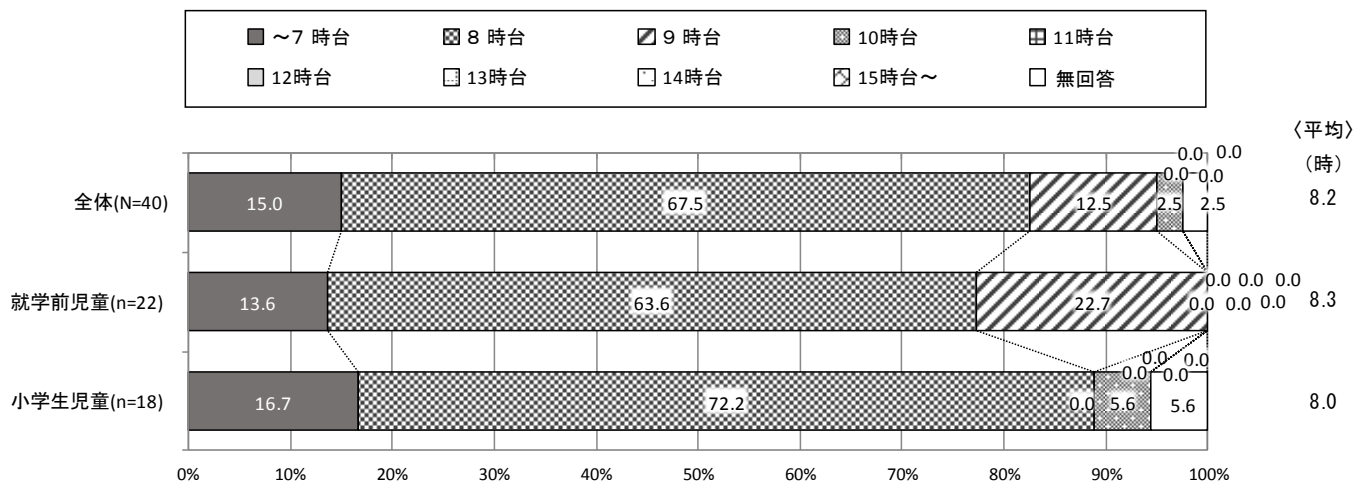
【土曜日】

- ▶ 全体では、「利用する必要はない」が55.2%と最も多くなっています。また、利用したいと回答した人のうち、希望する利用開始時間の平均は8時12分、利用終了時間の平均は17時30分となっています。
- ▶ 就学前児童と小学生児童を比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」割合は就学前児童の方が11.6%多くなっています。また、「低学年・高学年(1～6年生)の間利用したい」割合は小学生児童の方が7.6%多くなっています。

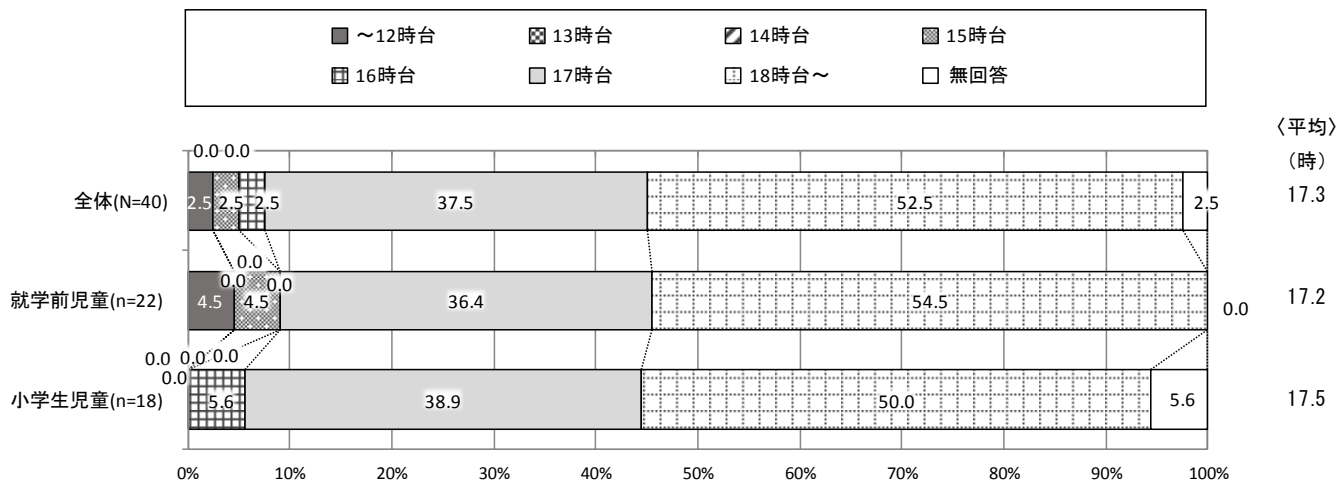
■ 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



■ 土曜日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（開始）



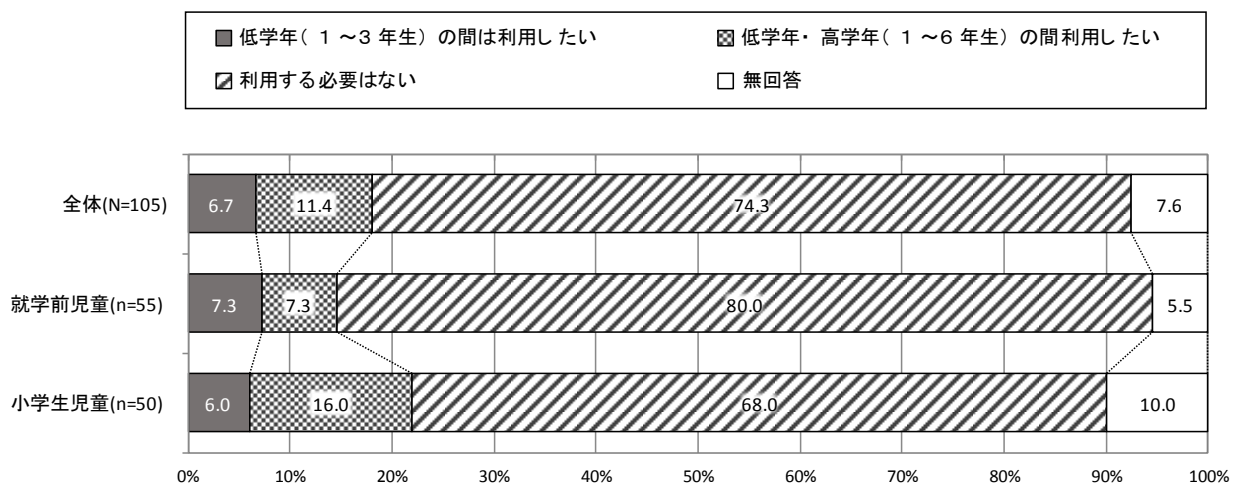
■ 土曜日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（終了）



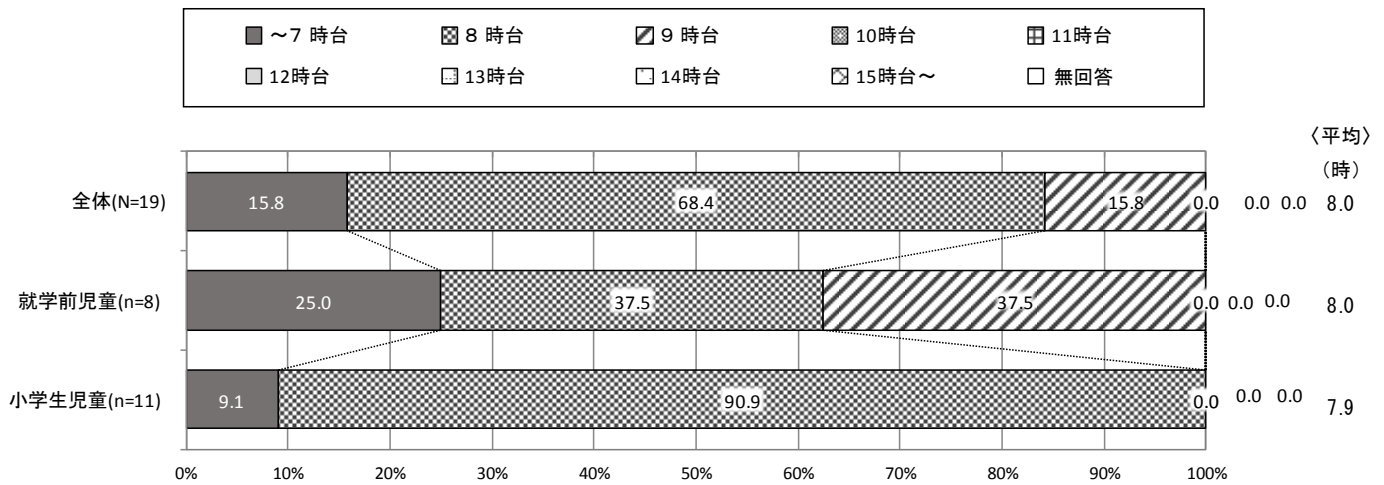
【日曜・休日】

- 全体では、「利用する必要はない」が74.3%と最も多くなっています。また、利用したいと回答した人のうち、希望する利用開始時間の平均は8時、利用終了時間の平均は17時42分となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」割合は就学前児童の方が1.3%多くなっています。また、「低学年・高学年（1～6年生）の間利用したい」割合は、小学生児童の方が8.7%多くなっています。

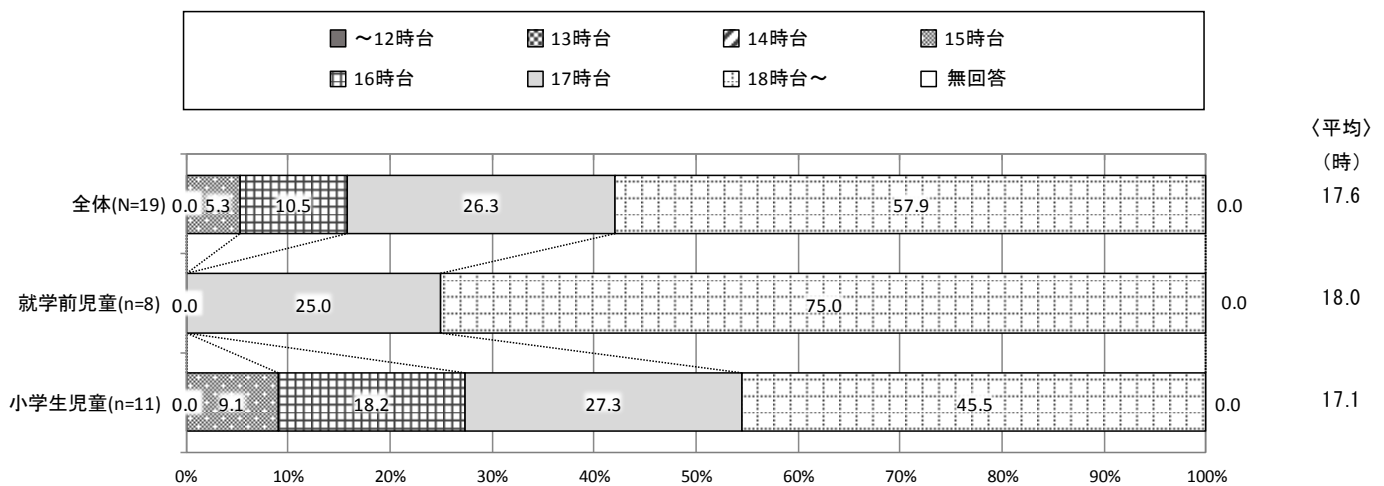
■ 日曜・休日の放課後児童クラブの利用希望



■ 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（開始）



■ 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望時間帯（終了）

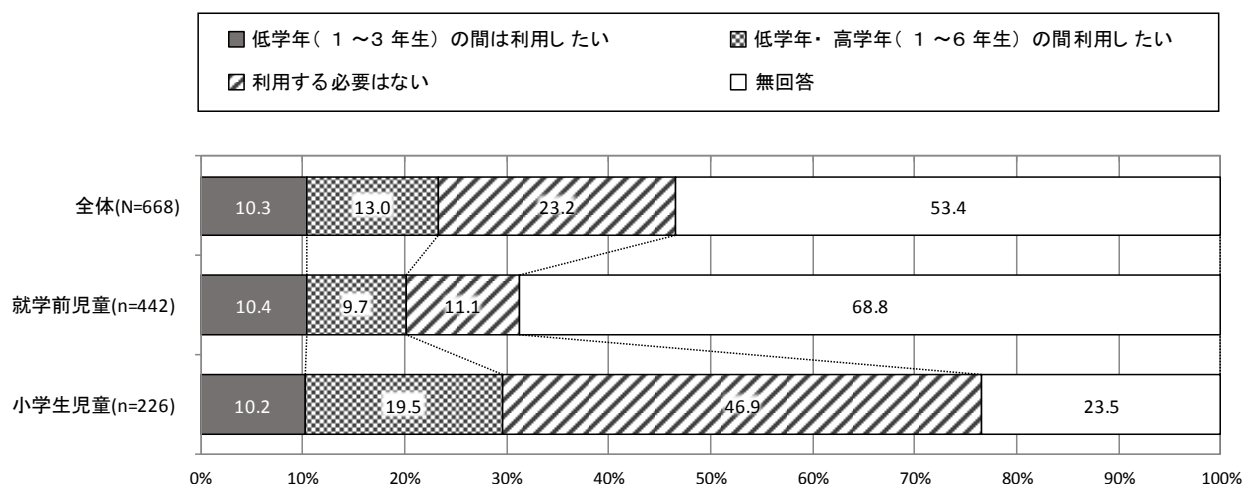


(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

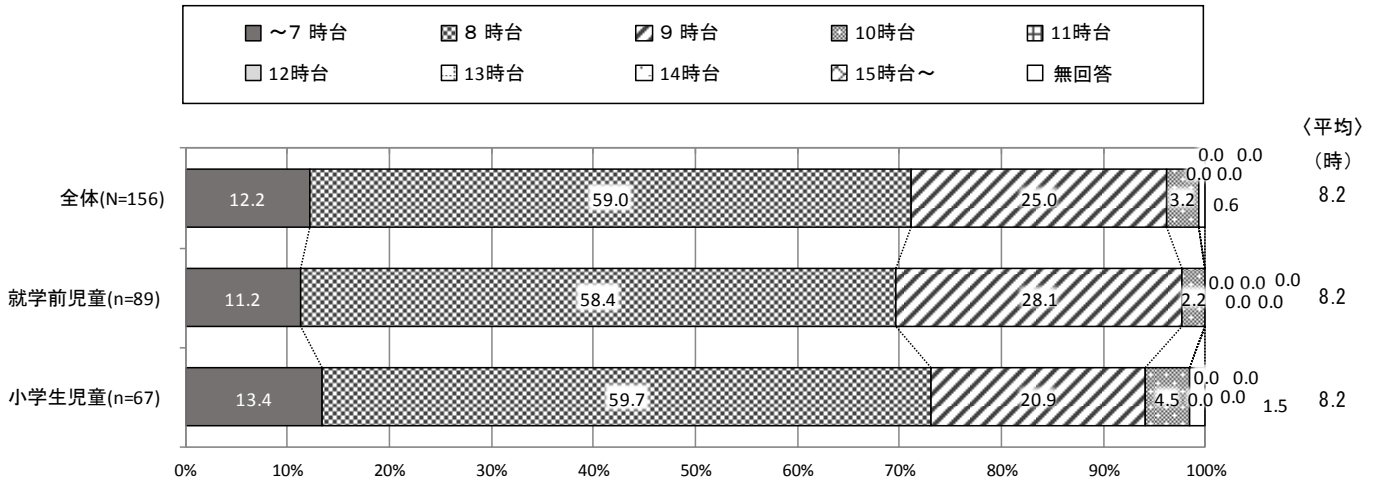
設問 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

- 全体では、「利用する必要はない」が23.2%と最も多くなっています。また、利用したいと回答した人のうち、希望する利用開始時間の平均は8時12分、利用終了時間の平均は17時6分となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「低学年・高学年（1～6年生）の間利用したい」割合は、小学生児童の方が9.8%多くなっています。

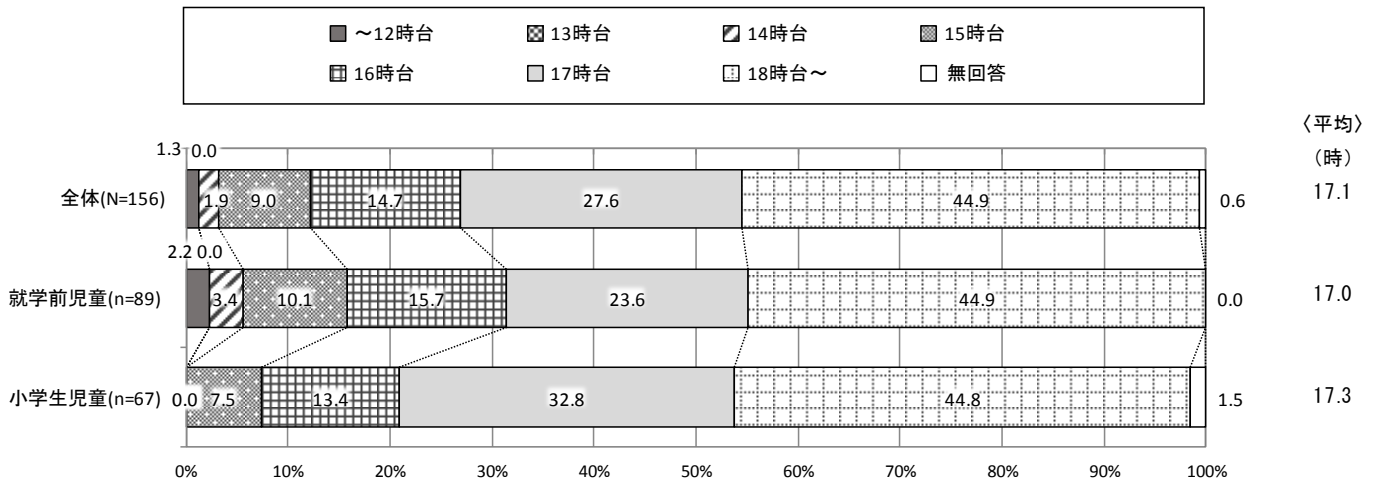
■ 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望



■ 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望時間帯（開始）



■ 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望時間帯（終了）



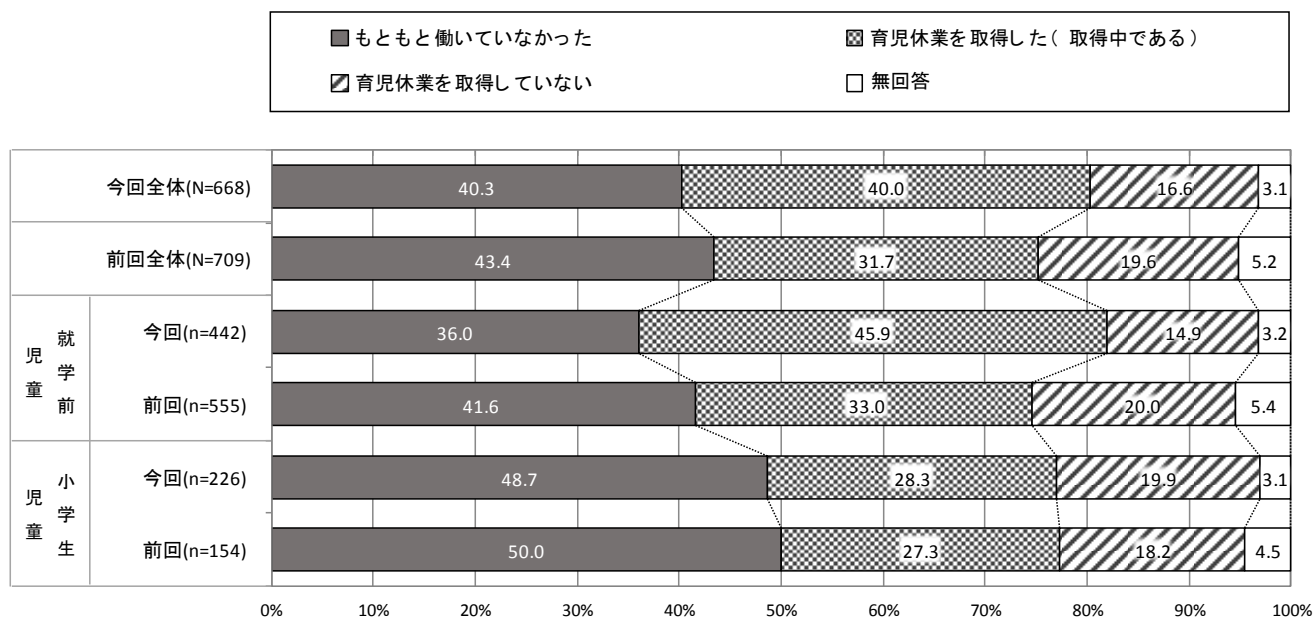
11. 育児休業やお住まいの地域、行政の要望等について

(1) 育児休業の取得の有無

設問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また「3. 取得していない」の場合には、取得していない理由の番号をご記入ください。

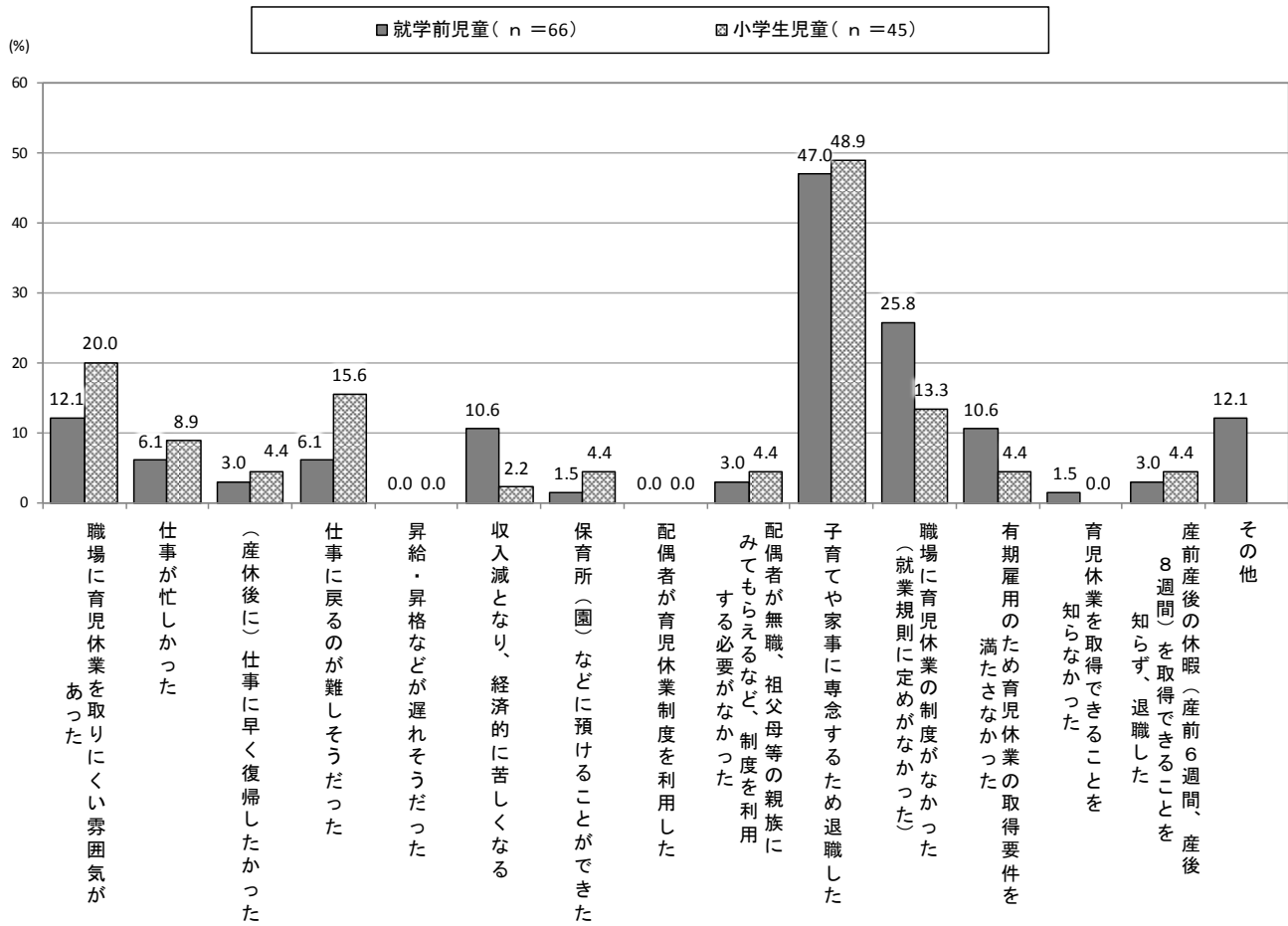
【母親】

- 全体では、「育児休業を取得した（取得中である）」が40.0%と最も多く、前回と比較するとその割合は8.3%増加しています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「育児休業を取得した（取得中である）」割合は就学前児童の方が17.6%上回っています。
- 就学前児童は前回と比較すると、「育児休業を取得した（取得中である）」が12.9%増加しています。



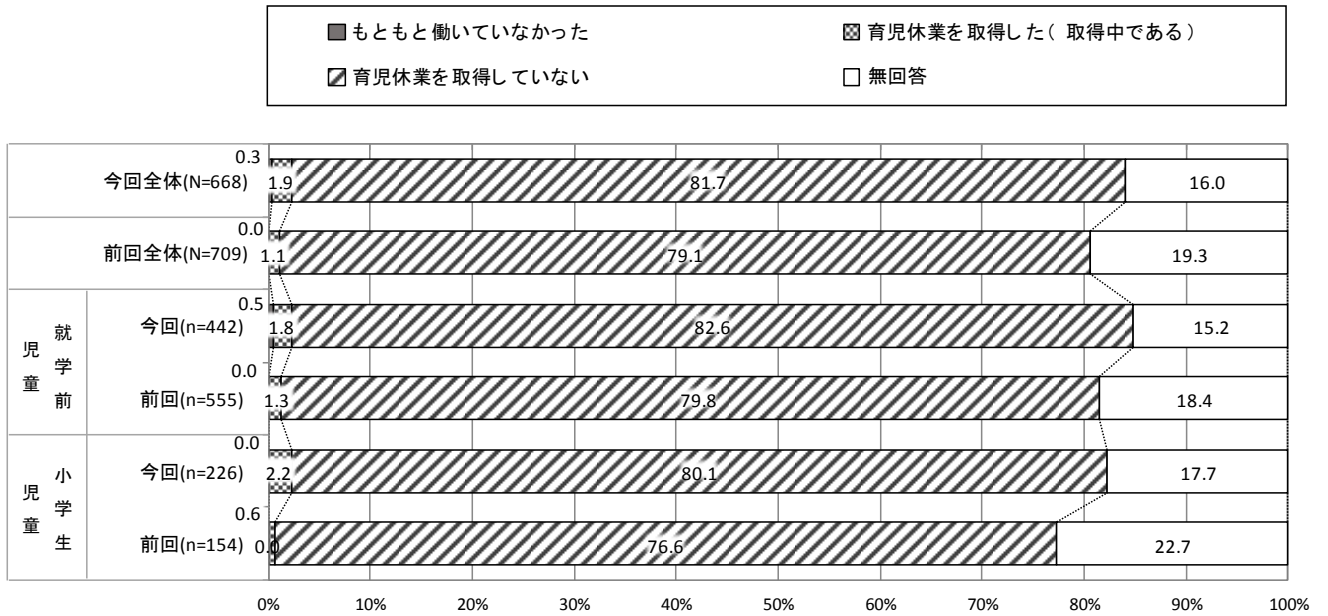
【育児休業を取得していない理由（母親）】

- 就学前児童は、「子育てや家事に専念するため退職した」が47.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が25.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.1%となっています。
- 小学生児童は、「子育てや家事に専念するため退職した」が48.9%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が20.0%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が15.6%となっています。



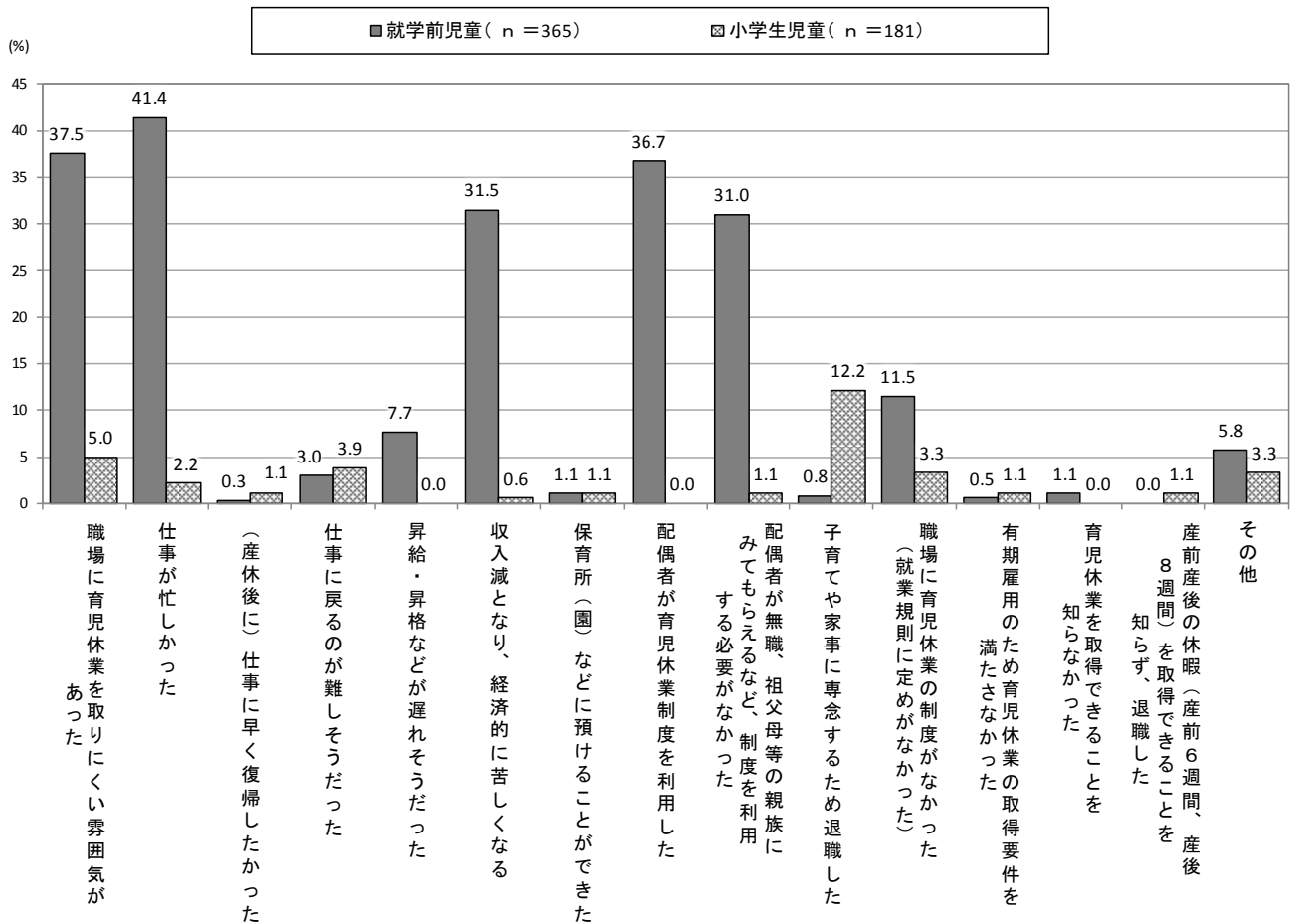
【父親】

- 全体では、「育児休業を取得していない」が81.7%と最も多く、前回と比較するとその割合は2.6%増加しています。
- 就学前児童と小学生児童ともに前回と比較すると、「育児休業を取得した（取得中である）」割合は若干増加しています。



【育児休業を取得していない理由（父親）】

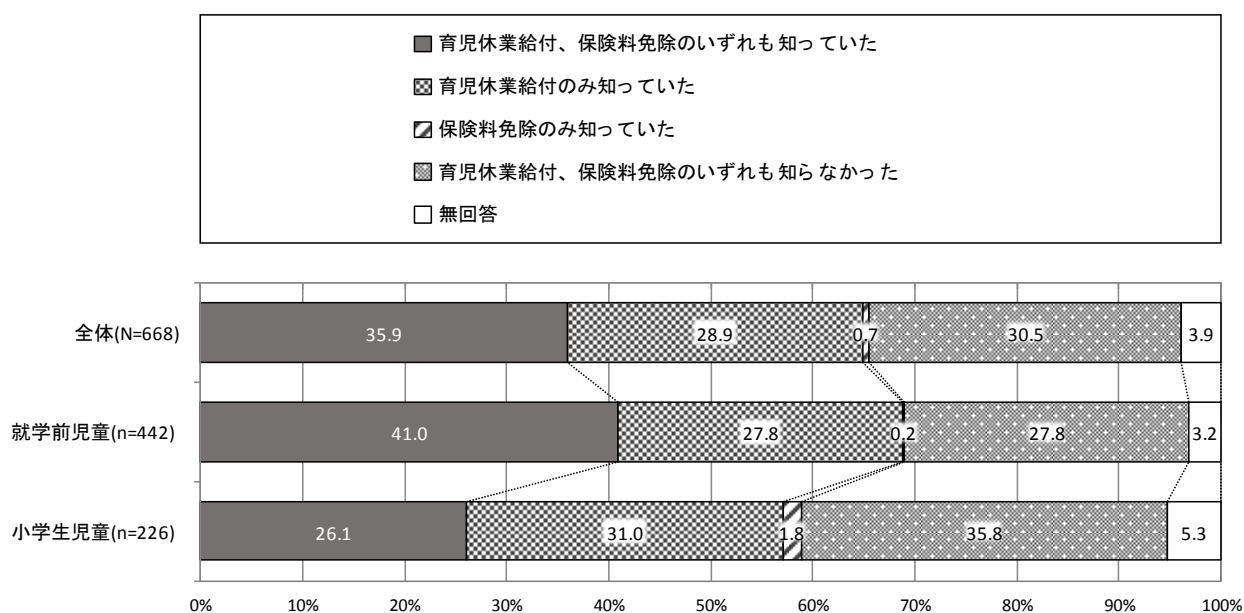
- 就学前児童は、「仕事が忙しかった」が41.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が37.5%、「収入源となり、経済的に苦しくなる」が31.5%となっています。
- 小学生児童は、「子育てや家事に専念するため退職した」が12.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が5.0%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が3.9%となっています。



(2) 育児休業給付の仕組みや育児休業等期間について保険料が免除になる仕組みの認知度について

設問 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど、一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 全体では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が35.9%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が28.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が28.9%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」割合は、小学生児童の方が8.0%上回っています。



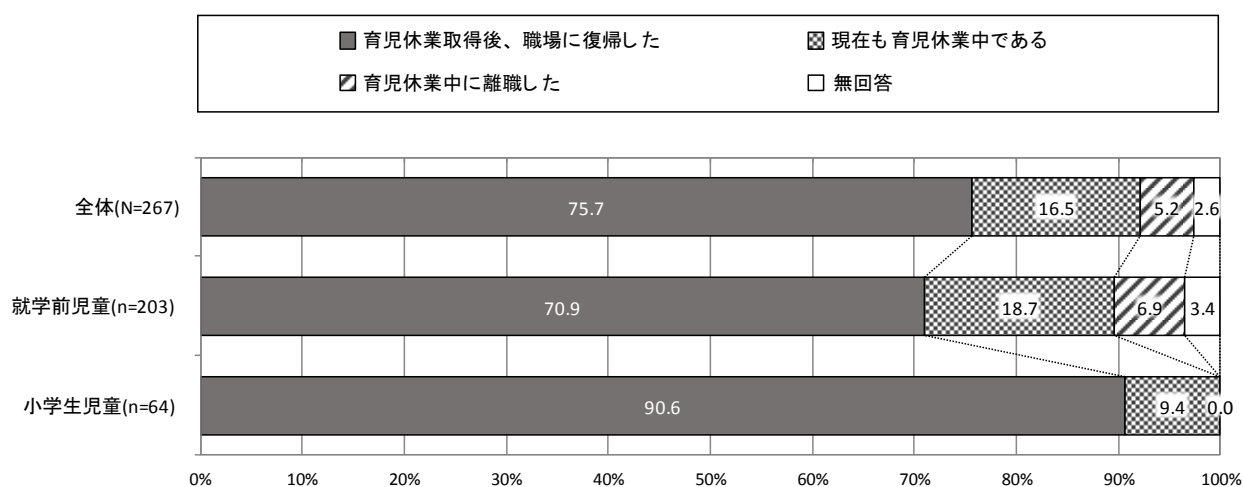
(3) 育児休業後の職場復帰について

設問 育児休業取得後、職場復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 育児休業を取得した（取得中である）方

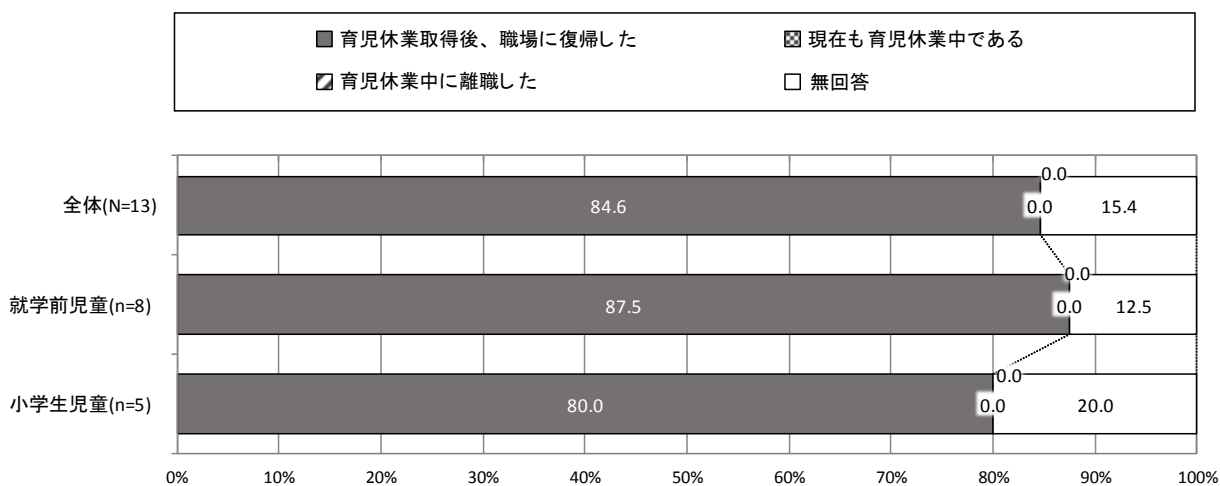
【母親】

- 全体では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が75.7%と最も多くなっています。
- 「育児休業取得中に離職した」と回答したのは、未就学児童のみとなっています。また、就学前児童と小学生児童を比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」割合は小学生の方が19.7%上回っています。



【父親】

- 全体では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が84.6%となっています。



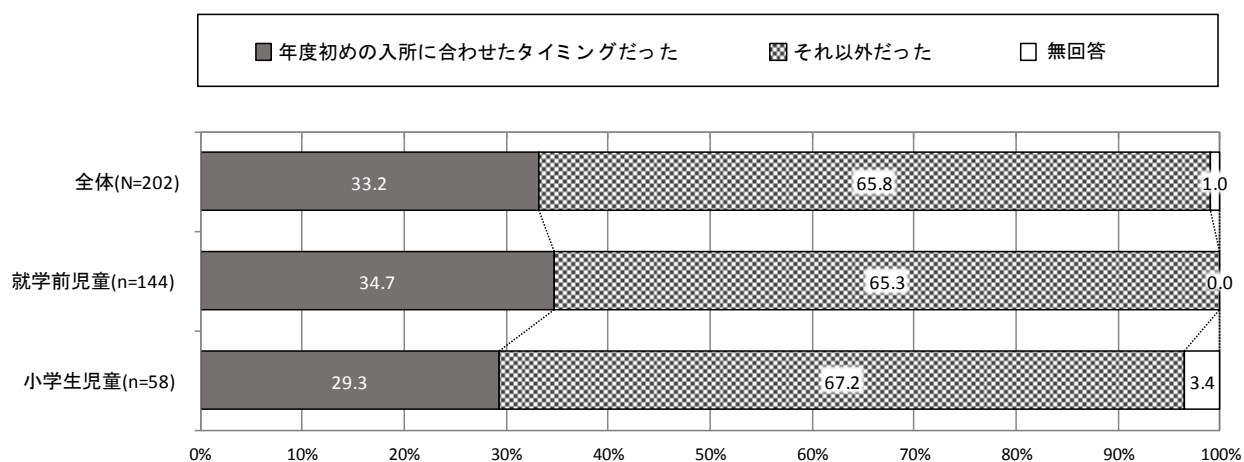
(4) 育児休業後の職場復帰のタイミングについて

設問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 育児休業取得後、職場に復帰した方

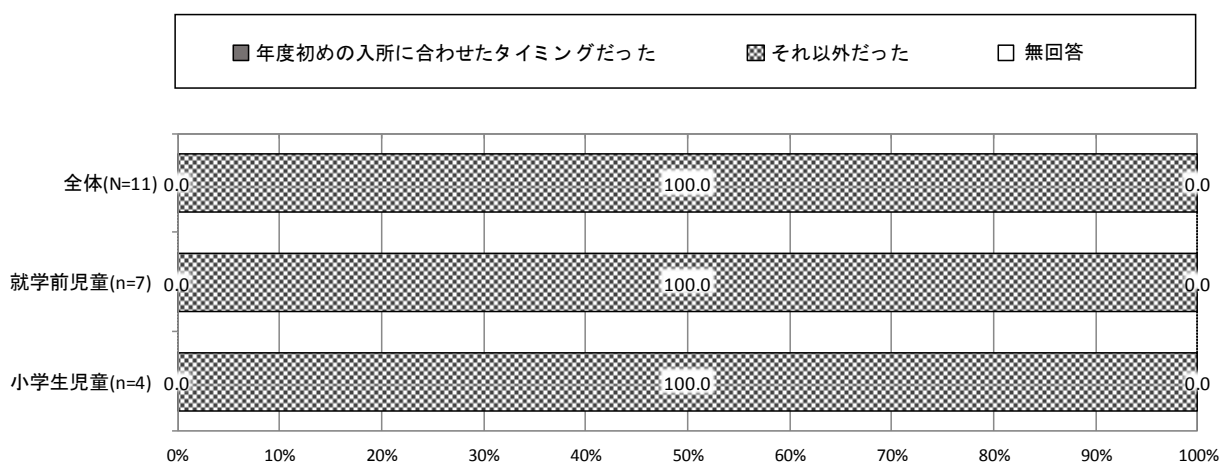
【母親】

- ▶ 全体では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 33.2%、「それ以外だった」が 65.8%となっています。



【父親】

- ▶ 全体では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の回答はなく、回答者全員が「それ以外だった」となっています。



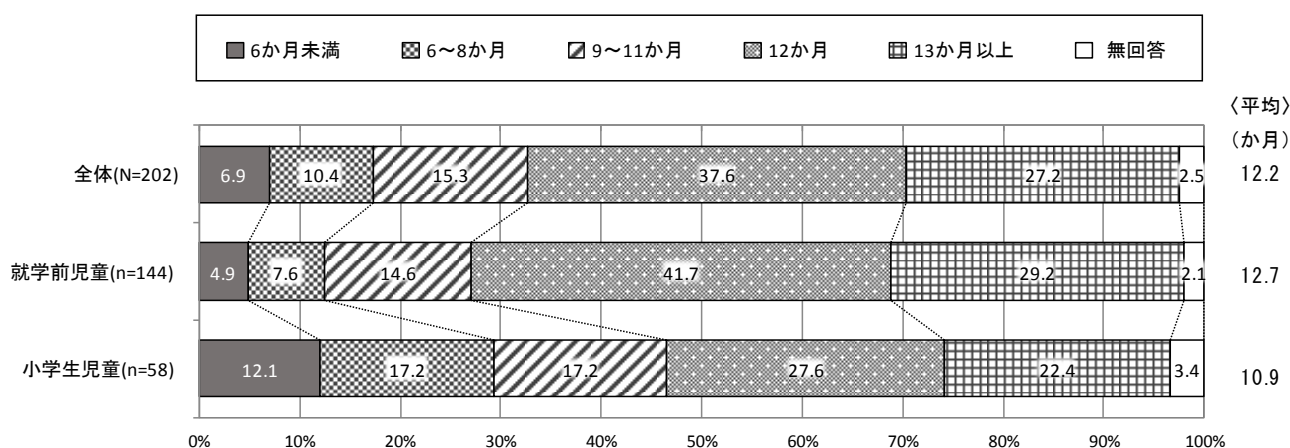
(5) 職場復帰の実際の時期と希望時期

設問 育児休業からは、実際にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内に数字を記入してください。

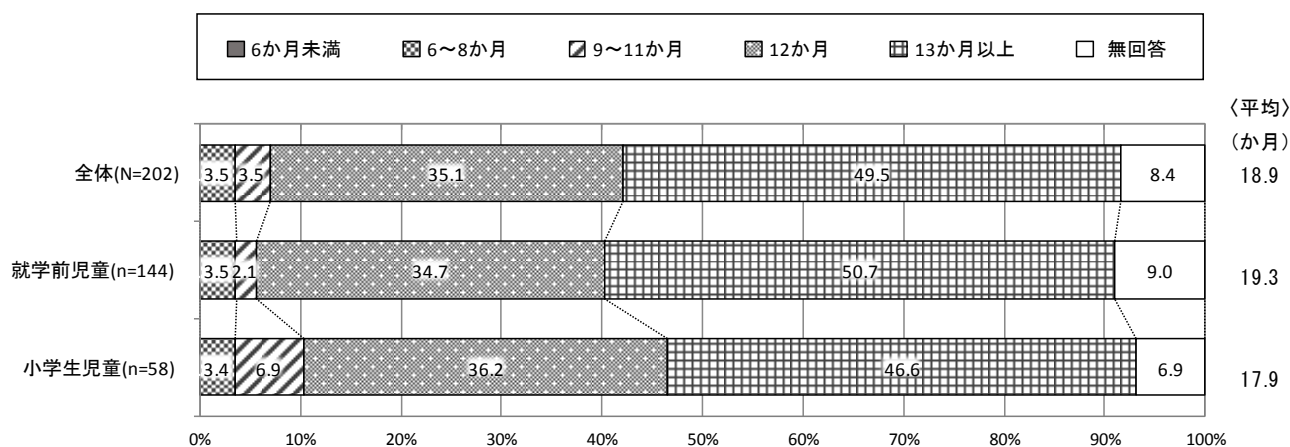
※ 育児休業取得後、職場に復帰した方

- 母親の実際の職場復帰の時期の平均は12.2か月、希望する職場復帰の時期は18.9か月となっており、希望よりも約半年ほど早く職場復帰しています。
- 父親の実際の職場復帰の時期の平均は3.3か月、希望する職場復帰の時期は6.6か月となっています。

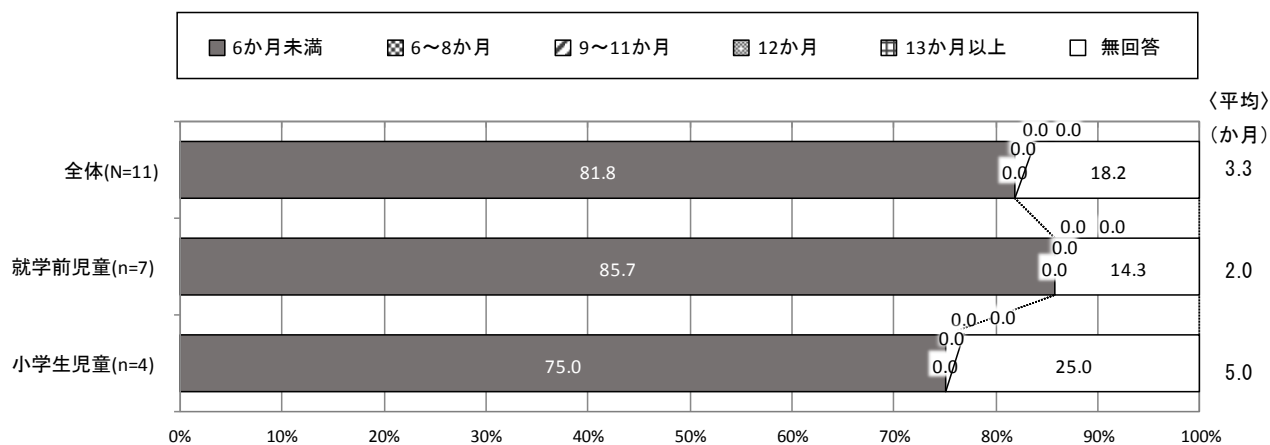
■ 母親の職場復帰をする時期（実際）



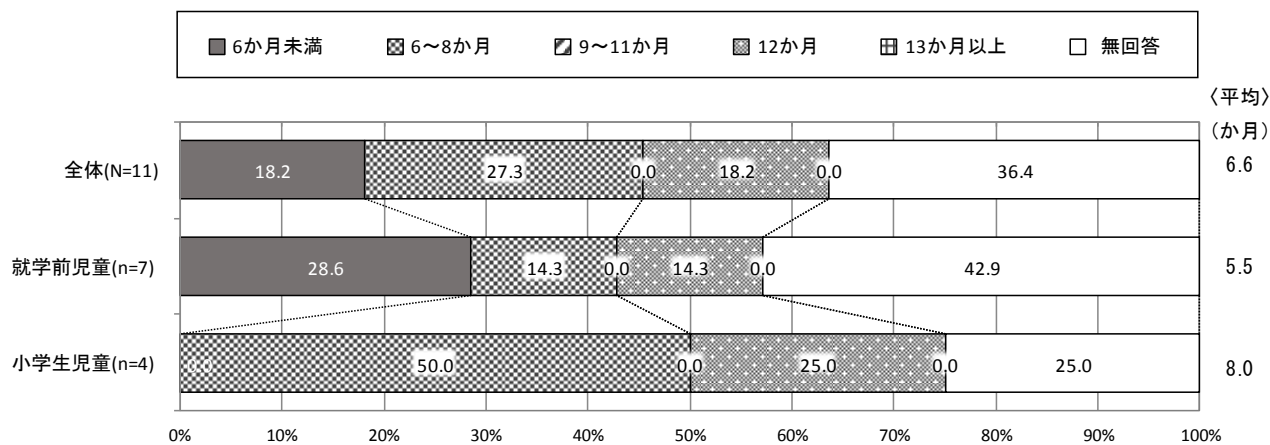
■ 母親の職場復帰をする時期（希望）



■ 父親の職場復帰をする時期（実際）



■ 父親の職場復帰をする時期（希望）



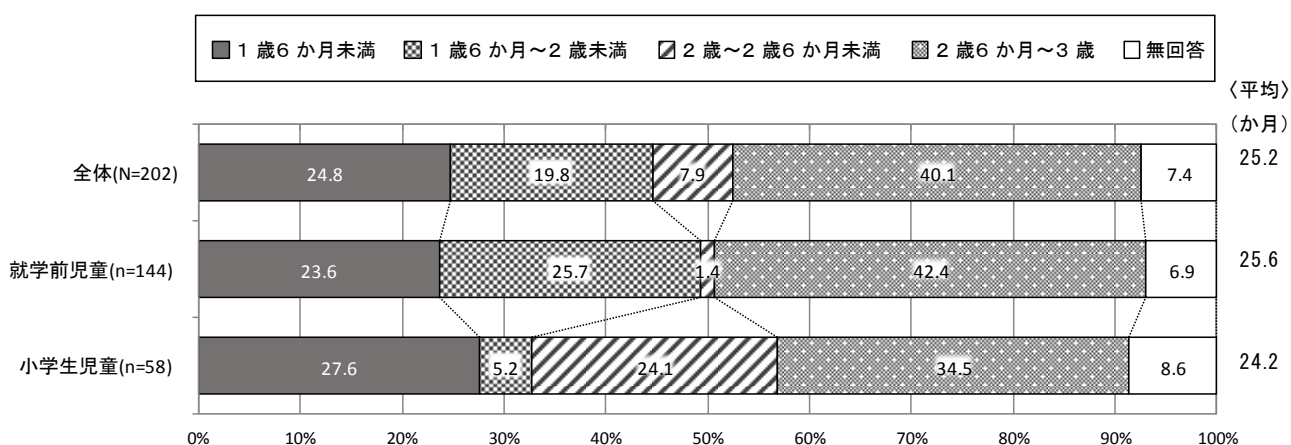
(6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

設問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

※ 育児休業取得後、職場に復帰した方

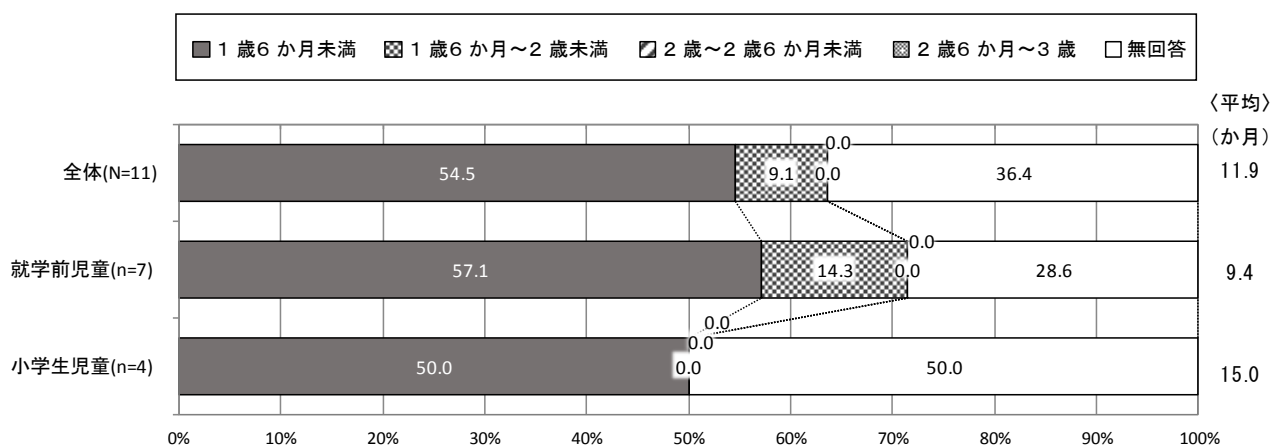
【母親】

➤ 職場復帰の希望の時期は、平均が25.2か月（2年1か月）となっています。



【父親】

➤ 職場復帰の希望の時期は、平均が11.9か月となっています。



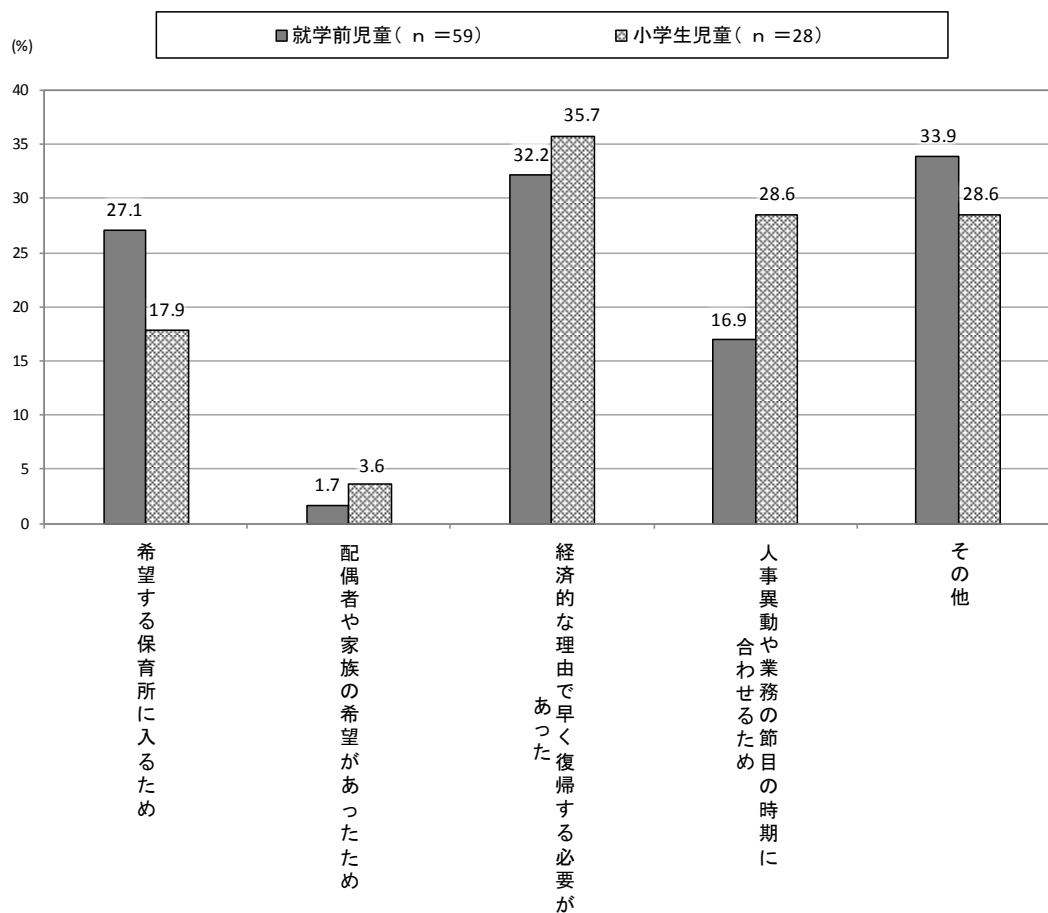
(7) 職場へ希望時期より早く復帰した理由

設問 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 育児休業取得後、実際の復帰と希望が異なる方

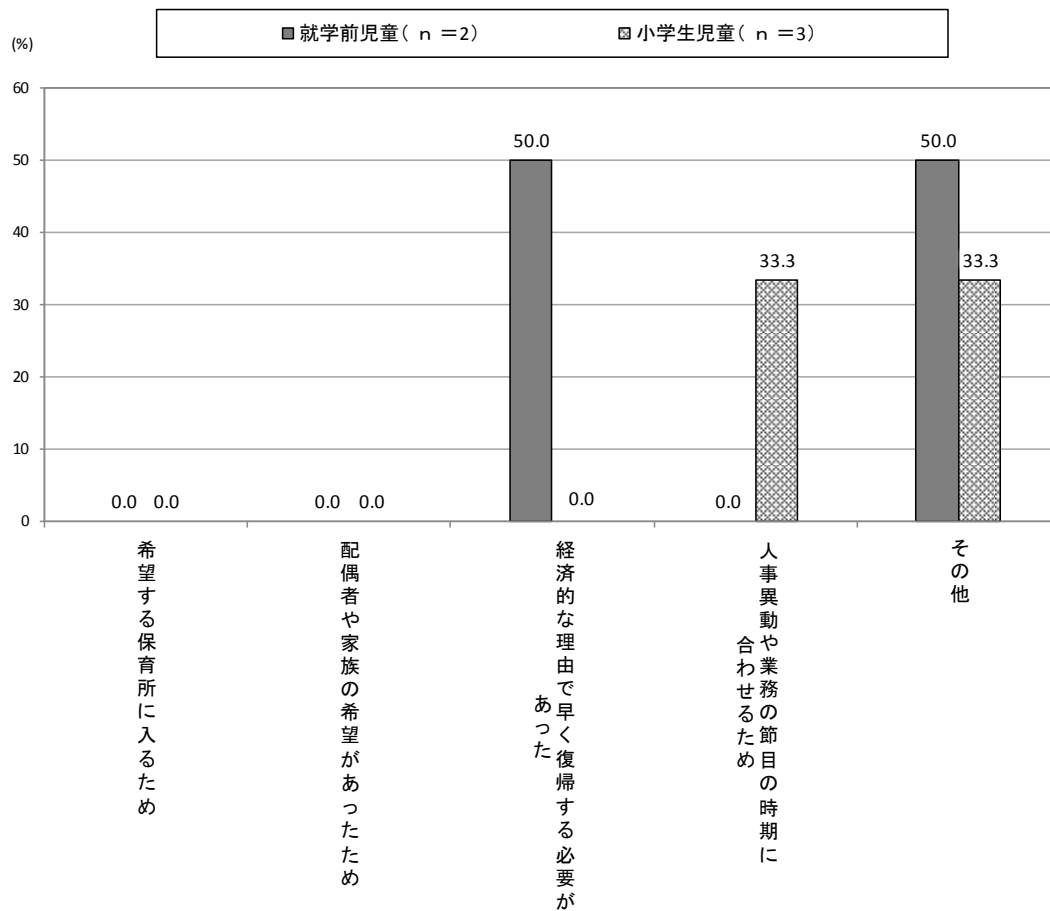
【希望より早く復帰した理由（母親）】

- 就学前児童は、「その他」が33.9%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が32.2%、「希望する保育所に入るため」が27.1%となっています。
- 小学生児童は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が35.7%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目に合わせるため」と「その他」が28.6%となっています。



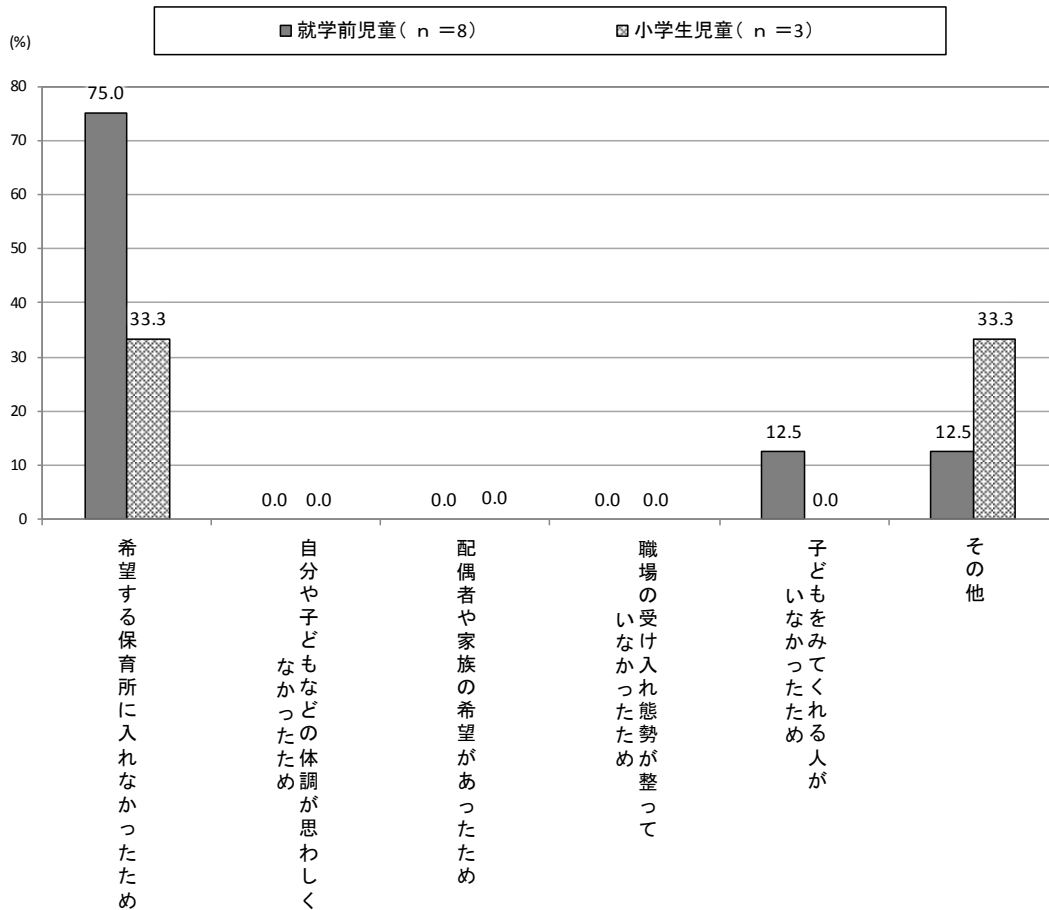
【希望より早く復帰した理由（父親）】

- 就学前児童は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」と「その他」がそれぞれひとりずつとなっています。
- 小学生児童は、「人事異動や業務の節目に合わせるため」と「その他」がそれぞれひとりずつとなっています。



【希望より遅く復帰した理由（母親）】

- 就学前児童は、「希望する保育所に入れなかったため」が75.0%、「子どもを見てくれる人がいなかったため」と「その他」がそれぞれ12.5%となっています。
- 小学生児童は、「希望する保育所に入れなかったため」と「その他」がそれぞれひとりずつとなっています。



【希望より遅く復帰した理由（父親）】

- 該当者なし

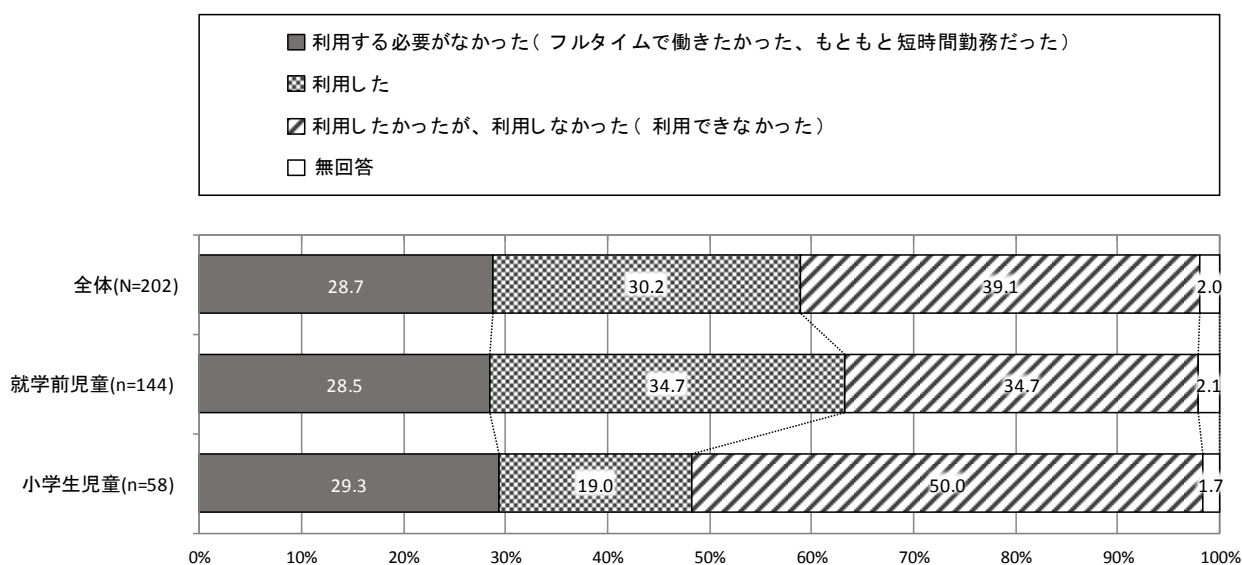
(8) 短時間勤務制度の利用について

設問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 育児休業取得後、職場に復帰した方

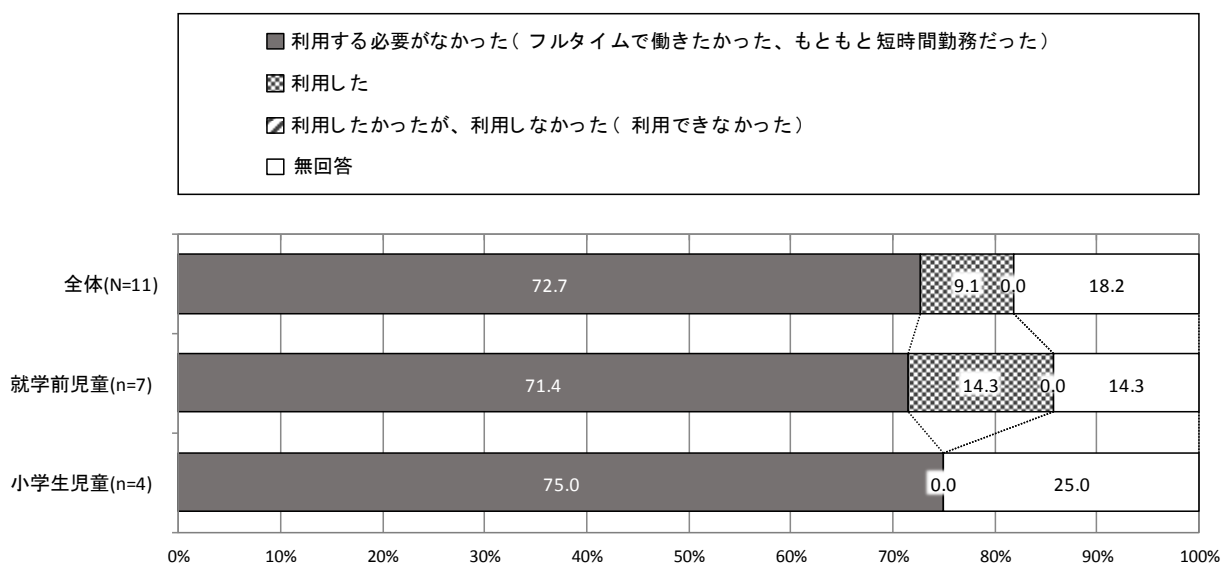
【母親】

- 全体では、「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」が39.1%と最も多くなっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」割合は、小学生児童の方が15.3%と上回っています。



【父親】

- 全体では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が72.7%と最も多くなっています。



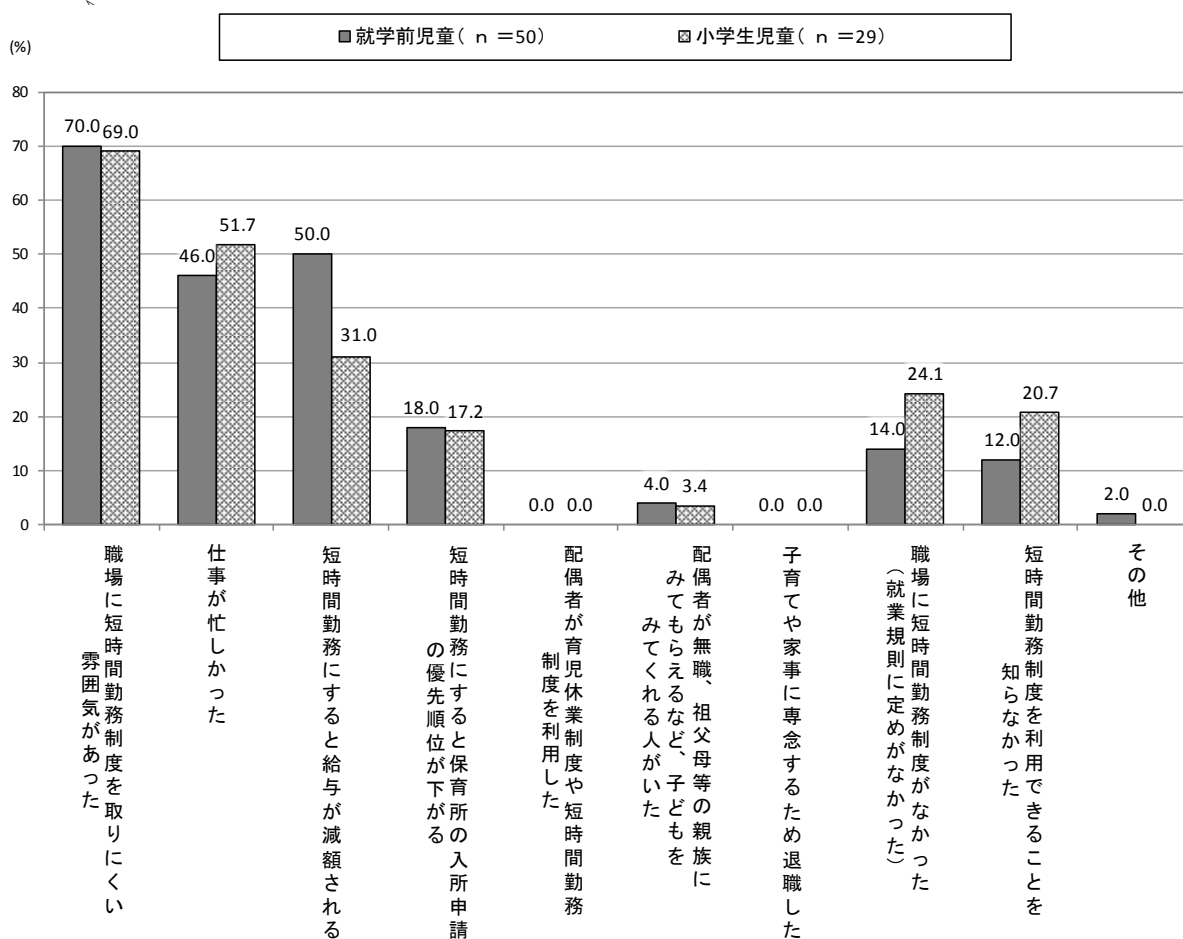
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由について

設問 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

※ 短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった（できなかった）方

【母親】

- 就学前児童は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が70.0%と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が50.0%、「仕事が忙しかった」が46.0%となっています。
- 小学生児童は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が69.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が51.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が31.0%となっています。



【父親】

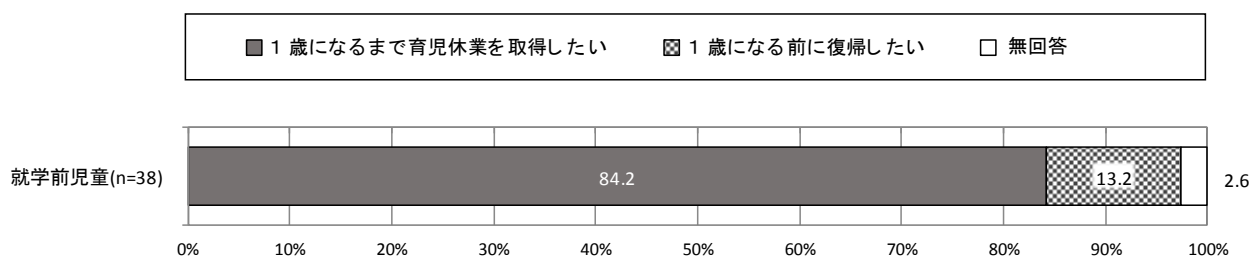
- 該当者はいません。

(10) 1歳までの育児休業の取得希望について

設問 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

※ 現在も育児休業中の方

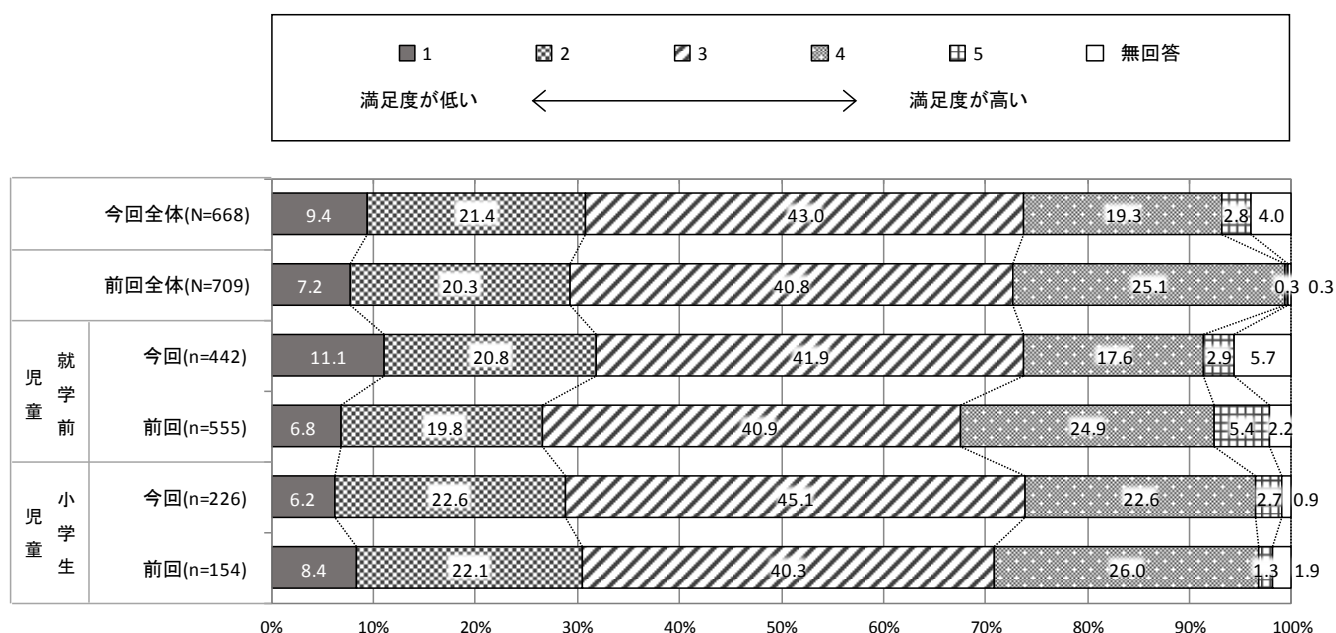
- 就学前児童は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が84.2%となっています。



(11) 子育ての環境や支援の満足度

設問 鳥栖市における子育ての環境や支援の満足度はどのくらいですか。当てはまる番号 1 つに 0 をつけてください。

- 全体では、満足度は「3」が 43.0%と最も多く、次いで「2」が 21.4%、「4」が 19.3%となっています。前回と比較すると、「4」の割合が 5.8%減少し、「5」が 2.5%増加していますが、「4」と「5」を合わせた満足度が高い方の値は減少しています。
- 就学前児童は、「1」～「2」の満足度が低い方の割合が増加し、「4」～「5」の割合が減少しています。
- 小学生児童は、「1」～「2」と「4」～「5」が減少し、中間の「3」だけが増加しています。



(12) 子育てに関するご意見・ご要望

設問 最後に、鳥栖市での教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関して、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

< 市全般について（就学前児童） >

子育てしやすい市という風になって欲しい。
自分が子どもを持つようになるまで、市が行っていることがこんなにあるとは思っていなかった。子育てに関して、色々と考えて下さっていることがわかります。
子育てする環境は充実していると思う。満足している。施設や施設内の備品がもっときれいだったらいいと思う。
保育環境はすごく充実していると思います。日々思うことは、育児＝母親のイメージが強いので、もっと夫婦で育児することの大切さを知ってもらえるように、市で取り組んでもらえたらと思います。家事、育児共に母親に比重がかかっているような…。
昔、保育園に入れるか、幼稚園に入れるか、私自身仕事をするか、不安があり、鳥栖市役所のこども育成課に置いてあるパンフレットを持って帰り、情報収集したのを思い出します。保育園も増え、鳥栖市も子育て支援に力を入れてあることがよくわかります。子育てを通じて、色々なことを学び、様々な方と出会い、幸せに感じております。これからの若い人達が子どもを育てやすい鳥栖市になることを願っています。
他の市町村に住んでいる友人や知人から、鳥栖市は子どもに優しいところだとよく聞くので、できればこれから鳥栖市で子どもを育てていきたいと思っております。そして希望する子どもたちが一人でも多く保育施設に入れるように頑張りたいです。よろしく申し上げます。
鳥栖市は人口が増加し、新興住宅地等が次々にできていることから、子育て施策が充実していると思い、転入しました。しかし実際、子育て支援センターは休日は開いていない、保育所も待機児童となった、乳健も全て医療機関への委託でフォローが少ない、新婦の風疹抗体検査がない、マタニティ教室もほとんどない等、思っていたよりもサービスが少ないと感じました。
子育てする世代に対して他の自治体よりも支援が少ない。人口が増えている県内唯一の市であるが、給付金や税控除措置がほとんどなく、魅力を感じない都市である。交通の便や実家が近いという理由で鳥栖市を選んでいる状況である。
鳥栖市は子どもは多いが、子育ての面で他市より大きく遅れている。他市より給料がいいのだから、その分、対応してもらいたい。また、市職員が他市で子育てをしている方もおり、他市のいいところも鳥栖市に取り入れてもらいたいと思う。今後の子育ての対応に期待したい。
市の人口増加に行政サービスが追いついていない。十分ある税収もそういう所に使って欲しい。
子育て支援の充実をお願いしたいです。正直、子育て支援や環境は進歩しているように思えません。市長はさもやっている風に言っていますが、生活者の立場だと、つまらんです。
元々この地域で育った方には充実しているのかもしれませんが、外から引っ越してきた人間にはあまり優しく感じないです。

数年前、夫の転勤で鳥栖に引っ越してきました。厳しい言い方になりますが、全ての事が時代遅れで驚いている。とても子育てがしにくい地域です。道は狭く、古く、子どもが登校するには不安な通学をばかりです。地理的に九州の真ん中で、アクセスも良く大きな会社の工場などもあり店入居もおおいであろうこの土地の魅力が全くいかせておらず、とても残念です。支援事業よりも「住みやすい、明るい街づくり」を期待しています。

鳥栖市は子育てに対するサポート体制が他の市に比べて充実しているようで助かっています。ただ、市内に産婦人科が2院しかない点、産婦人科までの交通の便（バス等）が悪い点等、改善していただきたい点もあります。また、子どもが障がいがある場合の制度について、（就学以降、特別支援学級のある学校を志望したいと考えており、そのために必要な情報等）もう少し、鳥栖市役所で伺いやすい雰囲気を作っていただきたく思っております。これからも鳥栖市で保育、教育を考えておりますので、保育、教育しやすい環境、支援を切に願います。

< 市全般について（小学生児童） >

現状、良くも悪くも問題ないのかと思います。しかし、私の家族では親族が近くに住んでいるためサポートが受け易い環境にあるのでいいのですが、そのような家庭ばかりではないと思います。サポートする人がいない家族がより住み易い鳥栖市になること望みます。

転勤で色々な所で生活しましたが、鳥栖市の子育て支援等を含めた子どもを育てる環境はあまり進んでいない、力の入れ方が低いように思えました。他県、他市と比べるとは良くない事かもしれませんが、決して小さい市ではないので、その所の支援の充実を検討して欲しいです。

現在は、子育て支援を使う状況等なく良いのですが、もしもの為に市として、サポート出来る支援策を充実したものにしてほしいと思います。よろしく願いいたします。

転勤族で様々な自治体を経験。最終的に鳥栖に落ち着きました。他の自治体の良かった点（・病院代が無料の所（500円もかからない）鳥栖の良い点（・新規の人を受け入れる雰囲気・市役所の頑張り・サガン鳥栖）もっとPRして良いと思います。今後期待しています。

<情報提供について（就学前児童）>

市役所窓口や HP に有益な情報を掲載いただいても見る機会が少ないです。できれば今回のアンケートのように、子育て世帯に郵送にて連絡いただくと、より身近なものに感じ、参加しようと検討できます。
自ら情報を取りに行っていない所もありますが、積極的な情報提供もお願いしたいです。
市の HP が見にくい、わかりづらい。
子どもの年齢に合わせ、説明会（入園、制度、市の取り組み等）があれば助かります。
今後、習い事としてピアノや習字を考えていますが、市内のどこにどれ程の数の教室があるのか、はっきりと分かりません。一覧表などがありますか？もしなければ、市報や園からの手紙等で知れると助かる。
まだ幼稚園に入るまで時間があるが、鳥栖市内は、入りやすいのかがわからない。そのあたりの情報を市の広報誌等でわかりやすく解説してくれる特集を組んで欲しい。
保育園を選ぶ際のパンフレットがわかりにくかった。園ごとの紹介スペースが足りない。
育休中は児童センターや子育て支援センター、図書館での赤ちゃん向けの読み聞かせやイベントにたくさん参加させていただきました。子育て情報も充実していて、育休中は自分自身少し息抜きになりましたし、子どもも楽しめたと思います。「みんなで子育て」は毎月もらっていました。職場復帰するにあたり、保育園等の施設見学に行く際にも市HPや広報誌等で情報収集していました。幸いにも希望する園に入れたのでとても良かったです。
鳥栖市には、幼稚園がいくつかありますが、どういう教育方針の園なのかなど、情報がわからないので、支援センターなどに掲示物として置いてもらいたい。
安心して預けられる幼稚園、保育園が少ないように感じます。アンケートで知った情報が多かったです。利用することが少ないため、利用はしないのですが、情報を提供するシステムを強化できないかと思いました。長女がいるため、次年度との方針、方向性に戸惑いを感じています。より良くなることはいいことですが、差がすごいです。
利用施設、制度の住所、電話番号、利用対象者、申し込み方法、時期の一覧表を作って頂けると助かる。
支援がたくさんあるが、忘れるので支援や行事などまとめた物の通知が欲しい。
受けられる免除や受け取れる手当等をもう少し詳しく知らせてほしい。
イベント告知等の際、インターネット情報があがっていない。又は探しづらい。
イベントの告知、待遇のレベルアップを図って欲しい。
イベント等もみんなで子育てをみないとわからないし、周りのお母さんたちも色々なイベントがあることさえも知らないのも、もっときちんと告知すればいいと思う。
子育て支援のみんなで、子育てや各支援センターの情報をいち早く載せて欲しい。（1日や2日だと行きたいイベントが終わっていることもあるので。）
風しんの抗体検査が無料で出来るか等、市のHPで見ても、情報がない。全般的にHPの情報が見にくく、薄い。
予防接種の乳児健診に関する資料（受けられる病院の紹介、問診票の事前配布等）をいただくと、引越後後のバタバタが軽減され、助かります。

母親の職場は久留米市ですが、病児保育の施設はいくつかあります。鳥栖市はあるのかわからないのかも知りません。もしあるならもっと情報提供をしてもらいたいです。

30年7月に引っ越してきたので支援等の充実は実感できていませんが、予防接種や検診に関する案内が転入時になかったことが不安です。市のホームページにも保健センターへ問い合わせをとしか書かれておらず、具体的な内容の記載がないのでとまどいました。市によって対応の違いがあることは受け止められますが、転入者にとってもう少し親切な案内があればと思います。対応部署が違いましたらすみません。

<情報提供について（小学生児童）>

子育てに関して情報発信がやや少ないような気がします。

習い事の情報欲しい。

<相談支援について（就学前児童）>

鳥栖市が本当に子育てに力を入れたいなら、窓口はお母さんたちが話しやすいよう、カウンターにカーテン等で間仕切りをつけるとか、ぬいぐるみを置くとか、明るい雰囲気にして市役所の他の課と差をつけた方がいいと思います。働いている方はとてもいい人達なのに話しくなくて…もったいないです。カウンターの場所を変えた方がいいのではないのでしょうか。
他の地域はもっと子育て支援に力を入れているが、鳥栖市は子どもの数が多く、力が入っていない。3人目育児で、授乳にとっても悩み、育児ノイローゼなりそうでした。そんな時に利用したのは、みやき町の子育てサポートセンターゆりりです。みやき町の方は安く利用できて羨ましいです。鳥栖市には、転勤などで来ている人も多く、相談・サポートする人が少ないと思う。
県外から鳥栖市へ来ました。初めての土地で出産、育児。初めてのことだらけで専門的なことを相談したくて保健センターに電話したら、面倒くさそうに対応されたことがショックで何も相談できなくなりました。初めての土地で唯一の頼り所からそのような対応をされてしまったらどうしたらいいのか。頼っていいんだ、育児の疑問を気軽に相談できる対応を切に願います。
福岡市から転居し鳥栖市で就職の為、子どもの保育所入所のため何度か子育て支援課に直接相談に行ったが、「鳥栖市は待機で入れない」の一点張りで、対応の悪い男性職員がいた。せめて子育てしながら働いている人の立場でも物事を考えられる人を配置して欲しい。
こども育成課に保育園の話聞きに行ったことがあるが、男性職員の態度が冷たい。名前はわかりせんが一人です。もっと相談に来ている人の気持ちに寄り添って、納得できるように丁寧な説明をして欲しい。すごく不愉快でした。
子ども育成課の対応が悪い。行くたびに言う事が違う。
市役所の対応に不満。（特に男性職員）
こども育成課に手続きや、尋ねに来る未就園児保護者は、不安や心配を抱えている人も少なくないと思います。女職員の方は笑顔で接してくれてとても親切な方ですが、男性職員の方は冷ややかな対応で、やや怖いです。ママ友の間でもよく耳にすることでもあります。態度の悪い市民には厳しい注意をしていただいて結構だと思いますが、窓口や電話の対応を優しくしてもらえたら嬉しいです。
こども育成課の窓口対応について、とても事務的で親身になって対応してもらえないという印象しかありません。（保育所入所に関する相談）

<相談支援について（小学生児童）>

地域のサポートがない。子育てに関して不安があるので、相談できるような母子巡回等（福岡市）を実施して欲しい。
第2子妊娠中に鳥栖市へ引っ越して来ました。出産の時に上の子をどこか預けられるところがないかと、こども育成課へ相談に行きましたが、「保育園は待機児童が100人いるのでダメです。他は自分で探して下さい」と言われました。引っ越して来たばかりで右も左もわからないのに、その時の担当者の対応に鳥栖市は子育てしにくい所だと思われました。その後、切迫流産になり入院を勧められましたが、上の子を預けるところがないので入院も出来ずに自宅安静でした。もう少し親身になって欲しかったです。

< 保育所、幼稚園等について（就学前児童） >

他県より4年保育実施の幼稚園が多くてとても良いと思う。他県は満3歳児～が多い。
支援事業は多いと思います。1歳から2歳の受け入れが幅広くなれば嬉しいです。なかなか保育所に入れませんでした。
幼稚園、保育所をもっと増やして欲しい。
保育園の枠を増やして欲しい
幼稚園、認可保育所（0歳から預けられる）を増やして欲しい。
幼稚園と保育園の数が少ない。もっと増やして欲しい。
認定こども園を増やして欲しい。
保育園を増やして欲しい。福岡市内より引っ越してきたが、鳥栖市は子育て環境が充実していると思う。ただ、住民、家族がいる世帯が多いのに対し、預け先が少ない。
保育所の数が少なく、保育士の人数も不足しているので、希望する保育所に入所できないという現状を早急に改善して欲しい。認可保育所、認定こども園の数を増やし、親が安心して子どもを預け、安心して働ける環境を早く整えて欲しい。
幼稚園の数が少ないこと。仏教やカトリック等の宗教関係の幼稚園が多いことが気になります。それぞれの特色があっていい点もありますが、宗教等の関係のない幼稚園、または市の運営する幼稚園があってもいいのではと感じています。
就職活動が難しくなるので、入りたい時期に保育園に必ず入れるようにして欲しい。
待機児童が多い。
待機児童をなくして欲しいです。
保育施設に申し込むも約一年待機児童な点は精神的にも経済的にも辛かったので、改善していただくと有難いです。
待機児童になって、一年連絡がなかった。仕事復帰が延びた。どういう理由で待機児童に選ばれたのか、説明が欲しい。
保育園に入れられない子が多いと聞いたので、少しでも待機児童の数が減ればいいなと思う。
待機児童が不安なので、幼稚園や保育所の充実を検討いただきたいです。
保育園の待機児童を解消してもらいたいです。よろしくお願いします。
子どもが3歳になる年の4月に仕事に復帰する予定です。待機児童が多いと聞くので本当に復帰できるのか不安です。空き状況を随時ホームページで見られるようにして欲しい。
保育士の処遇改善及び確保し待機児童ゼロにして欲しい。
待機児童が多い。保育園に預けないと就職活動ができないのに、すでに働いている方が優先されてしまう。いつまでたっても働けない。
仕事をしたくても、預かってもらう保育施設が少なく、待機児童になった為、もう少し保育所等を増やして欲しい。市役所に相談に行っても、待機があるとだけ言われ、全く支援されず、不満に思った。企業が多いまちなのに、保育環境が悪い。
保育園の待機児童問題があり、保育園に入園できるか、周囲も心配しています。自分で選んだ園に入れるように早くなって欲しいです。宗教上の理由で希望していた園があったのですが、落選した為、泣く泣く幼稚園に行くことになりました。
新しく保育園が増え、待機児童が少ない所はいいと思いました

<p>待機児童は、この宛名の子が入所する年には、2～3名程度でした。算出方法は規定通りかもしれませんが、実際は希望する園に入れなければ全て待機児童とみなすべきだと思う。通勤や復帰を遅らせたりする親が大勢いるのに、鳥栖への移住は拡大しています。</p>
<p>保育園に入れなかった事、市役所の対応が悪い。鳥栖市民として、対応が悪かったので市外に引っ越そうと思いました。今年の3月に移住する予定です。</p>
<p>現在通園している園は先生方も熱心に保育にあたって下さり、非常に満足しています。第一子の保育所申請の際、市職員の方々のその場しのぎの対応に非常にがっかりさせられました。申請者により沿うような対応をしていただけるよう、強く望みます。</p>
<p>保育所に入りにくいので仕事の量をなかなか増やせない。</p>
<p>保育園に、働いていなくても預けられるようにしてほしい。</p>
<p>来年度の新規入所申し込みを期限内に提出したが、3月になっても通知、連絡等、何も来なかった。問い合わせたところ、「希望の保育所は入所できない為、他の園で調整中です」と。なぜその報告をしないのか、対応に不満ばかりでした。別件でも通知をすぐに送付しますと言われましたが、届いたのは3週間後でした。同じ市内なので1日で届くはずですが。何年経過しても、こども育成課に対するマイナスイメージは消えませんが、迅速に対応して親の不安を少しでも解消していただけるよう取り組んでもらいたいです。</p>
<p>子どもを産めば、上の子を保育所に預けれなくなり、働きたいが入所できない。子どもの人数に対して支援をもう少し考えて欲しい。</p>
<p>第2子の育休復帰の際に、1歳までに保育園に入所予定がない場合、第1子は産休が終わり次第退園になると言われ、職場に頭を下げて、年度途中で復帰しました。本来は、第2子が1歳3か月の年度替わりで復帰したかったです。他市では1歳過ぎでも入所予定や、仕事の復帰時期が明確なら、上の子が育休中も引き続き保育園が利用できることが多いです。待機が多い実情も理解できるが、もう少し柔軟に対応してほしい。</p>
<p>1歳から保育を希望したが、入所できず、市外の保育所に通所したが、年少から保育園を強制的に変えられ、子どもは慣れるまで毎日泣いていた。子どもがかなり負担だった。途中で変わるのは大変だった。だから、希望した保育園に入れるように、人口が多いまちには増やしてほしい。3歳未満は特に少ないと思う。</p>
<p>保育園や幼稚園の保育部門の定員数が少ない為、未満児を預けることが難しい。なんとかしてほしいです。</p>
<p>働きたいから保育所を利用したいのに、就労してないので預けられない。子どもがいるので面接にも行けない。気軽に頼める親族もいないので求職活動も困難。</p>
<p>認可保育所の利用をもっと広域に広げ、隣接する市町村にも預けられるようにしてほしい。必ずしも自分の住む地域に納得のいく施設があるとは限らない。</p>
<p>希望の保育園に入園できる体制を整えて欲しい。一人目の時、育休明けに保育園に入園できず、自宅から遠いところ、又は認可外を紹介されました。鳥栖は保育園に入れないと有名になっています。</p>

<p>第一希望の保育所に職場復帰の時に入れなかったのに、次の申し込みの際、第二希望の所に入れた。しかし、転園が優先されるらしく、また次の時に第一希望だった所に転園すれば、結局最初に希望していた所に入れるというのであれば、初めから第一希望の所に入っているのもよかったのでは？と疑問。転園が優先されるのは、他の方が結局希望する所に空きがなくなり、悪循環になるのでは？と思う。</p>
<p>とにかく保育所が通らない。希望者がすべて入れるようにして欲しい。一度、保育所NGの通知が来た後、窓口で言われましたが、母子家庭が優先なのはわかるが、就労して税金を納めている身なので、その辺も理解して欲しい。子育ての一番の支援は保育所の確保です。</p>
<p>不安な点は、保育園や幼稚園に簡単に入れられない事です。4月からの保育園入園を希望しますが、仕事をしていないと入園は厳しいと聞きます。しかし子どもを2人見てもらえないと仕事ができません。保育園は、どこでもいいが、どこにも入れなかったら幼稚園もみんな並んで入所しているようなので不安です。保育園の数は多いように思うが、育休の人ばかりでなく、これから仕事をしたいと思っている人も支援してもらいたいです。</p>
<p>保育所に入れられない問題は、どの市町でもあることだと思いますが、仕事に戻りたくても戻れない側からすると、大変困ります。点数表も兄弟児は100点と高いのに対し、フルタイム勤務は12点しかなく、太刀打ち出来ないと思います。施設数を増やす、保育士の雇用等、様々な視点から検討していただきたいです。</p>
<p>育児休業取得後、復帰をしたくても、保育園に預けることができないことが不満です。また、個人的にですが保育園の場所も偏っていて、希望の所に入園できなければ遠い所になり、負担になるのではないかと思います。</p>
<p>なかなか希望の保育所に入ることができず困っている。小さい子ども持ちの親がたくさん働いており、延長保育も19時までなので仕事が終わる19時半まで預かってもらえるのが有難い。</p>
<p>育休中に保育園の入所を希望しても入れないことに不満がある。特に2人目と育児をしていると、親も子どももストレスが溜まる。短時間でも週2～3日でも預けられるようにして欲しい。</p>
<p>0歳、1歳児の受け入れが難しい印象を受けました。働きたいのに、働けない現状があると思います。</p>
<p>入園の条件の枠を拡大して欲しい。</p>
<p>預かり保育利用に「原則就労のある場合のみの利用」と言われるが、私用でも気軽に預かれるような制度にして、親のストレス発散などにもつながる。</p>
<p>子どもの親が通院などある場合、保育園や市に出す書類の勤務時間をもう少し考慮して欲しい。本当は毎日リハビリの為、通院したいが、子どもは今通っている園が好きで、辞めたくない、他は嫌い。だから仕方なく働いています。</p>
<p>延長保育が19時までというのが早いと思います。少しでも職場を出るのが遅くなると、ギリギリになります。</p>
<p>保育園の定時を19時から19時半までにして欲しい。保育士さんの負担が増えるかもしれませんが、久留米市で仕事をしていると、17時15分くらいまでには久留米市を出ないと渋滞で間に合わない。</p>

<p>市外で働いている為、フルタイムで働くと、保育園のお迎えに間に合わない可能性があるため、保育園の利用時間が長くなると助かる。もしくは、近隣の市と連携して、子どもを預けられるようになると、もっと働きやすくなると思う。</p>
<p>ホームページで認可の保育園を探し、朝7時から保育可能な園を選んで入所したのに、0歳児や1歳児は早くても朝8時を過ぎてからでないと預けることができず、忙しい祖父母の力を借りたりしました。こういった情報は保育園を選ぶ前に知っておきたかったです。</p>
<p>現在入所中の保育所では、土曜保育の利用時間に一定の制限がある。（土曜保育希望者は木曜までに届け出が必要、毎月第2土曜は午前保育しか実施できない等。）就労の為の保育所利用であるのに、午前保育しかできないというのがとても不便。現在は土日休みが取れるようになった為、利用していないが、就労形態が多様化する中、保育所の利用方法も改善して欲しい。</p>
<p>平日の仕事なので、保育園は土曜は利用していないが、月に1回でいいので、土曜の午前中に利用できるようにして欲しい。病院に行きたくても我慢して育児している状況です。平日はいつ子どもが病気になるかわからないので、有休は使えない。</p>
<p>日曜保育の実施をお願いします。</p>
<p>保育園は仕事の日以外は家庭保育して下さいと強く言われるが、フルで働いている側としては親が休みたい時もある。</p>
<p>年未年始も保育園で預かってくれるようになると助かる。</p>
<p>仕事柄、祝日も出勤があり保育園が休みなのは困る。年未年始も保育所の休みが長く、仕事に影響が出る。通わせている保育所は、18時過ぎると1秒でも一人500円の延長料金がかかるが、多少の考慮をしていただきたい。例えば、10分=100円。</p>
<p>保育園からのお迎え要請（熱などの病気の場合）に対し、お迎えと病院の受診までお願いできる仕組みがあると有難いです。</p>
<p>保育所に一度決まったら、転園が難しい。母親が病気して、仕事を休んだ時に、保育園が預かってくれなかったりと、不満を言えば他所に転園してください等、マニュアル通りの対応しかない。もう少し寄り添っていただけるとありがたい。</p>
<p>以前、筑紫野市に住んでおり、子どもが1歳になる前に鳥栖市へ引っ越しました。現在は職場の保育所に預け、病児保育も久留米市で利用しています。年少から鳥栖市の保育園に入所しなければなりません、仕事上、夜遅くまでの勤務もある為、仕事を制限しなければならない予定です。どの保育所も延長しても19時までで利用しにくいです。職場の保育所は未満児までです。7～21時まで預かってくれます。</p>
<p>土曜も病気（精神）の為、預けているが、保育士には嫌みを言われる。保育士から子どもに対しての愛情は感じないが、他に預け先がないので預けている。保育士の質の向上が望まれる。</p>
<p>母、父共に、土曜の仕事の都合が合わず、市役所に聞いた土曜一時保育可能な所（その時子どもは主人の職場の保育所に預けており、その日は休み）に電話した。1ヶ月以上前の電話にも関わらず、どこも土曜日は保育士が足りず、預かれないとの返答。今は保育園に預かってもらえるのでいいですが、私みたいな人もいると思うので、土曜日に一時保育が出来る環境を増やして欲しい。</p>
<p>無償化等により本当に保育を必要としている共働き家庭に寄り添い、幼稚園と保育園の教育差がつかないような環境整備を整えて欲しい。</p>

<p>現在、私立保育所に入所していますが、子どもの体調不良の際、クラスの担任以外の先生方にも状態の連絡がいついて安心してました。先生同士きちんと連帯がなされているんだなと思い、保育の環境も整備されていて安心して子どもをお願いできると実感しました。将来的には引越す可能性があります、今は鳥栖市の子育て支援等たくさん利用したいと思っています。</p>
<p>両親共働きの為、習い事の送迎の都合で諦めることが多々ある。保育園の延長で習い事を習わせることができ、親の終業まで預かってもらえる施設があれば選択肢が広がり、とても有難い。保育園に預けているが、マナーがなっていない保育士が多い。業務をこなしているは大切だが、自分たちの保身ばかりで子どもの事を考えていない。園のロッカーに入らないからジャンパーは預からないと言われたが、子どもはジャンパーなしで外で遊んでいるのか、または未満児であるから、外には出していないのか、閉じ込めかと疑問に思う。不信であると、リフレッシュ等の為に園に預ける事は困難である。</p>
<p>保育施設も増えていますが、まともな園がどれだけあるのでしょうか。初めに入所したキッズハウス鳥栖園はなぜ認可されているのですか？不祥事のあった先生も戻ると聞きました。外から見ても、中の様子が以前のように見えない。大きな問題がおきてからでは遅いので、運営停止を求めます。このような園はここだけだとは思いますが、園が増える事で、今以上に市の管理が行き届かないと不安に思っている。このようなアンケートを各園の方に直接実施して実態調査をすることも考えてはどうでしょうか。</p>
<p>保育料は同じなのに保育園によってレベルが違い過ぎる。最低レベルの教育はして欲しい。保育園のレベルを統一するくらいして欲しい。小学校に入って困る。</p>
<p>保育園の質にばらつきがある。放課後保育を充実させて欲しい。</p>
<p>もっと気軽に保育を利用したい。縛りが厳しい。施設によって差が激しい。(利用する理由)</p>
<p>鳥栖市と保育園の連絡体制に問題があり、大変困ったことがありました。また、保育園の利用について、保護者がしっかり守ることは当然ですが、保育側も、もう少ししっかりして欲しい。(お願いが多すぎる。)</p>
<p>子ども2人とも保育園で先生方の笑顔、おいしい給食、様々な体験と恵まれた環境で過ごしています。先生方を信頼しているので、安心して仕事へ行けます。ありがとうございます。</p>
<p>近所に未就学児の子だけで自転車に乗って道路を運転しているのを見かけ、危ないと思ったが、どう注意すべきかわからなかった。保育園や幼稚園で伝えて欲しい。</p>
<p>母親は介護福祉士の資格を持っており、フルタイムで働きたいと思っている。子どもも現在の保育所は3歳までのため、あと1年ほどで終わってしまいます。とにかく子どもの保育所の移動ができるか不安です。</p>
<p>保育料無償化にするより、保育士を増やす為に使って欲しい。</p>
<p>保育士が少なすぎる。</p>
<p>保護者支援だけでなく保育士支援も考えていかななくてはいけないのではないかと思います。このアンケートで良くなることを願っています。</p>
<p>保育士の待遇を良くしていただきたいです。とても過酷で忍耐のいるお仕事です。良い人材が育つようにもっと働く先生方の事を優先して欲しい。消費税アップでどうにかなりませんか？</p>

<p>保育士の雇用について、勤務時間、給与等について、改善して欲しいです。せっかく資格を持っていても、鳥栖市の保育所では働こうと思いません。（近隣市町村の保育所や私立の保育園と比較して）</p>
<p>保育所はたくさん建っているのに、保育士の数が足りないので、入所ができる人数が減っている。兄弟で別々の保育所に預けなければならないことがある。0～1歳児の入所希望が多いため、下の子が入れない。1～3月生まれは、途中入所で入所しづらい。保育士の給料を上げてください。古くから建っている保育所の改修工事、または明るい雰囲気作り、通いたくなる工夫。私立保育所の保育士の質向上。</p>
<p>認定こども園に預けたいのに、1号から2号への切り替えが難しく預かり保育を利用せざるをえず金銭面の負担がある。2号には入れれば負担する必要のないお金なので不平等感がある。認定こども園の利点でもある1号と2号の切り替えは希望者がすべて希望の通るような枠づくりにしてもらえると嬉しい。スムーズに切り替えが難しいと何のために認定こども園に入れたのかわからない。</p>
<p>未満児と3歳以上児を同じ認定こども園に預けたいが、未満児に制限があるなど、認定こども園利用がまだ充実していないように感じる。保育所の土曜日利用に関して、土曜保育を事前に申し込みが必要なため、急な勤務交代があると利用できないこともある。また代休日が必要なためフルタイムで働いていると平日休みの時、子どもを休ませ、土曜預けるとなると親の私用には子どもを連れていく形となり、兄弟の学校行事や親の通院が辛い・子ども中心に考える必要があるので、難しい問題ではあるが、土曜保育に関してもう少し検討できないかと思います。</p>
<p>幼稚園（認定こども園）を利用していますが、幼稚園の参観日に必ず親が参加しないと退園にされるのは、やり過ぎ。預かってもらえないのも問題。幼稚園と認定こども園のシステムが変わらず、共働きの親は仕事の休みなどを取るのが大変なので、ちゃんと考えて欲しい。</p>
<p>仕事の内容により、土、祝日も預かりの必要があります。認定こども園ですが、延長を利用しても仕事を選ぶ範囲が極端に狭まります。パートですら狭まり、自由に仕事を選べません。転勤の方は周囲に知人がいない方が多いと思います。安心して預けられる所が欲しいです。仕事が本当に休めない人もいます。夫婦間の協力だけでは大変困難です。</p>
<p>現在利用している幼稚園には大変満足しています。うちの場合は全部幼稚園で間に合っているので特に意見がないです。</p>
<p>3歳と1歳の子ども二人です。鳥栖カトリックの保育部に通わせています。元々幼稚園であるため幼稚園のような体制なのは理解しています。ただ、保育部で通わせている保護者のことを全く考えていないことに大きな不満を持っています。先生も同じ考えの方がいらっしゃるようですが、園長のワンマンぶりでなかなか変化がありません。本当に困っています。長すぎるイベント。三日間にわたる遊び会は、年長さんは全て出席。衣装も本格的すぎて大変。時間も9時から16時と長い。運動会も長い。手作り品も多く、本当に忙しいです。カトリックの園長先生はお話が通じないようです。</p>
<p>園開放やきららルーム等、色々あるみたいですが、初めて1人で行くのは不安。2ヶ月検診の時の資料に詳しく書かれているものや、一覧があれば嬉しい。</p>
<p>幼稚園の延長保育時間を長くして欲しい。19時までなら幼稚園に預けたい。</p>

京都から転勤してきましたが、幼稚園の預かり保育の時間の長さにびっくりしました。とても長く預かってくれて、そのうえ安い！それだけで感激しました。

プレ幼稚園をもっと進めて欲しい。

< 保育所、幼稚園等について（小学生児童） >

幼稚園の充実（教育・認可）

宛名の子どもが小さい時には鳥栖市に住んでいなかったため保育施設の充実についてはよく理解できていませんでしたが（鳥栖に来て4年）一番下の子が現在1歳なので、これから色々知りたいと思います。

第1子出産後仕事をしようと思い、保育園を利用したかったが、現時点で働いていないと、まず難しいと言われ諦めた。下の子は幼稚園で延長保育をしてもらえるが、小学校は働いていないと申し込みしにくいのでなかなか仕事をはじめるときのタイミングが取りにくいです。

当時を振り返ると、保育所になかなか入所できず、相当困っていた。一戸建てを取得して引っ越してきたが、鳥栖市に来るのではなかったと後悔していた。あきらめかけた時に、入所が決まった。選考基準はどうなっているのか、不公平感はある。鳥栖市は保育所に入りやすいと久留米市の方が引っ越してきてすぐに入所された。なんで永住するつもり家族が入所できず、久留米市からの仮住まいしてきた家族が入所できることに怒った記憶がある。公平性、透明性がない保育所の選考基準には不平感しかない。市の職員などが優先的に選ばれるのであろう。

下の子の育児休業を3年取った為、上の子が慣れていた保育園を辞めなければならなかったのは残念でした。育休を長く取っても保育園を続けられる制度があればいいと思います。また下の子が通っていた双葉保育園は大変お世話になり、良い保育士さんばかりでしたが、退職された方がかなり多く、勤務条件が厳しかったのではないかと推測しています。保育士の待遇改善を図っていただきたいです。

基本的には良くして頂いて大変満足しております。ただタイミングの問題ですが、宛名の子に関しましては保育園に入れず苦労しました。申請しつつ無許可に2歳より通い始め、もうこのまま卒園までと思った矢先に、園の都合で未満児のみ転園。年中の3学期におそらく半ば強引に、公立園に入園させてもらいました。よくみていただいて笑顔で通え、成長できよかったです。その後、家族の事情で転職した。

鳥栖市は保育士のために母親が平日休みが取れたら、保育園休ませてなるべく保育士の仕事の軽減をさせましょうという考え方ですが、働いている母親はどこで休めばいいのでしょうか。長崎の大村市はそんな母親のために、土曜日にも保育園に子ども達を連れてきて、母親は休んでくださいという考え方で働いている。お母さん達はとても生き生きしていると聞きます。自分が楽になるために子どもを預けるつもりはありませんが、少しでも母親の為にそういったことをしてもらえると気持ちになります。母親にもっと優しい子になればもっといいまちになるのではないかと思います。

保育園へ年度途中の入所がしやすい環境になって欲しいです。転居してきて、年度途中の保育園の申し込みだったが、入れなかった。4月から仕事と復帰で、子どもも4月から入所ですが、慣らし保育をどうしたらいいのかとても悩んでいます。

森のようちえん等の自然遊びが増える環境だと有難いと思う。

下の子は現在4歳で、緑ヶ丘保育園に通わせていますが、市役所の方から、「保護者が休みの時にはお預かりすることができません」という風に言われます。平日に仕事の休みが入るということは、土曜日や日曜日に仕事があるということを知っていますか？私たちにお休みは休むなということですか？それで親の子育て支援をしているつもりですか？じゃあ利用料をせめて日割り計算したらどうですか？高い保育料払っているのに、自由に預けることができないのはおかしくないですか？子どもはもちろん可愛い、寂しい思いをさせたくない。でも美容室にも行きたいし一人の時間も欲しい。それはわがままですか？おまけに緑ヶ丘は土曜日に預かるのは嫌だという雰囲気を感じます。土曜届けが木曜の夕方までに提出するというのは分かりませんが、その紙を配るのもその週に入ってからと言われました。紙を配布するくらいいつでも良くないですか。私の職場は制服なのですが、ある方は先生が子どもに「お母さんが制服じゃない時は保育園に来なくていいんだよ」と言われたそうです。一時期は未満児の運動会もなくなりました。先生達が楽をするためにとしか思えません。もちろんいい先生もいらっしゃいます。毎年クラスが上がる時は、いい先生になりますようにという思いです。今まで何回、市役所に苦情を言いに行こうかなと思ったことか。市と保育園に何らかの対応をきちんと示して下さい。

以前は久留米市北野町に住んでいました。そちらの支援はとても手厚かった。保育園に子どもを預けていたが、良心的でリフレッシュのためにどんどん土曜保育も利用してくださいとおっしゃっていただき、心から楽になったことを今でも忘れられません。実際に預けばなしということはないが、母親だって髪も伸びれば昼寝もしたくなる。そんな時、育児のプロの方に心強い言葉をかけていただいただけで自分も人間として生きていいんだと前向きになれるのです。子どもを鳥栖市の保育所に入れた時は、人質に取られた気分になりました。ギャップが凄すぎて保育所が一気に嫌いになりました。こうも違うのかと悩みました。遊園の際に土曜は預けるのかチェックされ、預けると返事をすると嫌な顔され、台風で小学校が休みになれば保育所も利用しないでくれと念を押され、本当に意味不明。学校は休みでも仕事があるんです。そんな時が一番困るのに保育士さんも危ないのは理解できますが、小さい子を連れて買い物に行くのは大変なんです。3人となるととても大変な作業なのに、仕事が終わってからすぐお迎えに来てと言われる。油売って親というつとめをせず遊んでいる、仕事が休みの日は子どもも休ませろ、全く支援とは程遠い。親になると遊んだら罪なんですか？遊んでる親は子どもに冷たい、それってイコールですか？毎日子どもにちゃんとして一年間のたまの一日ぐらい友達と遊ぶのって罪ですか？スーパーで世間話から気晴らしになるのに。保育士や行政は色々大変だと思いますが子育ての前に親育てじゃないのでしょうか。親が子どもだから子育てが行き詰まると思います。

一昨年、転勤により鳥栖市に転入してきました。仕事をするために保育所に子どもを預けようとしたのですが、保育所が空いておらず、働くことができませんでした。働きたい母親がいるのに子どもが預けられなかったら働けません。保育所に預けるためには就労証明書が必要ですが、子どもを預かってくれるところ所がないと働けません。この矛盾はどうにかならないのでしょうか？休職中の方は問題ないのでしょうか、無職には厳しい社会だと思いました。

保育利用も平日仕事休みの時は、なるべく家庭保育を進めたり、土曜日用の度に申請書記入はおかしいと思います。平日休みでないとできない用事を済ませたりがあるので、通常通り預けられるようにしていただきたい。土曜に関しても同様、月単位と市保育料を納めているので、平日仕事休みで家庭保育するように言われたり、土曜も休みなら預けるなど言われるのであれば、日割りで返金していただきたい。高い保育料を払っているのに便の方が立場が上のような言われ方をする。園の方も先生方も大変だと思うが上記のような態度だと疑問を抱きます。

現在小2、3歳の二人の子がいるので仕事をしていませんが、4月に下の子が幼稚園に入園するので、慣れてきたら仕事に就きたいと考えています。しかしながら、お迎えの時間を考えると9時から14時くらいが限度かと感じており、可能であれば9時から16時くらいまで働いてればと思っているところです。幼稚園は延長保育できますが、小2の方が3年にはなっていますが、一人で留守番させるには心配です。

<学校について（就学前児童）>

通学路は歩道が狭く、交通量が多いため通学が心配。
小学校の学区について、現状は住所のある学区に通うとなっておりますが、やむを得ず学区外の保育園等に預けている方もたくさんいらっしゃると思います。たいていの家庭は保育園のお友達がそのまま小学校に行け、親も子どもも安心するのですが、そうでない方はとても不安に感じます。私は母子家庭で、生活面や小学校に入学したときに祖母がみてくれる等という面から、実家に戻ろうかと考えましたが、実家は旭地区ではない為、諦めました。なので、鳥栖市内であれば学校を自由に選べるようになってくれたらと思います。もちろん、一人で登下校は危険なので、家族が送り迎えを必ず行う等、条件付きです。
鳥栖市はそんなに広くもないのに、小学校の数が多い。少しずつ、特徴の違う小学校がある等、教育の格差を感じる事が多いです。子どもが減っていて、高齢者が多い地区では、子どもの教育の質は上がりません。昔のような校区決めでは、子ども達の学びや経験は下がる一方だと感じています。小学校の統合等、選択を増やし、先生たちを分散させずに、質の高い教育と先生たちの無駄な雑用に追われることなく、未来の教育者として、子ども達と関わってもらえる鳥栖市になるといいです。先生の頑張っておられる姿は常に感じており、感謝しております。鳥栖市での子育てを迷う時期になり、そろそろ元の場所で子どもに必要な教育を受けさせてみるのも大切かと悩んでいます。
支援学級か普通学級が今わからない状況なので、小学校に入学する前の手続きの流れであったり、放課後のなかよし会のこと等、詳しく教えてもらいたいです。
学校の給食費の無償化。
ブックスタート事業を実施して欲しいです。筑紫野市も基山町も実施しています。田代中学校と弥生が丘地区が遠いため、弥生が丘中学校を創設して欲しい。
以前あったブックスタートをするのも子育て支援としてよいと思う。

<学校について（小学生児童）>

今住んでいる弥生が丘地区から、中学校への通学が遠く不便である。自転車通学になっているが、通学バスがあれば便利なのになと思います。
下校時の見守り隊がないので不安。
細い道でも車のスピードが出ているのでスクールゾーンの確保をしてほしい。
最近の小学校は、子どもに忘れ物をさせないようにとか、宿題も親が教えたりとか、子どもが忘れ物をして困って初めて次から気を付けようと思う事などをさせないようにしているのが気になります。先生たちが困るのもわかりますが、そういう本人が味わって、その経験が大切だと思う。
共働きが多くなっているにもかかわらず、子どもの学力低下は授業数の少なさと休みの多さにあると思う。家庭も色々あると思うが、一般的な親の勤務時間に合わせて授業を増やし、その分土・日・祝は完全休みにするなどの配慮。土日など参観や行事を平日にし、親が有給利用し参加する時流にのるべきだとも思う。

<p>授業に”日本語”学習を入れるくらいなら、基本的に必要な授業を増やすべき。例えばパソコンやマナー学習など生活に必要なものを取り入れれば、すごく魅力的な市だと思う。(他市、他県と比べて)</p>
<p>教育では、英語・パソコン等にもっと力を入れて欲しい。</p>
<p>ブックスタートがなくなったようですね。あるのとないのでは大変大きな差です。残念です。</p>
<p>人口の集中によって、児童数の多いところ、少ないところの差がとても激しく、多いところはやはり、大小様々な児童の問題、今では親と親の間の問題などにまでなっているものもあります。そんな時、親が個人負担を理解した上での、違う高校への小学校への通学の選択など、幅広い選択ができたならよかったですなあと感じる時はあります。人も多ければいいとは思いますが、子ども達はもう少しのびのび、時にはいたずらしながら育てて欲しかったです。今は学校でも少し窮屈そうです。仕方がないですが、よろしく願います。</p>
<p>学校活動において、4年生は1/2成人式が主なイベントであると聞いていますが、必要ないと思います。成長を分かち合うのは家庭でもできることであって、スマホ時代に写真を用意することもアナログであり、負担が大きいと思います。また、授業参観の日に実施されるため、他学年の兄弟の参観も十分に見れず、力を入れているのかよく分かりません。別日に時間を作り、それだけをするのならわかりますが、毎年しているのではなく、意見を聞きながら取り組んだ方がいいと思います。年齢も引き下げられ、自分の家ではなくなります。</p>
<p>フリースクールができたらいいなと思います。小学校で学びの教室ができ、先生と充実した時間を過ごすことができ、子どもが安心して小学校を過ごしています。週1なので回数が増えると嬉しいです。私の友人は、佐賀市からわざわざ引っ越してきました。特別学級の取り組みは本当に有難いです。</p>
<p>小、中学校の発達障害がい児に対する支援をもっと充実させて欲しい。学校の先生方の理解とご協力ももう少し頂ければと思います。</p>
<p>公立中学校に進学した後も、給食制度があると働く母親としては助かります。近郊の町では中学まで給食と聞きました。中学生まで体づくりは大切だと思いますのでぜひ実施して欲しいです。よろしく願い致します。</p>
<p>中学校が自転車登校になるのに不安がある。天候等。できるならバス送迎があればいいなと思います。</p>
<p>中学校は徒歩通学ですが、土日なら自転車通学することがある為、ヘルメットを購入しているが市からの補助が自転車通学の子にしかないのが不服。通常使用しない自転車通学用のレインコートも先生によっては自転車使用時に指定のものを制服販売店で購入するように言われたが、年に何度も使用しないため、自宅にあったレインジャケットを着せたが、NGが出た。安価なものなのでない、及び通常使用頻度がほぼないものも購入するべきなのだろうかとの疑問。中学在学が二人おり、金銭的負担と必要性が低いことから自転車が必要で、雨の日の送迎している。自転車通学の子のみならず、同じように徒歩通学の子にも補助をお願いしたい。不平等であると思います。地区関係なく自転車通学を認めていただき、同じように補助してほしいです。</p>

<子育て支援センターや児童センターについて（就学前児童）>

支援センター、児童センター、幼稚園にはとても感謝しています。よりよい子育て環境や支援、期待しています。どうぞよろしくをお願いします。
鳥栖市の支援センターは数が多く充実している満足。
支援センターが多いので色々な所に連れて行けるので助かっています。
約1年半前に県外から弥生が丘地区に引っ越してきましたが、周りに支援センターや子どもと同じくらいの年齢の子が多く、とても子育てしやすい環境だと思います。
子育て支援センターに行くのに、バス、タクシー等、公共交通機関を利用しているのですが、距離が遠く、月に数回しか行けません。自宅校区内（基里地区）にも支援センターがあればいいと思います。
支援センターのおもちゃ等、汚れて音が鳴らないものが多い。
子育て支援センター（きらら館等）の老朽化が進んでいるため、新しい施設を設けて欲しい。
支援センターの内容充実（みやき町のような）
以前は子育て支援センターが土曜も利用することができ、大変助かっていました。未就学児が二人いて、フレスポ等に買い物くらいしか行く場所もなく、土日に主人が仕事の日は何をしようか悩みます。フレスポの中に子どもを遊ばせられるスペースがあると嬉しいです。
土日、祝日も開いている支援センターがあると嬉しい。
支援センターを土日も利用したい。利用時間も16時頃まで。
土日、祝日に開いている子育て支援センターがない。
子育て支援センターを土曜又は日曜も利用できるようにして欲しい。
子育て支援センターは、土日利用できないため、ファミリーで行ける市内、市外施設が欲しい。
土曜も利用できる支援センターがあったらいいなと思います。
土日は支援センター、児童センターが開いていないので雨の日は遊べる場所が限られる。
土日、祝日もどこかの支援センターで交代で開けてほしい。（基山はあるのでたまに基山憩いの家に行きます。）
旭地区から子育て支援センターまで距離があるので、なかなか行く機会がありません。もう少し子育て支援センターを増やして欲しいなと思います。（幼稚園や保育園の子育て支援とは別で）
鳥栖市に引っ越してきた際、子育て支援センターの利用時間が15時までと利用時間が短く、知り合いもいないので、非常に心細かった覚えがある。子どもの朝寝、昼寝の時間を除くと、15時頃から利用したかった。
支援センターが多いので日替わりで行っています。どの支援センターもよくて、恵まれていると思います。また、もっとこうなったらいいなというものもいくつかあります。新センターの終了時間が早い。15時終了だと子どもの昼寝後に遊びに行くには短すぎる。
支援センター、以前は16時まで開いていたのに15時までになったのが残念でした。児童センターは16時までいつもお世話になっています。
現在子育て支援センターを利用しており、もっと利用したいと思っているが、開所時間が短いことと、土日が休みの為、思うように利用できない。もっと利用しやすくして欲しい。

<p>少し意見を言うと、支援センターは期待して行ったが、スタッフの方の対応が悪いし、遊ぶ物もあまりなく、魅力的ではなかった。なので、二度と行きませんが、その代わり、他にも色々あるので、子どもにも触れあえる場所が提供されていることを有難く感じます。これからも子どもの為になるもの、楽しく成長できるものは利用したいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>子育て支援センターで、産後うつだった私を受け入れてもらえたことは、1歳になるまでの育児においてとても大きかった。でも、日曜に子どもを連れて気軽に行ける所が少なく、特に、保育園が同じ友達と遊べる場がないので、それが育児負担を更に強めている。</p>
<p>ある支援センターの職員の何気ない言葉に傷ついた友人がいます。言動には気を付けて欲しいです。友人は、その支援センターは、二度と利用したくないそうです。自分は、支援センターにとっても助けられているので、もっと利用しやすいものにしてもらいたいです。</p>
<p>支援センター等も何箇所かお世話になりましたが、スタッフの方が無関心のような態度で疎外感を感じました。</p>
<p>子育て支援センターの情報をもっと明確に配信して欲しい。</p>
<p>保育園内等の支援センターやイベントに大変助けられています。母親の息抜きになるし、子どもも楽しそうです。そしてほとんど無料。これからも続けていって欲しい事業です。ただ、最初に参加するときはなかなかの勇気が必要でしたので、こんなことをやっているよみたいな案内や紹介を市報だけでなく、例えば、フレスポのイベント等で多数の人が知る機会があれば助けられる母親や父親が増えるのではないかと思います。鳥栖市が子育てに優しいまちであり続けますように…。</p>
<p>子育て支援センターもとってルームだけが市の職員の先生ということもあり、とても親身になってくれ、相談できていた為、とても残念である。次の児童センターと一緒にということで、小さい子どもは安心して遊ぶことは難しいように感じた。支援センターの先生も時間に追われ、アンケート（受付表）を書いても一日に何度も名前、性別を間違えるので、いい気分はしないし、パートで働いている感か、責任感ややる気を感じることができない。立地はいいのでもう少し子育て支援に力を入れてくれることを期待します。</p>
<p>児童センターの設備が古く、あまり利用したい気持ちにならない。転勤する機会が多かったので、色々な自治体に児童センターを見てきたが、鳥栖市が一番遊ばせにくかった。</p>
<p>現在は、就労中なので以前よりも児童センター等を利用する頻度は減りましたが、時間が合うときは遊びに行きたいと思っています。</p>
<p>児童センターはとてもいいです。いつも利用させていただいています。スタッフの対応がよく、相談しやすい環境だと思います。たくさん子ども達が集まるので子どもがとても喜びます。</p>
<p>児童センターの3歳ひろばを週2回利用していますが、内容も楽しくて満足しています。これからも利用します。</p>
<p>児童センターの3歳ひろばはとてもよかった。入園後もここで知り合った方々との関係が続き、有難く思っています。子どもにとっても週2回、決まった所に行き、同年齢のお友達と過ごすという経験は本当に大きかったと思います。</p>
<p>土日児童センターなど開けて欲しい。基山町の憩いの家など、小さい子でも清潔に安心して遊べる場が欲しい。</p>
<p>土日、祝日も児童センターが開いていたらいいと思う。</p>

児童センター(室内・室外)が欲しい。

佐賀市にある中央児童センターを4人の子育ての際、よく利用しておりました。木の造りで開放的で自分の行きたい時間に行けて、気軽に足を運べます。鳥栖市にもあればいいのにと17年程思い続けています。鳥栖市の児童センターも広く、体育館もあり、大変いいと思いますが、時間が区切られていて、なかなか利用に至りませんでした。

<子育て支援センターや児童センターについて(小学生児童)>

子育て支援センターの数が少ない。

鳥栖市は、子育て支援センターも多く、どこのセンターでも保育士さんやスタッフさんが優しく、子育て中のお母さんにとっては本当にありがたい存在です。働いてるお母さんでも、専業主婦のお母さんでも、学びの場は必要だと思います。単発的な講演会よりは、託児付きの無料の定期的な講座があると楽しいと思います。ヨガやフラワーアレンジメント、子育てに関する講演等。市民プールを新しく建て替えて欲しい。床がびちょびちょで、トイレの臭いが更衣室中漂っていて気分が悪くなりました。室内のプールやトレーニングセンターもあるといいです。

児童センターの増大

夏休み、児童センターでの教室を利用させて頂きありがとうございます。これからもぜひ続けていただきたいです。入園前までの3歳児ひろば等も楽しく参加させていただきました。友達作りのきっかけになりました。小学生になり、帰宅時間が遅くなったり、習い事で遊びに出かけることが少ないですが、遊べる時は児童センターを利用しています。安心して遊べる場所のようです。小さい頃から小学生の間、児童センターを利用させていただいて、このような場所が身近にあることにとても感謝しております。児童センターの職員、先生方には大変お世話になっておりとても感謝しております。これからもよろしく願いいたします。

未就園児は子育て支援センターや、児童センターがあり充実している。小学校になると働く時間が少ないため、なかよし会の入会条件に満たず入れなかった。通常はいいが、小学校も半日や振替休日、早い時間に帰宅の日も結構多く、そういう時、家での留守番が低学年の間は不安でした。短時間でも受け入れてほしい。鳥栖小学校は近くに児童センターがあり、天気の悪い時とかは羨ましい。

<地域の子育てに関する支援事業について（就学前児童）>

子育てのサービスは様々あるようだが、利用の仕方がわかりづらく、利用しづらい。
保育の仕事をしていましたが、実際に子どもを産んでみると知らないことがたくさんありました。特に生後半年までは、自分で調べるという時間も心の余裕もなく、結果、子どもと二人で家に閉じこもっている日が少なくありませんでした。妊娠中にもっとたくさんのサポートがあることを知っていたら、もっと心に余裕が生まれただろうなと思います。各施設の方はとても親切です。実際行ってみると、色々知れてよかったです。実際問題、行くという行動自体のハードルが高かったように感じます。各施設の場所すら、市内に30年住んでいながら知りませんでしたから。
保健センターの子育て相談会（きららルーム）が月1回は少ないです。定められた日程に行けないと翌月になってしまいます。
市が子育てサークルと連携できるとよい。福岡県からの移住だが、子育てしている人と、市の距離があるように感じた。
他市であっているプレパパ、プレママ教室が月に何回かあると嬉しいです。パパの妊娠体験や沐浴体験等。
1歳半健診を平日ではなく土日にもして欲しい。
乳児健診可能な病院を増やして欲しい。
乳幼児健診の無料券を増やして欲しい
乳児健診を小児科ではなく、まとめて行っていただくと、有難いと思います。
仕事から復帰するために、遠方まで子どもを預けるための送迎で、仕事の継続ができなくなった。1歳半、3歳健診は、仕事をしていると決まった日にちに参加が難しいので、個別で受けられるようにして欲しい。
土日各種予防接種を受けられる体制を作って欲しい。仕事を休んで病院に連れて行かなければならないので、有休が減り、病気になった時に、休めるのが不安だ。子ども用品を譲り合える機会を作って欲しい。
3歳未満の子育て世帯にごみ袋の支援希望。おむつ等のごみが出ると必ず出る。以前住んでいた市町村では、3歳未満の子育て世帯には、子どもの年齢に応じて、ごみ袋の支援があり、経済的にも大変助かっていました。
母子保健推進員の訪問も、子どもに関する相談支援というよりは、配布物を受け取って、保健センターの案内程度しかなく、正直、質の低さに驚きました。もっと市の保健師さんから市内の母子に対する関わりや支援を増やしてもらえたら安心します。自分から声を上げたくても上げられない人は見逃してしまうと思います。
市のサービスを受けたいと思う反面、市や保健センターを利用するのに壁のようなものを感じてしまうことがあります。2度ほど子育て支援のイベントに参加させていただいたのですが、開催時間が早くて体的にも、気持ちの余裕の面からも正直きつかったです。ただ、職員の方々が温かく接してくださったり、離乳食では気負いなく続けていけるような調理法を実演しながら教えてくださったり、参加してよかったなと思っています。

<p>育休中には利用できる場は多いが、平日限定のものが多く、仕事に復帰すると、保育所以外に利用できるリトミックや親子でのイベントはほぼない。フルタイムで働く人は何も恩恵はないと思う。</p>
<p>産後や育児のサポートはシルバー人材センターだけでなく、民間のサービスを利用できるようにし、もっと安価に利用できるように補助して欲しい</p>
<p>近くに親族等がない自分にとっては自分自身が病気になった場合、支援事業があることがわかっていても、結局は自分自身で手続きをしなければ利用できない為、何とか自力で頑張るしかないというのが現状です。自分が原因で子ども達を悲しませたり、寂しい思いをさせてしまうのは嫌なので。</p>
<p>小さな子ども（0～2歳）が集まるような、3歳児ひろばのような集まりがあればいいと思う。ママ友が作りにくいと思う。以前佐賀市に住んでいた時に0～2歳くらいが利用できる「赤ちゃん広場」が月2回程あり友達作りにとっても良かったので、そのような場を作って欲しい。孤独育児者を減らしてください。</p>
<p>子育て支援講座について、育休中に受けたNPの講座がとても良かったです。市主催かわかりませんが、同じメンバーで何回も集まる形式のもので、同じぐらいの子どもがいるお母さん達と情報を共有したり、悩みを相談したり、終了してからも続く関係が築けました。働くママにとっては、なかなか深い付き合いになるママ友は作りにくく、あの時のメンバーが今も支えてくれることは私の財産になっています。今後子育てするお母さん達にもそのような講座をぜひ開いてほしいと思います。</p>
<p>引っ越してきてから、他の所より保健センターでのイベント（健診等）でスタッフの人達がとても優しいと思いました。いつも抱っこしてくれる方達がいて下さって、産後の訪問も、来るまでは嫌だったけれど、実際、とても素敵な方でよかったです。行かないといけない日は頑張ってお出かけけれど、そうでもない日はなかなか自分から行こうという気にならないので、たくさん行く用事を作ってくれたらよかったです。もう少し広めの支援センターでないと、知り合いがいない状態で行くと、他のグループの人達と近く、子どももすぐ飽きてしまうと感じました。</p>
<p>子育て支援等、たくさん活動されていると思うが、年齢に合った内容を検討して欲しい。乳児～1、2歳向け？と思い、参加しにくい。</p>
<p>友人から聞いた話です。1歳の子を持つ友人が、保健センターへ身体測定をしてもらおうと行ったそうです。ちょうどその日は3歳児健診の日だったそうですが、事前に問い合わせたところ、「〇時だったら大丈夫」と言われたそうで、指定された時間に行ったそうです。しかし、その時に対応された方があからさまに嫌な顔をして、「もう3歳児健診の準備をしているのに…」と言ったそうです。息子さんの1歳の誕生日だったそうなのに、おめでとうの言葉どころか、そんな嫌みを言われて、結局、測定してもらわないまま、帰宅したそうです。保健センターはいつでも気軽に相談等に伺っていい場所だと思っていました。そんな対応の方がいらっしやるなら、私も今後行きたくないと思ってしまいました。とても残念です。</p>
<p>ファミサポのサポーターが少ないのも現実です。本当に困っています。早期、検討、支援を切望します。</p>
<p>ファミリーサポートの利用料金を少し安くして欲しい。</p>

<地域の子育てに関する支援事業について（小学生児童）>

子育て支援についても、個性に乏しいと感じます。色々な活動をしているサークルやクラブがあつていいと思います。あつたとしてもいちいち料金がかかるようではいい子どもは育たないと思います。いい活動、いい教育をしている団体には支援をして、子どものいる家庭にお金がかからなくして欲しい。

子どもの健診で療育相談を勧められたが、相談日程が2～3ヶ月先で不安を抱えたまま過ごした。若楠に面談に行ったが、何の資格をお持ちか分からない方が、ほんの数分、子どもの様子を観察しただけで「お子さんは問題ないでしょう。」と説明された。その後、特に子どもに問題があることは指摘されたことはありません。不安を増強させた健診での保育士の方、療育面談の方、全て親の不安を増大させたのみでとても不信な思いでした。3歳半検診の尿提出が、四年前も去年も両方、ジップロックに入れて提出とのことで大変驚きました。常識的に考えて蓋のある容器を準備してもらえると助かります。

ファミサポを利用するための予約先の日程が決めづらい。利用したい日があつたが、「サポーターは空いているのか分からない。」との返事があつた。こちらとしても確実な返答が早めに欲しい。不明や不確実だと結局仕事を休んだり、他を探さないといけなくなり結果として利用できない。利用したくない。

ファミサポがもう少し安く、気軽に利用できると嬉しいです。パートだと、なかよし会には長期にしか入れない為、午前中で学校が終わったり、早く帰ってくる時は仕事を休むか、誰かに頼らざるを得ません。そういう日もなかよし会を利用できるか、他に預けられる所があるといいなと思います。

< 病気の時の対応について（就学前児童） >

鳥栖市は転勤の方が多く、病児保育システムが不十分です。
病児、病後児保育施設の充実、拡充を求めます。
子どもが病気をした時でも預かってもらえる場所を増やして欲しい。
病児保育があると有難いです。
鳥栖市に病児保育が欲しい。
病児の充実をして欲しいです。
病児保育施設を早く作って欲しいです。
仕事は急に休めないで、子どもの急病の時に病児保育が少なく不便。
病児保育移設を作って欲しい。
病後児保育ができる施設を作って欲しい。
病後児保育を用意して欲しい。
病後児保育の施設があるといい。
鳥栖市内に病児保育の施設があると大変有難いです。特に他地域で小児科併設の病児施設をみると羨ましくなります。病児・病後児の施設の充実を希望します。
病児保育も定員が少なく、事前に受診の必要があり、急な病気だと対応できません。夫の転勤で鳥栖市に住みましたが、子育ての環境としては、十分ではないように感じています。
仕事に復帰した際、子どもが病気でも周りでみてくれる人がいない場合、病児保育等の施設があるのか、なければどう対応すればいいのか不安があります。
病児保育について、通園している施設で、専用の部屋を確保してみたくて欲しい。わが子のことを全く知らない他人に看てもらうのは親子共に不安で可哀想。
保育施設での病後児保育は何かあったら怖いので預けないと思う。病院で病児保育はないのでしょうか。
病児保育が少なく、高い。引っ越して鳥栖市にきましたが、前住んでいたところは病児保育があり、月の半分以上は利用していたのでとても助かった。料金も補助があった。病気の子は働くなということなのか。この市に住んで思う。子育て課の方、頑張ってください。
鳥栖市は他県から引っ越して来る世帯も多いように感じます。私たちもそうですが、親が遠くに住んでおり、日常的に子育ての援助が受けられません。生活の中のほんのちょっとしたことです。兄弟児が病気の時等、小児科へ行く等、頑張れば自分で何とかできる範囲ではあるけれど、気軽に預ける先があればいいのと感じることがよくあります。
病児保育でなく病後児保育となっており、利用できる子どもの状態が、保育所を利用できる状態と同条件のため、形だけの事業になっていると思う。隣の筑紫野市と同条件に改善を強く希望します。働く上で子どもの急な発熱、体調不良は避けられず、繰り返す場合も多いため、働いている親には頼れず、職場にも迷惑がかかってしまうため、精神的に追い詰められています。切実ですのでご検討よろしくお願い致します。退職も検討しています。ワーママ向けの集まりを開催して欲しいです。弥生が丘地区に小児科を誘致して欲しいです。耳鼻科が市内に3つほどしかなく、どこも仕事後に通院すると、3時間待ちになるため不便に感じます。増設を希望します。

子育てについて医療機関（休日、祭日）が充実していない。もっと市内病院が連携ができれば月～土まで働いている両親は助かります。また時間9～18時までで少し難しいとは思っています。安心できる環境を整えたいと思います。
小児救急がない。休日医療センターは小児の医師がいないと診てくれず、年末年始長期休暇の間に体調を崩すと非常に困る。
土曜日の午後に診てもらえる小児科がない。

< 病気の時の対応について（小学生児童） >

病気の時の預け先がなく、非常に困っている。病児預かりの制度を作って欲しい。
休日、深夜などの急な病気、ケガをしたときは、久留米の聖マリアまで行くと言われるが、鳥栖にもそういう病院があれば大変助かります。車がないご家庭は困ります。
病児保育の数が少ない。利用時間も短く不便。
長期的にみれば、いずれ対応せざるを得なくなる時が来るので、後手に回らないよう、医療機関への働きかけ（休日診察）や議会における段階的予算要求などにも目を向けてもらいたいと思います。子どもの安心安全と急な病気等への対応施策に力を入れていただけたら助かります。
あまりいい病院がないので佐賀市まで通っています。

<一時預かりについて（就学前児童）>

親の用事で、子どもを気軽に預けられる場所がもっとあったら便利で、親のリフレッシュにもなる。祖父母も共働きなので、なかなか預けられないので、子育てに関する情報を、もっと色々な所へ提示して欲しい。
近くに近親者がいなく、緊急で子どもを預けたい時に、スムーズに預けられる支援が欲しい。 （保護者が軽度のケガ、病気で病院は行く時）
保育園入園前に一時預かりを利用したところ、何軒も断られました。保育士さん足りていませんよね。待遇どうにかありませんか？市の予算もう少し子どもに対して使ってください。
一時預かりを利用したが、700 円/時間は高い。半額負担してもらえると助かる。（他県では事例がある）
市役所や児童センター、保健センター等に、一時預かり専門の施設があるといいです。一日5～10分程度でもいいので、急な時に預かってもらえると助かる。保育所内の一時預かりは、事前に面接が必要だったり、4月上旬等は新入園児の対応で、預かってもらえる所を探すのが大変だった。
介護、子育て、仕事をしていますが、長時間子どもを預けられず、とても困ります。夜間保育施設、長時間子どもを預けられる施設をもっと増やして欲しいです。土日、祝日も預けられると助かります。・子ども手当の額をもっと増やして欲しいです。・職場に託児所等を設けて欲しいです。
幼稚園に入れる前に預けられる施設が少ない。
一時預かり等、制度はあるが、どこも定員で無理だった。また、離乳食が完了していないと利用できないのは不便。みんなが順調に1歳で離乳食が完了するとは考えないで欲しい。
夫婦で平日のみのフルタイム勤務です。休みの時、少しでも、子どもを預かってくれたらうれしい。
フルタイム勤務を行っている場合でも、子どもを一時的に預けられる施設を増やして欲しい。現実には保育園に入ることが出来ると聞きます。
自分が病院に行きたいけれど未就学園の子どもがいる場合等、急でも一時保育してもらえる所があるといいです。
小学校も一定の利用料がかかってもいいので、一時預かりをして欲しいです。
仕事をしていない身としては、一時預かりをリフレッシュ目的で利用しにくいです。小学生になると、さらに預け先はなくなり、フルタイムで働かない限り、学童も利用できず、困ります。困っている友人の子を預かったりしています。将来的に今の状況では働きにくいです。特に小学生に関しては、深刻だと感じます。
私用の時も預けたいです。リフレッシュしたい。
今の所、働く予定はありませんが、もし働くことになった場合は、両親とも遠方の為、長期休み中、子ども達の預け先が心配です。それも理由で働くのが先延ばしになっています。
年度途中での入園が難しい場合が多く働くことができない。一時預かりに預けようとしたが枠が空いていない。4月1日付けで1歳じゃないと難しいなど言われ、なかなか預け先の確保が難しい。今、下の子は他の町の認可外保育園に通わせざるをえず、時間や金銭面で負担があるため、制度の整備をして欲しい。

認可保育所の一時保育が 17 時までで、延長保育が不可なことに困っています。私が週に一度、夕方から夜に勤めていた講師の仕事に復帰したいのですが、その際、主人が迎えに行かなければならず、フルタイム勤務の為に迎えが 18 時半頃になるので、仕事に復帰できずにいます。

(空白の一時間をシッターに頼むと赤字になってしまうので…)少し特殊な例だと思いますが、色々な事情に対応するためにも、一時保育の利用時に延長保育も認められるようになると、大変助かるし、主婦の就業の幅も広がるのではないかと思います。是非ご検討をお願い致します。

週 2、3 日から働きたいが、その間一時保育を利用するのが難しく、保育園の入園も難しい。フルタイム勤務が入園の条件になっており、市民の働きたい気持ちと、それを可能にする環境とに差がある。

仕事が休みの日でも息抜きの為に気軽に預ける所があったらいいなと思います。保育園の利用が少し厳しい。(土曜日はなるべく家庭で延長しないで、休みの人は一緒に休んで)休みの日でも買い物に行ったり、子どもなしで行動したい。

<一時預かりについて (小学生児童) >

近くに子どもを預けられ、遊びに行けるような施設がたくさんできるといいなと思います。

長期休暇中に子どもを預かってもらえる施設はなかよし会以外にないのでしょうか。昨年の夏休みはなかよし会に入れず、職場にも大変迷惑をかけてしまったので、なかよし会に入れない人が利用できる施設があればいいなと思いました。

放課後、なかよし会以外で子ども達が集まって過ごせる場所がもう少しあればと思う。

3年前まで居住していた市の子育て支援体制が整っていた分、本市の満足度はやや低いと感じています。去年、妻はパートから正社員になったものの、残業や自宅持ち帰り業務(所定時間を超えないよう持ち帰らざるを得ない)など子育て、家事に過大な影響があるとともに、子どもの急な病気の際に一時預かり業者を利用したのですが、月々の登録料、利用時の料金の高さもあって、正社員でいることに無理が生じたため一年でパートに戻りました。

こちらに引っ越してきて間もない頃、母親である私が急遽用事ができ、近くに祖父母や親族等がなく、未就園児の子を保育所等で預かってもらえないか伺ったところ「一度、慣らし保育で短時間預けてもらってからでないと 1 日預かる事はできません。」と言われ断念したことがありました。今まで引っ越しを転々としてきた我が家にとって、一時預かりで慣らし保育をしてからという事はなく、申し込みさえすればその日から 1 日見てもらえました。(保育所でも認定こども園でも)引っ越して間もない頃は近くに頼れる人がいない事が多いので、一時預かり等はとても有難く感じます。そうであれば自分が体調が優れない時など病院へすぐ行くことができます。できては慣らし保育してからという段階はなくしてもらえるといいなと思います。

<放課後児童クラブについて（就学前児童）>

保育所もなかよし会も定員を満たして、利用できない。施設は増えても待機は変わらない。
学童保育の申し込みについて、申し込み時点で次年度の雇用が確定していない場合、（1年更新等）勤務証明の書類が出せず、受付さえしてもらえません。年度が変わって、勤務証明が出せるときには空きがなく、学童に入ることができません。様々な雇用形態があるので、申し込み方法の再検討をお願いします。
放課後クラブになかなか入れないと聞きます。小学生の親が小学校終了後、安心して子どもを預けられる環境を整えて欲しい。
小学校の放課後児童クラブ等は希望者が多いと聞くので、利用できるかという不安はあります。
放課後児童クラブは必ず6年生まで入れるようにして欲しい。放課後児童クラブの運営は保護者の負担をなくして欲しい。利用料金を高くしてでも業者等、他の人で運営して欲しい。仕事があるから預けているのに、クラブの運営に関わる為に仕事を休んだり負担がかかる。
鳥栖市は九州内でも子育ての優遇が少ない。そういう意味で育てやすい環境ではない。学童保育も6年生まで入れない。
小学校高学年になると、学童保育を利用できなくなり、就労形態をフルタイムからパートタイムに変更せざるを得ないため、今から不安で仕方ありません。パートタイムに変更したとしても、長期休みの際は子どもだけで留守番させるしかなく、不安です。せめて小学校卒業までは保育していただきたいと思います。
兄弟がいて現在はなかよし会を利用しています。4年生から長期のなかよし会を利用できなくなるのが大変困ります。規定ではなかよし会は1～6年生まで利用となっているため、利用できるようにして欲しい。
4年生以降なかよし会に入れない事がほとんどで、子どもの安全が心配です。近くに祖父母や児童センターが無い子は、目が届きにくいので高学年も預かってもらえる場所が欲しいです。
小学校低学年の児童によって下校後の3～5時間をどう過ごすかは重要で、そこにいる時間を充実したものにできるかは指導にかかっている。手先を動かす、体を動かす、協調性を身につけさせる等、色々と目的をもって計画を立てて、よりよい保育に努めてもらいたい。特に夏休みなど一日中預けていて、何をしているか聞いても、一日中自由に自分が好きなことをしていたということが多く、もっとどうにかできないものかと思う。子どもの様子を丁寧に伝えてくださる指導員の方もいらっちゃって有難いと感じることもある。今後より一層の運営の充実をお願いしたい。定員の問題もあるとは思いますが、希望があれば高学年でも受け入れてほしい。
フルタイムで夜勤もあり、遅出、早出もあります。子どもが小学生になると、制度が使えず、育児時間や時短が使いません。土日、祝日の仕事もあります。学童保育には入りたくても入れない方もいます。学童保育の利用時間を7時～20時までにして欲しい。迎えが間に合わないの、子ども達だけで留守番させることも出てきそうです。同じような状況の方が職場にもたくさんいます。なかよし会が開くまで、学校の前で待たせたり等、特に、夏が心配です。
なかよし会について、指導員が変わることが多く保育の質が保たれていないと感じる。
今、共働きの夫婦が当たり前になっているのに、保育園や学童が足りないと思っています。場所の問題もあるとは思いますが、まだ働きたいという年配の方がみてる場所等を工夫すれば増やせると思います。

一度、事情により、仕事を退職して子育てしておりました。金銭的な事情もあり、再就職しようとしたが、子どもの保育園と放課後児童クラブの入所が内定できず、働けない状況で大変でした。無事、保育園、なかよし会の内定を頂き、通うことができたのはよかったが、なかよし会の対象は小1～6までで、希望者が多い為、低学年の子が優先的に入る状況です。職員が限られた中でのことなので理解できます。来年度より、4年生になる子どもがおり、なかよし会を申し込んだが、内定できる見込みは低いと思われます。なかよし会に行けなくなった場合、放課後は家で一人、留守番することになることが心配です。犯罪や災害に巻き込まれたらと思うと、仕事の時間を考えるべきかと思いますが、経済上、働かないといけません。色々な家庭環境が考えられると思います。職員の増員、施設の増設等、多くの子ども達が信頼できる大人の中で安全、安心に過ごせる場を提供して欲しいです。

小学校入学後、夏休み等の長期の休みにおいて、正社員で働いている家庭以外の子どもが短時間でも安心して過ごせる場所があると有難い。現状では、放課後児童クラブは正社員の方優先であり、パート等長期間休まなければならない。

<放課後児童クラブについて（小学生児童）>

放課後児童クラブの先生方にも良くして頂いて、安心して預けさせてもらっています。子どもも毎日クラブに通うのを楽しみにしているようです。いつもお世話になりありがとうございます。

保育園、なかよし会への入りづらさ。キャパ的になかよし会など難しいなら、各学校のクラスの一部を利用できるようにするとか、市と各町がもっとつながることができるはず。努力も見えない。

なかよし会の求職活動期間を翌月の12日までではなく、保育園と同じ3ヶ月間にして下さい。年末年始に翌月12日までと言われても厳しいものがあります。

なかよし会に入りそびれ、1年生の春休みも、夏休みも室内に閉じ込め、終日留守番をさせなければなりません。今は入会でき、迎えるために残業も随分減らすことができています。「ひとり親なんだから入るのが簡単でしょ。」と人に言われるのが何よりも悔しく、理解してもらうことの難しさを感じます。支援は十分頂いて感謝しています。今は支援が不要になるよう努力しているところです。

なかよし会は既に仕事持っている方でいっぱい聞いていますが、9時から14時で仕事を見つけることができるのか心配があります。私以外にも、友人にこのような不安を抱えている人が多くいるので、なかよし会の受け入れ増加や、他の対応があると子育てと仕事の両立ができ、母親たちも良い環境になるのではないかと感じます。

なかよし会の利用料が高い。

なかよし会では教育はしてくれないので、学校の教室を利用して、教育の場を設けてもらいたい。多少有料でも外部の講師。

現在なかよし会を利用していますが、開所が8時となっており、通勤時間を考えると遅く、一人で鍵を閉めて通所しています。開所時間を早めてもらうとずっと安心して利用できるのではと思います。

<p>パートで働いていますが就労日数が少ない為、夏休み等のなかよし会の利用が出来ず、祖父母に頼っていますが、なかよし会ではなくても利用できる事業があればと思います。ファミリーサポートのような個人的ではなく集団でみて下さるような所。もっと気軽に利用できると思います。</p>
<p>なかよし会の先生方、せめて子どもが好きな方にしてほしい。仕方ないので預けていますが不安だけです。将来を担う子ども達のことを考えてあるのならしっかりと教育、研修などを経て、人間性もきちんとしてある方をお願いしたいと思います。</p>
<p>もともと小学校のなかよし会を利用し、一度退職したので退会しましたが、再入会希望して待機状態で数ヶ月後やっと入れました。希望する時にすぐに叶わないのはどこの行政も一緒でしょうが、利用する側としたら地元ではないので診てくれる祖父母もいないので、長期の休みは困りました。普段なかよし会がどんなことをしているのかわかりません。預かっただけで有難いと思うようにしています。</p>
<p>2018年夏の小学校からのドリルが、サガントスでとても内容が分かりにくいし、無理な内容だと感じました。なかよし会の指導員の方の、教育に関する質の向上を目指してもらえるととても嬉しいです。また、おやつが子ども向きでないし、いつも残してくる。自費で持参してもいいと思っています。</p>
<p>以前なかよし会で代替えでお世話になっておりました。小学校によってなかよし会の雰囲気の違いでしたが、厳しすぎる指導ルールはあまり必要ないと思いました。代替えの立場で意見を言えることもあまりできませんが、家に帰れないからなかよし会に入ることを前提に、和む雰囲気が欲しいと感じました。先生方は大変熱心で、否定するのは申し訳ないと思いつつ意見はなかなか相談できませんでした。一部の先生方とお話ししては、どうにかならないかと悩む日々がありました。現在のなかよし会では改善されているかもしれませんが、必要のない意見でしたら申し訳ありません。</p>
<p>なかよし会が定員の為、3年生までと聞きました。4年生まで行くことができればと思います。</p>
<p>できれば4年生以降も子ども会・なかよし会にある程度自由に入れるようになれば有難いです。</p>
<p>なかよし会にしろ、保育園にしろ、土曜利用に関して要望があります。仕方ないけれど、土曜日は就業している人も多いので、できることならなかよし会の土曜利用を別料金で設定するのをやめていただきたい。月～土の利用として料金設定して欲しい。</p>
<p>放課後児童クラブは、6年生まで利用できるようになりましたが、実質、3年生までの利用しかできないようです。うちは4年生から外れました。4年生の春休み、夏休みは大変で、夏休みに母である私は仕事（7年勤めた）を退職しました。4年生の子どもを一人、一日中家に置いておくことは無理だと判断しました。春休み、冬休みは、祖父母の協力を得て、なんとか過ごせても、期間の長い夏休みは無理です。兄弟がいる家族は違うかもしれないが、一人っ子です。色々な家族環境に対応できるような制度になればいいのではないかと思います。</p>
<p>保育園は待機、なかよし会は3年生まで。仕事をしている親には辛い状況だと思います。なかよし会は6年生までとなっていますが、現実には難しいです。子どもも成長して順応してくれたので、留守番もできるようになり今では少しずつ、手はかからなくなっていますが、そうなるまでに不安だったことがたくさんあります。</p>

学童がなるべく4～5年生までしてもらおうと非常に助かります。なるべく一緒にいてあげたいけど仕事が忙しく、4年生から学童がなくなると不安でしかないです。昔と違って犯罪や事故が多く学童がなくなり一人で家にいさせるのはいいとは思わないし、周りの働いている母親の方々も非常に不安がっています。今、東京では学童という形ではなく、教室を開放させて親が迎えに来るまで待たせている地域が増えています。そういった形もあるといいのではと思います。

鳥栖小学校に入学し、なかよし会を利用させて頂いています。先生方みなさん優しく子どもも楽しく利用できており、とても有難いです。まだまだ先の話ですが、高学年になってからなかよし会の利用ができなくなるのに少し不安あります。現在は、祖母が協力的であり、たくさん手助けしてもらいながら仕事も行っていますが、シングルマザーであり、働かなければならない状況で、今後の事に不安があります。利用を高学年まで拡大して欲しいです。なかよし会にも給食があるといいなと思います。子どもたちにとって、よりよい環境を作っていただけると幸いです。よろしくお願いします。

保育園は7時から登園できていたので、仕事へ余裕をもって通勤できていましたが、なかよし会は8時からなので、いつもギリギリですし、早めに出勤しなければならない時は子どもを一人で施設の前で待たせるしかなく、心配しました。土曜、祝日も出勤で、特に祝日は困りました。無理して仕事を休み、嫌みを言われることも多かったです。今でいうパワハラばかりです。行政機関のように土曜、祝日が休みでない職場は多いと思いますが…。なんとか対応していただければ、今後助かる人も多いと思います。祖父母等にみてもらえる人ばかりではないはずで、今年5月の10連休が今から心配です。

まず4年生になる時点で、なかよし会に入ることができなかったのは残念だった。2年生の妹のみ入会できたが、結局家で一人になるため、2年生の子どもを辞めざるを得なかった。平日二人で留守番をしている状態である。近くにコミュニティセンターもあるが、館内を自由に遊ぶことができないようで不便である。学校の体育館なので17時までと決め解放してくれたら、雨の日でも友達と遊べるのではないかな。なかよし会においては高学年の入会が難しい状態です。長期休みなど、家に一人でお子さんが多いのも現状です。地域で子どもが過ごせる場所を提供し、事故が起きないことを願うばかりです。

学校外で放課後みてくれる施設があっても、学校のなかよし会から直接習い事などに通えるように習い事の場所も決めているのに、2年の終わりまでしかなかよし会を利用できず3年生からの長期休暇が利用できなくなり、仕事を変えざるを得ませんでした。送迎が厳しいから、学校の近くで通える習い事を探してさせていたのに、指導員が足りないとの理由で児童センターでの利用を言われました。そこから距離もあるのに子どもを一人で習い事に通わせることもできず、送迎が無理ならやめてもらうしかないみたいに言われ、結果、生活環境を変えるしかなくなり仕事を変えました。困っているから預ける環境が欲しいのに、一方的に言われたことが不快でした。これから利用される方々が私みたいな思いをすることのないよう対処していただきたいです。

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（就学前児童）>

満足度は普通です。大きい公園でのびのび遊べたら自宅で過ごす時間が減るだろうし、親子もリフレッシュになると思います。
子どもたちが遊べる公園を増やして欲しいです。
子どもがのびのびと遊べる公園が少ない。
公園が少ない。
自宅近くに外で遊べる公園がありません。是非、建設をお願いしたいです。
今回の調査と少しずれるかもしれませんが、公園はいくつかあるが、遊具が少なく、撤去されたりと、遊びが制限されています。ボール遊びがダメな公園も多いです。小さい子が遊べるくらいの遊具があれば日常的に遊べるので、増やして欲しい。
住みやすいと思いますが、公園の遊具が古い。公園に連れて行く時は、みやき町、基山町、筑紫野市に行っています。公園が作れないのなら、せめて今ある公園の遊具をきれいにしてくださいませんか。
公園の充実。芝生があったり、遊具が充実していると家族で1日ゆっくり遊びに行こうと思います。
公園がない。大きな遊具や広い公園がない。他の保護者の方々もそう思っている。大きく遊具がある大きい広い公園を作ってください。
大きな公園が欲しい。
大きな遊具のある公園を作って欲しい。
地域に公園の整備が不十分。子どもの遊び場所が少ない。
公園があまり充実していないので、外遊びをする際、鳥栖市外の公園を利用している。鳥栖市にも遊具や広場が充実した公園を作って欲しい。
駐車場がある公園があると嬉しいです。
公園が少ないので、遊べる場が少ない。広場があっても遊具がない所が多い。県外に出て遊ぶしかないので困っています。
子どもの遊び環境の充実。公園の遊具等。
2～3歳児が遊べる公園、施設が少ない。
1歳位から2歳の子どもが遊べる公園の遊具施設が少ないので、作って欲しい。
乳児を遊ばせる場所が少ない。
小学生が安心して遊べるような場所（公園等）をもっと増やして欲しいです。
子どもが遊べる場所（公園や遊園地）が少ないので、もっと増やして欲しい。
大きな公園がないので困っている。
子どもが一日遊べるような大きな遊具のある公園があるといい。子どもが多いのに遊ばせる施設が少ない。
子どもを思いっきり遊ばせる事の出来る野外の総合公園が欲しいです。
鳥栖市内にもっと子どもが遊べる場所を作って欲しい。
体を使って思いっきり遊べる場所が鳥栖市にあれば、子どもたちがもっと健康に成長できるのではないかと思います。整備して下さい。
公園が少ない。一つでもいいので、遊具の多い大規模の公園を作って欲しい。

幼児を遊ばせる公園の数が少ないので、もう少し作って欲しい。
遊ぶ公園が少ない、狭い。
近くに遊具の多い公園を作って欲しい。
公園の遊具が少ない。
公園におむつ替えできるベビーベッド（シート）を設置して欲しい。
公園が少なく、整備もされていない。ボール遊びが出来る所がない。兄弟の年齢が離れていると、一緒に連れて行けない施設がある。
公園等の子どもが遊べ、集える施設が少なすぎるし、古い。
公園が少ない、汚い。
環境や支援はまだまだ少ない。子どもが遊べる公園も少ない。整備が整っていない。
子どもの遊び場がない。公園や野球やサッカーができる所が欲しい。工場ばかりで子育てに優しくない。近くの公園は滑り台やブランコだけ。鉄棒や体を鍛える雲梯等があればいいと思う。
公園が少ない。みやき町のこすもす館のような遊び場があればいい。市外に遊びに行くことが多い。
公園や児童館もみやき町に行っています。
宿町に住んでいるのですが、近所に公園がないのが残念です。
遊具が充実して車が停めれて、子ども用トイレのある公園を作って欲しい。
公園の整備、充実が図られていない。基山やみやき町の公園や遊具と比べると、古いし、設備もよくない。外で子どもを遊ばせる場所がなくて困る。
市立の公園がたまに草が伸びているので定期的にきれいにしたい。
周りの市町村にはあるけれど、市内に公園が少なすぎる。土日、よその町の公園に行って、飲食店やスーパー等で買い物して、よその町ばかりにお金を落としているけれど、市はそれでいいんだろうなとおもっている。交通の要所で、企業からの税金が多いから、住民の落とすお金なんて微々たるものかもしれないが、もっと自分のまちに遊具が充実した公園が欲しい。
充実した大きな公園があると助かります。今は基山や原田、筑紫野まで足を運んでいます。
鳥栖市内に大きな公園が少なく、遊び場が少ない。特に近所に公園が欲しい。もっと子どもが遊べる施設を作って欲しい。
鳥栖市には各地区に小さな公園や広場はあるけれど、大きな公園は少ない。田代公園やフレスポ横の中央公園等もあるが、田代公園は遊具が古い。鳥栖市にも遊具や自由に遊べるグラウンドを備えた大きな公園が欲しい。
とにかく公園が少ない。あっても家から遠いか不気味な雰囲気や整備が悪く、子どもだけで遊ばせたくない。道路で遊ぶ子どもたちをよく見る。これではのびのび遊べないし、近隣の家は迷惑にもなる。事故も怖くて親は安心できない。
公園も少なく、あっても古い遊具ばかりです。公園の利用者もいないので母親同士の交流できず、非常に閉鎖的だと感じます。
鳥栖市には遊具のある公園が少なく感じます。上原田公園、みやキッズパーク、小郡運動公園等、片道 20 分はかかる公園に子ども二人を連れて行っています。鳥栖市内にもそういった公園があればと思います。実家の久留米市に帰ると、小さいですが、歩いて行ける公園が3箇所あるので、どうしても鳥栖市にいる時間が少ないです。

公園が少ない。近隣の原田、北茂安筑前。小都市に行かないと遊具のある、広い公園がない。広い公園を作っていただきたい。
子育ての環境も以前住んでいた所より良いが、欲を言うと駐車場のある公園、もしくは今ある公園に駐車場を作って欲しい。
遊具のある公園、もしくは室内運動場を増やして欲しい。
小さい子どもが自由に走り回れたり、ジャングルジムや滑り台等、ブランコ、鉄棒で安全に遊べる場所が欲しいです。公園に行っても大きい子ども（5歳以上）がいる為、押しのけられたりして、倒れたりするので、別にして欲しい。
他県から引っ越してきた際、一番に公園が少ないと思いました。以前は歩いて行ける、または、車で行けば大きな公園があり、休みの日はとても充実していましたが、外で遊ぶ機会が減りました。・街灯が少なく、夕方に外にいると危ないと思います。子どもが大きくなり、一人で遊びに行くようになると危ないと思います。
公園が近くになく、公園があっても駐車がなく、遊びづらいなと思いました。
公園の整備（遊具故障、雑草除去不十分等）
公園が汚い。遊具が古い。みやき町のような公園をお願いしたいです。
公園での砂場や遊具を充実させてほしいなと思います。商業施設の中にキッズスペース等の子どもが遊べる広場を増やして欲しいと思います。
鳥栖市の市街地における子どもの遊び場が圧倒的に少ない。フレスポ等ショッピングセンター内でもいいので、大きな遊具施設のある場所が欲しい。いつものびのび遊ぶために吉野ヶ里公園まで行っている。
公園（コンビネーション遊具が複合施設を兼ね備えたもの）が人口に対してかなり少なく、子どもを遊びに連れて行く時は、ほとんど市外に出る。子ども達が安心して遊べる場所の整備をお願いしたい。そこに人が集えば新しいコミュニケーションの場として、ツールが広がる事が期待できると思われる。是非、よろしくをお願いします。
都市部から近い位置で人気のある鳥栖市だけ他市町村と比べると、子育ての環境が整備されていない。例えば、公園。小さい公園はあるが、広くて大きい、多種の遊具が全くない。みんなが集まる公園があれば、自然と地域との輪が生まれる。市役所の建て替えてグラウンドをなくす等、もってのほか。市長はわかっていない。都市部から近いだけで、その他は魅力はない。子育ての環境整備に税金を使用しないと、市民は市のやり方についていけない。みやき町や基山町、原田、筑紫町みたいな公園を。
雨の日でも、遊べる交流センターもある基山のセンターを利用している。
子どもが屋内で自由に遊べ、母親たちが話せる場所の充実。
室内で遊べる場所を増やして欲しい。また、土日も開いていると父親も一緒に行けて助かります。
土日、祝日も利用できる施設が欲しい。子どもが1歳未満の為、外で遊べないので、連れて行ける所がない。
土日、祝日に遊ぶことができる場所が少ない。室内（天気に左右されない）
図書館の雰囲気暗く、長居したくない。少し遠いが、基山町の図書館を利用することが多い。基山は、図書館の隣に公園があるので子ども連れで行きやすい。

フレスポ鳥栖にキッズスペースを作って欲しい。
放課後に集まれる場所など、利用できる施設が少ない。あっても、料金や事前に予約など、気軽に行けない。みやき町のコスモス館のような施設が欲しい。遊べる公園が少ない。
児童館等の利用時間や土日、祝日の利用できる日を増やして欲しい。月～金は仕事があり、土日、祝日は結局、ショッピングセンターに出かけたり、利用料が高くなる施設でしか遊ばせられない。気候が落ち着いている時期は公園にもよく連れて行ったが、暑い、寒い日は難しい。

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（小学生児童）>

公園が少ない。
公園が充実していないのが一番子育てに力を入れている鳥栖市のイメージからして不自由を感じる。子育ては小さい時は出会いの場、大きくなれば子どもたちの遊び場、ここに一番力とお金がかかるべきでは。中央公園というのがあるが、中身を見るとあまりにもお粗末すぎて、どうにかならないのか。
地区によっては、子どもが自由に遊べる公園や広場が少なく、道路や家の前、よその庭等で遊び、トラブルになることがあります。公園が欲しいです。
公園がない、古い、整備もされていない。みやき町に比べ圧倒的に劣っている。
公園が少ない。ブランコがない。鉄棒もない。遊びやすい明るい公園があるといいと思う。
公園（子どもが遊べる広い公園）がないので作って欲しい。鳥栖市は子どもを遊ばせる場所が少ない。
ボール遊びが出来る公園が少なすぎる。転校してきましたが遊ぶところがなく、困っています。
子ども達が遊べる公園が身近に少ないので、整備改善されたら嬉しいです。
遊ぶこと（アスレチック有り）などの公園を増やして欲しい。
公園が十分でないと思います。基山、筑紫野の公園まで行っています。
旭地区の方にも公園がもっとして欲しいです。
弥生が丘地区に大きな遊具がある公園があればいいなと思っています。
弥生が丘ハツ並公園に鉄棒やジャングルジム等遊具を増やして欲しい。
小学校の放課後の遊び場が宿町にはありません。市役所グラウンドは閉鎖されたまま工事もまだ行われていません。その影響なのか、集合住宅の中のエントランスや駐車場でボール遊びや縄跳び等で遊んで居住者の迷惑になっています。弥生が丘のような広い公園までは必要ありませんが、郊外にではなく町中にもっと親子で遊べる公園が欲しいです。
鳥栖市民民プールを新しくして欲しい。
鳥栖市に引っ越してきて四年目になります。年中、小学生から住み始めました。若葉まちセンが近くにありますが、中で自由に遊べる環境でもなく、移動図書も月2回、時間も短く充実した設備と思えないです。なかよし会のような施設が増えて欲しいです。
まちづくり推進センターで小学生の講座がたくさんあり、安く参加でき、本人も楽しそうなのでもう少し参加できる人数を増やして欲しいです。（すぐ定員数に達するので。）
放課後のスポーツ少年団のような制度や子ども教室等がもっと広く利用できる则有難いです。

ボールを使って遊べる公園がない。東公園は陸上で使っているそうなので遊べないとのこと。バスケットのゴールをつけてほしい。隣人からバスケットボールの音が苦情があった。音が響くそうで、前の家の子どもがやっている時に、「ボールの音が響くのでやめてください。」と言われたとのこと。その話を聞かされて、じゃあ何時ぐらいだったらバスケしていいですかと質問したら「前ではなく隣の家なので、今のところそこでは気にならない。」と言われた。早朝暗くなってからはバスケはしていなかったのにこういうことを言われると、子どもをどこで、何をして遊ばせればいいのか考えてしまう。元々神経質な人だと思っていたが、一応子どもにもバスケのボールのことで隣人に言われたことを話すと、「どこでバスケ練習したらいいと？」と泣いていた。外で遊びなさいと言いたいが、ボール遊びができなかったり、隣人のこととか考えると、強く言えないため結局家でゲームになったりする。弥生が丘地区は、他地区より公園が多いが、実際遊んでいる子どもは少ない。

地域子育ての環境ではのびのびと公園等でボールを使って遊んだりしたいのに、公園でのボール遊び禁止となっている公園が多い。危険だから、うるさいからとか公園付近の方は言われるが、年配の方のグランドゴルフはいいのか？と思う。グランドゴルフをやっているボールの音、打つ音、声もうるさいのに大人の意見ばかりで子ども達のはのびのびと遊ぶことも出来ないのかと思う。ボール遊びを公園ですていたら怒られた事があった。

小学生が放課後、週末に参加しやすく、興味を持ちやすい色々なワークショップなどを、有料でもいいので行って欲しいです。県外から来て住んでいて、親族等の頼れる人がいない保護者がたくさんいました。その人達は困った時にどういう対処すればいいのか不安でいっぱいです。子どもを預けることができる施設やサービスがあるのかどうか分かりません。もしあるのなら、出産の時や入園、入学の時にその都度、教えていただけたら安心して子育てや仕事ができると思います。

<仕事について（就学前児童）>

企業にもっと働きかけて欲しい。子育てをサポートして欲しい。
育児休業の期間を最低でも2年以上延ばして欲しい。1歳頃での職場復帰では母子の関わる時間が短すぎる。大体の母親が、母乳のトラブルを発生し、働いて稼いだ給料以上に治療費がかかることが多い。
妊娠中の職場からの声掛け、サポートなどが欲しかった。体調が悪い時も、なかなか言えない雰囲気だった。市から、職場へのサポートがあればいいと思う。子どもが熱を出したときも休みやすくして欲しい。
仕事がしたいけど、勤務時間に合った子どもを預ける所がなくて、仕事が出来ない人も多いと思います。だからますます子どもを産まない、産んでも一人、二人でもういいという人も周りに何人もいます。子どもを預けられる場所が増えないと少子化の問題もずっと続くと思います。
鳥栖市というか、会社は共働きママ、子育て中ママの後押しはしてくれない。幼児がいるので残業できないとなると、嫌な目で見られたり、休日の出勤のメンバーに入っていることすらほら。そして、断りづらい。工場では時短勤務は難しいと断られる。朝は7時半に現場に到着、17時帰宅となると、朝は子どもより早く家を出る毎日。正直可哀想で、続けていけるか心配。うちの会社は鳥栖、いや日本を代表する大手大企業で女性の多い職場なのに、中身はこういったものである。もっと国をあげて女性が正社員で働けて、子どもを産めて、生き生き働ける会社を増やして欲しい。子どもを幸せにする為には、お金も大切です。お金も子どもとの時間も同じくらい大切なのです。働かなければいけないのです。どうか鳥栖市が女性や子どもが幸せに暮らせる市の代表になりますように。よろしくお願いします。

<仕事について（小学生児童）>

子どもの生活に支障が出ない程度（下校するまでには仕事から戻り、習い事の送迎ができる週2～3日位の勤務等）で仕事ができればと思っているが、なかなか希望に合う条件の仕事が見つかりません。短時間で働ける情報があれば市のHP等で教えて欲しいです。
公務員等以外は育児休業等なかなか難しい。
在宅ワーク等、子育て、仕事の両立しやすい働き方をサポートしてもらえると有難いです。福岡の「ママグロースハッカーズ」のように、WEBやライティングなどのスキルを活かし、勤務時間や場所にとらわれずに働けるようになると、鳥栖市のママも活躍の場が広がると思います。
周りに働きたくても頼れる祖父母などがいないために、働くことをためらっている方も多くいるように思います。真面目で責任感も強いために、病気した時に休めるだろうか、子どもを一人にするのは、と考えていると思います。短時間でも気楽に休みが取れたり、土日は休める環境があれば多くの方々の就労が増え、社会とのつながりがあれば自信もつき、日々の生活の活力になると思います。私は幸い頼れる祖父母がいるため働けていますが、働くことにより、色々な悩みが解消することができました。能力が高く真面目な方ほど、なかなか一歩が踏み出せないうまくすぶっているように感じるので、もっともっと気軽にサポートなどを受けれる環境になればなと思います。

鳥栖市にはずっと住んでいますが、鳥栖市は子育て環境にとってもいい場所だと思います。今は働く母親が多くなってきたので、共働きの家族をもっとよりよくサポートしていただけたら有難いです。

労基法や女性活躍推進法などをまともに運用できる大きな企業や、公の機関に採用されている人以外は、自治体等による子育て支援施策が充実しなければ、女性の社会での十分な活躍は難しいと思われます。人口減少、高齢化に悩む市などは、労働世帯取り込みのための施策に力を入れているところが多いですが、本市は人口が安定的に向上しているためか、重点が異なるように思えます。

母親は介護の仕事でシフト制のため土日、祝日の勤務もあり子どもを一日一人で家に留守番させることができていません。希望を出して休めば収入が減り、有料のサービスに預ければ、働いた分ほとんど料金に持っていかれます。国は国民の休日を増やしていますが、喜ぶのは一部の国民だけではないのでしょうか。現在小2の子どもは半日一人で留守番することができ、私は本日のみ出勤し、働いています。

一人親世帯でフルタイムで就労しているが、帰宅が18時以降となり教育が不十分になる。習い事にも行かせたいが、送り迎えができないため何もできていないのが心配。

<経済的な支援について（就学前児童）>

金銭面での支援を増やして欲しい。
金額的にサポートを受けやすいようにして欲しい。
医療費については大変助かっています。
乳幼児の医療費の負担が延長されたことはありがたかった。他の自治体ではより長期間、負担軽減しているところも多いので、期間をより長くして欲しい。
医療費が無料でない所が満足度の低い理由です。
医療費の無料化
子どもの医療費を無料にして欲しいです。
子どもの医療費が無料ではない。
病院での医療費無料化も出来れば助かる。
3歳までの医療費負担を0円にして欲しい。
医療費の負担を減らして欲しい。3歳以下無料、就学前500円/月、等。
子どもの医療費助成制度、年齢に応じて見直しができたらと思う。0~3歳までは無料とか…
医療費の助成を中学校までにしていただきたい。
中学校卒業まで医療証で500円で病院を利用したい。
医療費を月500円にして欲しい。子ども数も増えているし、是非ご検討下さい。
現在医療費が1000円/月かかるので無料になると嬉しい。
他の市では、医療費が無料又は上限が500~800円程度だが、鳥栖市は現状1000円なので高いと感じる。100円でも安くなれば気軽に子どもを病院に連れていける。
子ども医療費は他の地区は無料の所も多いので、鳥栖市も無料を検討して欲しい。月2回500円になっているが、これが結構負担になる。小さい頃は病院にかかることも多いので。
医療費は3歳までは無料がよかった。3歳以降に病院で容器代等のお金がかかるのも負担を減らして欲しい。
子どもの病院代を無償化にして欲しい。病院3回目から無料となっているが、月をまたぐ時もあるし、他の市では、子ども無料が多い。
基山町と同じように中学校まで医療費を無料にして欲しい。
医療費の負担500円を無償かして欲しい。前に住んでいた自治体は無償でした。
福岡市、北九州市のように、子ども医療費は完全に無料にして欲しい。
久留米市も筑紫野市も3歳までは医療費は無料だったのに、500円2回までかかります。また、救急病院は毎回、聖マリアです。鳥栖市は医療も整っていない印象です。
子どもの医療費、助成があるだけでも助かりますが、他地域は負担無しの自治体が多いので、将来的にはもっと子育て支援の厚いところに転居も検討しています。
子どもの医療費の無償化。少しの症状でも病院に行きやすくなり、早期に対応ができるのではないかと思います。様々な病院（小児科、耳鼻科、歯科等）にそれぞれ行くと、お金がかさばってしまうため。
医療費の自己負担、給食費等ある為、久留米市や小郡市、三養基郡と比較しても、魅力的な部分がないように感じてしまう。

<p>医療費の負担を軽くして頂いている事に感謝していますが、インフルエンザの予防接種の補助があるといい。子ども3人だと18,000円かかる。これだと、インフルエンザにかかって、早めに投薬治療した方が金銭的には楽なんです。しかし、集団生活の中で、予防の必要性も高いので、補助が出る市になっていくことを切に願います。</p>
<p>今まで他県で乳幼児の「医療日が無償だったので、鳥栖に引っ越して、500円かかるのに驚いた。インフルエンザワクチンの助成などもない。子育てにおいて施設等の充実なども大事かもしれませんが、まず、収入が少ない家族でも気兼ねなく子ども病院に連れていける、予防が出来るなどの対応の方が有難い。</p>
<p>医療の補助が少ない。他の市はインフルエンザの補助等があるが、鳥栖市には何も無い。</p>
<p>インフルエンザ予防接種も2回必要なので補助があると嬉しい。</p>
<p>インフルエンザの予防接種の助成をして欲しい。近隣の自治体はどこも助成があります。</p>
<p>未就学児ぐらいインフルエンザワクチンの助成金が出るようにして欲しい。隣の基山町は子育て支援が充実している。</p>
<p>任意の予防接種を一部でもいいので負担して欲しい。子どもが3人以上いる世帯は3人目以降、免除して欲しい。</p>
<p>子育て世帯への補助が少ない。医療費の補助や予防接種が現状ですが、インフルエンザの補助がないのは不思議に思います。60歳以上には補助があるのに、子どもにはない。</p>
<p>子ども4人いるが、年がばれている為、保育料の優遇などほとんど受けていない。子育ての支援や手当など鳥栖市はほとんどない。隣のみやき町は、医療費助成や出産時の手当がある。</p>
<p>他の自治体に比べると、子育て世帯のサポートは薄いように感じます。久留米市では医療費が免除だったり、みやき町では学童保育の利用料が鳥栖市の半額差。</p>
<p>現在、高校3年生になる息子の頃に比べ、出産手当、児童手当、医療費の負担減、高校授業料無償化等、制度がよくなり、大変助かっております。</p>
<p>出産したらお祝い金などしている市町村もあるので、そういうのがあったら嬉しい。</p>
<p>兄弟が多い世帯が私の周りにも多いです。みやき町のように出生祝い金等があればいいと思います。</p>
<p>二人目以降の妊娠を考えた際に、一人目の出産のときは里帰りをした（実家は遠い）が、二人目を妊娠して出産するとなると、おそらく里帰りはしないと思う。その場合、二人目出産のときのサポート（一人目の世話、家事等）等の補助金があると有難い。</p>
<p>佐賀県では三養基郡みやき町に住んでいる方は町からの色々な補助金が子どもにあると知人に聞いた為、同様の補助金等が鳥栖市にもあって欲しいと思いました。（例）インフルエンザの予防接種の助成。</p>
<p>子ども手当等をもっと充実させてほしい。</p>
<p>こども園に入れているが、保育料の減額の基準を変えていただきたい。現在、上の子どもが小学校3年までの世帯に減額適用されているが、その世帯の子どもの人数等でも考えてもらいたいです。（現在子ども4人）実際、低学年時よりも高学年や中学、高校の方が色々と費用がかかっています。</p>
<p>保育料が高い。低い保育料の方の差額分でカバーしている感が強い。保育料は平等であるべきでは？</p>

保育料が高い。復職したのに経済的に苦しい。
保育料を安くして欲しい。
近隣地域よりも保育料が高いと感じました。
生活が苦しいので夫婦共働きをしているのに、保育料が他の市に比べて高い。
幼稚園から認定こども園に移行した際、市からの幼稚園の補助金が一切なくなり、認定こども園になったメリットを一切感じない。同じ条件で幼稚園に行っている人には補助があるのに、不公平さを感じる。
私の子どもは3人です。3番目は保育料が無料ということで働き始めました。扶養内です。しかし、扶養内だからと働く時間を増やしたところ、課税のランクが変わり、無料ではなくなり、保育料が倍以上になり、働く時間も長くなり、ストレスのみが残る結果になった。課税のランク表が予めわかっていたら、と思います。同じ扶養内だからまさかというところでは。今は我慢して来年度10月からの無料化を待つのみです。
無償化になるなら、2人目の保育料を1/5のままでして欲しかったです。
数年前までは第2子の保育料が1/5だったのに、国に合わせる為、1/2と上がったのです。すごく損した気分になった。3歳まで親が保育園等に預けずに子育てをしている家庭に、支援金などを渡す制度があった方が待機児童も減るし、家計への負担も減り、子どもと親も一緒にいることで成長に繋がると思います。親との関わりが少なく小学校中学校になるとキレる子どもが増えてきていると思うので、もう少し幼い子どもたちのことを思った教育環境を考えて欲しいと思います。
金銭的に厳しい家庭なので通わせることが難しいです。保育所でもそれぞれ特色があるので、水泳を習える所もあります。そういうことに補助金を使って、保護者から月謝が発生しないようにして欲しい。
少子化の中で鳥栖市の子育て等に対しての支援は低いと思う。今時、子どもが生まれて木のプレゼントはおかしいと思います。人口が少ないまち等は、支援金等があります。子どもたちをきちんと育てていきたいのなら、もっと対応すべきではないでしょうか。他のことに税金を使い過ぎるのはおかしいです。
発達の遅れている子どもは療育にも通い、幼稚園にも通っています。あまり、幼稚園には行けません。費用や給食代は全額負担です。あまりに負担が多すぎます。療育の方も無料化にしていただくと助かります。よろしく願いいたします。
市町村によっては、子どもが生まれた際、チャイルドシートの助成金が出たりする所もあるようだが、鳥栖市には助成金制度が無い。出産準備で一人目ということもあり出費が多かったので、何かしらの出産準備の助成金制度があるととても助かる。
他の市は子どもが生まれたりお祝い金が出ると聞いた。鳥栖市は住みやすいからこの先も住みたいが、やっぱりお金大事なので少しでも欲しい。
母子手帳を持っていると割引があるスーパーあるが、助かるのもっと増やして欲しい。飲食店とかでも利用しやすいよう割引とか特典とか欲しい。

<経済的な支援について（小学生児童）>

医療費の補助はとても助かります。
鳥栖市の子ども医療費が高い。月 500 円3回は負担。（他県、地域は無料な所もある。）せめて上限、500 円、1,000 円にしてくれたら有難い。
医療費をタダにして欲しい。500 円×2 / 月支払、各病院で支払が面倒である。
子ども全員に医療費支給不要。年収により医療費負担をさせ、余ったものを環境（学童）に費やすべき。
中学校まで医療費無料にして欲しい。
中学生まで医療費助成があると助かる。
中学生の医療費の助成もお願いいたします。
医療費がかかる。中学卒業まで無料にして欲しい。
医療費が 500 円で済んでいるところは大変有難いです。小学生になっても時々病院にはかかりますので中学生までこの補助をしてもらえると大変助かります。
佐賀県の多くの市町村で子どもの医療費の控除が中学生や高校生まである様で、鳥栖市もそうなってくれるとよいと思う。
通院医療費助成が非常に助かっています。中学生になってなくなると経済的に負担が大きいので困ります。小学生までは出来ていた治療が経済的な理由が原因で出来なくなる子どもにもかわいそうです。久留米市等、中学生まで通院医療費助成がある自治体が増えているようなので鳥栖市にもぜひお願いしたいです。
みやき町では医療費が高校生まで無料、給食費は中学生まで無料である。鳥栖は中学生から負担である。なぜ鳥栖市は出来ないのか不満である。
インフルエンザの予防接種を無料でして欲しい。毎年流行るものだから、皆が予防接種をしておけばよいと思う。
高齢者に対する助成や補助はある程度あるが、子育て世代には十分にはないように感じる。インフルエンザの予防接種等子どもは2回打たないといけないので1回分の助成や減額制度等あるといいと思う。他の市町村に対して、対応が遅れていると思う。
医療費やインフルエンザワクチンの助成に関して、まだまだ満足のいく支援はできていないと感じます。
基山町はインフルエンザ予防接種の補助金があるそうなので、鳥栖市でも子どものインフルエンザ罹患を減らすために予防接種の普及につながるような制度をお願いしたいです。
基山町のようにインフルエンザ予防接種など子どもは 500 円で済むようにするなど、経済面でのサポートが欲しい。4人目のお祝い金支払うなど。
給食を無料化にして欲しい。
たくさん税金を納めたり、たくさん子どもを産んでも育児手当は所得制限で一律 5,000 円なのがちょっと…。所得に関係なく、制限をかけずに当たり前に 15,000 円もらいたいです。なんだかんだ育児はお金がかかるので。
児童手当が少ない。

子育ての費用のサポートを手厚くして欲しい。他の市町村の会社の人やママ友から三人目はお金かからないと聞いていたが、特に他のサポートもなく生活が困窮してます。ファミサポや、なかよし会の充実もいいですが、先にすることは子育ての費用サポートと思います。ファミサポ1時間600円で預けて時給800円のバイトに行っても意味がないです。母親は生活が困窮しているので働きたいと言っているのですが、小学生の長男、幼稚園児の長女、未就園児の次男を預けて仕事しても全く意味がない。預け代がかかりすぎる。

<その他（就学前児童）>

子育てに限らず、健康診断や歯科での定期健診等、予防のための活動に支援して欲しい。歯列矯正で予防する病気や子どもの発育・発達に与える効果を考えると、支援されたいと思います。美しさだけを求めて矯正している人は少ないと思う。
母親の息抜きの時間が欲しい。
妊娠中から感じていたが、たばこを吸える場所が多すぎるし、マナー違反の喫煙者もあまりにも多すぎてうんざりする。コンビニの入り口付近やスーパーの優先駐車スペースの所に平気で灰皿が置いてあり、吸いたくない副流煙を何度も吸う羽目になった。いまだに路上喫煙もよく見かけるし、車の窓から煙を垂れ流して最後にたばこをポイ捨てするドライバーもよく見かける。子どもや妊婦、体の弱い人が通る可能性が高い所でなぜ自由にたばこを吸えるようにするのか意味がわからない。たばこを吸うなら副流煙を他人に吸わせないようにするべきだし、民間の自主的な取り組みに任せず、鳥栖市がきちんと対応して欲しい。一番悪質なのは小さな子どもや赤ちゃんを連れた親が喫煙可能な飲食店やスペースに来て、子どもの真横でたばこを吸うケース。明らかに20歳未満の子どもを連れている親はそういう場所への立ち入りを制限して欲しい。子どもは親に従うしかないのに煙を吸わされっぱなしになっていて、見ていて気分が悪い。子どもに副流煙を吸わせるのは虐待だと行政がはっきり示して、制限をかけてあげて欲しい。
ごみの回収が燃えるごみのみというのが大変です。小さい子どもがいると、指定の場所に持って行ったりするのも大変です。高齢者等も…。以前、市役所の駐車場に回収の場所があったのは助かりました。ご検討をお願いします。
教育の方もよろしくをお願いします。
将来のことを考えると、高校の数も増やして欲しい。（できればレベルが高い高校）
交通マナー、ジェンダー意識が低いと感じている。これらの低さは言うなれば、人権感覚の無さが起因していると思う為、人権教育の充実を望みます。
朝の渋滞が酷い為、早い時間に保育園に送らないと仕事に間に合わない。特に平田町～乗目。平田町まで片側2車線になるときに陸橋も造っていただきたい。
ベビーカーを押して気づきましたが、歩道の狭さと、凸凹道で通りにくい。
市内の歩道にガードレールが少ないと感じる。子どもの安全を考慮して設置する場所を増やして欲しい。
関係ないかもしれませんが、習い事など、1人で通う事を考えた時、歩道が無かったり道路幅が狭かったり、見通しが悪かったり、街灯が少なかったりする事が心配です。
子どものおむつ、ミルク、授乳する場所が少なすぎる。建物が古い所が多く、そういった所がない。
保健センターのトイレの洋式を増やして（育児相談の時、職員さんが使っていて、子どもを待たせたのでハラハラした）
赤ちゃん連れでランチとかできるお店が少ない。今、ママ友とランチの機会が増えたが、お店が限られていて少ない。お店があっても、座敷が1室とか、もっと赤ちゃんいても利用できるお店を増やして欲しい。
記念樹をもらい損ねたので、引き取り期間になったら案内が欲しかったです。

<p>公民館で低価格で習い事が出来るのはいいと思いますが、地区外の公民館の利用が可能なのかわかりづらいので、はっきり明記して欲しいです。</p>
<p>現在 3,2,6 歳の子育て中で、育休中です。主人の母と同居なので、産後も助けてもらいながら過ごしましたが、私なりの考えで、パパにも関りをもってもらいたいという思いがありました。家の中で何かを進んでしてくれるタイプではないので役割として、保育所への送り迎えをしてもらえて助かりましたが、産休が終わると短時間保育となり私と交代となり、惜しい気持ちが残りました。制度自体がそうなっているのであって、鳥栖市がどうこういったことではないが書きました。</p>
<p>佐賀市と鳥栖市の利用規定が違い過ぎて、毎回手続きに困惑が生じます。もっと柔軟な対応が必要です。せめて、更新の時に手間が省けるようにして欲しいです。</p>
<p>鳥栖市は人口が多いため、子育て世代に何か支援しなくても思っているところがあると思います。せっかくサガン鳥栖で盛り上がっているのだからスポーツに力を入れたらと思います。その為に、体験させる場をもっとわかりやすくする等、子どもたちが興味を持つようにしてあげて欲しいです。</p>
<p>サガン鳥栖が好きで、2016年に福岡市内から家族で引っ越してきました。子どもも保育園の行事でよくスタジアムへ行くそうです。その影響か親の影響かわかりませんが、サッカーが大好きになっております。年2回（春と秋）にスタジアムの芝生内に入れるイベントがありますが、是非定期的に行って欲しいです。（2018年はなかったようです）</p>
<p>両親ともに就労中であり、保育所通園中ですが、なるべく親が子どもをみる環境を整え、保育事業所などの利用頻度を減らすことが希望です。平日は仕方ないにしても、土日はしっかり親がみる状況を作り、継続できるようにして欲しいです。ただ、祖父母の都合、休みなどを考慮し、気軽に利用できる施設もあったらいいなと思う。</p>
<p>私たち家族は佐賀県出身ではないが、鳥栖市に住んで15年になります。初めての育児、出産も全て夫婦で行ってきています。今もそうですが、出産、育児共、実際、鳥栖市からのサポートを受けたとは思っていません。病院かそれなりの事業所、職場のおかげで何とか3人の子どもを育てています。</p>
<p>このアンケートが長すぎる。</p>
<p>アンケートが長く、わかりにくい所も多く、出さない人も多いのでは？</p>
<p>質問の答える内容に記入する就労時間は、変則勤務だったのでどのように記入していいかわかりませんでした。</p>
<p>返信用の封筒が小さすぎます。</p>
<p>お盆や年始の保育に関する出席の有無のアンケートをとるのはいいが、書き方が悪い。アンケート用紙に子どもの体調が悪い場合は職場に連絡を入れますと書いてあるが、仕事があって保育を頼む側からすると、嫌みにしか聞こえない。</p>
<p>今回のアンケート、就学前児童との事ですが春から小学生になりますので、回答も矛盾している所もあるかもしれません。</p>
<p>全体的に質問の意味が分からない。会社復帰すると子育て支援センターがあっても存在感がない。関心もわからない。保育園と親に頼るのが主。何を調べたいのかわからないアンケートでした。時間が無駄。</p>

<その他（小学生児童）>

<p>地域住民の方が優しく声をかけてくれたり、小学校登校時は交通指導してきてくれたり、とても安心して小学校へ送り出します。仕事を朝早くからしているの、なかなか交通指導等ができないため助かりますし、地域住民の方には感謝しております。</p>
<p>まちづくり推進センター等で子育て支援事業をするだけでなく、普段閉まっている公民館を放課後開放して、地域住民との関わりを増やす等、気軽に子ども達が集まることができる場所があったらいいと思う。</p>
<p>夕方5時のサイレン、チャイム等が鳴らないので、子ども達だけで遊んでいる時に知らせる方法がなく困る。</p>
<p>消費税が上がるが、習い事の月謝も上がった、学年が上がると校納金も上がったりと、極力下校の時は家にいて「お帰り」と言える環境を作ってあげたいが、働かなくてはいけない現状。もう少し子育ての支援等を頑張りたい。</p>
<p>道路面など危険箇所が多い。儀徳交差点からあいあい保育園にかけての歩道は田んぼ側にはあるが、住宅地側にはない。危険性を知らない子どもは極めて狭い路側帯を通っている。用地買収の必要のない田んぼ側の歩道を住宅地側に移設は出来ないのでしょうか。あいあい保育園の駐車場からもし飛び出しがあった場合、車道が近接していることが極めて危険だと感じます。人が住む側に歩道がなく、田んぼ側にあるのはおかしいと思います。部署は異なると思いますが、子どもが巻き込まれる死亡事故がいつ発生してもおかしくない状況をとて心配しますので記入しました。</p>
<p>サンメッセの近くに住んでいますが、虹の橋東側ロータリーのスケボーについて、禁止にして欲しい旨を以前、市へメールしたら、その場所のみ許可していると回答がありました。しかしロータリー内だけにでなく、虹の橋の近くまでスケボーしてる人もいたり、22時過ぎまでいたり、また制服姿の女の子も見かけます。飲み会の帰りなど、大人であっても夜近くを通るときは正直怖いです。彼らが犯罪を犯しているわけではありませんが、非行やレイプなど、娘を持つ親としては気が気ではなく、電車通学する中学生の娘の送迎は駅まで近い所に住みつつもしています。ちょうどいい場所、あまり人がいないイコール迷惑がかからないということで、今の場所を許可されているかもしれませんが何かあってからでは遅いので、再検討して、ぜひ廃止してください。</p>
<p>その他の私用や事前に対応可能なものなどは現状のサービス等を活用させていただき、必要な費用も自己負担でやむを得ないと思っています。限定された人員、予算の中で、地域と市民の継続的な発展のために普段尽力されている行政の方々に感謝いたします。</p>
<p>また今は全国で大きな自然災害が発生している。簡単な物でいいと思うので災害時必要な物を各家庭に無料配布、又は安い金額で販売するというのはいかがでしょうかと思う。</p>
<p>鳥栖市民のみサガン鳥栖の観戦チケットを安くして欲しい。</p>
<p>私立に通学しているため、市のサービス等はあまり利用していないが、子育てする環境としては悪くないと思っている。</p>
<p>こんなアンケート必要ですか？</p>
<p>今回、長子に対してのアンケートになっていますが、今回の内容で本当の困り感を把握したいのであれば、一番下の子に対するアンケートをすべきだと思います。</p>

このようなアンケートは冊子ではなくインターネットを活用できればもっと安価でスピーディーになりませんか？全てをデジタル化にということは難しいでしょうが、削減するところが他にあるのではないかと考えてしまいます。

この様なアンケートがある事を知らなかったので、お手紙が来たときは驚いた。しかしとてもいいことだと思う。

Ⅲ 調査の総括

1. 調査結果から見える課題

(1) 子どもと家族の状況、子どもの育ちをめぐる環境について

<報告書 4～28 頁>

課題：母親の育児負担の軽減と子育て支援に関する地域の相談支援窓口の周知

- 主に子育てを行っている人について、「父母ともに」（51.2%）と「主に母親」（47.5%）となっており、母親が関わる割合は9割以上を占め、母親の担う役割が大きいことが推察されます。
- 「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童 34.4%、小学生児童 35.0%）環境や、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（就学前児童 68.6%、小学生児童 61.5%）環境があり、安心して子どもをみてもらえる状況がうかがえます。
- 子育てに関して気軽に相談できる人や場所は、「祖父母等の親族」（就学前児童 84.5%、小学生 81.9%）が最も多くなっていますが、市の子育てに関連する施設への相談は低い傾向にあります。

(2) 保護者の就労状況について <報告書 29～40 頁>

課題：働きながら子育てできる就労支援の整備

- 母親の就労状況について、「フルタイムで就労」している割合が 38.0%、「パート・アルバイト等で就労」している割合は 32.9%となっており、前回調査よりも増加しています。特に、就学前児童は「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合が大きく減少していることから、就学前児童の母親が就労している傾向が高くなっています。
- パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は 27.7% となっていますが、そのうち実現できる見込みがある割合は 5.0%と少なくなっています。
- 現在就労していない母親について、子どもが3～4歳になったところに、「パート・アルバイト等」（全体 41.5%）の就労を希望する人が最も多く、次いでフルタイム（全体 10.4%）での就労を希望しています。

(3) 教育・保育事業の利用状況について（就学前児童のみ）＜報告書 41～55 頁＞

課題：教育・保育事業の多様なニーズへと休日の対応の充実

- 現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を定期的に「利用している」割合（71.7%）は前回より増加しています。また、平日に利用している事業は、「認可保育所」（48.9%）が最も多く、次いで「幼稚園」（27.4%）、「認定こども園」（15.5%）となっています。前回調査と比較すると、「幼稚園」の利用が大きく減少し、「認定こども園」の利用が大きく増加しています。
- 今後の利用希望では、「認可保育所」（56.3%）が最も多く、次いで「幼稚園」（47.7%）、「認定こども園」（38.9%）となっています。また、幼児教育・保育無償化となった場合、「幼稚園」は 0.9%、「幼稚園の預かり保育」は 4.1%、「認可保育所」は 1.6%、「認定こども園」は 1.8%増加しています。
- 土曜日の教育・保育事業を利用したい割合は 45.9%となっており、土日・祝日に利用したい理由は「月に数回仕事が入るため（70.4%）が最も多くなっています。また、幼稚園利用者のうち長期休暇期間中の教育・保育事業を利用したい割合は、54.4%となっています。働く親が増加している背景もあり、土曜や長期休暇中の教育・保育事業の利用ニーズは高いことが推察されます。

(4) 地域子育て支援事業の利用状況について（就学前児童のみ）＜報告書 56～62 頁＞

課題：地域子育て支援センターなどの事業の周知・充実

- 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）を「利用していない」割合は 80.5%と前回より微増し、「今後利用したい」の割合は 19.5%となっています。
- 地域の子育てに関する事業の認知度は概ね7割を超えていますが、「体験保育&給食・離乳食試食」については 58.1%となっています。また、事業の利用希望について、「市が発行している子育て情報」（65.4%）、「児童センター」（50.9%）、「子育て相談の窓口」（45.9%）、「保育所や幼稚園の園庭開放」（44.6%）が多い傾向にあります。

(5) 子どもが病気の際の対応について <報告書 63～71 頁>

課題：保護者が安心して子どもを預けられる病児・病後児保育施設の充実

- 子どもが病気の際、教育・保育の事業が利用できないことが「あった」割合は、就学前児童で 78.9%、小学生児童で 60.2%となっています。その際の対処法として「母親が休んだ」（就学前児童 82.4%、小学生児童 73.5%）が最も多くなっています。
- 就学前児童のうち、病児・病後児の保育施設を「利用したいと思わない」割合 59.2%となっており、その理由は「病児・病後を他人に看てもらうのは不安」（65.6%）や「親が仕事を休んで対応する」（64.0%）があげられます。
- 子どもが病気等の際に、父親または母親が休む以外の対応をした人のうち、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」（全体 58.7%）となっています。

(6) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

<報告書 72～81 頁>

課題：不定期や宿泊を伴う一時預かりの事業提供体制の充実及び周知徹底

- 保護者の私用、親の通院、不定期の就労との目的で不定期的に利用している事業について、就学前児童と小学生ともに、「利用していない」割合（就学前児童 84.6%、小学生児童 96.9%）が最も多く、利用していない理由として、「特に利用する必要がない」（就学前児童 75.9%、小学生児童 76.3%）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（就学前児童 19.0%、小学生児童 18.3%）、「利用料がかかる・高い」（就学前児童 13.9%、小学生児童 12.8%）となっています。利用したくても、その利用方法がわからない保護者がいると推察されます。
- 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験について、全体で 24.4%となっており、その対処法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」割合（就学前児童 92.3%、小学生児童 87.0%）が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度について、困難に感じた割合は全体で 54.0%となっています。

(7) 小学生の放課後の過ごし方について <報告書 82～95 頁>

課題：放課後児童クラブの充実と子どもが地域で安全に過ごせる環境整備

- 小学校低学年時の利用希望として、「自宅」と「習い事」と「放課後児童クラブ」が上位にあがっています。特に就学前児童は「放課後児童クラブ」の利用希望が高くなっています（就学前児童 42.1%）。
- 小学校高学年時の利用希望について、就学前児童は「自宅」と「習い事」と「放課後児童クラブ」、小学生児童は「自宅」と「習い事」と「祖父母宅や友人・知人宅」、「その他（まちづくり推進センター、公園など）」が上位にあがっています。

(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援について

<報告書 96～111 頁>

課題：仕事と子育てが両立できるよう企業への周知啓発及び支援体制の充実

- 母親の育児休業の取得経験について、全体では、「育児休業を取得した（取得中である）」が 40.0%と前回より微増しています。また、「育児休業を取得していない」理由として、就学前児童と小学生ともに、「子育てや家事に専念するため退職した」（就学前児童 47.0%、小学生 48.9%）が最も多くなっています。
- 職場復帰時に短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」母親の割合は、全体で 39.1%となっており、就学前児童と小学生児童を比較すると、小学生児童が大きく上回っています（就学前児童 34.7%、小学生児童 50.0%）。また、その理由は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（就学前児童 70.0%、小学生児童 69.0%）となっています。

(9) 鳥栖市における子育ての環境や支援について <報告書 112～158 頁>

課題：子育てしやすい市を目指した支援のあり方の検討及びサービスの充実

- 全体では、満足度が普通のランク（「3」）が 43.0%と最も多く、満足度の高い方（「4」「5」）が全体で 22.1%、低い方（「1」「2」）が 30.8%となっており、低い方が高く、前回調査より微増しています。小学生児童より就学前児童の保護者の方がこの傾向が大きくなっています。
- 子育てに関するご意見・ご要望では、教育・保育の事業やその他子育てに関する支援事業、放課後児童クラブ、子どもの遊び場等様々な意見があり、子育てしやすい環境を目指したまちづくりを進める必要があります。